日本集中治療医学会雑誌　第 23 巻 Supplement　2016 年 1 月 15 日発行

日本集中治療医学会雑誌

JOURNAL OF THE JAPANESE SOCIETY OF INTENSIVE CARE MEDICINE

Vol.23 Supplement JANUARY 2016

第 43 回
日本集中治療医学会学術集会
プログラム・抄録集

BE AN INTENSIVIST

神戸国際展示場,
神戸ポートピアホテル
平成 28 年 2 月 11 日～ 14 日
会長　西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）

日集中医誌 | J Jpn Soc Intensive Care Med

発行　一般社団法人　日本集中治療医学会　〒 113-0033 東京都文京区本郷 3-32-7 東京ビル 8F

第 43 回
日本集中治療医学会学術集会
プログラム集

会期　平成28年2月11日(木・祝), 2月12日(金),
2月13日(土), 2月14日(日)

会場　神戸国際展示場，神戸ポートピアホテル

会長　西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学 教授）

目　次

●開催にあたって …… 3
●役員会及び関連会議のご案内 …… 4
●日本集中治療医学会総会・年次一覧 …… 5
●アクセスマップ …… 6
●会場配置図 …… 7
●会場案内図（神戸ポートピアホテル） …… 8
●会場案内図（神戸国際展示場） …… 10
●日程表 …… 12
●ポスター会場案内図（神戸国際展示場） …… 20
●ポスター発表日時と会場のご案内 …… 21
●学術集会参加者へのご案内 …… 22
●発表者・座長（コメンテーター）へのお知らせ …… 25
●プログラム委員 …… 30
●一般演題査読者 …… 31
●ハンズオンセミナーのご案内 …… 32
●関連学術集会のご案内 …… 40
●プログラム …… 42
●抄録 …… 161
●索引 …… 869
●奥付 …… 907

第 43 回日本集中治療医学会学術集会
開催にあたって

2016 年 2 月 11 日（木）～ 14 日（日）の期間、神戸国際展示場と神戸ポートピアホテルで第 43 回日本集中治療医学会学術集会を開催します。

学術集会のメインテーマは “Be an Intensivist” です。ICU と言う言葉は、ある程度の市民権を得てきた感があります。しかし、ICU で集中治療医学を専門とする医師が 24 時間、365 日、重症患者の治療に携わっていることは国民に認識されていません。医療従事者の間でも十分認識されているとは言えません。集中治療には重要臓器全体の解剖学、生理学、病態生理さらには治療に関する幅広い知識が必要です。医師だけではなく多職種がチームとして一丸となって疾患の治療に立ち向かうことも必須です。集中治療医こそがマルチプロフェッショナルの知識、技術を集めたチームの中心にいてリーダーシップを発揮できます。集中治療専門医が重症患者の治療に携わる範囲が広ければ広いほど、患者の予後は良くなります。そればかりではありません。集中治療医が ICU の運営を適切に行うと、院内での重症患者治療が効率化され病院全体の機能まで向上します。我々自身が集中治療に携わる医療人であることに誇りを持ち、胸を張ってそう言えるようになりたいという思いからメインテーマを “Be an Intensivist” としました。Intensivist という言葉を使っていますが医師だけではなく集中治療に携わる全ての医療従事者を含めているつもりです。

わが国の集中治療医学のレベルは決して欧米に引けを取りません。集中治療に携わる医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、リハビリテーションを始めとする医療従事者は臨床、研究に日々真剣に取り組んでいます。我々は存在意義を証明できる科学的根拠、データを十分に持っていると確信しています。学術集会が成功するには多くの皆様が日々研鑽された成果を持ちよっていただくことが大前提です。今回は公開シンポジウムへの応募を含め 1578 題もの応募をいただきました。査読に対しては 220 人の皆様の協力をいただきました。ここに深く御礼申し上げます。

学術集会のもう一つの大きな目的は新しい知識の取得です。最新の知識に触れていただくために国内外から多くの著名な演者に来ていただきました。海外からは 28 人、国内からは 38 人の演者を招いています。もちろん、集中治療医学会の会員の皆様にも素晴らしい講演をしていただきます。基調講演 3、招聘講演 15、特別講演 15、教育講演 35、教育セミナー 7、Pro-Con13、それ以外にもシンポジウムやワークショップを企画しています。内容としては国際的な学術集会と比較しても引けをとるものではないと確信しています。

多くの皆様が成果を携えて神戸に集い、親交を深めるとともに新しい研究のヒントを得てください。また、最新の知識を得て日々の重症患者の治療をより良いものにしてください。これらを通して集中治療に携わる医療人の存在意義を高めることができる学術集会にしたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

第 43 回日本集中治療医学会学術集会
会長　西村　匡司
（徳島大学大学院救急集中治療医学）

第 43 回日本集中治療医学会学術集会

－役員会及び関連会議のご案内－

会　期：2016 年（平成 28 年）2 月 11 日（木・祝），2 月 12 日（金），2 月 13 日（土），2 月 14 日（日）
会　場：神戸国際展示場，神戸ポートピアホテル
会　長：西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学 教授）

参加受付：①神戸国際展示場 2 号館 1 階 コンベンションホール北
②神戸ポートピアホテル ポートピアホール 2 階 ロビー（2 月 11 日（木・祝）のみ）
※受付時間は p.22 を参照

運営本部：神戸ポートピアホテル 南館 1 階「CS ルーム」

学会会議：

1.	理事会	2 月 11 日（木・祝）13 時 00 分開始～14 時 45 分 神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「生田」
2.	社員総会	2 月 11 日（木・祝）15 時 00 分～17 時 30 分 神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「偕楽 1・2」
3.	看護部会役員会	2 月 12 日（金）18 時 00 分～19 時 00 分 神戸国際展示場 2 号館 3 階「3B 会議室」
4.	会員懇親会	2 月 13 日（土）18 時 30 分～20 時 30 分 神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「偕楽」

医療機器展示：神戸国際展示場 1 号館 1 階 展示室
神戸国際展示場 3 号館 1 階 展示ホール

－事務局－

1. 第 43 回日本集中治療医学会学術集会 事務局
徳島大学大学院救急集中治療医学内
〒770-8503　徳島市蔵本町 3-18-15
TEL：088-633-9347　FAX：088-633-9339　E-mail：jsicm43@tokushima-u.ac.jp

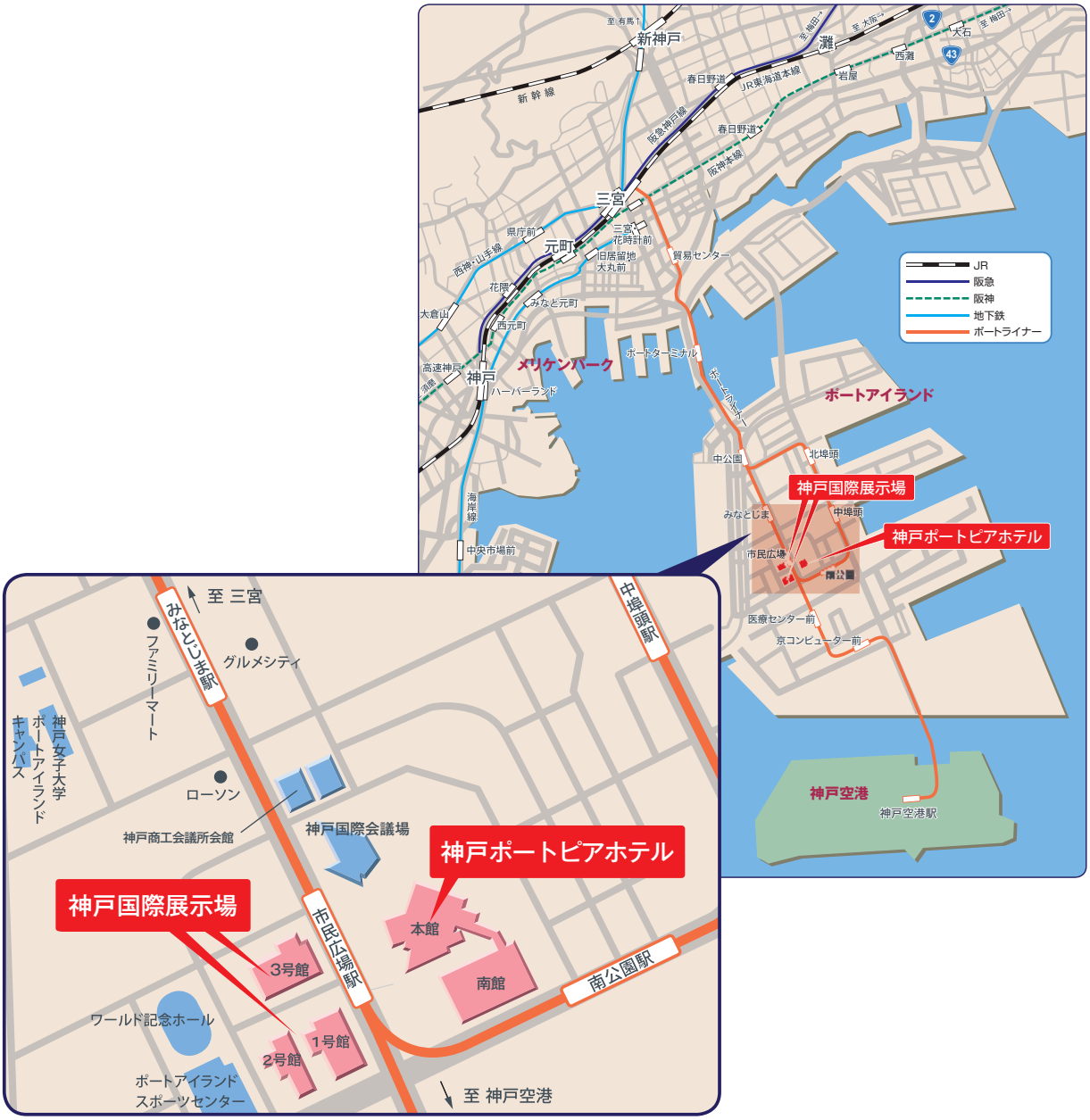
2. 第 43 回日本集中治療医学会学術集会 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションズ　コンベンション事業局内
〒530-0001　大阪市北区梅田 3-3-10　梅田ダイビル 4 階
TEL：06-6348-1391　FAX：06-6456-4105　E-mail：jsicm2016@jtbcom.co.jp

3. 新入会・会員登録確認等に関する問い合わせ
一般社団法人 日本集中治療医学会事務局
〒113-0033　東京都文京区本郷 3-32-7　東京ビル 8 階
TEL：03-3815-0589　FAX：03-3815-0585

－日本集中治療医学会総会・年次一覧－

	会　　期	会　　場	会　　長
第 1 回	1974年2月9日～10日（2月10日設立）	東　京　三井日比谷ホール	岩月　賢一
第 2 回	1975年2月8日～9日	東　京　エーザイ株式会社	岩月　賢一
第 3 回	1976年2月8日～9日	東　京　日本都市センター	岩月　賢一
第 4 回	1977年2月11日～12日	東　京　日本都市センター	佐藤　光男
第 5 回	1978年2月25日～26日	東　京　日本都市センター	石原　　昭
第 6 回	1979年2月25日～26日	東　京　日本都市センター	五十嵐正男
第 7 回	1980年2月9日～10日	名古屋　愛知県勤労会館	青地　　修
第 8 回	1981年2月7日～8日	東　京　日本青年館	美濃部　嶢
第 9 回	1982年5月7日～8日	福　島　福島県文化センター	奥秋　　晟
第10回	1983年3月19日～20日	岡　山　岡山プラザホテル	小坂二度見
第11回	1984年3月18日～20日	東　京　国立教育会館	古田　昭一
第12回	1985年5月17日～18日	仙　台　仙台市民会館	天羽　敬祐
第13回	1986年2月28日～3月2日	東　京　日本都市センター	早川　弘一
第14回	1987年3月18日～20日	山　口　山口市民会館	武下　　浩
第15回	1988年2月25日～27日	東　京　日本都市センター	三川　　宏
第16回	1989年6月8日～10日	北海道　旭川市民文化会館	柴田　淳一
第 5 回	世界集中治療会議1989年9月3日～8日	京　都　京都プリンスホテル	青地　　修
第17回	1990年6月7日～9日	大　阪　大阪国際交流センター	吉矢　生人
第18回	1991年2月28日～3月2日	東　京　日本都市センター	細田　瑳一
第19回	1992年2月20日～22日	名古屋　名古屋国際会議場	侘美　好昭
第20回	1993年6月9日～11日	北海道　北海道厚生年金会館	金子　正光
第21回	1994年2月24日～26日	名古屋　名古屋国際会議場	勝屋　弘忠
第22回	1995年2月1日～3日	大　阪　ホテルニューオータニ大阪	藤森　　貢
第23回	1996年1月18日～20日	横　浜　パシフィコ横浜	藤田　達士
第24回	1997年5月15日～17日	盛　岡　盛岡グランドホテル	平盛　勝彦
第25回	1998年3月5日～7日	東　京　東京国際フォーラム	窪田　達也
第26回	1999年3月3日～5日	千　葉　幕張メッセ	平澤　博之
第27回	2000年3月2日～4日	名古屋　名古屋国際会議場	島田　康弘
第28回	2001年3月8日～10日	東　京　東京ドームホテル	高野　照夫
第29回	2002年2月28日～3月2日	岡　山　ホテルグランヴィア岡山	平川　方久
第30回	2003年2月4日～6日	北海道　ロイトン札幌	劔物　　修
第31回	2004年3月4日～6日	福　岡　福岡国際会議場	前川　剛志
第32回	2005年2月24日～26日	東　京　京王プラザホテル	一色　　淳
第33回	2006年3月2日～4日	大　阪　グランキューブ大阪	岩坂　壽二
第34回	2007年3月1日～3日	神　戸　神戸国際展示場	丸川征四郎
第35回	2008年2月14日～16日	東　京　京王プラザホテル	今井　孝祐
第36回	2009年2月26日～28日	大　阪　グランキューブ大阪	篠崎　正博
第37回	2010年3月4日～6日	広　島　リーガロイヤルホテル広島	多田　恵一
第38回	2011年2月24日～26日	横　浜　パシフィコ横浜	田中　啓治
第39回	2012年2月28日～3月1日	千　葉　幕張メッセ	福家　伸夫
第40回	2013年2月28日～3月2日	長　野　長野県松本文化会館	岡元　和文
第41回	2014年2月27日～3月1日	京　都　国立京都国際会館	氏家　良人
第42回	2015年2月9日～11日	東　京　ホテル日航東京	山科　　章
第43回	2016年2月11日～14日	神　戸　神戸国際展示場	西村　匡司
第44回	2017年3月9日～11日	札　幌　ロイトン札幌	丸藤　　哲

アクセスマップ



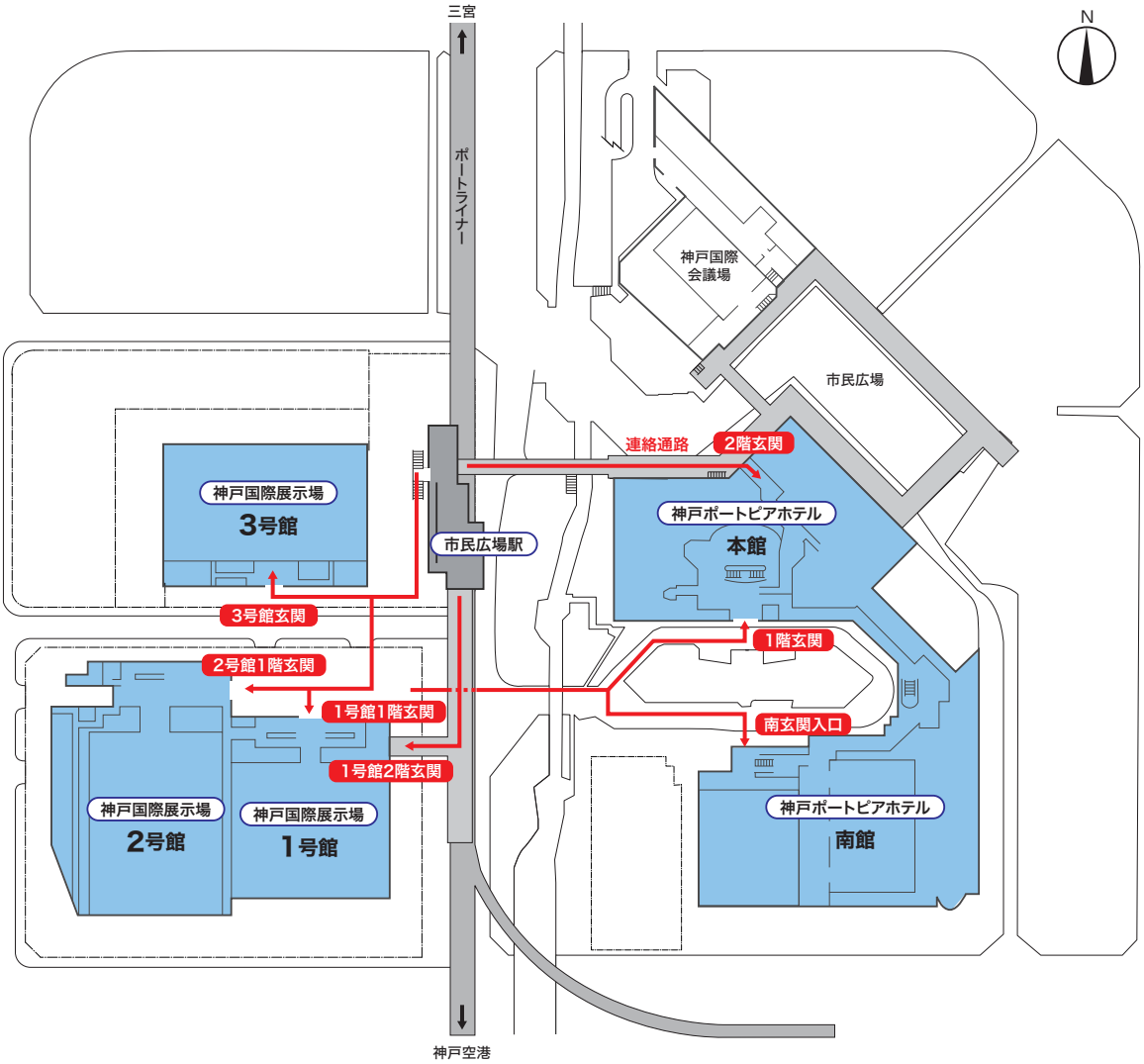
鉄道をご利用の場合

山陽新幹線 新神戸駅 → 地下鉄 約2分／210円 → JR・阪急・阪神・地下鉄 三宮駅 → 乗換え → ポートライナー 三宮駅 → ポートライナー 約10分／250円 → ポートライナー 市民広場駅 → 下車すぐ → 神戸ポートピアホテル 神戸国際展示場

飛行機をご利用の場合

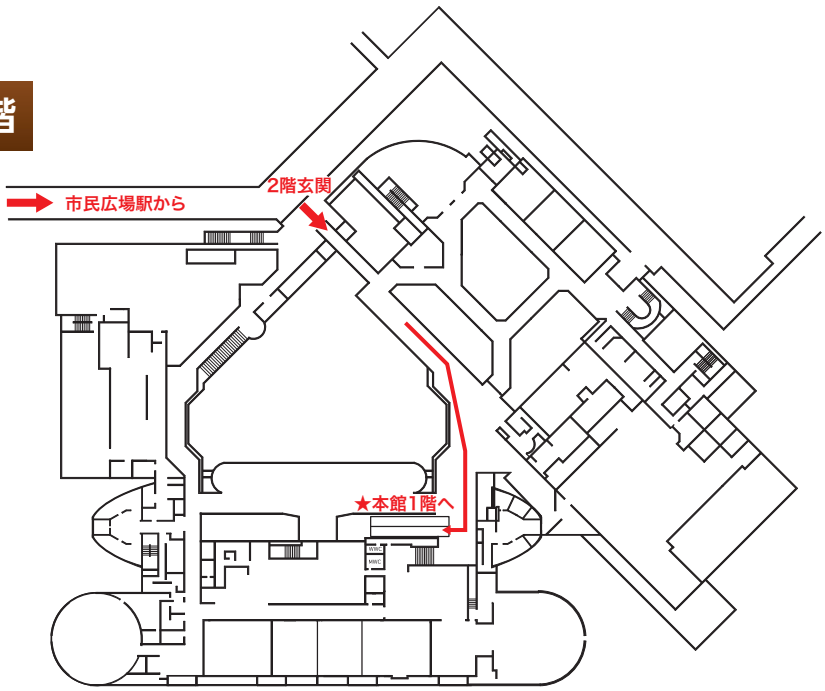
- 神戸空港 → ポートライナー 神戸空港駅 → ポートライナー 約8分／250円 → ポートライナー 市民広場駅
- 大阪（伊丹）国際空港 → リムジンバス 約40分／1,050円 → ポートライナー 三宮駅 → ポートライナー 約10分／250円 → ポートライナー 市民広場駅
- 関西国際空港 → リムジンバス 約65分／1,950円 → ポートライナー 三宮駅 → ポートライナー 約10分／250円 → ポートライナー 市民広場駅
- 神戸・関空ベイ・シャトル 約30分／1,850円 → 神戸海上アクセスターミナル → ポートライナー 神戸空港駅 → ポートライナー 約8分／250円 → ポートライナー 市民広場駅

会場配置図

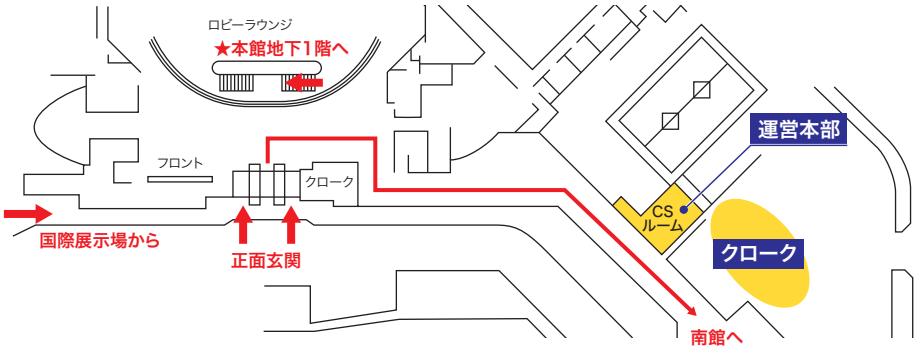

三宮
ポートライナー
N
神戸国際
会議場
市民広場
連絡通路
2階玄関
神戸国際展示場
3号館
市民広場駅
神戸ポートピアホテル
本館
3号館玄関
1階玄関
2号館1階玄関
1号館1階玄関
南玄関入口
1号館2階玄関
神戸国際展示場
2号館
神戸国際展示場
1号館
神戸ポートピアホテル
南館
神戸空港

会場案内図（神戸ポートピアホテル）

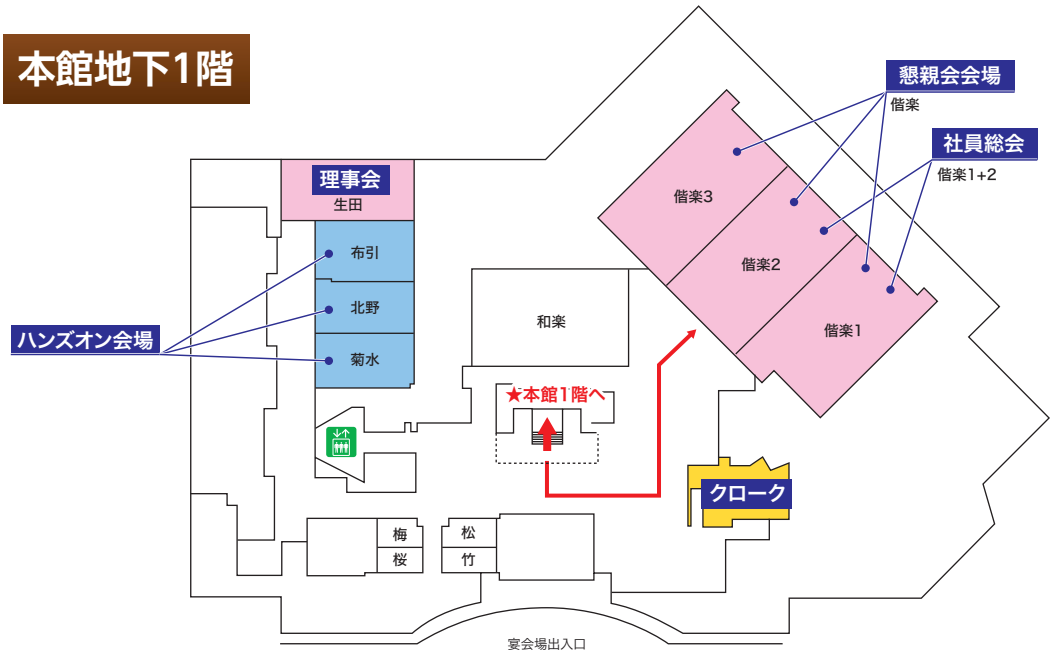
本館2階



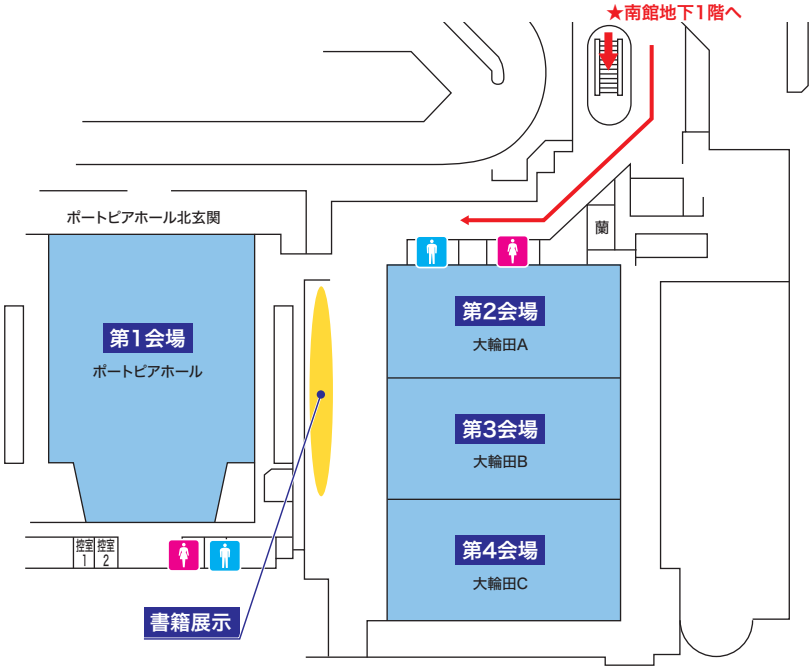
本館1階



本館地下1階



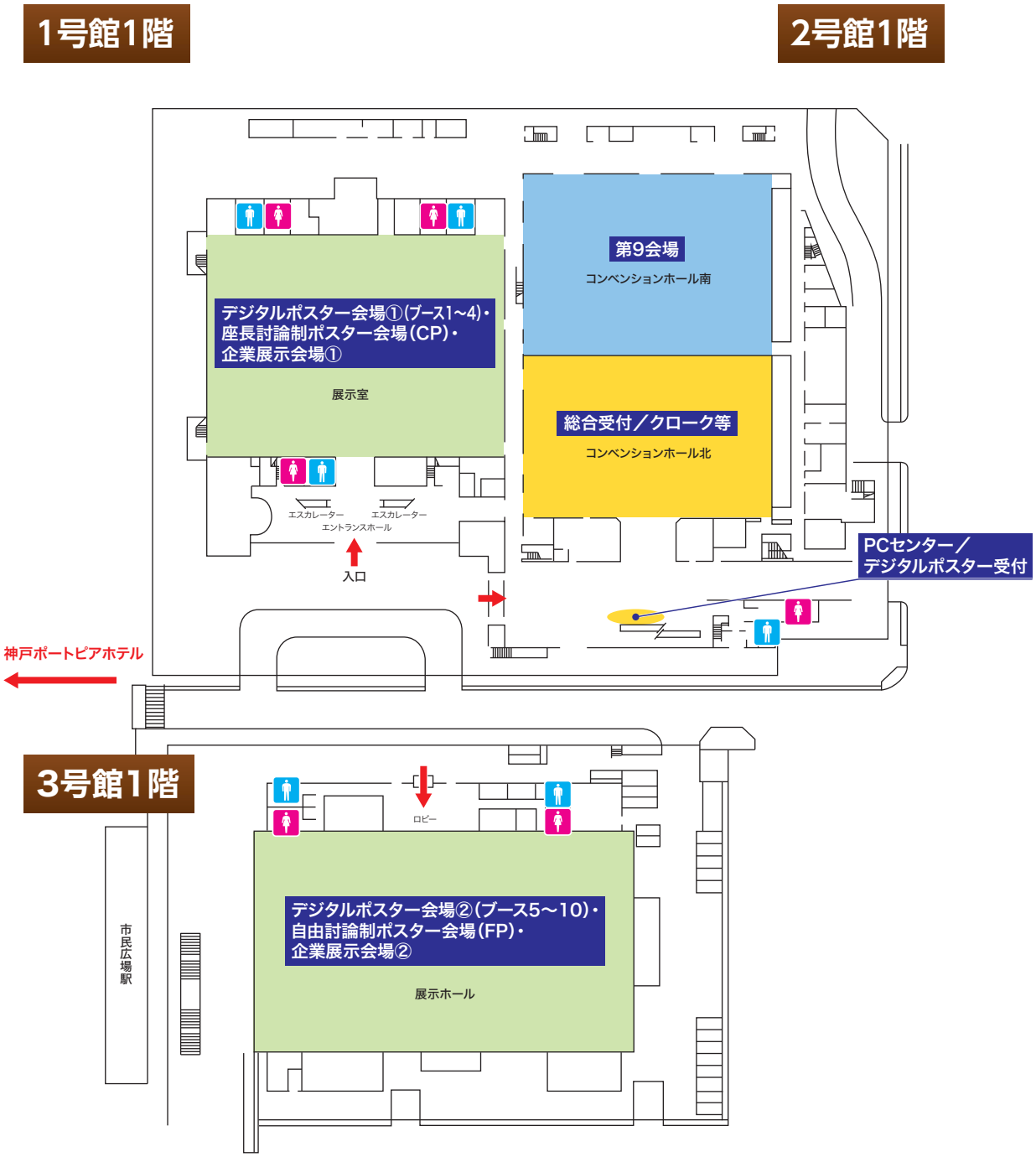
南館1階


★南館地下1階へ
ポートピアホール北玄関
蘭
第1会場
ポートピアホール
第2会場
大輪田A
第3会場
大輪田B
第4会場
大輪田C
控室1
控室2
書籍展示

南館地下1階

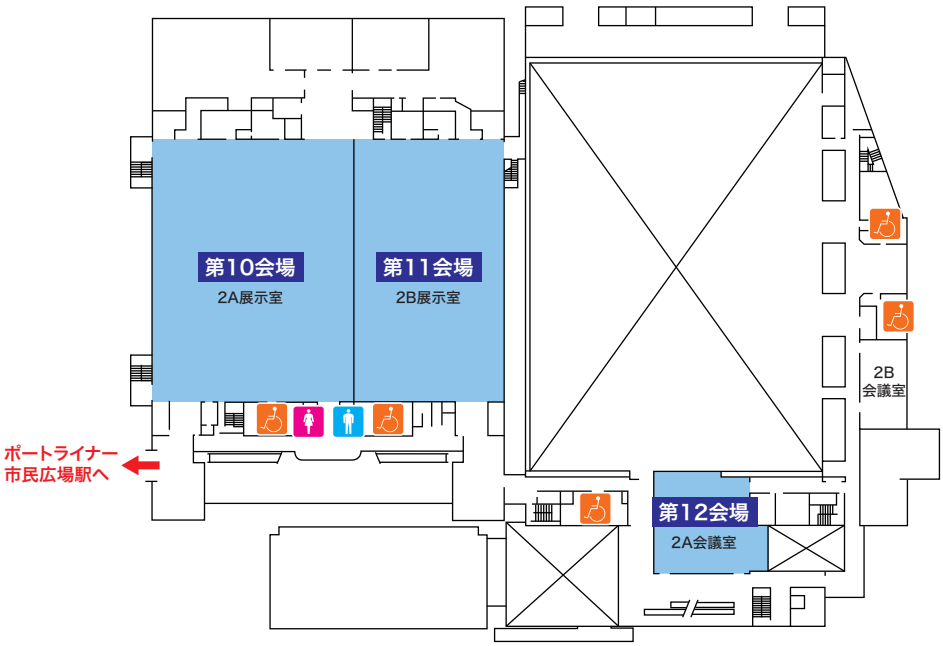
★南館1階へ
第6会場
トパーズ
第5会場
サファイア
ローズ
アイリス
カトレア
ライラック
第7会場
エメラルド
第8会場
ダイヤモンド
瀬戸
ルビー

会場案内図（神戸国際展示場）

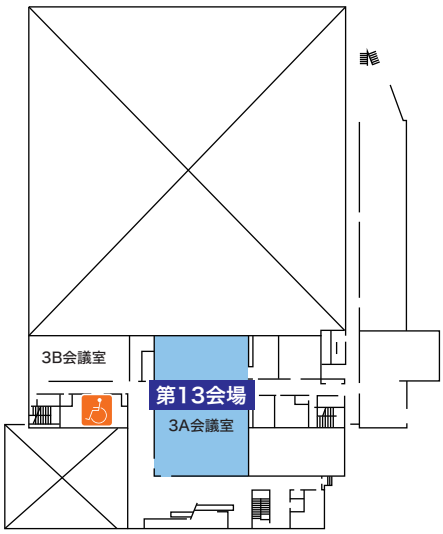


1号館2階

2号館2階

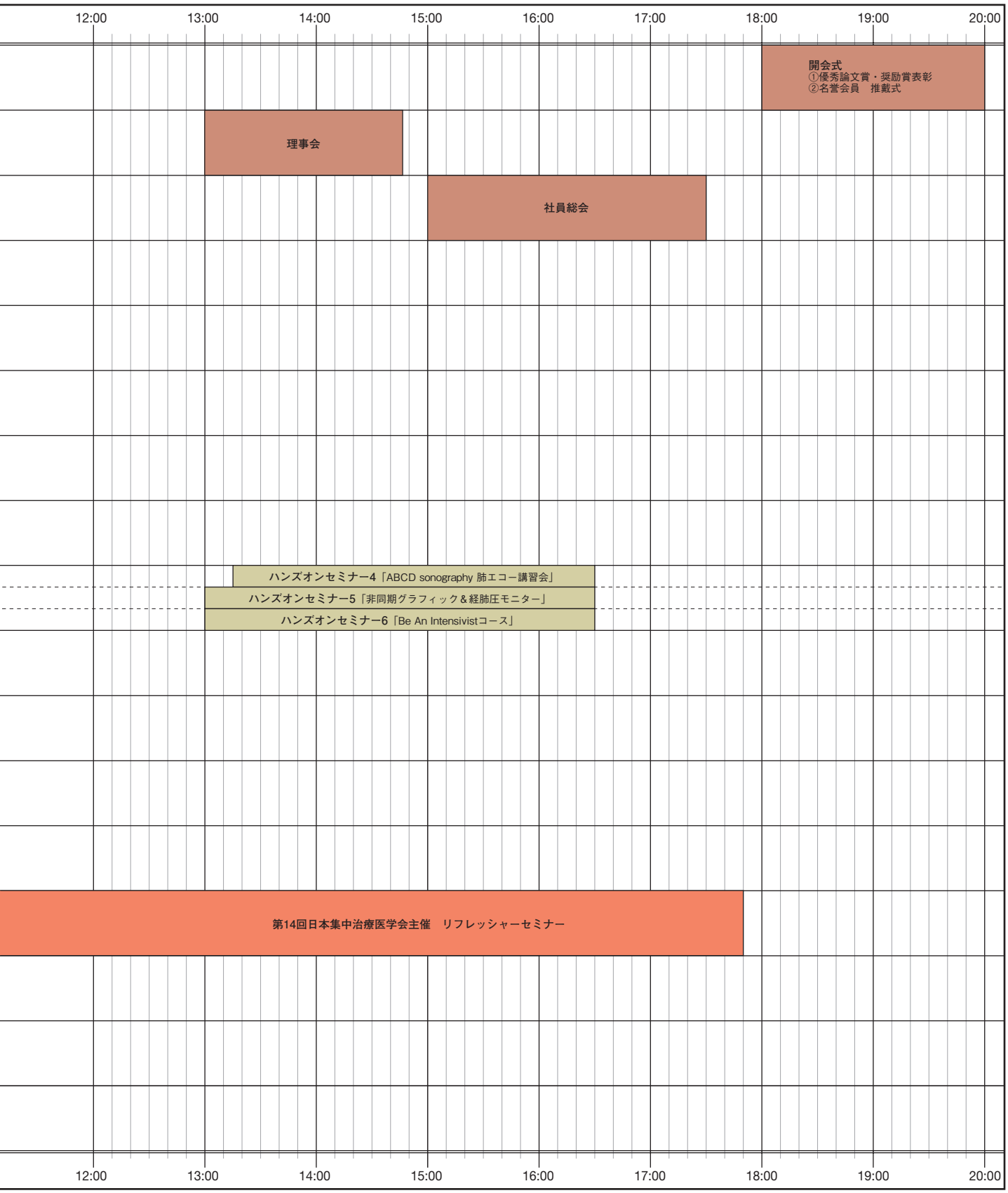


2号館3階



2月11日(木)

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
神戸ポートピアホテル	第1会場 (南館1階　ポートピアホール)					
	理事会 (本館地下1階　生田)					
	評議員会 (本館地下1階　偕楽)					
	第2会場 (南館1階　大輪田A)					
	第3会場 (南館1階　大輪田B)					
	第4会場 (南館1階　大輪田C)					
	第5会場 (南館地下1階　サファイア)					
	第6会場 (南館地下1階　トパーズ)					
	ハンズオン会場 Room A 布引		ハンズオンセミナー1「ベッドサイド心エコー「FOCUSを使いこなす」」			
	ハンズオン会場 Room B 北野		ハンズオンセミナー2「ICU rounds」			
	ハンズオン会場 Room C 菊水		ハンズオンセミナー3「脳神経集中治療の基礎を学ぼう」			
	第7会場 (南館地下1階　エメラルド)					
	第8会場 (南館地下1階　ダイヤモンド)					
神戸国際展示場	第9会場 (2号館1階　コンベンションホール南)					
	第10会場 (1号館2階　2A展示室)					
	第11会場 (1号館2階　2B展示室)		第14回日本集中治療医学会主催　リフレッシャーセミナー			
	第12会場 (2号館2階　2A会議室)					
	第13会場 (2号館3階　3A会議室)					
	ポスター会場					
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00


12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00
開会式
①優秀論文賞・奨励賞表彰
②名誉会員　推戴式
理事会
社員総会
ハンズオンセミナー4「ABCD sonography 肺エコー講習会」
ハンズオンセミナー5「非同期グラフィック＆経肺圧モニター」
ハンズオンセミナー6「Be An Intensivistコース」
第14回日本集中治療医学会主催　リフレッシャーセミナー

2月12日（金）

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
神戸ポートピアホテル	第1会場 （南館1階　ポートピアホール）	会長基調講演 演者：西村 匡司 座長：時岡 宏明	岩月賢一記念講演 演者：Koh Y 座長：西村 匡司			
	第2会場 （南館1階　大輪田A）	Pro-Con1 VCV vs. PCV 座長：川前 金幸		教育講演1 VCVとPCVを理解する 演者：大塚 将秀 座長：山下 幸一	一般演題1 気道・呼吸・呼吸管理① 座長：浅賀 健彦	
	第3会場 （南館1階　大輪田B）	教育講演4 ARDS患者における人工呼吸中の呼吸生理 演者：竹内 宗之 座長：鈴川 正之		シンポジウム2 PEEPの決め方 座長：時岡 宏明，竹内 宗之	一般演題3 気道・呼吸・呼吸管理③ 座長：磨田 裕	
	第4会場 （南館1階　大輪田C）	Pro-Con2 電気刺激療法：muscle wastingを予防する 座長：譜井 將満	Pro-Con3 電気刺激療法：循環/代謝への影響 座長：齋藤 伸行	教育講演6 安全に早期離床/運動を行うための集中治療室でのフィジカルアセスメント 演者：髙田 順子 座長：眞渕 敏	一般演題5 早期離床・リハビリテーション① 座長：横山 正尚	
	第5会場 （南館地下1階　サファイア）	招聘講演1 Fluid therapy 演者：De Backerr D 座長：小倉 裕司		招聘講演2 Physiologic basis for functional hemodynamic monitoring 演者：Pinsky M 座長：山科 章	一般演題6 心臓・循環・体液管理① 座長：野村 岳志	
	第6会場 （南館地下1階　トパーズ）	Pro-Con4 成人ICU患者の鎮静にベンゾジアゼピンはもはや不要か？ 座長：今中 翔一		教育講演8 人工呼吸とHeart-lung interaction 演者：今中 秀光 座長：土井 松幸	一般演題 優秀演題③ 座長：丸藤 哲	
	第7会場 （南館地下1階　エメラルド）	Pro-Con5 鎮静中断 VS 中断しない 座長：志馬 伸朗	Pro-Con6 血液培養小児で2セット VS 1セット 座長：志馬 伸朗	教育講演9 Ventilatory Management in Pediatric ARDS: What is different from adults? 演者：Khemani R 座長：岩崎 達雄	一般演題9 小児・新生児① 座長：嶋岡 英輝	
	第8会場 （南館地下1階　ダイヤモンド）	特別講演3 Leadership 演者：Dorman T 座長：氏家 良人		特別講演4 Bedside assessment of hemodynamics 演者：Takala J 座長：森崎 浩	一般演題11 心臓・循環・体液管理② 座長：渡海 裕文	
	ハンズオン会場 Room A 布引	ハンズオンセミナー7「第3回外科的気道確保トレーニングWS」				
	ハンズオン会場 Room B 北野	ハンズオンセミナー8「早期離床に必要な知識と技術を学ぶ」				
	ハンズオン会場 Room C 菊水	ハンズオンセミナー9「NP（診療看護師）向け救急超音波ハンズオンセミナー」				
神戸国際展示場	第9会場 （2号館1階　コンベンションホール南）	基調講演3 集中治療分野におけるComfort Careの本質の探究 演者：江川 幸二 座長：木田 菊恵		教育講演10 集中治療の現場にこそ必要な、優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード 演者：本田 美和子 座長：高岡 勇子	一般演題13 看護技術・ケアの工夫 座長：栗原 早苗	
	第10会場 （1号館2階　2A展示室）	Pro-Con7 敗血症に対する血液浄化療法 sepXiris VS. PMX 座長：岡本 一彦	委員会報告2 臨床工学技士：業務検討委員会 集中治療室の臨床工学技士24時間常駐体制　その後の検証 ～何が変わったのか？これから何をすべきか？～ 座長：原田 俊和，相嶋 一登		一般演題15 多臓器不全・敗血症② 座長：住田 臣造	
	第11会場 （1号館2階　2B展示室）	教育講演14 Temperature management in traumatic head injury 演者：Saxena M 座長：相引 眞幸		教育講演15 ミトコンドリアを標的とした細胞保護ストラテジーの最前線 演者：市瀬 史 座長：落合 亮一	一般演題17 神経① 座長：小林 孝史	
	第12会場 （2号館2階　2A会議室）	教育講演17 観察研究のデータ解析：交絡と傾向スコア 演者：新谷 歩 座長：多治見 公高		教育講演18 How to Use the SMR to Improve Quality of Care 演者：De Keizer N 座長：土手 健太郎	一般演題19 重症度・予後評価 座長：安宅 一晃	
	第13会場 （2号館3階　3A会議室）	ガイドライン1 日本版重症患者の栄養管理ガイドライン 座長：小谷 穣治		ガイドライン2 J-PADガイドライン 座長：行岡 秀和	一般演題21 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床② 座長：伊藤 明子	
	（2号館3階　3B会議室）					
	デジタルポスター （1号館1階／3号館1階）				デジタルポスター発表 DP1～DP10	
	ポスターCP（座長付） （3号館1階）		座長付ポスター発表 CP1～CP14			
	ポスターFP（自由討論） （1号館1階）					
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00

基調講演　招聘講演　特別講演　教育講演　教育セミナー　シンポジウム
パネルディスカッション　Pro-Con　ワークショップ　ガイドライン　委員会報告　その他

12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

一般演題
優秀演題①
座長：西田 修

基調講演1
NICE in the Netherlands-History, Organization and Achievements
演者：De Keizer N
座長：藤谷 茂樹

ワークショップ1
患者重症度評価に何が必要か
座長：藤谷 茂樹

委員会報告1
JIPAD　ICU機能評価委員会
座長：橋本 悟

ランチョンセミナー1
共催：コヴィディエン ジャパン株式会社

一般演題2
気道・呼吸・呼吸管理②
座長：北浦 道夫

教育講演2
吸気圧の設定方法
演者：吉田 健史
座長：中村 利秋

教育講演3
Difficult Weaning
演者：Lim CM
座長：大塚 将秀

シンポジウム1
肺保護戦略up-to-date
座長：竹田 晋浩

ランチョンセミナー2
共催：スリーエム ジャパン株式会社

一般演題4
気道・呼吸・呼吸管理④
座長：梅垣 修

教育講演5
換気モードの基礎と臨床：その問題点を探る
演者：時岡 宏明
座長：岡元 和文

シンポジウム3
新しい換気モードの可能性を探る
座長：林 久美子，星 邦彦

イブニングセミナー1
共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー3
共催：バクスター株式会社

一般演題
優秀演題②
座長：黒田 泰弘

シンポジウム4
早期離床/運動を阻害する因子とどう向き合うか?
座長：横山 俊樹，清水 孝宏

教育講演7
ICUからはじめる早期離床
演者：田中 竜馬
座長：宇都宮 明美

ランチョンセミナー4
共催：川澄化学工業株式会社

一般演題7
血液・凝固線溶①
座長：相引 眞幸

シンポジウム5
敗血症治療にバイオマーカーは有効
座長：藤島 清太郎

特別講演1
Lactate revisited
演者：De Backer D
座長：松嶋 麻子

シンポジウム6
敗血症性DICにおける抗凝固療法の位置付け
座長：山川 一馬，山田 高成

ランチョンセミナー5
共催：ホスピーラ・ジャパン株式会社／丸石製薬株式会社

一般演題8
鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床①
座長：山口 弘子

特別講演2
Prevention of delirium
演者：Ely W
座長：行岡 秀和

ワークショップ2
Post-Intensive Care Syndrome
座長：布宮 伸

ランチョンセミナー6
共催：日本光電工業株式会社

一般演題10
多臓器不全・敗血症①
座長：蒲地 正幸

基調講演2
小児急性脳症の臨床と画像
演者：高梨 潤一
座長：植田 育也

パネルディスカッション1
急性脳症
座長：植田 育也，平井 克樹

ランチョンセミナー7
共催：ヘモネティクス ジャパン合同会社

一般演題12
外傷・熱傷①
座長：中川 隆

特別講演5
MERS in Seoul
演者：Suh GY
座長：川前　金幸

特別講演7
Recommendations for ICU disaster preparedness: lessons learned from natural, accidental and intentional events
演者：Wax R
座長：大友 康裕

招聘講演3
Medical Error
演者：Suyama J
座長：祖父江 和哉

特別講演6
Infection with the Middle East Respiratory coronavirus (MERS-CoV)
演者：Arabi Y
座長：川前　金幸

ランチョンセミナー8
共催：日本メディカルネクスト株式会社

一般演題14
看護教育
座長：仁科 典子

教育講演11
集中治療における看護師の臨床能力とその育成
演者：宇都宮 明美
座長：明神 哲也

シンポジウム7
集中治療における看護師の臨床判断能力の育成
座長：仁科 典子，栗原 早苗

ランチョンセミナー9
共催：アイ・エム・アイ株式会社

一般演題16
腎臓・腎機能・血液浄化①
座長：有村 敏明

教育講演12
周術期における血液浄化療法
演者：升田 好樹
座長：倉島 直樹

教育講演13
血行動態モニタリング：心拍出量・心拍出量変動率・心臓拡張末期容量・肺血管外水分量・肺血管透過性係数
演者：田上 隆
座長：野口 裕幸

イブニングセミナー2
共催：ネスレ日本株式会社

ランチョンセミナー10
共催：マッケ・ジャパン株式会社

一般演題18
多臓器不全・敗血症③
座長：伊藤 辰哉

教育講演16
ICU領域におけるせん妄と敗血症関連脳症
演者：鶴田 良介
座長：織田 成人

パネルディスカッション2
敗血症関連脳症
座長：内野 博之，木下 浩作

イブニングセミナー3
共催：ドレーゲル・メディカル ジャパン株式会社

ランチョンセミナー11
共催：フィリップス・レスピロニクス合同会社

一般演題20
中毒・体温異常①
座長：伊関 憲

教育講演19
Multicentre research in Asian intensive care -a new dawn
演者：Phua J
座長：江木 盛時

ワークショップ3
臨床研究を始めよう
座長：讃井 將満

ランチョンセミナー12
共催：一般社団法人日本血液製剤機構

一般演題22
Rapid Response Team・院内急変①
座長：白石 義人

教育講演20
救急・集中治療に必要な脳神経所見の診かた
演者：永山 正雄
座長：木下 順弘

教育セミナー1
専門医のための神経集中治療
座長：垣花 泰之，加藤 正哉

看護部会委員会

デジタルポスター発表
DP11～DP20

座長付ポスター発表
CP15～CP29

自由討論ポスター
（FP：奇数）

2月13日（土）

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
神戸ポートピアホテル	第1会場（南館1階　ポートピアホール）	Pro-Con8 集中治療専門医はsuper-speciality 座長：福岡　敏雄	シンポジウム8 専門医制度はどうあるべきか 座長：松田 兼一	委員会報告3 各国の専門医制度、教育プログラムと日本集中治療医学会の教育プログラム 座長：西 信一，松田 兼一		
	第2会場（南館1階　大輪田A）	モーニングセミナー1 共催：帝人ファーマ株式会社	シンポジウム10 敗血症の予後と血液浄化 座長：服部 友紀	教育講演22 腎代替療法（CRRT）-Japanese Way- 演者：片山 浩 座長：織田 成人	一般演題 優秀演題④ 座長：池田 寿昭	
	第3会場（南館1階　大輪田B）	教育講演23 酸素療法up-to-date 演者：石井 宜大 座長：山本 信章	Pro-Con9 High-flow nasal cannula 酸素療法　VS. NPPV 座長：橋 一也	教育講演24 High-flow Oxygen Therapy : effect on aeration and ventilation of the lung 演者：Lim CM 座長：橋本 悟	一般演題24 気道・呼吸・呼吸管理⑤ 座長：倉田 二郎	
	第4会場（南館1階　大輪田C）	Pro-Con10 筋弛緩薬を用いた人工呼吸管理は重症ARDSに必要である 座長：橋本 悟	招聘講演4 Patient-Ventilator Asynchrony and Impact on Outcome! 演者：Kacmarek RM 座長：大藤 純	教育講演25 自発呼吸を温存しながら低一回換気量を維持するには 演者：内山 昭則 座長：中根 正樹	一般演題26 気道・呼吸・呼吸管理⑦ 座長：後藤 孝治	
	第5会場（南館地下1階　サファイア）	ケースカンファレンス この患者の循環管理と呼吸管理をどう考える？．循環器医と集中治療医の管理はどう違う？- 座長：小谷 透，佐藤 直樹	シンポジウム（合同企画）1 急性心不全国際会議: Topics of acute heart failure: the patient with AHF on the ICU/CCU 座長：佐藤 直樹，Mebazaa A		一般演題27 心臓・循環・体液管理③ 座長：塩川 泰啓	
	第6会場（南館地下1階　トパーズ）	シンポジウム14 ショック時の初期輸液 座長：垣花 泰之	シンポジウム（合同企画）2 蘇生ガイドラインはこう変わった 座長：黒田 泰弘，笠岡 俊志		一般演題29 心肺蘇生・蘇生後ICU管理① 座長：江口 豊	
	第7会場（南館地下1階　エメラルド）	委員会報告5 小児集中治療委員会 座長：竹内 宗之	教育セミナー2 肺エコー 座長：安宅 一晃	教育セミナー3 胸部X線の読み方 座長：福岡 敏雄	一般演題31 中毒・体温異常② 座長：田勢 長一郎	
	第8会場（南館地下1階　ダイヤモンド）	シンポジウム17 敗血症と広域抗菌薬 座長：中田 孝明	招聘講演9 Hospital-acquired infection 演者：Iskit AT 座長：志馬 伸朗	教育講演29 院内感染症をいかに予防するか ～21世紀の挑戦～ 演者：朝野 和典 座長：安宅 一晃	一般演題33 感染・感染対策① 座長：土手 健太郎	
	ハンズオン会場 Room A 布引					
	ハンズオン会場 Room B 北野					
	ハンズオン会場 Room C 菊水					
神戸国際展示場	第9会場（2号館1階　コンベンションホール南）	パネルディスカッション3 ICUクリニカルラダーを用いた人材育成 座長：伊藤 聡子，橋本 良子		ワークショップ4 集中治療から始める地域連携・在宅支援 座長：道又 元裕	一般演題35 ナースのストレス 座長：高松 道生	
	第10会場（1号館2階　2A展示室）		教育セミナー4 基礎セミナー1 座長：酒井 基広	教育セミナー5 基礎セミナー2 座長：酒井 基広 / 教育セミナー6 基礎セミナー3 座長：酒井 基広	一般演題37 血液・凝固線溶② 座長：矢口 有乃	
	第11会場（1号館2階　2B展示室）	委員会報告7 早期リハビリテーション検討委員会 座長：西田 修，高橋 哲也	シンポジウム20 早期離床を推進する 座長：間瀬 教史	教育講演31 生命維持管理装置稼働下における患者のリハビリテーションを安全に行うために 演者：林 久美子 座長：森沢 知之	一般演題39 早期離床・リハビリテーション② 座長：水谷 太郎	
	第12会場（2号館2階　2A会議室）		Pro-Con12 重症患者には経静脈栄養 or 経腸栄養 座長：小畠 久和	教育講演32 重症患者に必要な蛋白質の量は 演者：田村 貴彦 座長：真弓 俊彦	一般演題41 栄養管理① 座長：北村 晶	
	第13会場（2号館3階　3A会議室）	シンポジウム22 Systematic reviewを行うときの問題点と解決法 座長：江木 盛時，森崎 浩 コメンテーター：森 臨太郎		教育講演34 系統的レビューとコクラン共同計画 演者：森 臨太郎 座長：西村 匡司	一般演題43 消化器① 座長：北浦 道夫	
	デジタルポスター（1号館1階／3号館1階）				デジタルポスター発表 DP21～DP30	
	ポスターCP（座長付）（3号館1階）			座長付ポスター発表 CP30～CP43		
	ポスターFP（自由討論）（1号館1階）					
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00

招聘講演 | 特別講演 | 教育講演 | 教育セミナー | シンポジウム | パネルディスカッション
Pro-Con | ワークショップ | ガイドライン | 委員会報告 | ケースカンファレンス | その他

12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00

- 教育講演21 The Surviving Sepsis Campaign : an Update in 2016 演者：Rhodes A 座長：松嶋 麻子
- シンポジウム9 EGDTは有効か(敗血症のEearly Goal-Directed Therapy) 座長：垣花 泰之，久志本 成樹
- 委員会報告4 敗血症ガイドライン作成 委員会報告 座長：松嶋 麻子
- ガイドライン3 敗血症ガイドライン 座長：西田 修，小倉 裕司
- ランチョンセミナー13 共催：フクダ電子株式会社
- 一般演題23 多臓器不全・敗血症④ 座長：橋本 圭司
- シンポジウム11 臓器連関を理解しよう 座長：山科 章，谷口 巧
- イブニングセミナー4 共催：旭化成ファーマ株式会社／ファイザー株式会社
- ランチョンセミナー14 共催：株式会社日立ハイテクノロジーズ
- 一般演題25 気道・呼吸・呼吸管理⑥ 座長：市場 晋吾
- シンポジウム12 HFNC：小児 座長：川崎 達也，三住 拓誉
- シンポジウム13 HFNC：成人 座長：川崎 達也，三住 拓誉
- ランチョンセミナー15 共催：ミナト医科学株式会社
- 一般演題 優秀演題⑤ 座長：織田 成人
- 招聘講演5 What we should concern in ARDS treatment 演者：Koh Y 座長：橋本 悟
- 教育講演26 最適PEEP 演者：中根 正樹 座長：星 邦彦
- 教育講演27 酸素化の目標値はいくらにすべきか 演者：鈴木 聡 座長：鈴川 正之
- ガイドライン4 ARDS 座長：讃井 將満
- ランチョンセミナー16 共催：旭化成ファーマ株式会社／ファイザー株式会社
- 一般演題28 心臓・循環・体液管理④ 座長：櫻田 春水
- 招聘講演6 Functional hemodynamic monitoring: Use of derived variables to diagnose and manage the critically ill 演者：Pinsky M 座長：讃井 將満
- 招聘講演7 演者：Masip J，Mebazaa A 座長：竹田 晋浩
- 教育講演28 循環不全患者のせん妄予防 演者：布宮 伸 座長：中川 晋
- ランチョンセミナー17 共催：アイ・エム・アイ株式会社
- 一般演題30 心肺蘇生・蘇生後ICU管理② 座長：倉田 二郎
- Pro-Con11 脳保護のための低体温療法 座長：黒田 泰弘
- シンポジウム15 心肺蘇生・体温管理 座長：守谷 俊，有元 秀樹
- ランチョンセミナー18 共催：株式会社ジェイ・エム・エス
- 一般演題32 小児・新生児② 座長：広木 公一
- 招聘講演8 Definition and risk stratification of pediatric ARDS : motivation and summary of the pediatric acute lung injury consensus conference definitions 演者：Khemani R 座長：中川 聡
- シンポジウム16 小児のARDSの特徴 座長：中川 聡，内山 昭則
- ランチョンセミナー19 共催：パラマウントベッド株式会社／株式会社SISM
- 一般演題34 感染・感染対策② 座長：七戸 康夫
- シンポジウム18 ICUにおける院内感染対策 座長：藤谷 茂樹，志馬 伸朗
- 招聘講演10 Management of patients with a novel virus (Emerging Diseases) 演者：Weinstein G 座長：児玉 貴光
- 委員会報告6 人工呼吸器関連事象検討委員会 座長：多治見 公高
- ランチョンセミナー20 共催：小野薬品工業株式会社
- 一般演題36 産婦人科 座長：足立 健彦
- シンポジウム19 特定行為に係る看護師の研修制度の実際と課題 座長：鈴木 智恵子，伊藤 明子
- 教育講演30 急性期における緩和ケア 演者：高田 弥寿子 座長：茂呂 悦子
- ランチョンセミナー21 共催：株式会社メディコン
- 一般演題38 神経② 座長：瀬尾 勝弘
- 教育セミナー7 専門医のための神経集中治療 advanced requirement （第一部）座長：奥寺 敬 （第二部）座長：武田 吉正，山下 進
- ランチョンセミナー22 共催：テルモ株式会社
- 一般演題40 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床③ 座長：高岡 勇子
- 招聘講演11 Post-ICU disease: the French and euRopean Outcome reGistry in Intensive Care Unit (FROG-ICU) study 演者：Mebazaa A 座長：武居 哲洋
- シンポジウム21 Post Intensive Care Syndrome 座長：長谷川 隆一
- イブニングセミナー5 共催：アルジョハントレー（ゲッティングループジャパン）／株式会社ケアフォース
- ランチョンセミナー23 共催：パシフィックメディコ株式会社
- 一般演題42 栄養管理② 座長：国元 文生
- Pro-Con13 重症患者へのカロリー投与は Full vs. Under 座長：松田 兼一
- 招聘講演12 Nutritional support in critically ill patients 演者：Arabi Y 座長：東別府 直紀
- 教育講演33 栄養管理の基本中の基本 演者：井上 善文 座長：祖父江 和哉
- ランチョンセミナー24 共催：エドワーズライフサイエンス株式会社
- 一般演題44 消化器② 座長：升田 好樹
- 特別講演8 医学研究と倫理 演者：仲野 徹 座長：氏家 良人
- 委員会報告8 日本からevidenceを発信しよう 座長：笠岡 俊志 コメンテーター：新谷 歩
- デジタルポスター発表 DP31～DP40
- 座長付ポスター発表 CP44～CP57
- 自由討論ポスター（FP：偶数）

2月14日（日）

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
神戸ポートピアホテル	第1会場（南館1階　ポートピアホール）		**特別講演9** 死をいかに迎えるか 演者：久坂部 羊 座長：西村 匡司			
	第2会場（南館1階　大輪田A）		**招聘講演13** End-of-life care in Asian ICUs 演者：Koh Y 座長：江木 盛時	**招聘講演14** End-of-life care in ICU in US 演者：Shigemitsu H 座長：橋本 悟	**一般演題45** 倫理・終末期・看護ケア 座長：明神 哲也	
	第3会場（南館1階　大輪田B）		**特別講演10** 医療改革：必要なICUベッド数は？ 演者：松田 晋哉 座長：多治見 公高	**委員会報告9** 社会保険対策委員会 座長：森崎 浩 **委員会報告10** 学術集会あり方委員会 演者：西田 修	**一般演題46** 教育・専門医・医療経済 座長：西 信一	
	第4会場（南館1階　大輪田C）		**特別講演11** インフルエンザ感染の重症化機序と、その予防と治療の最新知見 演者：木戸 博 座長：藤谷 茂樹	**特別講演12** A Viral Threat to Us; focused on respiratory failure 演者：Koh Y 座長：鈴川 正之	**一般演題47** 感染・感染対策③ 座長：林 淑朗	
	第5会場（南館地下1階　サファイア）	**シンポジウム23** Post Cardiac Arrest Syndrome 座長：久保山 一敏，金子 唯		**特別講演13** Up-to-date of Neurocritical Care 演者：Geocadin RG 座長：永山 正雄	**一般演題48** 内分泌・代謝・免疫 座長：杉田 学	
	第6会場（南館地下1階　トパーズ）		**シンポジウム24** 肺血栓塞栓症治療　最前線 座長：中尾 浩一	**委員会報告11** ECMOプロジェクト委員会 座長：落合 亮一	**一般演題49** 心臓・循環・体液管理⑤ 座長：鷹取 誠	
	第7会場（南館地下1階　エメラルド）		**シンポジウム25** 先天性心疾患の全身管理 座長：戸田 雄一郎，橘 一也		**一般演題50** 心臓・循環・体液管理⑥ 座長：鈴木 武志	
	第8会場（南館地下1階　ダイヤモンド）	**特別講演14** A novel viral infection 演者：Weinstein G，Nagel N 座長：児玉 貴光		**招聘講演15** Disaster Management 演者：Suyama J 座長：谷川 攻一	**一般演題51** 外傷・熱傷② 座長：久志本 成樹	
	ハンズオン会場 Room A 布引	**ハンズオンセミナー10**「高機能シミュレーターを用いたSepsis Management Simulation」				
	ハンズオン会場 Room B 北野	**ハンズオンセミナー11**「シミュレーション教育―学習者が意欲的に学ぶデブリーフィングへ指導者のスキルを磨くワークショップ」				
	ハンズオン会場 Room C 菊水	**ハンズオンセミナー12**「J-PADガイドライン：ツールを使ってみよう」				
神戸国際展示場	第9会場（2号館1階　コンベンションホール南）		**特別講演15** 若手医師ための人工呼吸器ワークショップの取り組み 演者：田中 竜馬 座長：小松 由佳 **委員会報告12** 集中治療看護人員配置検討WGの調査報告 －ICU看護の質を考える－ 座長：下村 陽子，鈴木 智恵子	**ワークショップ5** 編集委員会企画 看護研究 演者：高島 尚美	**一般演題52** その他 座長：北浦 道夫	
	第10会場（1号館2階　2A展示室）	**委員会報告13** 倫理委員会報告 -DNARの歴史を展望し現在の問題点を探る- 座長：氏家 良人，丸藤 哲		**委員会報告14** 機関誌編集委員会 座長：丸藤 哲	**一般演題53** 気道・呼吸・呼吸管理⑧ 座長：齊藤 洋司	
	第11会場（1号館2階　2B展示室）	**ワークショップ6** はじめてのメタ解析，システマティックレビュー 座長：武居 哲洋，譜井 將満		**委員会報告15** Rapid Response System検討委員会 座長：安宅 一晃，織田 成人	**一般演題54** Rapid Response Team・院内急変② 座長：大谷 典生	
	第12会場（2号館2階　2A会議室）		**シンポジウム26** Frailの問題点と取り組み 座長：西 信一	**教育講演35** ICUにおいて見逃してはいけないサイン 演者：東條 圭一 座長：赤松 伸朗	**一般演題55** 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床④ 座長：茂呂 悦子	
	第13会場（2号館3階　3A会議室）		**委員会報告16** Global sepsis alliance委員会 座長：織田 成人	**委員会報告17** 臨床工学部門活動報告 座長：木村 政義	**一般演題56** 腎臓・腎機能・血液浄化② 座長：片山 浩	
	（2号館3階　3B会議室）					
	デジタルポスター（1号館1階／3号館1階）				デジタルポスター発表 DP41～DP50	
	ポスターCP（座長付）（3号館1階）			座長付ポスター発表 CP58～CP70		
	ポスターFP（自由討論）（1号館1階）					
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00

招聘講演　特別講演　教育講演　シンポジウム　ワークショップ　委員会報告　その他

12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

Closing Ceremony

ランチョンセミナー25
共催：ニプロ株式会社

ランチョンセミナー26
共催：旭化成メディカル株式会社

ランチョンセミナー27
共催：日本製薬株式会社

ランチョンセミナー28
共催：平和物産株式会社

ランチョンセミナー29
共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー30
共催：アボット ジャパン株式会社

ランチョンセミナー31
共催：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社

第225回ICD講習会

ランチョンセミナー32
共催：東レ株式会社／東レ・メディカル株式会社

ランチョンセミナー33
共催：テルモ株式会社

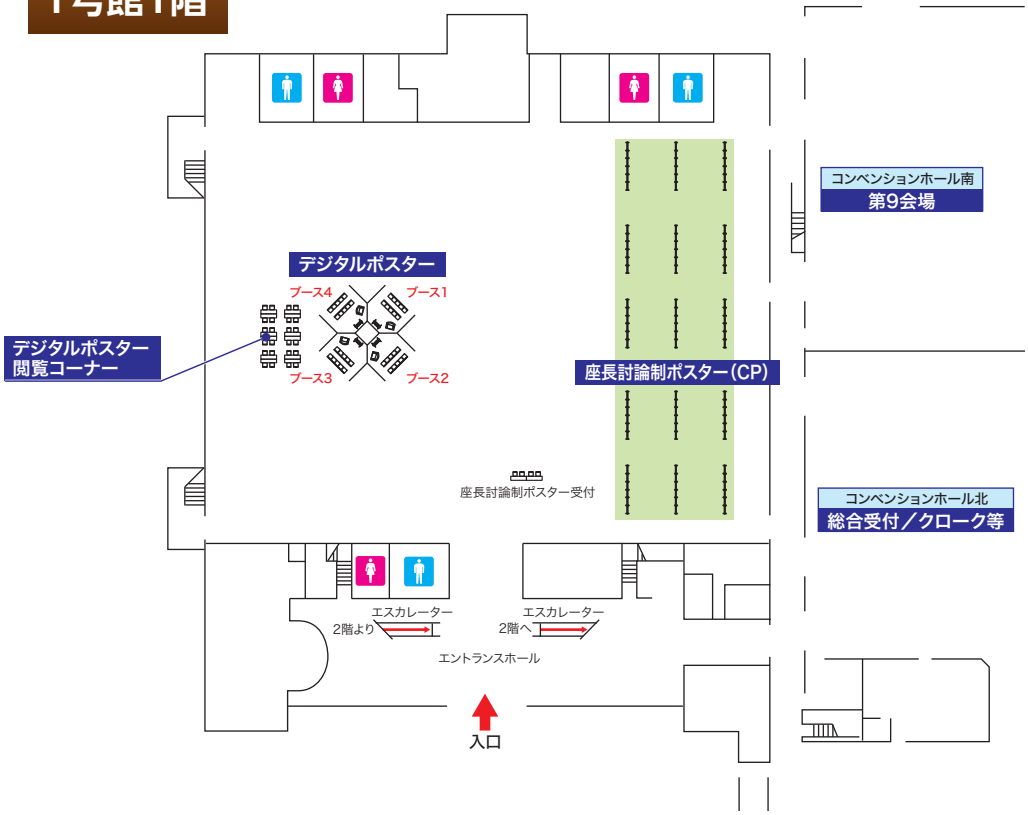
第26回日本経皮的心肺補助（ＰＣＰＳ）研究会

小児集中治療委員会

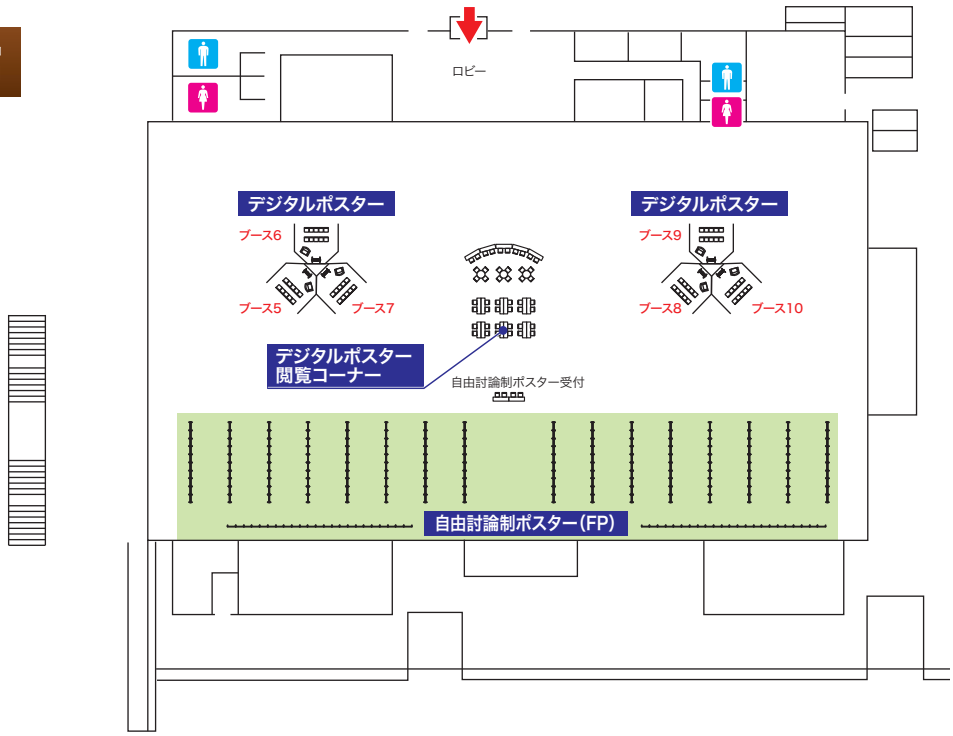
12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

ポスター会場案内図（神戸国際展示場）

1号館1階



3号館



●デジタルポスター（DP）　発表日時と会場のご案内

当日発表用のデータ受付：神戸国際展示場 2 号館 1 階

演題番号	講演日	講演時間	講演会場
DP1～DP4	2月12日(金)	11時00分～12時00分	神戸国際展示場 1号館1階
DP5～DP10			神戸国際展示場 3号館
DP11～DP14		12時30分～14時30分	神戸国際展示場 1号館1階
DP15～DP20			神戸国際展示場 3号館
DP21～DP24	2月13日(土)	11時00分～12時00分	神戸国際展示場 1号館1階
DP25～DP30			神戸国際展示場 3号館
DP31～DP34		12時30分～14時30分	神戸国際展示場 1号館1階
DP35～DP40			神戸国際展示場 3号館
DP41～DP44	2月14日(日)	11時00分～12時00分	神戸国際展示場 1号館1階
DP45～DP50			神戸国際展示場 3号館

●座長討論制ポスター（CP）　発表日時と会場のご案内

座長受付：神戸国際展示場 1 号館 1 階

演題番号	講演日	講演時間	講演会場
CP1～CP14	2月12日(金)	9時30分～10時30分	神戸国際展示場 1号館1階
CP15～CP29		15時00分～16時00分	
CP30～CP43	2月13日(土)	9時30分～10時30分	
CP44～CP57		15時00分～16時00分	
CP58～CP70	2月14日(日)	9時30分～10時30分	

●自由討論制ポスター（FP）　発表日時と会場のご案内

演題番号	講演日	講演時間	講演会場
FP001～FP367(奇数)	2月12日(金)	15時00分～16時00分	神戸国際展示場 3号館
FP002～FP366(偶数)	2月13日(土)	15時00分～16時00分	

－学術集会参加者へのご案内－

1. 参加資格

本学術集会に参加される方は全員，参加登録を行ってください。
一般演題の応募者は，発表者，共同発表者にかかわらず，日本集中治療医学会の会員に限ります。
未入会の方は必ず入会手続きをお願いいたします。

2. 参加登録

参加費は受付にてお支払いください。
参加登録は会員と非会員で異なります。本誌挟み込みの「会員受付票」を受付（会員受付）にご提出ください。
お忘れの場合，会員照会にお時間をいただくことがございます。

【参加受付日程】

	受付場所	2月11日(木･祝)	2月12日(金)	2月13日(土)	2月14日(日)
受付①	神戸国際展示場 2号館1階 コンベンションホール北	－	7時30分～ 17時30分	7時30分～ 17時30分	7時30分～ 12時00分
受付②	神戸ポートピアホテル 本館地下1階「偕楽」前	14時00分～ 16時00分	－	－	－
受付③	神戸ポートピアホテル ポートピアホール 2階 ロビー	17時00分～ 19時00分	－	－	－

【参加費】

区分	対象	会員	非会員
1	医師	18,000円	20,000円
2	医師以外の医療従事者・医療研究者	15,000円	18,000円
3	初期研修医※1	－	8,000円
4	学部学生・看護学生	無料（受付で学生証を提示してください）	

※1研修医の方は参加申請書（指導医のサイン必須）の提出が必要です。
参加申請書は，学術集会ホームページ上よりダウンロードの上，必要事項をご記入いただき，
学会当日に総合受付にご提出ください。

3. 学術集会出席証明書の提出について

参加証に付いている学術集会出席証明書（提出用）に必要事項をご記入の上，
提出票部分を参加受付付近に設置されている回収箱にご提出ください。

4. 年会費・新入会

日本集中治療医学会の年会費または新入会の手続きは，神戸国際展示場 2 号館 1 階 「展示室」内の
日本集中治療医学会事務局で受け付けます（参加受付時間内）。
【2016 年度会費】
正会員 12,000 円，准会員 9,000 円

5. プログラム集，ポケットプログラム

本学術集会当日にプログラム一覧が掲載されたポケットプログラムをご用意しております。
部数に限りがありますので，予めご了承ください。
プログラム集（日本集中治療医学会雑誌）は事前に会員に送付いたします。
会場でのプログラム集販売は 3,000 円（税別）／冊にて行いますが，部数に限りがありますので，
予めご了承ください。

6. ウェブ抄録・抄録アプリ

ウェブ抄録と抄録アプリを公開しますので，是非ご利用ください。
ウェブ抄録：学術集会ホームページよりリンクいたします。
下記のユーザー名およびパスワードの入力後，閲覧可能となります。
ユーザー名：
パスワード：
抄録アプリ：iOS 版，Android 版ともにアプリマーケットにて「　　」または
「　　」を検索し，インストールしてください。
抄録アプリ内抄録を初めて閲覧する際はパスワード「　　」を入力してください。
詳細は学術集会ホームページ（http://jsicm2016.umin.jp/）をご覧ください。

7. ランチョンセミナー

ランチョンセミナー整理券配布所（総合受付近く）にて，セミナー参加者用の整理券を配布します。

	2月12日(金)	2月13日(土)	2月14日(日)
参加整理券配布	7時30分～11時00分	7時30分～11時00分	7時30分～11時00分

※ランチョンセミナーは整理券をお持ちの方より優先的にご入場いただけます。
なお，整理券は当日分のみ配布いたします。
また，各セミナーの整理券は該当教育セミナーが開催される施設においてのみ配布となります。
先着順で配布となりますので終了の際はご了承ください。
※モーニングセミナー・イブニングセミナーは整理券制ではございませんので直接会場へお越しください。

8. 会員懇親会

会員懇親会を 2 月 13 日（土）18 時 30 分から神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「偕楽」にて行います。
参加費は 3,000 円となりますので，懇親会受付にてお支払いください。定員になり次第，締め切ります。

9. ハンズオンセミナーについて

参加登録方法等，詳しくは学術集会ホームページおよび p.32～39 をご確認ください。

10. 医療機器展示

学術集会期間中，神戸国際展示場 1 号館 1 階 展示室，神戸国際展示場 3 号館 1 階 展示ホールで
下記の時間帯に行います。

	2月12日(金)	2月13日(土)	2月14日(日)
医療機器展示	8時00分～18時00分	8時00分～18時00分	8時00分～12時00分

11. 医師会員へのお願い

e 医学会カード（UMIN カード）による単位登録手続き（集中治療専門医制度施行細則に定める出席単位）

本学術集会では正会員を対象に e 医学会カード（UMIN カード）による参加実績，単位登録を行いますので，正会員は e 医学会カードをご持参ください。

カードによる参加登録手続きは，参加受付（参加登録とは別窓口）で行いますので，

正会員は学術集会参加受付を済まされた後，必ずカードによる参加登録をお願いします。

なお，参加証が正式な学術集会出席証明書となります。

(1) カードをお持ちの正会員

専用コーナーで e 医学会カードをご提示ください。係りの者がカード裏面のバーコードをリーダーで読み取り，出席実績，単位登録を行います。

(2) カードをお持ちでない正会員（カード忘れも含む）

専用コーナー横の該当会員用受付で必ず登録の手続きを行ってください。

手続きにあたり御本人確認をさせていただきますのでご了承ください。

なお，(1) または (2) で単位登録手続きを行った正会員は，学術集会終了 2〜3 週間後に学会会員専用ページ（e 医学会マイページ）で出席実績及び取得単位の確認ができます。

当日，「学術集会出席証明書」はこれまで通り発行し，新規の日本集中治療医学会専門医認定申請書類，及び専門医資格更新時の出席証明書類としてご利用いただけますが，カードによる登録手続きをいただければ，e 医学会マイページ画面上に表示される参加実績，及び出席単位表示画面の写しを，証明書類としてご利用いただけます。積極的なご利用をお願いいたします。

［お願い］

カード読み取りをスムーズに行うため，ネームホルダーの裏面にバーコードが見える形で e 医学会カードをお入れくださいますようご協力をお願いいたします。

－e 医学会カード及び個人情報の取扱いに関するお問合せは，下記窓口までお願いいたします。

e 医学会事務局 問合せ窓口（京葉コンピューターサービス内）

フリーダイヤル：0120-21-6262（平日 10 時 00 分〜18 時 00 分）/email: unyou@e-igakukai.jp

12. お願い

1）学術集会会場内はすべて禁煙です。

2）講演，ポスター会場内での携帯電話，PHS などのご使用は，他の参加者の迷惑となります。
会場内での使用は禁止させていただきます。
会場内では電源を OFF にするか，マナーモードをご使用いただきますようお願いします。

3）呼び出しは原則として行いません。

4）学術集会会場内での録音・撮影・録画は禁止です。

5）各施設内にクロークがございます。利用時間をご確認ください。

－発表者・座長（コメンテーター）へのお知らせ－

発表での諸注意事項

発表演題に関する利益相反（conflict of interest：COI）の開示について

一般社団法人日本集中治療医学会では,「集中治療領域の研究における利益相反（COI）マネージメントに関する指針」ならびに「同施行細則」を策定し，2011 年 4 月 1 日より施行しています。
そのため，発表者は利益相反状態の自己申告を行ってください。
この利益相反状態は，学術集会発表時にスライドあるいはポスターの最初に開示することとなります。
利益相反（conflict of interest：COI）開示の PPT サンプルは学会ホームページからダウンロードできます。
http://square.umin.ac.jp/jsicm2016/publisher/index.html
詳細は集中治療領域の研究における利益相反（COI）マネージメントに関する指針
「http://www.jsicm.org/pdf/COI..pdf」をご確認ください。

発表演題に関する個人情報の取扱について

患者個人情報に抵触する可能性のある内容は, 患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で，患者個人情報が特定されないように十分留意して発表してください。
個人情報が特定される発表は禁止します。

1．座長の皆様へ

A）口演座長（デジタルポスター座長含む）は，担当セッション開始時刻の 15 分前までに次座長席にご着席ください。

B）座長討論制ポスター（CP）セッション座長の方は，座長リボンをお渡しいたしますので，セッション開始 15 分前までに「ポスター受付（各ポスター会場前）」にお立ち寄りください。座長用リボンをお受け取りの上，担当セッションの最初のポスターの前でお待ちください。

C）各セッションの進行は座長に一任します。時間内に十分な討論ができるようご配慮ください。場内アナウンスはございませんので，所定の時刻になりましたら適宜開始してください。

2. 口演での発表者の方へ

A）特別プログラム（一般演題以外）

● 発表・討論時間は，事前にお伝えしている通りになります。

B）一般演題（優秀演題・口演・デジタルポスター）

● 一般演題（優秀演題）は，発表時間 10 分，質疑応答 5 分となっております。
発表用のスライド枚数に制限はありません。

● 一般演題（口演）は，発表時間 6 分，質疑応答 4 分となっております。
発表用のスライド枚数に制限はありません。

● 一般演題（デジタルポスター）：発表 6 分　討論時間 4 分
発表用のスライド枚数は 5 枚までとなります。（表紙および COI は除きます）

● 時間を厳守でお願いいたします。

C）発表時間の警告：発表時間終了 1 分前に黄ランプ，発表時間終了時に赤ランプでお知らせいたします。時間厳守でお願いいたします。

D）PC による発表について

● 受付可能なデータ形式について
Windows で作成したデータファイルは，PC 本体あるいはメディア（CD-R，USB メモリー）での持ち込みが可能です。
Macintosh で作成したデータファイルは，PC 本体をお持ち込みください。
メディア（CD-R，USB メモリー）での持ち込みはできませんので，ご注意ください。

	メディア持ち込み（CD-R，USB メモリー）	PC 本体の持ち込み
Windows	○	○
Macintosh	×	○

● 発表データの受付と確認
発表の 1 時間前までに PC センター/デジタルポスター受付にて出力確認をしてください。
PC 本体持ち込みの方は，確認が終了したら発表会場の PC オペレーター席（会場正面向かって左側）まで発表セッションの 15 分前までにご自身でお持ちください。

＜口演発表データ受付場所＞
PC センター/デジタルポスター受付：神戸国際展示場 2 号館 1 階

		2月12日(金)	2月13日(土)	2月14日(日)
受付時間	神戸国際展示場2号館1階	7時30分～17時30分	7時30分～17時30分	7時30分～12時00分

◆ 各日，朝 1 番目に発表の方は，発表の 30 分前までに受付をお済ませください。
また，13 日以降にご発表の方は前日に受付することも可能です。
スムーズな運営のため，発表前日のデータ受付にご協力ください。

◆ 学術集会当日に会場に設置される機材のスペックは【プロジェクター解像度】1024×768 ドットです。

◆ 発表は，各会場の演台に設置した液晶モニターをご覧いただきながら，マウスを演者の先生ご自身で操作して進めてください。PC 本体を持ち込みいただいた場合でも，PC 本体は演台には乗りません。（発表者ツールのご使用はできません）

● PC 本体を持ち込みの方へ

◆ D-sub15 ピンと呼ばれるモニター出力が必要です。Macintosh など変換コネクタが必要な場合はご自身で持参してください。

D-sub15 ピン（ミニ）

付属外部出力ケーブル例

◆ スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

◆ 液晶プロジェクターの解像度は，XGA（1024×768）です。
解像度の切り替えが必要なコンピューターは，本体の解像度を予め設定しておいてください。

◆ AC アダプターは，各自でご持参ください。

◆ 万が一に備え，バックアップ用として，各種メディア（USB メモリー）にデータを保存し，ご持参ください。

◆ 講演終了後，PC オペレーター席にて PC 本体とバックアップデータをご返却しますので，速やかにお引取りください。

● メディア持ち込みの方へ

◆ 受付可能なメディアは，USB メモリーもしくは CD-R のみです。
MO・フロッピーディスク・CD-RW などは，ご利用いただけません。

◆ 本総会では，以下の OS，アプリケーション，動画ファイルに対応しております。
OS：Windows 7 以降・アプリケーション：Powerpoint 2007 以降
動画ファイル Windows Media Player で再生可能なデータ

◆ Macintosh をお使いの方は，ご自身の PC 本体をご持参ください。
なお，Keynote は使用できません。

◆ メディアには，当日講演に使用されるデータ以外は，保存しないようにしてください。

◆ プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は，必ず元データも保存し，データを作成された PC とは別の PC で，事前に動作確認をお願いします。

◆ データ容量は 500MB までとさせていただきます。

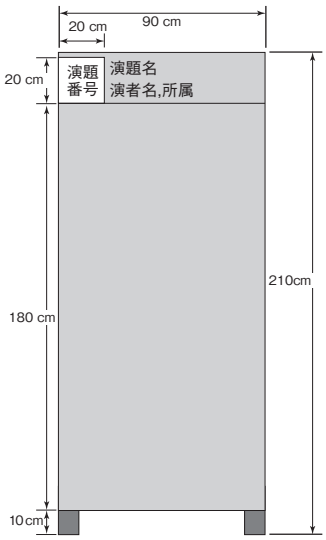
◆ ファイル名には，演題番号・講演者名を以下の例の様に入力してください。
（例）◇◇-◇◇◇　徳島　太郎.pptx

◆ システムへのウイルス感染防止のため，予めメディアのウイルスチェックを行ってください。

◆ PC センターでは，ウイルスセキュリティを最新に更新し，万全を期しておりますが，ウイルスに定義されていない未知のウイルスに感染する場合がございます。

◆ データは PC センターにて受け取り，サーバーに保存しますが，学術集会終了後，事務局にて責任を持って消去します。

3. 座長討論制ポスター（CP）での発表者の方へ



A）座長の進行による討論形式発表で発表時間 6 分，質疑応答 4 分です。
発表時間を厳守してください。

B）午前午後の貼り替え制となっております。
発表者は，所定の場所にポスターを掲示してください。
各ポスターパネル前に画鋲を用意します。

C）ポスター掲示は各発表日のポスター掲示時間内に行ってください。

D）発表スペースの大きさは縦 180 cm，横 90 cm です。2 m 離れても判読できるよう見やすくし，文字や図表も十分読み取れる大きさにしてください （スライド印刷の場合，B4 以上の大きさを原則）。

E）演題番号（20 cm × 20 cm）は学術集会側で準備します。
こちらのスペースには貼らないでください。

F）演題名，所属，演者名はご自身でご用意ください。

G）発表者はセッション開始 10 分前までに発表会場にお集まりください。

H）ポスターの撤去は各発表日のポスター撤去時間内に必ず行ってください。
引き取りのないポスターにつきましては事務局にて処分いたしますので，予めご了承ください。

＜貼付／発表時間＞

● 一般演題（ポスター CP）

5 セッションの時間帯に分かれ，一日毎に張替えを行います。
発表時間（1 演題）：発表時間 6 分　討論時間 4 分
発表者はセッション開始 10 分前までに各発表会場にお集まりください。

2 月 12 日（金）

セッション	演題番号	貼付時間	発表時間（座長付）	撤去
一般演題（ポスターCP）1 ～ 一般演題（ポスターCP）14	CP1-＊ ～ CP14-＊	2月12日（金） 8時00分～9時00分	2月12日（金） 9時30分～10時30分	2月12日（金） 16時00分～17時00分
一般演題（ポスターCP）15 ～ 一般演題（ポスターCP）29	CP15-＊ ～ CP29-＊	2月12日（金） 8時00分～13時00分	2月12日（金） 15時00分～16時30分	

2 月 13 日（土）

セッション	演題番号	貼付時間	発表時間（座長付）	撤去
一般演題（ポスターCP）30 ～ 一般演題（ポスターCP）43	CP30-＊ ～ CP43-＊	2月13日（土） 8時00分～9時00分	2月13日（土） 9時30分～10時30分	2月13日（土） 16時00分～17時00分
一般演題（ポスターCP）44 ～ 一般演題（ポスターCP）57	CP44-＊ ～ CP57-＊	2月13日（土） 8時00分～13時00分	2月13日（土） 15時00分～16時30分	

2 月 14 日（日）

セッション	演題番号	貼付時間	発表時間（座長付）	撤去
一般演題（ポスターCP）58 ～ 一般演題（ポスターCP）70	CP58-＊ ～ CP70-＊	2月14日（日） 8時00分～9時00分	2月14日（日） 9時30分～10時30分	2月14日（日） 10時30分～12時00分

4. 自由討論制によるポスター（FP）での発表者の方へ

A）座長による進行は設けない自由討論形式となります。
発表者は所定の時間，ご自身のパネルの前で待機してください。

B）発表者は所定の場所にポスターを掲示してください。
各ポスターパネル前に画鋲を用意します。

C）ポスター掲示はポスター掲示時間内に行ってください。

D）発表スペースの大きさは縦 180 cm，横 90 cm です。
2 m 離れても判読できるよう見やすくし，文字や図表も十分読み取れる大きさにしてください（スライド印刷の場合，B4 以上の大きさを原則）。

E）演題番号（20 cm × 20 cm）は学術集会側で準備します。こちらのスペースには貼らないでください。

F）演題名，所属，演者名はご自身でご用意ください。

G）発表者はセッション開始 10 分前までに発表会場にお集まりください。

H）ポスターの撤去は各発表日のポスター撤去時間内に必ず行ってください。
引き取りのないポスターにつきましては事務局にて処分いたしますので，予めご了承ください。

● 一般演題（ポスター FP）

演題番号末尾の奇数，偶数番号に分かれ，1 時間のコアタイム（フリーディスカッション）を設けます。
ポスターは会期中の貼り出しとなります。

演題番号	貼付時間	発表時間	撤去
FP-001～FP-367 （末尾奇数）	2月12日（金） 8時00分～13時00分	2月12日（金） 15時00分～16時00分	2月14日（日） 8時00分～12時00分
FP-002～FP-366 （末尾偶数）		2月13日（土） 15時00分～16時00分	

－第 43 回日本集中治療医学会学術集会プログラム委員－

委　員　長　西村　匡司（徳島大学病院救急集中治療部）

委　　員　江木　盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）
小野寺睦雄（徳島大学病院救急集中治療部）
木下　浩作（日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター）
坂本　哲也（帝京大学医学部救急医学講座）
佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器内科・集中治療室）
高岡　勇子（北海道大学病院集中治療部）
高橋　哲也（東京工科大学医療保健学部理学療法学科長・教授）
竹内　宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）
中野あけみ（徳島大学病院看護部）
西田　　修（藤田保健衛生大学麻酔・侵襲制御医学）
布宮　　伸（自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）
藤谷　茂樹（東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療部）
松嶋　麻子（公立大学法人名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学）
山本　信章（順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学室）

－一般演題査読者－

相引眞幸
浅賀健彦
安宅一晃
足立健彦
天谷文昌
有村敏明
池田寿昭
石倉宏恭
石松伸一
伊関憲
市場晋吾
伊藤明子
伊藤辰哉
稲垣喜三
稲葉英夫
井上聡己
井上義博
伊波寛
今中秀光
植田育也
氏家良人
磨田裕
内野滋彦
宇都宮明美
卯津羅雅彦
梅垣修
江口豊
遠藤裕
大嶋清宏
大谷典生
大塚将秀
大槻穣治
大西芳明
岡田保誠
岡元和文
小倉真治
尾崎孝平
織田成人
落合亮一
小野寺睦雄
貝沼関志
垣花泰之
鍜冶有登
片山浩
加藤啓一

金井尚之
加納隆
株丹浩二
蒲地正幸
川口昌彦
川前金幸
丸藤哲
北浦道夫
北村晶
北村伸哉
木下浩作
木下順弘
木村政義
清田和也
切田学
久木田一朗
久志本成樹
国元文生
久野将宗
公文啓二
倉田二郎
栗原早苗
黒田泰弘
小北直宏
小坂誠
小竹良文
小谷穣治
小谷透
小寺利美
後藤孝治
小林敦子
小林孝史
小林誠人
小山薫
齋藤繁
齋藤憲輝
齊藤洋司
坂口嘉郎
坂本篤裕
坂本哲也
坂本照夫
櫻田春水
佐多竹良
貞広智仁
定光大海

佐藤智行
佐藤直樹
佐藤善一
讃井將満
澤野宏隆
澤村淳
塩川泰啓
志賀英敏
七戸康夫
柴田純平
嶋岡英輝
清水敬樹
清水直樹
志馬伸朗
白石義人
吹田奈津子
杉田学
鈴川正之
鈴木武志
鈴木康之
住田臣造
瀬尾勝弘
瀬川一
芹田良平
祖父江和哉
高岡勇子
鷹取誠
高橋毅
高松道生
高山守正
武居哲洋
竹内昭憲
竹内護
竹内宗之
武田純三
竹田晋浩
武山直志
多治見公高
田勢長一郎
田中博之
田中行夫
谷口巧
玉井直
坪井英之
鶴田良介

寺尾嘉彰
土井松幸
堂籠博
渡海裕文
時岡宏明
時田祐吉
土手健太郎
中尾浩一
中尾慎一
中川聡
中川晋
中川隆
中田孝明
中根正樹
中野実
成松英智
新沼廣幸
西憲一郎
西信一
西澤英雄
西田修
西田博
西村祐枝
西山友貴
布宮伸
野々木宏
野村岳志
橋場英二
橋本圭司
橋本悟
橋本良子
林淑朗
平井勝治
広木公一
福井道彦
福岡敏雄
福家伸夫
藤田智
藤田義人
藤谷茂樹
藤野裕士
古谷良輔
星邦彦
星拓男
星野正己

本多満
槇田徹次
升田好樹
増野智彦
松田兼一
松田直之
松本睦子
真弓俊彦
丸山一男
水谷太郎
三住拓誉
三高千恵子
美馬裕之
宮内雅人
宮内善豊
三宅康史
宮崎大
明神哲也
村川雅洋
盛直久
森崎浩
森松博史
森村尚登
森本直樹
森本裕二
守谷俊
森山潔
森脇龍太郎
茂呂悦子
矢口有乃
柳田国夫
山口修
山口典子
山口弘子
山崎和夫
山下千鶴
山科章
山本剛
行岡秀和
横山正尚
林下浩士

－ハンズオンセミナーのご案内－

1. ベッドサイド心エコー「FOCUS を使いこなす」

心エコーと言えば循環器領域に特化した専門性イメージが強かったが，最近はクリティカルケア領域における評価法が確立され，ベッドサイドで治療目的型あるいは目標指向型に行う心エコーが汎用されてきている。基本レベルのクリティカルケア心エコー（basic critical care echocardiography: CCE）はすべての救急医・集中治療医が習得すべきと勧告されている。Basic CCE では循環器領域における詳細な評価法とは異なり，目標指向型で定性的に左室，右室，心嚢，下大静脈を観察し，治療に即決した判断をくだす評価法である。この方法は FOCUS (focused echocardiography)とも呼ばれ，重症患者の病態把握，治療方針の決定，治療効果モニタリングにおいて威力を発揮している。Basic-level CCE に求められる病態として，高度な循環血液量減少，左室不全，右室不全，心タンポナーデ等があげられている。これらの把握のために，基本構造，左室の大きさ・収縮能，左室壁運動異常，右室大きさ・収縮能，心タンポナーデの有無，下大静脈径等を評価する。次のステップである advanced CCE は包括的な血行動態の評価やモニタリングを行うものであり，輸液反応性，左室および右室パフォーマンス，左室充満圧等を評価する。本ハンズオンは，ベッドサイド心エコーを習得，つまり目標指向で診断，治療に即決した basic-level CCE を自ら記録し評価できること，さらには advanced CCE の評価法を学ぶことを到達目標として企画した。

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「布引」
コーディネーター（予定）：
　山本 剛（日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科）
インストラクター（予定）：
　田原 良雄（国立循環器病研究センター心臓血管内科），
　西山 慶（国立病院機構京都医療センター救命救急センター），時田 祐吉（日本医科大学 循環器内科），
　泉 佑樹（日本医科大学 循環器内科），鵜木 崇（国立病院機構 京都医療センター 循環器内科），
　高木 大輔（国立病院機構 京都医療センター 循環器内科），平田 晶子（かわぐち心臓呼吸器病院救急科）
募集人数：30 名
対　象：これからベッドサイド心エコーの習得をめざす医師

2. ICU rounds

集中治療における標準治療をおこなうことは，患者の予後にも影響すると考えられる。標準治療を維持するためには，集中治療における知識の確認と現場での対応（治療）を常にチェックしておくことが必須である。このセッションでは集中治療室内で遭遇する代表的な 3 つのシナリオを高次機能シミュレーターで提示し，参加者が，ガイドラインに沿った診断・治療を，実臨床でどのように実践しているかを客観的評価することを目的とする。症例を時間の経過ごとに対応できるかを評価するため，各フェーズの評価項目を事前に決めておき，各チームの評価を行う。1 チーム 2 名の医師，医師以外 1 名の 3 名からなるチーム編成，1 シナリオ約 12 分で集中治療における標準治療をチェックして，最後にフィードバックを行う。

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「北野」
インストラクター（予定）：
　藤谷 茂樹（東京ベイ・浦安市川医療センター），安宅 一晃（奈良県立医科大学）
アシスタント（予定）：
　奥田 裕子（京都第一赤十字病院），中村 通孝（済生会熊本病院），

後藤 安宣（市立奈良病院），瀬尾 龍太郎（神戸市立医療センター中央市民病院）
募集人数：27 名（原則として施設単位　医師 2 名とメディカルスタッフ 1 名　9 チーム）

3.「脳神経集中治療の基礎を学ぼう」

集中治療が必要な患者の中で，神経系に異常がある患者の割合は，どこの集中治療室（ICU）でも高い（脳神経疾患以外による ICU 入室例でも約 12%）。一方，敗血症等の全身性の疾患でさえ，常に脳に及ぼす影響を考慮した上で管理を行うことが必要である。それには，脳神経集中治療に必要な基本的な臨床神経解剖から神経症候の診かた，各種中枢神経系モニターの判読や，代表的な中枢神経系疾患，例えば重症頭部外傷やくも膜下出血患者の全身管理を理解しておく必要性がある。

本ハンズオンセミナーでは，集中治療後期研修医，若手集中治療医，集中治療に従事する看護師等が実際の診療・看護に役立てる内容で，脳神経集中治療に必要なベッドサイドにおける神経所見の診かたや神経モニタリングとその評価法を個別に実技指導する。セミナーは，2 部構成で，「脳神経集中治療に必要な神経所見の診かた－個別実技指導－」と「脳波と持続脳波（cEEG）モニタリングの基礎と実際」からなり，受講後には，①初療室や ICU における重症意識障害患者の評価を短時間にできる。②てんかん重積状態患者の評価を短時間にできる③重症患者における病巣部位局在診断を短時間にできる。④脳神経集中治療に必要な脳波判読の基礎，持続脳波モニタリングの実際について，モニタリング機器を装着から重篤な波形の判読と対応のポイントを習得し，実践できるよう構成されている。

内　容：
<セミナー 1 > 脳神経集中治療に必要な神経所見の診かた－個別実技指導－
<セミナー 2 > 脳波と持続脳波（cEEG）モニタリングの基礎と実際

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「菊水」
<セミナー 1 >
コースコーディネーター：
奥寺 敬（富山大学附属病院副病院長，富山大学医学部救急・災害医学教授）
永山 正雄（国際医療福祉大学熱海病院副院長・神経内科教授）
講師／インストラクター：
足立 智英（東京都済生会中央病院神経内科担当部長）
畝本 恭子（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター長）
谷崎 義生（脳血管研究所附属美原記念病院副院長）
本多 ゆみえ（東海大学医学部救命救急医学）
梁 成勲（国際医療福祉大学熱海病院神経内科講師）
<セミナー 2 >
コースコーディネーター：
永山 正雄（国際医療福祉大学熱海病院副院長・神経内科教授）
講師／インストラクター：
久保田 有一（朝霞台中央総合病院てんかんセンター長・統括部長）
募集人数：30 名
対　象：集中治療後期研修医，若手集中治療医，集中治療に従事する看護師等

4. ABCD sonography 肺エコー講習会

肺エコーは近年急速に注目が集まっている診断手法である。気道・呼吸・循環などの全身管理を担う集中治療医にとって，胸部 X 線，CT 検査，聴打診などに加え，非侵襲的かつ客観的な肺エコーを知ることは実診療だけではなく教育目的にも非常に重要である。

本セミナーは事前学習の e-learning で知識を整理し，当日のワークショップで実際の描出や解釈ついて学び，肺エコーの原理と基本を理解し，正常像とその描出を学び，異常所見と解釈を理解することで呼吸関連の point of care を実践できるようになることを目的とする。

内　容：

1．〔e-learning〕受講前に，e-learning で基礎知識を学習する（3 時間）

2．〔講義〕重要事項の振り返り　20 分

3．〔実技 1〕基本描出を学ぶ　30 分

4．〔講義〕異常所見の振り返り　20 分

5．〔実技 2〕肺エコー診断の流れと異常について学ぶ　30 分

6．〔実技 3〕シナリオトレーニング　40 分

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）13 時 15 分～16 時 30 分

会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「布引」

コースディレクター（予定）：

鈴木 昭広（ABCD sonography 理事長），野村 岳志（横浜市立大学 麻酔科学）

チーフインストラクター（予定）：

田中 博志（北海道医療センター麻酔科）

インストラクター（予定）：

大宮 浩揮（岡山大学医学部麻酔科），高木 俊介（横浜市立大学医学部生体制御・麻酔科学），

瓦口 至孝（奈良県立医科大学 麻酔科学教室），

下薗 崇宏（神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科・集中治療部）

吉田 拓生（東京慈恵会医科大学麻酔科学講座集中治療部），渡邉 至（南共済病院麻酔科 麻酔科），

糟谷 祐輔（東京女子医科大学 麻酔科学教室），望月 利昭（静岡市立静岡病院 麻酔科）

アシスタント（予定）：

松岡 由里子（国立病院機構刀根山病院 麻酔科），宮﨑 直樹（熊本医療センター 麻酔科），

光本 保英（大阪府済生会吹田病院 消化器内科），宮崎 勇輔（大津市民病院 救急集中治療部），

木下 真佐子（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 麻酔・蘇生学講座）

募集人数：24 名

5. 非同期グラフィック＆経肺圧モニター

本セミナーでは，人工呼吸器管理において今後重要性がより認識されていく可能性が高いトピックである，非同調と経肺圧を扱う。前半では患者の呼吸様式や通常の人工呼吸器グラフィックから，患者と人工呼吸器の非同調をどの様に認識するかを学ぶ。さらに後半では経肺圧（気道内圧 － 胸腔内圧）の概念を理解し，その測定法，解釈の仕方を学ぶことにより，通常の呼吸器グラフィックからは得られない情報である経肺圧を，非同調の改善や適切な呼吸器設定にどの様に応用していくかを理解する。

到達目標：

1．患者の呼吸様式および呼吸器グラフィックから非同調を認識する

2．経肺圧の概念，測定法，解釈を学習する

3．実際の症例へ経肺圧をどの様に応用するかを理解する

内　容：

1．〔講義その 1 ：非同調の認識法〕

講師：則末 泰博（東京ベイ・浦安市川医療センター）（30 分）

2．〔実技〕非同調の呼吸器グラフィック（50 分）

3 グループに分かれて異なる 3 つのブースを順次ローテーションする

休憩（10 分）

3．〔講義その２：経肺圧〕
講師：竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）または則末（30 分）
4．〔経肺圧デモンストレーション〕（50 分）
2 つのスクリーンを用いたデモンストレーション
5．〔まとめと質疑応答〕（10 分）
全体を通してのまとめと質疑応答

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）13 時 00 分～16 時 30 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「北野」
インストラクター（予定）：
則末 泰博（東京ベイ・浦安市川医療センター），藤谷 茂樹（東京ベイ・浦安市川医療センター），
内藤 貴基（東京ベイ・浦安市川医療センター），片岡 惇（東京ベイ・浦安市川医療センター），
高田 順子（東京ベイ・浦安市川医療センター），宇佐見 直（東京ベイ・浦安市川医療センター），
竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）
募集人数：30 名

6. Be An Intensivist コース

集中治療の必要性は，患者の高齢化，重症化が進んでいる今の世の中において，今後広がるといわれています。しかし，集中治療を独立した科としている施設は少なく，集中治療のみを専門とする Intensivist も少ない現状があります。今回のコースは，呼吸管理，循環管理をシミュレーションベースで学ぶことを通し，集中治療医を目指す医師を増やすことを目的としています。呼吸管理のセッションでは，シナリオベースにマスク換気から人工呼吸器の設定方法，人工呼吸器管理中に起こりうるトラブルシューティング，抜管の判断を学ぶことができます。循環管理のセッションでは，ショックのシナリオベースにショックの鑑別診断，治療法，酸素バランスを学ぶことができます。

【開催概要】

開催日：2 月 11 日（木）13 時 00 分～16 時 30 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「菊水」
インストラクター（予定）：
内藤 貴基（東京ベイ浦安市川医療センター 集中治療科），岡本 洋史（倉敷中央病院 救急科），
小松 孝行（順天堂大学医学部付属練馬病院 救急集中治療科），
梅井 菜央（日本医科大学付属病院 集中治療科），安宅 一晃（奈良県立医科大学），
藤谷 茂樹（東京ベイ浦安市川医療センター 集中治療科）
アシスタント（予定）：
池田 武史（相澤病院 集中治療科），助永 親彦（隠岐病院 麻酔科）
募集人数：24 名
対　象：初期研修医 1 年目
（初期研修医 2 年目，学生の方も受講可能ですが，初期研修医 1 年目を優先させて頂きます。）

7. 第 3 回外科的気道確保トレーニング WS

気道確保は医師にとって必須の知識と技能である。気道管理の基礎を知り，気道確保困難症例についての予測と対応ができることは，救急医・集中治療医・麻酔科医にとってとても重要である。外科的気道確保を経験することは実際には少ないが，その知識を持ち，習熟していることが，気道確保困難症例に遭遇した時の選択肢を広げ，適切な対応へとつながる。本セミナーにて気道管理の基礎と気道確保困難症例への対応を復習し，シミュレーターや豚喉頭を用いて実際に外科的気道確保を体験することで，気道確保困難症例への対応法を学習し実臨床へつなげる。

到達目標：
1．気道管理の基礎を確認，気道確保困難症例を予測・準備することができる
2．輪状甲状膜穿刺・切開の理解と実践
3．経皮的気管切開術の術式の理解と実践
内　容：
1．〔講義〕気道管理の基礎と気道確保困難について　講師：医師（30 分）
2．〔実技 1〕経皮的気管切開の実践（60 分）
　＊各メーカーのキットを使用し実技練習を行う
3．〔実技 2〕輪状甲状膜穿刺・切開の実践（60 分）
　＊豚喉頭を用いて実技練習を行う
4．〔まとめと質疑応答〕（10 分）
　全体を通してのまとめと質疑応答

【開催概要】
開催日：2 月 12 日（金）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「布引」
コーディネーター（予定）：
　方波見 謙一（北海道大学病院先進急性期医療センター），
　野村 岳志（横浜市立大学大学院医学研究科麻酔科学）
インストラクター（予定）：
　佐藤 圭路（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学），
　二階 哲朗（島根大学医学部付属病院集中治療部），太田 隆嗣（湘南鎌倉総合病院麻酔科），
　鈴木 昭広（ABCD sonography 理事長），山口 嘉一（横浜市立大学医学部生体制御・麻酔科学），
　島田 二郎（福島県立医科大学医学部医学科救急医学講座），坂東 敬介（市立札幌病院救命救急センター）
募集人数： 24 人
対　象：集中治療を学ぶ後期研修医相当

8. 早期離床に必要な知識と技術を学ぶ

早期離床の実践に必要な知識・技術を習得するとともに，グループワークを通じて，患者に応じた実践方法を理解する。

到達目標：
1．早期離床の効果，適応と禁忌，中止基準を理解する
2．早期離床に必要な評価および治療が実践できる
3．症例に応じた早期離床が検討できる
内　容：
1．〔講義〕早期離床に必要な基礎知識（早期離床の効果・適応・禁忌・中止基準など）
2．〔実習 1〕早期離床に必要な評価（関節可動域，筋力，意識レベルなど）
3．〔実習 2〕早期離床に必要なトレーニング（関節可動域トレーニング，筋力トレーニング，端座位・立位・歩行）
4．〔グループディスカッション〕
　「離床中に予測される生体反応は？　どの時点で離床を終了するか」
　「早期離床の開始時期は？　考えられるリスクとベネフィットは？」
5．〔まとめと質疑応答〕
　全体を通してのまとめと質疑応答

【開催概要】
開催日：2 月 12 日（金）8 時 30 分～12 時 00 分

会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下１階「北野」
インストラクター（予定）：
　野村 智久（順天堂大学練馬病院救急・集中治療科），
　森沢 知之（兵庫医療大学リハビリテーション学部；理学療法士），
　鵜澤 吉宏（亀田総合病院；理学療法士），
　横山 仁志（聖マリアナ医科大学病院；理学療法士），
　荒田 晋二（JA 広島総合病院臨床工学科；臨床工学技士），
　小山 昌利（公立陶生病院臨床工学部；臨床工学技士），
　石高 拓也（東大和病院臨床工学科；臨床工学技士），
　小松 由佳（杏林大学医学部付属病院；看護師），
　高石 壮（関西大学枚方病院；看護師），
　山田 亮（東邦大学大森医療センター；看護師）
募集人数：30 名
対　象：
・第 43 回学術集会参加登録者
・看護師，臨床工学技士，リハビリテーション技師（理学療法士，作業療法士）
そのほか早期離床に携わる医療従事者 30 名

9．NP（診療看護師）向け救急超音波ハンズオンセミナー

生命を脅かすような危機的病態を呈する患者をいち早く発見して客観的なアセスメントを施すことで確定診断や決定的治療までの時間を短縮することは，患者の予後を改善して満足度を向上することになる。これを実現するのが超音波診断装置を用いた Point-Of-Care である。救急・重症患者に対して診療看護師（Nurse Practitioner，以下 NP）が超音波診断装置を使いこなしてスクリーニングすることは安全で質の高い医療を迅速に提供するために重要であり，その知識と技術の修得は不可欠である。

本セミナーでは，講義とハンズオンを通じて NP が超音波診断装置を用いて救急・重症患者の病態を評価するための基本的知識と技術を講授する。受講によって，「ショックの鑑別のために腹腔内・胸腔内フリースペースの評価ができるようになる」，「循環血液量を類推するために下大静脈と膀胱の評価ができるようになる」，「ショックの鑑別のために末梢静脈の評価とショックから離脱するための血管穿刺ができるようになる」ことが学習目標である。

内　容：
１．開会の挨拶　講師全員（10 分）
２．〔講義〕FAST（Focused Assessment with Sonography for Trauma）
　　講師：太田 智行（20 分）
３．〔講義〕下大静脈と膀胱　講師：松本 純一（20 分）
４．〔講義〕下肢深部静脈血栓症　講師：児玉 貴光（20 分）
５．〔実技 1〕FAST（45 分）
　〔実技 2〕下大静脈と膀胱（45 分）
　〔実技 3〕下肢深部静脈と上肢皮静脈（45 分）＊１グループ７人で実技練習を行う
６．まとめ　講師全員（5 分）

【開催概要】
開催日：2 月 12 日（金）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下１階「菊水」
インストラクター（予定）：
　児玉 貴光（愛知医科大学 災害医療研究センター），
　松本 純一（聖マリアンナ医科大学 救急医学），

太田 智行（東京慈恵会医科大学附属病院 放射線科），
川本 英嗣（三重大学医学部附属病院 救命救急センター）
募集人数：21 名

10. 高機能シミュレーターを用いた Sepsis Management Simulation

本セミナーでは，敗血症診療ガイドライン（日本版敗血症ガイドライン，Surviving Sepsis Campaign Guideline2012）に基づいた敗血症初期治療と，その後の ICU 治療について，高機能シミュレーターと実例の画像データを用いた scenario-based simulation を行う。感染巣の異なる 3 例の敗血症性ショック症例の診療を通して，①Early Goal Directed Therapy をガイドにした初期蘇生，②Source control を意識した敗血症初期診療，③ARDS，敗血症性心筋障害合併例の呼吸循環管理，について学習する。

Agenda：〔講義〕シミュレーションのルール説明（10 分），〔Scenario-1〕適切な source control（40 分），〔Scenario-2〕profound shock，ARDS 合併（60 分），〔Scenario-3〕sepsis-induced myocardial dysfunction 合併（60 分），〔まとめと質疑応答〕（10 分）を予定している。Scenario-2 と Scenario-3 では，ICU 入室期間における fluid balance，経肺熱希釈法計測データ（GEDI，SVRI，EVLWI，PVPI 等），胸部 X 線，動脈血液ガス分析，血算／凝固／生化学のデータを供覧し，双方向性ディスカッションを行う。

【開催概要】

開催日：2 月 14 日（日）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「布引」
インストラクター（予定）：
遠藤 智之（東北大学大学院医学系研究科総合地域医療研修センター），
小林 正和（石巻赤十字病院救急科副部長）
募集人数：18 名

11. シミュレーション教育
―学習者が意欲的に学ぶデブリーフィングへ。指導者のスキルを磨くワークショップ

学習効果の高いシミュレーション教育を実施するためには，明確な学習目標に沿ったシナリオの作成・開発・評価に加え，効果的な“デブリーフィング（振り返り）”が重要です。デブリーフィングとは，指導者の導きにより，学習者自らがシミュレーションセッションでの「思考・感情・行動・態度」などを振り返り，参加者とのディスカッションを交えて，「知識と技術の統合」や「新たな学習課題」を確認しあうものであり，指導者には高いスキルが求められます。しかし，そのスキルを習得することは非常に難しく，シミュレーション教育に携わる多くの者が困難さを感じながら，日々試行錯誤しているのが現状ではないでしょうか。

そこで，前回の学術集会に引き続き，講師に阿部幸恵先生を迎え，シミュレーションにおける教育技法のひとつであるデブリーフィングに焦点を当て，本セミナーを企画しました。

ここでは，①講師によるデブリーフィングの講義の後，②デブリーフィングガイドの作成，③シミュレーション（人工呼吸器のアラーム対応等）におけるデブリーフィングの実践，④評価表に基づくスキル評価等を体験することで，効果的なデブリーフィングの基礎を学び，スキルのブラッシュアップを目指します。

日頃シミュレーション教育において指導的役割を担っている方だけでなく，これからシミュレーション教育を学ぼうと考えている方々に是非参加していただきたいと考えております。

到達目標：
1．デブリーフィングの定義を理解できる。
2．デブリーフィングガイドの意味を理解してガイドを作成できる。
3．デブリーフィングを体験して評価できる。

【開催概要】

開催日：2 月 14 日（日）8 時 30 分～12 時 00 分

会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「北野」
インストラクター（予定）：
　阿部 幸恵（東京医科大学病院 シミュレーションセンター長）
募集人数：30 名

12. J-PAD ガイドライン：ツールを使ってみよう

日本集中治療医学会では 2014 年に「日本版・集中治療室における成人重症患者に対する痛み・不穏・せん妄管理のための臨床ガイドライン；Japanese guidelines for the management of Pain, Agitation, and Delirium in intensive care unit（J-PAD ガイドライン）」を策定いたしました。この J-PAD ガイドラインでは「痛み・不穏・せん妄の管理」の重要性と対策について提言しており，今後，国内の多くの施設で取り入れられ，重症患者の予後改善に寄与することを期待しております。

J-PAD ガイドラインの普及活動の一環として，昨年の学術集会に引き続き，「痛み・不穏・せん妄の管理」の鍵となる評価ツールの活用に関するハンズオンセミナーを企画いたしました。セミナー内容として，「正しいツールの使い方」についての 30 分程度の座学の後，10 名程度のグループごとにビデオ映像教材やシナリオを用いた実際の判定演習，質疑応答などを予定しています。

【開催概要】

開催日：2 月 14 日（日）8 時 30 分～12 時 00 分
会　場：神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「菊水」
コーディネーター（予定）：
　布宮 伸（自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）
インストラクター（予定）：
　日本集中治療医学会 J-PAD ガイドライン検討委員会委員
　植村 桜（地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター教育研修センター），
　古賀 雄二（学校法人鉄蕉館亀田医療大学看護学部看護学科成人看護学），
　吹田 奈津子（日本赤十字社和歌山医療センター集中治療室），
　茂呂 悦子（自治医科大学附属病院集中治療_部），
　鶴田 良介（山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野），
　西 信一（兵庫医科大学集中治療医学科），
　長谷川 隆一（筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院救急・集中治療科）
募集人数：30 名（職種を問わず，集中治療に従事する医療職を対象に，同一施設 2 名まで）

－関連学術集会のご案内－

1. 第 225 回 ICD 講習会

会　期：2016 年 2 月 14 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
会　場：神戸国際展示場 1 号館 2 階 展示室 2B
主　催：ICD 制度協議会
テーマ：院内感染症の予防
※ 事前申込が必要です。詳しくは ICD 制度協議会ホームページをご覧ください。

2. 第 26 回日本経皮的心肺補助（PCPS）研究会

会　期：2016 年 2 月 14 日（日）13 時 30 分～17 時 30 分
会　場：神戸国際展示場 2 号館 3 階 3A 会議室
会　長：正井 崇史（桜橋渡辺病院 心臓血管外科）
参加費：2,000 円（第 43 回日本集中治療医学会学術集会にご参加の方は無料）
主　催：日本経皮的心肺補助（PCPS）研究会

【合同プログラム】

会長基調講演

2 月 12 日（金） 8：30 ～ 9：00　第 1 会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　ポートピアホール
会長基調講演（PL1） Be an Intensivist
演者　西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）
座長　時岡 宏明（総合病院岡山赤十字病院麻酔科）

記念講演

2 月 12 日（金） 9：10 ～ 9：50　第 1 会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　ポートピアホール
岩月賢一記念講演（ML1） Often, Less is More and The Earlier The Better in Critical Care
演者　Koh Y（Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea）
座長　西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）

基調講演

2 月 12 日（金） 14：40 ～ 15：10　第 1 会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　ポートピアホール
基調講演 1（KL1） NICE in the Netherlands History, Organization, and Achievements
演者　De Keizer N（National Intensive Care Evaluation (NICE) foundation and Academic Medical Center - University of Amsterdam, the Netherlands）
座長　藤谷 茂樹（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科）

2 月 12 日（金） 14：40 ～ 15：30　第 7 会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
基調講演 2（KL2） 小児急性脳症の臨床と画像
演者　高梨 潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）
座長　植田 育也（埼玉県立小児医療センター集中治療室・救急準備担当）

2 月 12 日（金） 9：00 ～ 9：50　第 9 会場　神戸国際展示場 2 号館 1F　コンベンションホール南
基調講演 3（KL3） 集中治療分野における Comfort Care の本質の探究
演者　江川 幸二（神戸市看護大学）
座長　木田 菊恵（徳島大学病院看護部）

招聘講演

2月12日（金） 9：00～9：50 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
招聘講演1（IL1） Fluid therapy
演者 De Backer D（Department of Intensive Care, CHIREC Hospitals, Université Libre de Bruxelles, Brussels, Belgium）
座長 小倉 裕司（大阪大学医学部付属病院高度救命救急センター）

2月12日（金） 10：00～10：50 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
招聘講演2（IL2） Physiological basis for functional hemodynamic monitoring
演者 Pinsky M（Critical Care Medicine, Bioengineering, Cardiovascular Disease, Clinical & Translational Disease and Anesthesiology, Department of Critical Care Medicine, University of Pittsburgh And Department of Anesthesiology, University of California, San Diego, USA）
座長 山科 章（東京医科大学循環器内科）

2月12日（金） 16：40～17：30 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F ダイヤモンド
招聘講演3（IL3） Medical Error
演者 Suyama J（Department of Emergency Medicine, University of Pittsburgh School of Medicine, USA）
座長 祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

2月13日（土） 9：00～9：50 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
招聘講演4（IL4） Patient-Ventilator Asynchrony and Impact on Outcome!
演者 Kacmarek RM（Department of Anaesthesia, Harvard Medical School/ Massachusetts General Hospital, USA）
座長 大藤 純（徳島大学病院救急集中治療部）

2月13日（土） 14：40～15：30 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
招聘講演5（IL5） What we should concern in ARDS treatment
演者 Koh Y（Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea）
座長 橋本 悟（京都府立医科大学附属病院集中治療部）

2月13日（土） 14：40～15：30 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
招聘講演6（IL6） Using hemodynamic monitoring to diagnose and treat critical illness
演者 Pinsky M（Critical Care Medicine, Bioengineering, Cardiovascular Disease, Clinical & Translational Disease and Anesthesiology, Department of Critical Care Medicine, University of Pittsburgh And Department of Anesthesiology, University of California, San Diego, USA）
座長 讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

2月13日（土） 15：40～16：30 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
招聘講演7（IL7）
座長 竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院）
IL7-1 Pathophysiology and management of cardiac pulmonary edema
演者 Masip J（Department of Intensive Care Medicine, University of Barcelona, Spain）
IL7-2 Recent Concept for the Pharmacological Management of Acute Heart Failure
演者 Mebazaa A（Department of Anesthesia and Critical care, University of Paris Diderot, France）

2月13日（土） 14：40～15：30 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド
招聘講演8（IL8） Definition and Risk Stratification of Pediatric ARDS: Motivation and summary of the pediatric acute lung injury consensus conference definitions
演者 Khemani R（Department of Pediatrics, Children's Hospital Los Angeles, USA）
座長 中川 聡（国立研究開発法人国立成育医療研究センター病院集中治療科）

2月13日（土） 9：00～9：50 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F ダイヤモンド
招聘講演9（IL9） Ventilator-associated pneumonia
演者 Iskit AT（Department of Intensive Care, Hacettepe University, Turkey）
座長 志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

2月13日（土） 16：50～17：30 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F ダイヤモンド
招聘講演10（IL10） Management of Patients with a Novel Virus (Emerging Diseases)
演者 Weinstein G（Southwest Pulmonary Associates at Texas Health Presbyterian Dallas, USA）
座長 児玉 貴光（愛知医科大学災害医療研究センター）

2月13日（土）　14：40～15：30　第11会場　神戸国際展示場1号館2F　2B展示室
招聘講演11（IL11）　Post-ICU disease: the French and euRopean Outcome reGistry in Intensive Care Unit（FROG-ICU）study
演者　Mebazaa A（Department of Anesthesia and Critical care, , University of Paris Diderot, France）
座長　武居 哲洋（横浜市立みなと赤十字病院集中治療部）

2月13日（土）　15：40～16：30　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
招聘講演12（IL12）　Nutritional support in critically ill patients
演者　Arabi Y（Intensive Care Department Medical Director, Respiratory Services Professor, College of Medicine King Saud Bin Abdulaziz University for Health Sciences King Abdulaziz Medical City Riyadh, Kingdom of Saudi Arabia）
座長　東別府 直紀（神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科/NST）

2月14日（日）　9：00～9：50　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田A
招聘講演13（IL13）　End-of-life care in Asian ICUs
演者　Koh Y（Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea）
座長　江木 盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

2月14日（日）　10：00～10：50　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田A
招聘講演14（IL14）　End-of-life Care in ICU in US
演者　Shigemitsu H（Division of Pulmonary & Critical Care Medicine, University of Nevada School of Medicine, Las Vegas, Nevada, USA）
座長　橋本 悟（京都府立医科大学附属病院集中治療部）

2月14日（日）　10：00～10：50　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館B1F　ダイヤモンド
招聘講演15（IL15）　Disaster Management
演者　Suyama J（Department of Emergency Medicine, University of Pittsburgh School of Medicine, USA）
座長　谷川 攻一（福島県立医科大学）

特別講演

2月12日（金） 15：40～16：30 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F サファイア
特別講演1（SL1） Lactate Revisited
演者 De Backer D（Department of Intensive Care, CHIREC Hospitals, Université Libre de Bruxelles, Brussels, Belgium）
座長 松嶋 麻子（名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学）

2月12日（金） 14：40～15：30 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F トパーズ
特別講演2（SL2） Prevention of Delirium
演者 Ely W（Department of Pulmonary and Critical Care and Health Services Research, Vanderbilt University, USA）
座長 行岡 秀和（大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座）

2月12日（金） 9：00～9：50 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
特別講演3（SL3） Leadership
演者 Dorman T（Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine, Johns Hopkins Medicine, USA）
座長 氏家 良人（川崎医科大学救急総合診療医学講座）

2月12日（金） 10：00～10：50 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
特別講演4（SL4） Bedside assessment of hemodynamics
演者 Takala J（Department of Intensive Care Medicine, University Hospital Bern（Inselspital）and University of Bern, Bern, Switzerland）
座長 森崎 浩（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）

2月12日（金） 14：40～15：05 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
特別講演5（SL5） MERS in Seoul
演者 Suh GY（Department of Critical Care Medicine, Samsung Medical Center, Sungkyunkwan University School of Medicine, Seoul, Korea）
座長 川前 金幸（国立大学法人山形大学医学部附属病院麻酔科）

2月12日（金） 15：05～15：30 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
特別講演6（SL6） Infection with the Middle East Respiratory coronavirus（MERS-CoV）
演者 Arabi Y（Intensive Care Department Medical Director, Respiratory Services Professor, College of Medicine King Saud Bin Abdulaziz University for Health Sciences King Abdulaziz Medical City Riyadh, Kingdom of Saudi Arabia）
座長 川前 金幸（国立大学法人山形大学医学部附属病院麻酔科）

2月12日（金） 15：40～16：30 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
特別講演7（SL7） Recommendations for ICU disaster preparedness: lessons learned from natural, accidental and intentional events
演者 Wax R（Department of Medicine, Queen's University and University of Toronto, Canada）
座長 大友 康裕（東京医科歯科大学医歯学総合研究科救急災害医学分野）

2月13日（土） 14：40～15：30 第13会場 神戸国際展示場2号館 3F 3A会議室
特別講演8（SL8） 医学研究と倫理
演者 仲野 徹（大阪大学大学院医学系研究科病理学）
座長 氏家 良人（川崎医科大学救急総合診療医学講座）

2月14日（日） 9：00～10：00 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館 1F ポートピアホール
特別講演9（SL9） 死をいかに迎えるか
演者 久坂部 羊（作家／大阪人間科学大学社会福祉学科）
座長 西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）

2月14日（日） 9：00～9：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館 1F 大輪田B
特別講演10（SL10） 医療改革：必要なICUベッド数は？
演者 松田 晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）
座長 多治見 公高（秋田労災病院）

2月14日（日）　9：00～9：50　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
特別講演 11（SL11）　インフルエンザ感染の重症化機序と，その予防と治療の最新知見
演者　木戸 博（徳島大学疾患酵素学研究センター）
座長　藤谷 茂樹（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科）

2月14日（日）　10：00～10：50　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
特別講演 12（SL12）　A Viral Threat to Us; focused on respiratory failure
演者　Koh Y（Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea）
座長　鈴川 正之（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院救急医療）

2月14日（日）　9：50～10：50　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
特別講演 13（SL13）　Up-to-date of Neurocritical Care
演者　Geocadin RG（Neurosciences Critical Care, Johns Hopkins University School of Medicine, USA）
座長　永山 正雄（国際医療福祉大学熱海病院神経内科）

2月14日（日）　8：30～10：00　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
特別講演 14　A novel viral infection
座長　児玉 貴光（愛知医科大学災害医療研究センター）
SL14-1　Management of the first cases of Ebola Virus Disease in the United States
演者　Weinstein G（Southwest Pulmonary Associates at Texas Health Presbyterian Dallas, USA）
SL14-2　Ebola, Ethics and Staff Challenges to Providing Care
演者　Nagel N（Texas Health Resources/Southwest Pulmonary Associates, USA）

2月14日（日）　9：00～9：30　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
特別講演 15（SL15）　若手医師のための人工呼吸器ワークショップの取り組み
演者　田中 竜馬（LDS Hospital呼吸器内科・集中治療科）
座長　小松 由佳（杏林大学医学部付属病院看護部）

教育講演

2月12日（金） 10：00～10：50 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
教育講演1（EL1） VCVとPCVを理解する
演者 大塚 将秀（横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部）
座長 山下 幸一（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学）

2月12日（金） 14：40～15：30 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
教育講演2（EL2） 吸気圧の設定方法
演者 吉田 健史（トロント大学こども病院）
座長 中村 利秋（長崎労災病院救急集中治療科）

2月12日（金） 15：40～16：30 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
教育講演3（EL3） Difficult Weaning
演者 Lim CM（Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center, Seoul, Korea）
座長 大塚 将秀（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部）

2月12日（金） 9：00～9：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
教育講演4（EL4） ARDS患者における人工呼吸中の呼吸生理
演者 竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）
座長 鈴川 正之（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院救急医療）

2月12日（金） 14：40～15：30 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
教育講演5（EL5） 換気モードの基礎と臨床，その問題点を探る
演者 時岡 宏明（岡山赤十字病院麻酔科）
座長 岡元 和文（丸子中央病院救急科総合診療科）

2月12日（金） 10：00～10：50 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
教育講演6（EL6） 安全に早期離床/運動を行うための集中治療室でのフィジカルアセスメント
演者 髙田 順子（東京ベイ・浦安市川医療センターリハビリテーション室）
座長 眞渕 敏（兵庫医科大学病院リハビリテーション部）

2月12日（金） 16：40～17：30 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
教育講演7（EL7） ICUからはじめる早期離床
演者 田中 竜馬（LDS Hospital呼吸器内科・集中治療科）
座長 宇都宮 明美（聖路加国際大学看護学部成人看護学）

2月12日（金） 10：00～10：50 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ
教育講演8（EL8） 人工呼吸とHeart-lung interaction
演者 今中 秀光（徳島大学病院ER災害医療診療部）
座長 土井 松幸（浜松医科大学医学部附属病院集中治療部）

2月12日（金） 10：00～10：50 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド
教育講演9（EL9） Ventilatory Management in Pediatric ARDS: What is different from adults?
演者 Khemani R（Department of Pediatrics, Children's Hospital Los Angeles, USA）
座長 岩崎 達雄（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座）

2月12日（金） 10：00～10：50 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
教育講演10（EL10） 集中治療の現場にこそ必要な，優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード
演者 本田 美和子（国立病院機構東京医療センター）
座長 高岡 勇子（北海道大学病院集中治療部）

2月12日（金） 14：40～15：30 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
教育講演11（EL11） 集中治療領域における看護師の臨床実践能力とその育成
演者 宇都宮 明美（聖路加国際大学看護学部成人看護学）
座長 明神 哲也（東京医科大学病院看護部）

2月12日（金） 14：40～15：30 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
教育講演12（EL12） 周術期における血液浄化療法
演者 升田 好樹[1], 巽 博臣[1], 千原 伸也[2]（1.札幌医科大学医学部集中治療医学, 2.札幌医科大学附属病院臨床工学部）
座長 倉島 直樹（東京医科歯科大学医学部附属病院MEセンター）

2月12日（金） 15：40～16：30 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
教育講演13（EL13） 血行動態モニタリング：心拍出量・心拍出量変動率・心臓拡張末期容量・肺血管外水分量・肺血管透過性係数
演者 田上 隆（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）
座長 野口 裕幸（CE野口企画）

2月12日（金） 9：00～9：50 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
教育講演14（EL14） Temperature management in traumatic head injury
演者 Saxena M（Department of Intensive Care Medicine, St. George Hospital, Australia）
座長 相引 眞幸（愛媛大学医学部附属病院救急医学）

2月12日（金） 10：00～10：50 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
教育講演15（EL15） ミトコンドリアを標的とした細胞保護ストラテジーの最前線
演者 市瀬 史（ハーバードメディカルスクール・マサチューセッツ総合病院麻酔・集中治療科）
座長 落合 亮一（東邦大学医療センター大森病院麻酔科）

2月12日（金） 14：40～15：30 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
教育講演16（EL16） ICU領域におけるせん妄と敗血症関連脳症
演者 鶴田 良介, 小田 泰崇（山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野）
座長 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

2月12日（金） 9：00～9：50 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
教育講演17（EL17） 観察研究のデータ解析：交絡と傾向スコア
演者 新谷 歩（大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学寄附講座）
座長 多治見 公高（秋田労災病院）

2月12日（金） 10：00～10：50 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
教育講演18（EL18） How to Use the SMR to Improve Quality of Care
演者 De Keizer N（National Intensive Care Evaluation（NICE）foundation and Academic Medical Center - University of Amsterdam, the Netherlands）
座長 土手 健太郎（愛媛大学医学部附属病院集中治療部）

2月12日（金） 14：40～15：30 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
教育講演19（EL19） Multicentre research in Asian intensive care –a new dawn
演者 Phua J（Department of Internal Medicine, National University Hospital, Singapore）
座長 江木 盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

2月12日（金） 14：40～15：30 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
教育講演20（EL20） 救急・集中治療に必要な脳神経所見の診かた
演者 永山 正雄（国際医療福祉大学熱海病院神経内科脳卒中・神経センター）
座長 木下 順弘（国立病院機構大阪医療センター集中治療部）

2月13日（土） 14：40～15：30 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
教育講演21（EL21） The Surviving Sepsis Campaign: an Update in 2016
演者 Rhodes A（Department of Intensive Care Medicine, Anaesthesia, St. George's University Hospitals NHS Foundation Trust, UK）
座長 松嶋 麻子（名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学）

2月13日（土） 10：00～10：50 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
教育講演22（EL22） 持続腎代替療法（CRRT）― Japanese Way ―
演者 片山 浩, 吉田 悠紀子, 福田 直樹, 那須 敬, 日根野谷 一, 落合 陽子, 花崎 元彦（川崎医科大学麻酔・集中治療医学3）
座長 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

2月13日（土） 8：00～8：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
教育講演23（EL23） 酸素療法 up-to-date
演者 石井 宣大（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部）
座長 山本 信章（順天堂大学浦安病院臨床工学室）

2月13日（土） 10：00～10：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
教育講演24（EL24） High-flow Oxygen Therapy: effect on aeration and ventilation of the lung
演者 Lim CM（University of Ulsan College of Medicine, Asan Medical Center, Seoul, Korea）
座長 橋本 悟（京都府立医科大学附属病院集中治療部）

2月13日（土） 10：00～10：50 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
教育講演25（EL25） 自発呼吸を温存しながら低一回換気量を維持するには
演者 内山 昭則（大阪大学医学部附属病院集中治療部）
座長 中根 正樹（国立大学法人山形大学医学部附属病院高度集中治療センター）

2月13日（土） 15：40～16：30 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
教育講演26（EL26） 最適PEEPへのアプローチ
演者 中根 正樹（山形大学医学部附属病院高度集中治療センター）
座長 星 邦彦（東北大学病院集中治療部）

2月13日（土） 16：40～17：30 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
教育講演27（EL27） 酸素化の目標値はいくらにすべきか
演者 鈴木 聡（岡山大学病院集中治療部）
座長 鈴川 正之（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院救急医療）

2月13日（土） 16：40～17：30 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
教育講演28（EL28） 循環不全患者のせん妄予防
演者 布宮 伸（自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）
座長 中川 晋（東京都済生会中央病院循環器科）

2月13日（土） 10：00～10：50 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F ダイヤモンド
教育講演29（EL29） 院内感染をいかに予防するか ～21世紀の挑戦～
演者 朝野 和典（大阪大学医学部感染制御部）
座長 安宅 一晃（奈良県立医科大学附属病院医療安全推進室）

2月13日（土） 16：40～17：30 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
教育講演30（EL30） 急性期における緩和ケア
演者 高田 弥寿子（国立循環器病研究センター看護部）
座長 茂呂 悦子（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院看護部）

2月13日（土） 10：00～10：50 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
教育講演31（EL31） 生命維持管理装置稼働下における患者のリハビリテーションを安全に行うために
演者 林 久美子（岡山大学病院臨床工学部）
座長 森沢 知之（兵庫医療大学リハビリテーション学部理学療法学科）

2月13日（土） 10：00～10：50 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
教育講演32（EL32） 重症患者に必要な蛋白質の量は
演者 田村 貴彦（高知大学医学部麻酔科学集中治療医学講座）
座長 真弓 俊彦（産業医科大学医学部救急医学）

2月13日（土） 16：40～17：30 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
教育講演33（EL33） 栄養管理の基本中の基本
演者 井上 善文（大阪大学栄養ディバイス未来医工学共同研究部門）
座長 祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学系研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

2月13日（土） 10：00～10：50 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
教育講演34（EL34） 系統的レビューとコクラン共同計画
演者 森 臨太郎（国立成育医療研究センター政策科学研究部）
座長 西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）

2月14日（日）　10：00～10：50　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
教育講演35（EL35）　ICUにおいて見逃してはいけないサイン
演者　東條 圭一，藤井 正実，木下 春奈，田村 美沙紀，中村 恭子（北里大学病院）
座長　赤松 伸朗（大阪市立総合医療センター臨床研究センター）

教育セミナー

2月12日（金） 15：40～17：30 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室

教育セミナー1 専門医のための神経集中治療

座長 垣花 泰之（鹿児島大学病院救急・集中治療部）
加藤 正哉（和歌山県立医科大学医学部救急・集中治療医学教室）

EDS1-1 神経集中治療の基礎知識
演者 畝本 恭子，久野 将宗，田上 隆，諸江 雄太，福田 令雄，金子 純也，磐井 佑輔，田中 知恵（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）

EDS1-2 持続脳波モニタリング
演者 小畑 仁司（大阪府三島救命救急センター）

EDS1-3 頭蓋内圧モニタリングの現況
演者 本多 満（東邦大学医療センター大森病院救命救急センター）

EDS1-4 脳内酸素飽和度から脳循環代謝を学ぼう
演者 末廣 栄一[1,2]，鈴木 倫保[1]（1.山口大学医学部脳神経外科，2.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター）

2月13日（土） 9：00～9：50 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド

教育セミナー2 肺エコー

EDS2 ABCD sonography ～生理学的異常に対する超音波学的アプローチ（気道・呼吸編）～
演者 鈴木 昭広（東京慈恵会医科大学麻酔科学講座）
座長 安宅 一晃（奈良県立医科大学附属病院医療安全推進室）

2月13日（土） 10：00～10：50 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F エメラルド

教育セミナー3 胸部X線の読み方

EDS3 胸部X線写真の読影：肺水腫を中心に
演者 富山 憲幸（大阪大学大学院医学系研究科放射線医学）
座長 福岡 敏雄（倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター）

2月13日（土） 9：20～9：50 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室

教育セミナー4 基礎セミナー1

EDS4 敗血症の病態と治療 ―病態の概要と治療の全体像―
演者 垣花 泰之（鹿児島大学医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野）
座長 酒井 基広（東京女子医科大学病院臨床工学部）

2月13日（土） 9：50～10：20 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室

教育セミナー5 基礎セミナー2

EDS5 敗血症に対する急性血液浄化療法
演者 森實 雅司（済生会横浜市東部病院臨床工学部）
座長 酒井 基広（東京女子医科大学病院臨床工学部）

2月13日（土） 10：20～10：50 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室

教育セミナー6 基礎セミナー3

EDS6 臨床工学技士が知っておくべき敗血症性ARDSの呼吸管理
演者 相嶋 一登（横浜市立市民病院臨床工学部）
座長 酒井 基広（東京女子医科大学病院臨床工学部）

2月13日（土） 14：40～17：00 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室

教育セミナー7 専門医のための神経集中治療 advanced requirement

（第一部）座長 奥寺 敬（富山大学医学部救急・災害医学講座）

EDS7-1 基調講演：JRC蘇生ガイドライン2015 ―脳神経蘇生/脳神経救急・集中治療のポイント
演者 永山 正雄（国際医療福祉大学熱海病院神経内科脳卒中・神経センター）

（第二部）座長 武田 吉正（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座）
山下 進（独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院救急科）

EDS7-2 重症頭部外傷患者の神経集中治療
演者 横堀 將司[1,2]，金谷 貴大[2]，纐纈 健太[3]，金子 純也[4]，恩田 秀賢[2]，桑本 健太郎[2]，荒木 尚[2]，畝本 恭子[1,4]，布施 明[1,2]，横田 裕行[1,2]（1.日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野，2.日本医科大学付属病院救命救急科，3.日本医科大学付属病院脳神経外科，4.日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）

EDS7-3 重症くも膜下出血後の集中治療 ―新たな循環管理の提唱
演者 磯谷 栄二（東京女子医科大学東医療センター救急医療科救命救急センター）

EDS7-4　脳卒中患者の集中治療

演者　澤村 淳（北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野）

EDS7-5　小児急性脳症の集中治療

演者　澤田 奈実，櫻井 淳，伊原 慎吾，桑名 司，小松 智英，杉田 篤紀，山口 順子，小豆畑 丈夫，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

EDS7-6　Target Temperature Management

演者　櫻井 淳，山口 順子，杉田 篤紀，田上 瑠美，小松 智英，澤田 奈美，堀 智志，伊原 慎吾，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

シンポジウム

2月12日（金） 16：40～18：10 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A

シンポジウム1 肺保護戦略 up-to-date

座長 竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院）

SY1-1 腹臥位換気
倉橋 清泰（横浜市立大学附属市民総合医療センター麻酔科）

SY1-2 肺保護戦略：筋弛緩の有用性とそのメカニズム
吉田 健史（トロント大学こども病院）

SY1-3 NPPV
瀬尾 龍太郎（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

SY1-4 ECMOによる肺保護戦略
市場 晋吾，梅井 菜央，杉田 慎二（日本医科大学付属病院外科系集中治療科）

2月12日（金） 9：50～10：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B

シンポジウム2 PEEPの決め方

座長 時岡 宏明（総合病院岡山赤十字病院麻酔科）
竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）

SY2-1 How to Decide the Best PEEP Level: Best Compliance Methods
Kacmarek RM（Department of Anaesthesia, Harvard Medical School/Massachusetts General Hospital, USA）

SY2-2 EITを利用したPEEP設定
中根 正樹（山形大学医学部附属病院高度集中治療センター）

SY2-3 「PEEPの決め方」経肺圧測定を基に
竹内 宗之，京極 都，橘 一也（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

SY2-4 PEEPの決め方：Continuous Negative Abdominal Pressure Method
吉田 健史（トロント大学こども病院）

2月12日（金） 15：40～17：10 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B

シンポジウム3 新しい換気モードの可能性を探る

座長 林 久美子（岡山大学病院救命救急センター）
星 邦彦（東北大学病院集中治療部）

SY3-1 新たな可能性を開いていく ～NAVA～
高橋 大二郎（福田病院小児科）

SY3-2 Adaptive Support Ventilation ASV and Intellivent-ASV
内山 昭則（大阪大学医学部附属病院集中治療部）

SY3-3 PAV（proportional assist ventilation）
今中 秀光（徳島大学病院ER災害医療診療部）

SY3-4 新しい換気モードの可能性を探る：「SmartCare」
西條 幸志，三浦 啓道，増井 浩史，神谷 典男，北本 憲永（聖隷浜松病院臨床工学室）

2月12日（金） 14：40～16：40 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C

シンポジウム4 早期離床/運動を阻害する因子とどう向き合うか？

座長 横山 俊樹（公立陶生病院呼吸器・アレルギー内科）
清水 孝宏（那覇市立病院）

SY4-1 早期離床/運動を阻害する因子：総論
藤本 潤一（横浜労災病院中央集中治療部）

SY4-2 重症敗血症などで多臓器の機能低下を呈しているときの臨床判断
鵜澤 吉宏（亀田総合病院リハビリテーション室）

SY4-3 せん妄対策としての医原性リスク低減 ～ICU患者生活のパラダイムシフトとPatient centered care～
古賀 雄二（学校法人鉄蕉館亀田医療大学成人看護学）

SY4-4 ICU獲得性筋力低下
神津 玲[1,2]，森本 陽介[2]，花田 匡利[2]，及川 真人[1,2]，俵 祐一[2]，矢野 雄大[2]，名倉 弘樹[2]，松本 周平[3]，東島 潮[3]，関野 元裕[3]（1.長崎大学大学院内部障害リハビリテーション学，2.長崎大学病院リハビリテーション部，3.長崎大学病院集中治療部）

SY4-5 ICUチーム・関連職種間における諸問題
横山 仁志（聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部）

2月12日（金）　14：40～15：30　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
シンポジウム5　敗血症治療にバイオマーカーは有効
座長　藤島 清太郎（慶應義塾大学病院総合診療教育センター）
SY5-1　日本版敗血症診療ガイドライン2016～定義と診断のストラテジー～
松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）
SY5-2　重症敗血症患者のサイトカイン産生能は転帰と関連する
桑名 司，伊原 慎吾，河野 大輔，杉田 篤紀，山口 順子，木下 浩作（日本大学救急医学系救急集中治療医学分野）
SY5-3　急性臓器障害を伴った感染疑い患者における血中IL-6，プロカルシトニン，プレセプシン，CRP測定の臨床的意義
高橋 和香，中田 孝明，矢崎 めぐみ，織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

2月12日（金）　16：40～17：50　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
シンポジウム6　敗血症性DICにおける抗凝固療法の位置付け
座長　山川 一馬（大阪府立急性期・総合医療センター）
山田 高成（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）
SY6-1　私が敗血症性DICを治療しない理由
岩井 健一（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター麻酔部）
SY6-2　J-SEPTIC DIC study報告
早川 峰司，齋藤 慎二郎，内野 慈彦，山川 一馬，工藤 大介，飯塚 悠祐，讃井 將満，滝本 浩平，真弓 俊彦（J-SEPTIC DIC study group）
SY6-3　AT & TM DPC解析
田上 隆（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）
SY6-4　日本版重症敗血症診療ガイドライン2016：（DIC対策班）
射場 敏明（順天堂大学医学部救急・災害医学）

2月12日（金）　15：40～17：40　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
シンポジウム7　集中治療における看護師の臨床判断能力の育成
座長　仁科 典子（大阪警察病院救命センターICU）
栗原 早苗（金沢大学附属病院看護部）
SY7-1　救急医療におけるICU看護師の臨床判断能力の育成 ―看護管理の立場から
田村 富美子（聖路加国際病院救命救急センター）
SY7-2　教室での学びを臨床で活かすために　認定看護師教育の立場から
塚原 大輔（日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程）
SY7-3　集中治療における看護師の臨床判断能力の育成現任教育を行う看護管理者の立場から
山口 弘子（名古屋大学医学部附属病院）
SY7-4　臨床現場における臨床判断能力を養うための実践指導
佐藤 みえ（東邦大学医療センター大森病院救命センター特定集中治療室）
SY7-5　MEWS（修正早期警戒システム）によるICU看護師の一般病棟での臨床判断は，院内心肺停止を減少させる
宮城 翔太，古謝 竜太，森山 めぐみ，上 恵理子，翁長 朝浩，永井 優子，渡慶次 賀博，西島 功，伊波 潔（医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部）

2月13日（土）　9：00～9：50　第1会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　ポートピアホール
シンポジウム8　専門医制度はどうあるべきか
座長　松田 兼一（山梨大学医学部救急集中治療医学講座）
SY8-1　集中治療のシミュレーショントレーニングコースの必要性に関するアンケート調査
梅井 菜央[1]，Berg Benjamin[1,2]，市場 晋吾[1]，竹田 晋浩[1]，杉田 慎二[1]，坂本 篤裕[1]（1.日本医科大学付属病院外科系集中治療科，2.University of Hawaii）
SY8-2　3つの大学病院ICUの主観的比較
足立 裕史[1]，若林 健二[1]，中沢 弘一[1]，槇田 浩史[1]，村瀬 吉郎[2,4]，松田 直之[2]，西脇 公俊[2,3]，御室 総一郎[3]，土井 松幸[3]，中島 芳樹[3]（1.東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部，2.名古屋大学医学部附属病院救急・内科系集中治療部，3.浜松医科大学医学部附属病院集中治療部，4.藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院救急部）
SY8-3　集中治療専門医によるopen ICUからclosed ICUの変更に伴う病院全体の薬剤使用量の変化
坪内 宏樹，川出 健嗣，野手 英明，仲野 実輝，鳥居 隼，橋本 慎介，高橋 伸二（一宮西病院集中治療部）

2月13日（土）　15：40～16：30　第1会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　ポートピアホール
シンポジウム9　EGDTは有効か（敗血症のEearly Goal-Directed Therapy）
座長　垣花 泰之（鹿児島大学病院救急・集中治療部）
久志本 成樹（東北大学病院高度救命救急センター）
SY9-1　EGDTは有効か？（敗血症のEarly Goal-Directed Therapy）
垣花 泰之（鹿児島大学医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野）

SY9-2　敗血症の急性期における適正な蘇生輸液とは？ ―巧遅は拙速に如かず
林下 浩士，重光 胤明，孫 麗香，山下 智也，森本 健，石川 順一，福家 顕宏，師岡 誉也，有元 秀樹，宮市 功典（大阪市立総合医療センター救命救急センター）

SY9-3　敗血症治療における経肺熱希釈法の併用に関する多施設共同研究・中間報告　TPTD-study Group
森澤 健一郎[1]，本間 洋輔[7]，津久田 純平[1]，安田 英人[2]，林下 浩士[3]，早川 桂[4]，一二三 亨[5]，真弓 俊彦[6]，藤谷 茂樹[7]，平 泰彦[1]（1.聖マリアンナ医科大学救急医学，2.武蔵野赤十字病院救命救急センター，3.大阪市立総合医療センター救命センター，4.さいたま赤十字病院，5.香川大学医学部附属病院，6.産業医科大学病院，7.東京ベイ・浦安市川医療センター）

SY9-4　敗血症性ショックに対する初期輸液反応性は何で評価可能か？
小林 誠人，杉野 貴彦，藤崎 修，前山 博輝，吉岡 崇，松井 大作，番匠谷 友紀，岡 和幸，門馬 秀介，蕪木 友則（公立豊岡病院但馬救命救急センター）

2月13日（土）　9：00～10：00　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A
シンポジウム10　敗血症の予後と血液浄化

座長　服部 友紀（名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学分野）

SY10-1　日本版重症敗血症診療ガイドライン2016（急性腎障害・血液浄化療法）
土井 研人[1]，貞広 智仁[2]，山下 千鶴[3]，中田 孝明[4]（1.東京大学医学部救急部・集中治療部，2.東京女子医科大学八千代医療センター救急科・集中治療部，3.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座，4.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

SY10-2　わが国における敗血症性AKIとCRRTの現状：DPCデータからの知見
土井 研人[1]，岩上 将夫[2]，康永 秀生[2]，矢作 直樹[1]（1.東京大学医学部救急部・集中治療部，2.東京大学大学院公共健康医学専攻臨床疫学・経済学分野）

SY10-3　Who may not benefit from continuous renal replacement therapy in acute kidney injury？
河原崎 宏雄（稲城市立病院腎臓内科）

2月13日（土）　14：40～16：40　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A
シンポジウム11　臓器連関を理解しよう

座長　山科 章（東京医科大学循環器内科）
谷口 巧（金沢大学附属病院集中治療部）

SY11-1　「脳」こそが循環動的恒常性維持システムの中枢である ～脳は心臓と会話している～
岸 拓弥（九州大学循環器病未来医療研究センター）

SY11-2　急性および慢性の心肝連関
大谷 朋仁，坂田 泰史（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）

SY11-3　臓器関連を理解しよう：心肺連関
吉田 健史（トロント大学こども病院）

SY11-4　循環器集中治療における心腎連関
佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器内科・集中治療室）

SY11-5　慢性肝疾患における肝と肺の臓器相関
丸山 紀史，横須賀 收（千葉大学大学院医学研究院消化器腎臓内科学）

SY11-6　肝腎
長澤 康行（兵庫医科大学内科学腎・透析科）

2月13日（土）　14：40～16：10　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
シンポジウム12　HFNC：小児

座長　川崎 達也（静岡県立こども病院小児集中治療センター）
三住 拓誉（神戸大学医学部附属病院集中治療部）

SY12-1　小児集中治療におけるHigh-flow nasal cannulaの臨床的意義
川口 敦（アルバータ大学小児集中治療科）

SY12-2　High-flow nasal cannula（HFNC）導入による小児呼吸不全患者に対する治療戦略の変化
福政 宏司[1]，松本 正太朗[2]，小林 徹[3]，中川 聡[2]（1.国立成育医療研究センター総合診療部救急診療科，2.国立成育医療研究センター手術・集中治療部集中治療科，3.国立成育医療研究センター臨床研究開発センター開発企画部）

SY12-3　小児における抜管後呼吸不全に対するハイフローネーザルカニューラと非侵襲的陽圧換気の検討
和田 翔，嶋岡 英輝，宇城 敦司，大塚 康義，山本 泰史，奥村 将年，岩田 博文，菅 敏晃，宮内 清司（大阪市立総合医療センター集中治療部）

SY12-4　小児の急性呼吸不全における，非侵襲的人工呼吸管理（NPPV）とNasal high flow療法（NHFT）の治療成績
林 拓也[1]，山田 香里[1]，永渕 弘之[2]（1.神奈川県立こども医療センター救急診療科，2.神奈川県立こども医療センター集中治療科）

2月13日（土） 16：10～17：40 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B

シンポジウム13 HFNC：成人

座長 川崎 達也（静岡県立こども病院小児集中治療センター）
三住 拓誉（神戸大学医学部附属病院集中治療部）

SY13-1 胸水量がHigh-flow nasal cannula療法・非侵襲的陽圧換気の失敗に与える影響
古賀 靖卓[1]，金田 浩太郎[1]，水口 市子[2]，井上 智顕[1]，中原 貴志[1]，宮内 崇[1]，藤田 基[1]，河村 宜克[1]，小田 泰崇[1]，鶴田 良介[1]（1.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター，2.小倉医療センター呼吸器内科）

SY13-2 Nasal High Flowは術後無気肺の有用な治療法になりうるか
木田 真紀，柴田 尚明，田中 真生，中島 強，山下 真史，宮本 恭兵，米満 尚史，島 幸宏，岩崎 安博，加藤 正哉（和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座）

SY13-3 抜管後呼吸不全予防におけるHigh Flow Nasal Cannula Oxygenの有効性の検討
高橋 宏之[1,4]，赤池 真奈美[2,4]，小林 利通[3,4]，川名 由浩[3]，栗山 桂一[1]，吉川 和秀[1]，植木 穣[1]，高橋 政照[1]，磯谷 栄二[1]（1.東京女子医科大学東医療センター救急医療科，2.東京女子医科大学東医療センター看護部，3.東京女子医科大学東医療センター臨床工学室，4.東京女子医科大学東医療センターRespiratory Support Team）

SY13-4 High-flow nasal cannula療法の適応と限界
紺野 大輔[1]，斎藤 浩二[2]，民井 亨[3]，星 邦彦[2]，亀山 良亘[2]，山内 正憲[3]（1.大崎市民病院麻酔科，2.東北大学病院集中治療部，3.東北大学病院麻酔科）

SY13-5 杏林大学病院における経鼻高流量酸素療法の急性期及び終末期における使用実態調査
岡野 弘，森山 潔，金井 理一郎，田口 敦子，小谷 真理子，山田 達也，萬 知子（杏林大学医学部麻酔科学教室）

2月13日（土） 8：00～8：50 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ

シンポジウム14 ショック時の初期輸液

座長 垣花 泰之（鹿児島大学病院救急・集中治療部）

SY14-1 心臓血管外科術後急性期のショックに対する輸液負荷の検討 HES or アルブミン？
大村 和也[1]，星野 哲也[1]，金尾 邦生[1]，木村 慎一[1]，佐藤 智行[2]，高橋 宏行[1]（1.済生会横浜市東部病院集中治療科，2.済生会横浜市東部病院麻酔科）

SY14-2 高流量三方活栓が導く未来 ―初期輸液療法を再考する―
山口 敬史[1,3]，土井 智喜[1,3]，六車 崇[1,3]，中村 京太[1,2,3]，森村 尚登[2,3]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学，3.横浜市立大学医学部救急医学教室）

SY14-3 急性期の輸液管理におけるBioelectrical Impedance Vector Analysisの有用性
田中 愛子[1]，Sarah Jones[1,2]，Glenn Eastwood[1]，Rinaldo Bellomo[1,3]，Johan Martensson[1,4]（1. Department of Intensive Care, Austin Hospital, Australia，2. Department of Health, Royal Darwin Hospital，3. Australian and New Zealand Intensive Care Research Centre，4. Intensive Care Medicine, Karolinska Institutet, Sweden）

SY14-4 人工呼吸管理を必要とする敗血症患者の初期輸液管理にBNPは指標となるのか ～BNPの有用性の検討～
安田 英人[1]，藤谷 茂樹[2,3]，平 泰彦[3]，森澤 健一郎[3]，本間 洋輔[2]，三浪 陽介[1]，東 秀律[1]，平山 優[1]，安達 朋宏[1]，本澤 大志[1]（1.武蔵野赤十字病院救命救急センター，2.東京ベイ・浦安市川医療センター，3.聖マリアンナ医科大学）

2月13日（土） 15：40～17：50 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ

シンポジウム15 心肺蘇生・体温管理

座長 守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター救急科）
有元 秀樹（大阪市立総合医療センター救命救急センター）

SY15-1 TTMに基づく低体温療法終了後の温度管理の介入
守谷 俊[1]，木下 浩作[2]（1.自治医科大学附属さいたま医療センター救急科，2.日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

SY15-2 心蘇生での胸骨圧迫の質と近赤外線分光法（NIRS）モニターを用いた脳脈波酸素飽和度（SnO2）の相関について
津久田 純平[1]，川口 剛史[1]，高松 由佳[1]，柳井 真知[1]，井上 哲也[1]，森澤 健一郎[1]，下澤 信彦[1]，和田 崇文[1]，藤谷 茂樹[2]，平 泰彦[1]（1.聖マリアンナ医科大学救急医学教室，2.東京ベイ浦安市川医療センター）

SY15-3 救急外来における蘇生後低酸素性脳症の神経学的予後予測法の確立に向けて
錦見 満暁，江嶋 正志，沼口 淳，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

SY15-4 Thromboelastometry（ROTEM）を用いた院外心停止症例の来院後自己心拍再開を規定する因子の検討
小網 博之，阪本 雄一郎，今長谷 尚史，八幡 真由子，梅香 満，三池 徹，永嶋 太，岩村 高志，山田 クリス孝介，井上 聡（佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター）

SY15-5 低体温療法は，来院時rSO_2値が41％～60％の中程度低酸素脳症の患者に有効である
西山 慶[1]，伊藤 賀敏[2]，辻村 有香[9]，有元 秀樹[3]，林田 敬[4]，折田 智彦[5]，別府 賢[1]，遠藤 智之[6]，安田 英人[7]，長尾 健[8]（1.国立病院機構京都医療センター救命救急センター，2.川崎幸病院，3.大阪市立総合医療センター，4.慶應大学，5.済生会横浜東部病院，6.東北大学，7.武蔵野赤十字病院，8.日本大学，9.京都大学）

SY15-6 蘇生に成功した心肺停止患者における脳血流酸素飽和度（SnO2）測定の有用性
川口 剛史[1]，森澤 健一郎[1]，津久田 純平[1]，高松 由佳[1]，柳井 真知[1]，井上 哲也[1]，下澤 信彦[1]，和田 崇文[1]，藤谷 茂樹[2]，平 泰彦[1]（1.聖マリアンナ医科大学救急医学，2.東京ベイ・浦安/市川医療センター）

SY15-7　rSO2による心肺停止患者への胸骨圧迫の質評価の可能性と必要性
安田 英人，須崎 紳一郎，勝見 敦，原 俊輔，三浪 陽介，東 秀律，平山 優，安達 朋宏，本澤 大志，岸原 悠貴（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

2月13日（土）　15：40～17：40　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
シンポジウム16　小児のARDSの特徴
座長　中川 聡（国立研究開発法人国立成育医療研究センター病院集中治療科）
内山 昭則（大阪大学医学部附属病院集中治療部）

SY16-1　小児のARDSの特徴；成人と何が異なるのか？
松本 正太朗（国立成育医療研究センター集中治療科）

SY16-2　一回換気量は6 mL/kgに制限すべきか？
竹内 宗之，文 一恵，奥田 菜緒，橘 一也（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

SY16-3　気道内圧の制限はどうするべきか　PEEPとVtのはざまで
齊藤 修，居石 崇志，渡邉 伊知郎，本村 誠，中山 祐子，新津 健裕，清水 直樹（東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部）

SY16-4　PEEPの設定
中川 聡（国立成育医療研究センター病院集中治療科）

2月13日（土）　8：00～8：50　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
シンポジウム17　敗血症と広域抗菌薬
座長　中田 孝明（千葉大学救急集中治療医学）

SY17-1　重症敗血症に対する広域抗菌薬使用の考え方
林 淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科）

SY17-2　経験的抗菌薬投与プロトコル導入による菌血症治療への影響
狩野 謙一[1]，志馬 伸朗[2]，小田 裕太[1]，藤野 光洋[1]，浜崎 幹久[1]，岡田 信長[1]，藤井 雅士[1]，田中 博之[1]，竹下 淳[1]，別府 賢[1]（1.国立病院機構京都医療センター救命救急科，2.広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

SY17-3　グラム染色を導入したVentilator-associated pneumonia（VAP）治療
木下 喬弘[1]，吉村 旬平[2]，伊藤 弘[1]，吉川 吉暁[1]，中本 直樹[1]，木口 雄之[1]，中堀 泰賢[1]，松田 宏樹[1]，久保 範明[1]，藤見 聡[1]（1.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科，2.堺市立総合医療センター外科）

2月13日（土）　14：40～16：40　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
シンポジウム18　ICUにおける院内感染対策
座長　藤谷 茂樹（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科）
志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

SY18-1　院内感染に関する重要論文5選（1年間）
柳井 真知（聖マリアンナ医科大学救急医学）

SY18-2　日本ICUでの理想的なantimicrobial stewardshipの追及 ～目指せ clean ICU～
桑名 司[1]，伊原 慎吾[1]，澤田 奈実[1]，山口 順子[1]，木下 浩作[1]，栃倉 尚広[2]（1.日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野，2.日本大学医学部附属板橋病院薬剤部）

SY18-3　ICTによる抗菌薬Stewardship
小林 敦子[1]，春藤 和代[1]，杉生 雅和[2]，石津 智司[2]，若松 雄太[2]，吉岡 睦展[2]，石村 さおり[3]，折田 環[3]（1.宝塚市立病院感染対策室，2.宝塚市立病院薬剤部，3.宝塚市立病院中央検査室）

SY18-4　抗菌薬適正使用チームが耐性菌を減らす
伊藤 雄介，佐藤 光則，川崎 達也（静岡県立こども病院小児集中治療科）

SY18-5　感染制御の視点から見たPeripherally inserted central catheters（PICCs）の可能性
舩越 拓，藤谷 茂樹（東京ベイ・浦安市川医療センター）

SY18-6　中心静脈カテーテル関連血流感染症予防のために ～クロルヘキシジン v. ポビドンヨード～
安田 英人[1,2]，讃井 將満[2]，小室 哲哉[2]，畠山 淳司[2]，松窪 将平[2]，河野 真二[2]，山本 泰史[2]，安藤 幸吉[2]，瀬尾 龍太郎[2]，志馬 伸朗[2]（1.武蔵野赤十字病院救命救急センター，2.日本集中治療教育研究会）

SY18-7　PICC論文
森兼 啓太（山形大学医学部附属病院検査部・感染制御部）

SY18-8　VAEサーベイランス，VACデータ管理の感染症管理応用
高倉 俊二（京都大学医学部附属病院感染制御部）

SY18-9　VAPの予防
林 淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科）

SY18-10　人工呼吸器関連肺炎の予防を目的とした経口挿管患者に対するディスポーザブル口腔ケアキットの有用性
門井 謙典[1,4]，岸本 裕充[1]，木崎 久美子[2]，藁田 希世和[3]，岡崎 理絵[3]，坂田 寛之[4]，宮脇 淳志[4]，小谷 穣治[4]（1.兵庫医科大学歯科口腔外科学講座，2.兵庫医科大学病院歯科口腔外科，3.兵庫医科大学病院救命救急センター，4.兵庫医科大学救急・災害医学講座）

2月13日（土） 14：40～16：40 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
シンポジウム19 特定行為に係る看護師の研修制度の実際と課題
座長 鈴木 智恵子（日本医科大学付属病院看護部）
伊藤 明子（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

SY19-1 特定行為に係る看護師の研修制度について
山口 道子（厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室）

SY19-2 自治医科大学看護師特定行為研修センターの取り組み
村上 礼子（自治医科大学看護師特定行為研修センター）

SY19-3 特定行為研修制度を包含した大学院の診療看護師教育について ～循環器関連中心に～
松月 みどり（愛知医科大学看護学部クリティカルケア看護学）

SY19-4 特定行為に係る看護師研修制度の実際と課題 ―日本看護協会看護研修学校が実施する特定行為研修―
中田 諭（日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程集中ケア学科）

2月13日（土） 9：00～10：00 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
シンポジウム20 早期離床を推進する
座長 間瀬 教史（甲南女子大学理学療法学科）

SY20-1 術後回復促進策による早期離床の試み ―周術期を通した工夫による食道がん術後1日目からの100m歩行の実現―
谷口 英喜[1,2]，尾形 高士[3]，高野 修身[2]（1.神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科，2.神奈川県立がんセンター麻酔科，3.神奈川県立がんセンター消化器外科）

SY20-2 当院における早期離床プログラム ―急性B型解離100例の早期合併症および遠隔期予後―
中村 健，内田 徹郎，浜崎 安純，中井 信吾，中橋 健太，舩田 敏子，林 潤，山下 淳，五味 聖吾，貞弘 光章（山形大学医学部第二外科）

SY20-3 救命救急センターにおける早期離床に向けた取り組みと今後の課題
海田 賢彦，加藤 聡一郎，庄司 高裕，宮内 洋，樽井 武彦，山田 賢治，山口 芳裕（杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター）

SY20-4 当院ER-ICUにおける人工呼吸器管理患者に対する早期リハビリテーションの効果
永井 佑典[1]，篠崎 正博[2]（1.岸和田徳洲会病院リハビリテーション科，2.岸和田徳洲会病院救命救急センター）

SY20-5 小児ICUにおける早期リハビリテーションの効果と課題
稲元 未来[1]，壷井 伯彦[2]，林 健一郎[2]，上久保 毅[3]，並木 亮[3]，金子 節志[1]，江藤 瑞貴[1]，福原 由香[1]（1.国立成育医療研究センター看護部，2.国立成育医療研究センター集中治療科，3.国立成育医療研究センターリハビリテーション科）

2月13日（土） 15：40～17：10 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
シンポジウム21 Post Intensive Care Syndrome
座長 長谷川 隆一（水戸協同病院救急集中治療科）

SY21-1 集中治療室入室患者の妄想的記憶や記憶の欠落の実態とその要因
山口 貴子，菊池 美穂，加藤 由，石川 秀一，月岡 悦子，福永 ヒトミ（日本医科大学武蔵小杉病院）

SY21-2 心臓血管外科患者のストレスと術後認知機能低下およびICU滞在日数の関係
井上 正隆[1]，入江 博之[2]，池淵 正彦[2]，手嶋 英樹[2]，谷脇 和歌子[3]，池田 光徳[1]（1.高知県立大学看護学部，2.近森会近森病院心臓血管外科，3.近森会近森病院看護部）

SY21-3 ICU入室患者の妄想的記憶と退院後の生活についての調査
藤田 知幸[1]，高橋 徹[2]（1.岡山赤十字病院，2.岡山県立大学保健福祉学部）

SY21-4 人工呼吸患者におけるせん妄発症と妄想的記憶の関連
吉野 靖代[1]，卯野木 健[1]，櫻本 秀明[1]，大内 玲[1,2]，星野 晴彦[1,2]，松石 雄二朗[1,2]，丸島 愛樹[3]，水谷 太郎[1,2]（1.筑波大学附属病院ICU，2.筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻，3.筑波大学附属病院救急・集中治療部）

2月13日（土） 8：00～9：50 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
シンポジウム22 Systematic reviewを行うときの問題点と解決法
座長 江木 盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）
森崎 浩（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）
コメンテーター 森 臨太郎（国立成育医療研究センター政策科学研究部）

SY22-1 メタ解析：閉鎖式気道吸引は人工呼吸器関連肺炎の発症予防に関連あるか？
栗山 明[1]，藤永 潤[1]，馬越 紀行[1]，髙田 忠明[2]（1.倉敷中央病院総合診療科，2.浦添総合病院救命救急センター）

SY22-2 重症急性膵炎における蛋白分解酵素阻害薬の動注療法に関するシステマティックレビュー
堀部 昌靖[1]，江木 盛時[2]，佐々木 満仁[3]，讃井 將満[4]（1.慶應義塾大学医学部内科学（消化器内科），2.神戸大学医学部附属病院麻酔科，3.国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科，4.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部）

SY22-3 Recombinant human soluble thrombomodulin in severe sepsis: a systematic review and meta-analysis
山川 一馬[1,2]（1.大阪府立急性期・総合医療センター高度救命救急センター，2.大阪大学医学部生体統御医学救急医学講座）

SY22-4　Timing of tracheostomy in ICU patients: a systematic review of randomized controlled trials
細川 康二（京都府立医科大学麻酔科学）

2月14日（日）　8：00～9：50　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
シンポジウム23　Post Cardiac Arrest Syndrome
座長　久保山 一敏（兵庫医科大学病院救急・災害医学）
金子 唯（熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部）

SY23-1　当院における小児心停止後症候群の現状と課題について
大平 智子，武藤 雄一郎，小原 隆史，三浦 義文，市坂 有基，平井 克樹（熊本赤十字病院こども医療センター）

SY23-2　小児心停止後症候群（PCAS）における予後予測因子の検討
其田 健司[1]，井手 健太郎[1]，壷井 伯彦[1]，青木 智史[1]，小林 徹[2]，西村 奈穂[1]，中川 聡[1]（1.成育医療研究センター集中治療科，2.成育医療研究センター臨床研究開発センター開発企画部）

SY23-3　心停止後症候群における転帰予測：対光反射測定による脳幹機能評価の有用性
横堀 將司[1,2]，山口 昌紘[1,2]，五十嵐 豊[1,2]，恩田 秀賢[1,2]，桑本 健太郎[1,2]，荒木 尚[1,2]，増野 智彦[1,2]，布施 明[1,2]，横田 裕行[1,2]（1.日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野，2.日本医科大学付属病院救命救急科）

SY23-4　心停止蘇生後におけるaEEGを用いた神経学的予後予測モデルの検討
杉山 和宏，柏浦 正広，明石 暁子，田邉 孝大，重城 未央子，山岸 利暢，横山 太郎，湯川 高寛，濱邊 祐一（東京都立墨東病院救命センター）

SY23-5　心肺停止蘇生後の人工呼吸管理におけるConservative oxygen therapyの効果
田中 愛子[1]，Glenn Eastwood[1,2,3]，Rinaldo Bellomo[1,2]（1. Department of Intensive Care, Austin Hospital, Australia, 2. Australian and New Zealand Intensive Care Research Centre, 3. School of Nursing and Midwifery, Deakin University）

SY23-6　院外心停止後患者に対する水素ガス吸入療法の実行可能性と安全性
多村 知剛[1]，林田 敬[1]，鈴木 昌[1]，佐野 元昭[2]，渋沢 崇行[1]，吉澤 城[1]，小林 陽介[1]，太田 成男[3]，福田 恵一[2]，堀 進悟[1]（1.慶應義塾大学医学部救急医学教室，2.慶應義塾大学医学部循環器内科，3.日本医科大学大学院医学研究科加齢科学系専攻細胞生物学分野）

SY23-7　心肺機能停止蘇生術後の抜管困難症となる要因の検討
柳川 洋一，日域 佳，小日向 麻里子，吉澤 俊彦，小畑 宏介，石川 浩平，大坂 裕通，大出 靖将（順天堂大学静岡病院救急診療科）

2月14日（日）　9：00～10：10　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
シンポジウム24　肺血栓塞栓症治療　最前線
座長　中尾 浩一（済生会熊本病院循環器内科）

SY24-1　広範型肺血栓塞栓症への治療戦略
山本 剛（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科）

SY24-2　慢性血栓塞栓性肺高血圧症治療の最前線
松原 広己（国立病院機構岡山医療センター循環器内科）

SY24-3　急性広範型肺塞栓症に対する外科的アプローチ
福田 幾夫（弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科）

2月14日（日）　9：00～10：50　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
シンポジウム25　先天性心疾患の全身管理
座長　戸田 雄一郎（川崎医科大学麻酔・集中治療医学）
橘 一也（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

SY25-1　先天性心疾患の全身管理 呼吸・循環相互作用
徳平 夏子（京都府立医科大学付属病院集中治療部）

SY25-2　先天性心疾患術後のLOSの評価について　ScvO2，LacとともにCO2 gapは有効な指標となり得るか
赤松 貴彬，橘 一也，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

SY25-3　先天性心疾患の全身管理　LOSの治療 ―その考え方と実際
大崎 真樹，齋藤 千徳，粒良 昌弘，三浦 慎也，中野 諭，濱本 奈央（静岡県立こども病院循環器集中治療科）

SY25-4　CHD術後のAKI
杉本 健太郎[1]，戸田 雄一郎[2]，清水 一好[1]，末盛 智彦[1]，金澤 伴幸[1]，野々村 智子[1]，川瀬 宏和[1]，塩路 直弘[1]，黒江 泰利[1]，岩崎 達雄[1]（1.岡山大学病院麻酔科蘇生科，2.川崎医科大学麻酔・集中治療医学）

2月14日（日）　9：00～9：50　第12会場　神戸国際展示場2号館 2F　2A会議室
シンポジウム26　Frailの問題点と取り組み
座長　西 信一（兵庫医科大学病院ICU）

SY26-1　フレイルの課題と対策
荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

SY26-2　集中治療領域における早期フレイル対策
飯田 有輝（JA愛知厚生連海南病院リハビリテーション科）

SY26-3　当院におけるフレイルの評価と対策

岡田 大輔[1], 中村 通孝[2], 西上 和宏[2](1.済生会熊本病院リハビリテーション部, 2.済生会熊本病院集中治療室)

シンポジウム（合同企画）

2月13日（土） 9：00～10：50 第5会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F サファイア

シンポジウム（合同企画）1 急性心不全国際会議：Topics of acute heart failure: the patient with AHF on the ICU/CCU

座長 佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器内科・集中治療室）
Mebazaa A（Department of Anesthesia and Critical care, University of Paris Diderot, France）

JS1-1 Asian acute heart failure guidance
Sato N（Cardiology and Intensive Care Unit, Nippon Medical School Musashi-Kosugi Hospital, Japan）

JS1-2 Organ damage in acute heart failure
Mebazaa A（Department of Anesthesia and Critical care, University of Paris Diderot, France）

JS1-3 For Respiratory support in AHF
Masip J（Department of Intensive Care Medicine, University of Barcelona, Spain）

JS1-4 Acute efficacy and safety of vasodilators (carperitide or nicorandil) in patients hospitalized for acute decompensated heart failure
Kajimoto K（Division of Cardiology, Sekikawa Hospital, Tokyo, Japan）

2月13日（土） 9：00～10：50 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F トパーズ

シンポジウム（合同企画）2 蘇生ガイドラインはこう変わった

座長 黒田 泰弘（香川大学医学部附属病院救命救急センター）
笠岡 俊志（熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部）

JS2-1 蘇生ガイドライン2015の概要 ―GRADEシステムの活用
野々木 宏（静岡県立総合病院）

JS2-2 蘇生ガイドライン2015 ―ACS概説
野々木 宏（静岡県立総合病院）

JS2-3 一次救命処置
坂本 哲也（帝京大学医学部救急医学講座）

JS2-4 JRCガイドライン2015 ALSのupdate
相引 眞幸（愛媛大学大学院医学系研究科救急医学分野）

JS2-5 普及・教育のための方策（EIT）
加藤 啓一[1]，漢那 朝雄[2]，石見 拓[3]（1.日本赤十字社医療センター麻酔科，2.帝京大学福岡医療技術学部医療技術学科，3.京都大学環境安全保健機構健康管理部門／附属健康科学センター）

JS2-6 今後の課題
田原 良雄（国立循環器病研究センター心臓血管内科部門）

パネルディスカッション

2月12日（金） 15：40～17：40　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド

パネルディスカッション1　急性脳症

座長　植田 育也（埼玉県立小児医療センター集中治療室・救急準備担当）
平井 克樹（熊本赤十字病院こども医療センター）

PD1-1　小児急性脳症補助治療に対するスコービングレビュー（プロトコル）
青山和由[1]，椎間 優子[2]（1.トロント大学トロント小児病院麻酔科，2.兵庫県立こども病院小児救急医療センター救急科）

PD1-2　Glasgow Coma Scaleによるけいれん重積型脳症の早期診断
天笠 俊介[1]，松井 彦郎[1]，宮本 和[1]，染谷 真紀[1]，佐藤 公則[1]，黒坂 了正[1]，北村 真友[1]，笠井 正志[1]，福山 哲広[2]（1.長野県立こども病院小児集中治療科，2.長野県立こども病院神経小児科）

PD1-3　小児けいれん重積型脳症に対するICU治療とサイトカイン・ケモカイン
野坂 宜之[1]，畑山 一貴[1]，クナウプ 絵美里[2]，塚原 紘平[2]，氏家 良人[2]，森島 恒雄[1]（1.岡山大学大学院小児医科学，2.岡山大学病院高度救命救急センター）

PD1-4　小児急性脳症の治療と予後の検討 ―当院における方針の決定と治療の変遷―
三浦 義文，平井 克樹，小原 隆史，市坂 有基，大平 智子，武藤 雄一郎（熊本赤十字病院小児科）

PD1-5　当院PICUで経験したけいれん重積型脳症の検討
金沢 貴保，川崎 達也，伊藤 雄介，菊地 斉（静岡県立こども病院小児集中治療科）

PD1-6　小児急性脳症の多施設後方視的検討
平井 克樹（熊本赤十字病院小児科）

2月12日（金） 15：40～17：10　第11会場　神戸国際展示場1号館 2F　2B展示室

パネルディスカッション2　敗血症関連脳症

座長　内野 博之（東京医科大学病院麻酔科学分野）
木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

PD2-1　敗血症関連脳症の病態生理
内野 博之，千々岩 みゆき，原 直美（東京医科大学医学部麻酔科学分野）

PD2-2　高齢者における敗血症性脳症の病態とその対策
井上 茂亮[1]，日上 滋雄[1]，杉田 真理子[1]，猪口 貞樹[2]（1.東海大学医学部付属八王子病院，2.東海大学医学部外科学系救命救急医学）

PD2-3　敗血症関連脳症は脳波でとらえられるか？ システマティック・レビュー
細川 康二（京都府立医科大学麻酔科学）

PD2-4　敗血症関連脳症に対する神経モニタリング
伊原 慎吾，櫻井 淳，平林 茉莉奈，小松 智英，杉田 篤紀，山口 順子，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

PD2-5　敗血症患者における睡眠脳波モニタリング
藤田 基[1]，宮内 崇[2]，小田 泰崇[1]，鶴田 良介[1,2]（1.山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野，2.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター）

2月13日（土） 8：00～9：30　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南

パネルディスカッション3　ICUクリニカルラダーを用いた人材育成

座長　伊藤 聡子（神戸市立医療センター中央市民病院看護部）
橋本 良子（岩手医科大学附属病院看護部）

PD3-1　クリニカルラダー導入に向けた教育体制の構築
植村 桜，宮原 聡子，松村 京子，木村 千穂，川口 なぎさ（地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター）

PD3-2　ICU看護師の実践能力の維持向上のためのICUクリニカルラダー作成導入と活用について
當麻 麻美（独立行政法人国立病院機構東広島医療センター）

PD3-3　病院看護部のクリニカルラダーシステムと連動させた“ICUチェックリスト”導入の効果
佃 順子，山本 貴子（大阪大学医学部附属病院集中治療部）

PD3-4　キャリアラダーと部署クリニカルラダーを基盤とした人材育成の取り組み
中山 志津（徳島大学病院看護部）

PD3-5　終末期医療の選択にかかわる患者・家族に対し倫理的行動がとれるICU看護師の育成
高岡 勇子（北海道大学病院ICU救急部ナースセンター）

ワークショップ

2月12日（金） 15：10～16：10 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール

ワークショップ1 患者重症度評価に何が必要か

座長 藤谷 茂樹（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科）

WS1-1 患者重症度評価のためのデータ収集方法
林田 賢史（産業医科大学病院医療情報部）

WS1-2 “患者重症度評価に何が必要か”と“なぜ患者重症度評価が必要か”
土手 健太郎，池宗 啓蔵，出崎 陽子（愛媛大学医学部付属病院集中治療部）

WS1-3 患者重症度評価に何が必要か
内野 滋彦（東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部）

2月12日（金） 15：40～17：40 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ

ワークショップ2 Post-Intensive Care Syndrome

座長 布宮 伸（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院集中治療部）

WS2-1 Post-Intensive Care Syndrome
山下 幸一（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

WS2-2 長期アウトカム評価におけるエビデンス構築の困難さ
福家 良太（北摂総合病院呼吸器内科）

WS2-3 ICU退室患者の妄想的記憶
卯野木 健[1]，吉野 靖代[1,2]（1.筑波大学附属病院集中治療室，2.筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻）

WS2-4 大切な家族員が集中治療を受けることによる家族への長期的影響
立野 淳子（一般社団法人平成紫川会小倉記念病院）

2月12日（金） 15：40～17：40 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室

ワークショップ3 臨床研究を始めよう

座長 讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

WS3-1 臨床研究のネタを見つけるには？
江木 盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

WS3-2 I have a good clinical question and passion to test it: how can I start?
Saxena M（Department of Intensive Care Medicine, St. George Hospital, Australia）

WS3-3 統計解析は研究計画の段階で立てよう
新谷 歩（大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学）

WS3-4 臨床研究を行う際のデータベースの作成法
鈴木 聡（岡山大学病院集中治療部）

WS3-5 多施設ランダム化比較試験を計画実行して見えたこと
安田 英人[1,2]，讃井 將満[2]，小室 哲哉[2]，畠山 淳司[2]，松窪 将平[2]，河野 真二[2]，山本 泰史[2]，安藤 幸吉[2]，瀬尾 龍太郎[2]，志馬 伸朗[2]（1.武蔵野赤十字病院救命救急センター，2.日本集中治療教育研究会）

2月13日（土） 9：40～10：50 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南

ワークショップ4 集中治療から始める地域連携・在宅支援

座長 道又 元裕（杏林大学医学部附属病院看護部）

WS4-1 ICUから在宅を考える
鎌田 あゆみ（千葉県済生会習志野病院集中管理室）

WS4-2 集中治療から始める地域連携・在宅支援 ～看護専門外来における役割～
山岡 綾子（兵庫医科大学病院）

WS4-3 ICUから始める社会復帰への移行とtransition of care
Shigemitsu H（Division of Pulmonary & Critical Care Medicine, University of Nevada School of Medicine, Las Vegas, Nevada, USA）

WS4-4 当院における早期リハビリテーションの現状とICU退室後の長期的予後改善への取り組み
渡辺 伸一[1,2]，櫻木 聡[1]，金谷 貴洋[1]，大野 美香[2]，森田 恭成[2]，鈴木 秀一[2]，染矢 富士子[3]（1.国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科，2.国立病院機構名古屋医療センター集中治療科，3.金沢大学大学院医薬保健研究域保健学系）

WS4-5 地域連携における薬剤師のかかわり
三浦 幹剛（帝京大学ちば総合医療センター薬剤部）

2月14日（日） 10：15～11：00 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
ワークショップ5 編集委員会企画 看護研究

コーディネーター 藤井 玲子（岡山大学病院看護部）
大江 理英（大阪警察病院看護部）
櫻井 文乃（聖路加国際大学看護学部）

WS5 論文が学会誌に掲載されるまでの道のり ―査読者はこうみる―
高島 尚美[1]，藤井 玲子[2]，大江 理英[3]，櫻井 文乃[4]（1.東京慈恵会医科大学医学部看護学科，2.岡山大学病院，3.大阪警察病院，4.聖路加国際大学）

2月14日（日） 8：30～10：00 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
ワークショップ6 はじめてのメタ解析，システマティックレビュー

座長 武居 哲洋（横浜市立みなと赤十字病院集中治療部）
讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

WS6-1 総論：システマティックレビューの概念，批判的吟味
南郷 栄秀（東京北医療センター総合診療科）

WS6-2 実例で学ぼう1：腹臥位療法
福田 龍将（東京大学大学院医学系研究科救急医学）

WS6-3 実例で学ぼう2：EGDT
中島 幹男（都立広尾病院救命救急センター）

WS6-4 新しい概念：ネットワークメタ解析，メタリグレッション
笹渕 裕介（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学）

Pro-Con

2月12日（金） 9：00～9：50 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館 1F 大輪田A

Pro-Con 1 VCV vs. PCV

座長 川前 金幸（国立大学法人山形大学医学部附属病院麻酔科）

PC1-1 Pro-Con VCV vs. PCV “VCV”

瀬尾 龍太郎（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

PC1-2 PCVの方がVCVより安全・快適である

今中 秀光（徳島大学病院ER災害医療診療部）

2月12日（金） 8：30～9：10 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館 1F 大輪田C

Pro-Con 2 電気刺激療法：muscle wastingを予防する

座長 讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

PC2-1 電気刺激療法：muscle wastingを予防する，Pro

神谷 健太郎（北里大学病院リハビリテーション部）

PC2-2 ICUにおける電気刺激療法の適用について

岩田 健太郎[1,2]，井澤 和大[2]，西原 浩真[1]，坂本 裕規[1,2]，朱 祐珍[3]，瀬尾 龍太郎[3]，北井 豪[4]（1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部，2.神戸大学大学院保健学研究科，3.救急部，4.循環器内科）

2月12日（金） 9：10～9：50 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館 1F 大輪田C

Pro-Con 3 電気刺激療法：循環 / 代謝への影響

座長 齋藤 伸行（日本医科大学千葉北総病院救急センター）

PC3-1 ICUリハビリテーションにおける神経筋電気刺激療法の安全性と有効性

岩津 弘太郎[1]，飯田 有輝[2]，河野 裕治[3]，小林 聖典[4]，山崎 武則[5]，貝沼 関志[6]，碓氷 章彦[7]，山田 純生[8]（1.国家公務員共済組合連合会枚方公済病院リハビリテーション科，2.愛知厚生連海南病院リハビリテーション科，3.藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院リハビリテーション部，4.名古屋大学医学部附属病院医療技術部リハビリ部門，5.愛知厚生連海南病院心臓血管外科，6.名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部，7.名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科学，8.名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻）

PC3-2 電気刺激療法：循環 / 代謝への影響

花田 匡利[1]，森本 陽介[1]，及川 真人[1]，俵 祐一[1]，矢野 雄大[1]，名倉 弘樹[1]，関野 元裕[2]，松本 周平[2]，東島 潮[2]，神津 玲[1,3]（1.長崎大学病院リハビリテーション部，2.長崎大学病院集中治療部，3.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内部障害リハビリテーション学）

2月12日（金） 9：00～9：50 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F トパーズ

Pro-Con 4 成人ICU患者の鎮静にベンゾジアゼピンはもはや不要か？

座長 今中 翔一（帝京大学医学部附属病院薬剤部）

PC4-1 成人ICU患者の鎮静にベンゾジアゼピンはもはや不必要である？

吾妻 俊弘（東北大学大学院医学系研究科麻酔科学・周術期医学分野）

PC4-2 ベンゾジアゼピンは使わざるを得ない場合と，使いたい場合がある

加藤 正哉，宮本 恭兵（和歌山県立医科大学医学部救急集中治療医学講座）

2月12日（金） 9：00～9：30 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F エメラルド

Pro-Con 5 鎮静中断 VS 中断しない

座長 志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

PC5-1 小児領域での鎮静中断 ～小児だからこそ，あえて 鎮静中断～

伊東 幸恵，川崎 達也（静岡県立こども病院小児集中治療科）

PC5-2 小児人工呼吸患者の鎮静中断を行う前に解決すべき問題点

小山 英彦，橘 一也，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

2月12日（金） 9：30～10：00 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F エメラルド

Pro-Con 6 血液培養小児で2セットVS1セット

座長 志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

PC6-1 重症小児診療では血液培養を2セット

岡田 広（松戸市立病院小児医療センター小児集中治療科）

PC6-2 こどもではしっかりとれば1セットで良い。実際ほとんどが1セット

笠井 正志（兵庫県立こども病院小児感染症科）

2月12日（金） 8：30～9：20 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
Pro-Con 7 敗血症に対する血液浄化療法 sepXiris VS. PMX
座長 岡本 一彦（日本大学病院臨床工学室）
PC7-1 敗血症に対する血液浄化方法 sepXiris
小橋 秀一（八戸市立市民病院臨床工学科）
PC7-2 敗血症に対する血液浄化療法：PMX
神戸 幸司（小牧市民病院臨床工学科）

2月13日（土） 8：00～8：50 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
Pro-Con 8 集中治療専門医は super-specialty
座長 福岡 敏雄（倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター）
PC8-1 集中治療専門医は，Super-specialty？
藤谷 茂樹（東京ベイ浦安市川医療センター）
PC8-2 集中治療専門医はsubspecialtyである
坂本 哲也（帝京大学医学部救急医学講座）

2月13日（土） 9：00～9：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
Pro-Con 9 High-flow nasal cannula 酸素療法 VS. NPPV
座長 橘 一也（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）
PC9-1 High-flow nasal cannula酸素療法
岡原 修司（岡山大学病院麻酔科蘇生科）
PC9-2 NPPV
竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院）

2月13日（土） 8：00～8：50 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
Pro-Con 10 筋弛緩薬を用いた人工呼吸管理は重症 ARDS に必要である
座長 橋本 悟（京都府立医科大学附属病院集中治療部）
PC10-1 筋弛緩薬を用いた人工呼吸管理は重症ARDSに必要である，Pro
吉田 健史（トロント大学こども病院）
PC10-2 筋弛緩薬を用いた人工呼吸管理は重症ARDSに必要である，Con
讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部）

2月13日（土） 14：40～15：30 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ
Pro-Con 11 脳保護のための低体温療法
座長 黒田 泰弘（香川大学医学部附属病院救命救急センター）
PC11-1 Hypothermia for brain protection, Pro
Saxena M（Department of Intensive Care Medicine, St. George Hospital, Australia）
PC11-2 脳保護のための低体温；CON
江木 盛時（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

2月13日（土） 9：00～9：50 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
Pro-Con 12 重症患者には経静脈栄養 or 経腸栄養
座長 小畠 久和（堺市立総合医療センター集中治療科）
PC12-1 重症患者には経静脈栄養
井上 善文（大阪大学栄養ディバイス未来医工学共同研究部門）
PC12-2 重症患者には経腸栄養
矢田部 智昭（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

2月13日（土） 14：40～15：30 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
Pro-Con 13 重症患者へのカロリー投与は Full vs. Under
座長 松田 兼一（山梨大学医学部救急集中治療医学講座）
PC13-1 重症患者へのカロリー投与は十分に：Pro
中村 智之，西田 修，原 嘉孝，山下 千鶴，柴田 純平，早川 聖子，河田 耕太郎，内山 壮太，幸村 英文，栗山 直英（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）
PC13-2 重症患者のカロリー投与は少なめに ―permissive underfeedingの効果―
堤 理恵（徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野）

ケースカンファレンス

2月13日（土） 8：00～9：00　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア

ケースカンファレンス　この患者の循環管理と呼吸管理をどう考える？ ―循環器医と集中治療医の管理はどう違う？―

座長　小谷 透（東京女子医科大学病院麻酔科・中央集中治療部）

佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器内科・集中治療室）

CC1　循環器医＆集中治療医の最強タッグを目指して ―症例に学ぶ―

高木 宏治（日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科）

委員会報告

2月12日（金） 16：20～17：20 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
委員会報告1 JIPAD ICU機能評価委員会
座長 橋本 悟（京都府立医科大学附属病院集中治療部）

CR1 JIPAD update 2016
内野 滋彦[1]，橋本 悟[2]（1.東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部，2.京都府立医科大学附属病院集中治療部）

2月12日（金） 9：30～10：50 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
委員会報告2 臨床工学技士：業務検討委員会 集中治療室の臨床工学技士24時間常駐体制 その後の検証 ～何が変わったのか？これから何をすべきか？～
座長 原田 俊和（熊本大学医学部附属病院ME機器センター）
相嶋 一登（横浜市立市民病院臨床工学部）

CR2-1 集中治療室における臨床工学技士業務の実態調査報告 ―第2報―
宗万 孝次，松山 法道，原田 俊和，吉岡 淳，中村 充輝，松田 真太郎，木村 政義，加納 隆（日本集中治療医学会臨床工学部会集中治療業務検討小委員会）

CR2-2 多施設研究による臨床工学技士24時間勤務体制の有用性の検討
森實 雅司[1,2]（1.済生会横浜市東部病院臨床工学部，2.日本集中治療教育研究会CE部会）

CR2-3 特定集中治療室管理料は臨床工学技士の集中治療室業務を減退させる？
吉岡 淳，石山 智之，斎藤 大樹（山形大学医学部附属病院臨床工学部）

2月13日（土） 10：00～12：00 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
委員会報告3 各国の専門医制度，教育プログラムと日本集中治療医学会の教育プログラム
座長 西 信一（兵庫医科大学病院ICU）
松田 兼一（山梨大学医学部救急集中治療医学講座）

CR3-1 Education Program in My Country（ESICM）
De Backer D（Department of Intensive Care, CHIREC Hospitals, Université Libre de Bruxelles, Brussels, Belgium）

CR3-2 Education Program in My country（ANZICS）
Saxena M（Department of Intensive Care Medicine, St. George Hospital, Australia）

CR3-3 Education Program in My Country（KSCCM）
Kim DC（Department of Anesthesiology & Pain Medicine, Chonbuk National University Medical School, Korea）

CR3-4 日本における集中治療専門医制度
松田 兼一（日本集中治療医学会専門医制度・審査委員会委員長/山梨大学医学部救急集中治療医学講座）

CR3-5 PICU教育
植田 育也（埼玉県立小児医療センター集中治療室・救急準備担当）

CR3-6 集中治療専門医像のパラダイムシフトに相応した教育プログラムの更新について
貝沼 関志，橋本 悟，松田 兼一，六車 崇，斎藤 憲輝，七戸 康夫，坂本 照夫，水谷 太郎，安宅 一晃，佐藤 直樹（日本集中治療医学会教育委員会）

2月13日（土） 16：40～17：05 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
委員会報告4 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会
座長 松嶋 麻子（名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学）

CR4-1 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成の概要
西田 修，小倉 裕司，井上 茂亮，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，松嶋 麻子，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

CR4-2 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016 作成の流れ
松嶋 麻子，西田 修，小倉 裕司，井上 茂亮，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

CR4-3 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016における推奨設定方法
山川一馬，西田 修，小倉 裕司，江木 盛時，松嶋 麻子，井上 茂亮，角 由佳，林田 敬，福田 龍将，安田 英人，原 嘉孝，松田 明久，矢田部 智昭，山下 和人，坂本 壮，近藤 豊，櫻谷 正明，射場 敏明，今泉 均，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

2月13日（土） 8：20～8：50 第7会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F エメラルド
委員会報告5 小児集中治療委員会
座長 竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）

CR5-1 PICUの現状 全国調査報告
小泉 沢[1,2]，竹内 宗之[2]，中川 聡[2]，植田 育也[2]，清水 直樹[2]，多賀 直行[2]，平井 克樹[2]，戸田 雄一郎[2]，志馬 伸明[2]（1.宮城県立こども病院集中治療科，2.小児集中治療委員会）

CR5-2 小児集中治療室での長期滞在患者の多施設実態調査
竹内 宗之[1,2]，志馬 伸朗[2]，植田 育也[2]，小泉 沢[2]，清水 直樹[2]，多賀 直行[2]，戸田 雄一郎[2]，中川 聡[2]，平井 克樹[2]（1.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科，2.日本集中治療医学会小児集中治療委員会）

2月13日（土） 17：40～18：00 第8会場 神戸ポートピアホテル 南館 B1F ダイヤモンド
委員会報告6 人工呼吸器関連事象検討委員会
座長 多治見 公高（秋田労災病院）

CR6 人工呼吸関連事象
今井 寛[1,2]，中橋 奨[1]（1.三重大学医学部附属病院救命救急センター，2.日本集中治療医学会人工呼吸関連事象委員会）

2月13日（土） 8：00～8：50 第11会場 神戸国際展示場1号館 2F 2B展示室
委員会報告7 早期リハビリテーション検討委員会
「早期リハビリテーション ～根拠に基づいたエキスパートコンセンサス～」経過報告
座長 西田 修（藤田保健衛生大学病院麻酔・侵襲制御医学講座）
高橋 哲也（東京工科大学医療保健学部）

CR7-1 早期リハビリテーションに関する多施設アンケート調査報告
小幡 賢吾[1,2]，安藤 守秀[2]，飯田 有輝[2]，尾崎 孝平[2]，神津 玲[2]，小松 由佳[2]，高橋 哲也[2]，山下 康次[2]，西田 修[3]（1.岡山赤十字病院リハビリテーション科，2.日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会，3.日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会担当理事）

CR7-2 早期リハビリテーションエキスパートコンセンサス，呼吸器系のCQとコンセンサスについて
安藤 守秀[1]，神津 玲[2]，横山 仁志[3]，有薗 信一[4]，花田 匡利[5]（1.大垣市民病院呼吸器内科，2.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻，3.聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部，4.聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部理学療法学科，5.長崎大学病院リハビリテーション部）

CR7-3 「早期リハビリテーション：根拠に基づいたエキスパートコンセンサス」について ～理学療法士の立場から～
山下 康次[1,2]，安藤 守秀[2]，飯田 有輝[2]，尾崎 孝平[2]，小幡 賢吾[2]，神津 玲[2]，小松 由佳[2]，高橋 哲也[2]，西田 修[2]（1.市立函館病院中央医療技術部リハビリ技術科，2.日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会）

2月13日（土） 15：40～17：40 第13会場 神戸国際展示場2号館 3F 3A会議室
委員会報告8 日本からevidenceを発信しよう
座長 笠岡 俊志（熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部）
コメンテーター 新谷 歩（大阪大学大学院医学系研究科臨床統計疫学）

CR8-1 プロテアーゼインヒビターの持続的局所動注療法は重症急性膵炎に対して効果を認めなかった
堀部 昌靖[1]，佐々木 満仁[2]，讃井 將満[3]，杉山 大典[4]，岩崎 栄典[1]，澤野 宏隆[5]，後藤 隆司[6]，池浦 司[7]，金井 隆典[1]，真弓 俊彦[8]（1.慶應義塾大学医学部内科学（消化器内科），2.国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科，3.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部，4.慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学，5.大阪府済生会千里病院千里救命救急センター，6.広島市立広島市民病院麻酔集中治療科，7.関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科），8.産業医科大学救急医学講座）

CR8-2 NEuromuscular pathology in CRitically ill patients: an autOPSY study: “NECROPSY study”
武居 哲洋，畠山 淳司（横浜市立みなと赤十字病院集中治療部）

CR8-3 人工呼吸療法に関する疫学研究
齋藤 伸行[1]，讃井 将満[2]（1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター，2.自治医科大学さいたま医療センター集中治療部）

CR8-4 人工呼吸患者における酸素投与に関する多施設観察研究（ABOVE study）のPreliminary resultの報告
ABOVE study investigators（ABOVE study）

CR8-5 集中治療のシミュレーショントレーニングコースの必要性に関するアンケート調査
梅井 菜央[1]，Berg Benjamin[2]，市場 晋吾[1]，竹田 晋浩[1]，杉田 慎二[1]，坂本 篤裕[1]（1.日本医科大学外科系集中治療，2.ハワイ大学）

CR8-6 集中治療室における蛋白質投与量に関する多施設観察研究
矢田部 智昭[1]，江木 盛時[2]，西村 匡司[3]（1.高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座，2.神戸大学附属病院集中治療部，3.徳島大学病院救急集中治療部）

CR8-7 急性期患者におけるFFP投与と急性期出血に関する前向き観察研究＝PLATEAU＝の紹介と参加施設の募集
江木 盛時，長江 正晴，溝渕 知司（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

CR8-8 アジア諸国のICUスタッフにおけるストレスと燃え尽き症候群の調査
中瀧 恵実子，西村 匡司（徳島大学大学院救急集中治療医学）

2月14日（日）　10：00～10：30　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
委員会報告 9　社会保険対策委員会
座長　森崎 浩（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）
CR9-1　特定集中治療管理料1及び2に関する実態調査報告2016
志馬 伸朗，遠藤 重厚，山本 剛，土井 松幸，坂本 哲也，下村 陽子，武居 哲洋，森崎 浩（日本集中治療医学会社会保険対策委員会）
CR9-2　我が国の地域医療構想：集中治療室の位置づけも含めて
細川 康二（厚生労働省医政局地域医療計画課）

2月14日（日）　10：30～10：50　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
委員会報告 10　学術集会あり方検討委員会
CR10　学術集会あり方検討委員会　委員会報告
西田 修[1,2]，学術集会あり方検討委員会委員[2]（1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座，2.学術集会あり方検討委員会）

2月14日（日）　10：20～10：50　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
委員会報告 11　ECMOプロジェクト委員会
座長　落合 亮一（東邦大学医療センター大森病院麻酔科）
CR11　ECMOプロジェクト委員会報告
竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院）

2月14日（日）　9：30～10：15　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
委員会報告 12　集中治療看護人員配置検討WGの調査報告 ― ICU看護の質を考える―
座長　下村 陽子（信州大学医学部附属病院看護部）
鈴木 智恵子（日本医科大学付属病院看護部）
CR12　集中治療室（ICU）等における診療・看護の実態調査
丸谷 幸子[1]，稲垣 範子[2]，八木橋 智子[3]，下村 陽子[4]，網島 ひづる[5]，鈴木 智恵子[6]（1.名古屋市立大学病院看護部，2.大阪大学医学部付属病院看護部，3.自治医科大学附属さいたまメディカルセンター看護部，4.信州大学医学部附属病院看護部，5.兵庫医療大学看護学部，6.日本医科大学付属病院看護部）

2月14日（日）　8：30～10：30　第10会場　神戸国際展示場1号館 2F　2A展示室
委員会報告 13　倫理委員会報告 ― DNARの歴史を展望し現在の問題点を探る―
座長　氏家 良人（川崎医科大学救急総合診療医学講座）
丸藤 哲（北海道大学病院先進急性期医療センター）
CR13-1　DNAR指示の倫理
児玉 聡（京都大学文学研究科）
CR13-2　DNARが心肺停止前の治療方針に与える影響：症例検討
石川 雅巳[1]，則末 泰博[2]，丸藤 哲[3]，木下 順弘[4]，田村 高志[5]，橋本 圭司[6]，木下 浩作[7]，氏家 良人[8]（1.呉共済病院麻酔・救急集中治療部，2.東京ベイ・浦安市川医療センター，3.北海道大学病院，4.熊本大学医学部付属病院，5.済生会山口総合病院，6.松江赤十字病院，7.日本大学医学部附属板橋病院，8.岡山大学病院）
CR13-3　Do Not（Attempt）Resuscitate, DN（A）R指示の歴史と現状
澤村 匡史[1]，吉里 孝子[2]，木下 浩作[3]，橋本 圭司[4]，石川 雅巳[5]，田村 高志[6]，木下 順弘[7]，丸藤 哲[8]（1.済生会熊本病院検体検査管理室，2.熊本大学医学部附属病院，3.日本大学医学部附属板橋病院救命救急センター，4.松江赤十字病院集中治療科，5.呉共済病院麻酔・救急集中治療部，6.済生会山口総合病院麻酔科・集中治療科，7.国立病院機構大阪医療センター集中治療部，8.北海道大学病院先進急性期医療センター）
CR13-4　看護師としてDNARの現状と課題を考える
立野 淳子[1]，吉里 孝子[2]（1.小倉記念病院，2.熊本大学医学部附属病院）
CR13-5　DNARとPOLSTが集中治療に提起する諸問題 ―3学会合同ガイドラインを踏まえて
貝沼 関志，丸藤 哲，石川 雅巳，則末 泰博，澤村 匡史，木下 浩作，田村 高志，木下 順弘，橋本 圭司，氏家 良人（日本集中治療医学会倫理委員会）

2月14日（日）　10：30～10：50　第10会場　神戸国際展示場1号館 2F　2A展示室
委員会報告 14　機関誌編集委員会
座長　丸藤 哲（北海道大学病院先進急性期医療センター）
CR14-1　日本集中治療医学会雑誌の近況
小竹 良文（東邦大学医療センター大橋病院麻酔科）
CR14-2　Journal of Intensive Care（JIC）へ論文投稿のすすめ
丸藤 哲（日本集中治療医学会英文機関誌作成委員会）

2月14日（日） 10：00～10：50 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
委員会報告15 Rapid Response System検討委員会
座長 安宅 一晃（奈良県立医科大学附属病院医療安全推進室）
織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

CR15-1 千葉大学でのRapid Response Systemの実例
中田 孝明，安宅 一晃，新井 正康，川崎 達也，川原 千香子，児玉 貴光，仙頭 佳起，藤谷 茂樹，藤原 紳佑，三宅 章公，織田 成人（Rapid Response System検討委員会）

CR15-2 Rapid Response Systemに関わる用語の日本語訳と定義
川崎 達也，安宅 一晃，新井 正康，川原 千香子，児玉 貴光，仙頭 佳起，中田 孝明，藤谷 茂樹，藤原 紳佑，三宅 章公，織田 成人（日本集中治療医学会Rapid Response System検討委員会）

CR15-3 RRSオンラインレジストリ ―National Early Warning Score（NEWS）を用いたスコアリングによる評価―
藤谷 茂樹，安宅 一晃，新井 正康，川崎 達也，川原 千香子，児玉 貴光，仙頭 佳起，中田 孝明，藤原 紳佑，三宅 章公，織田 成人（Rapid Response System検討委員会）

CR15-4 院内心停止レジストリー
三宅 章公，安宅 一晃，新井 正康，川崎 達也，川原 千香子，児玉 貴光，仙頭 佳起，中田 孝明，藤谷 茂樹，藤原 紳佑，織田 成人（Rapid Response System検討委員会）

CR15-5 Rapid Response Systemにおける国際情勢と海外交流
児玉 貴光，安宅 一晃，新井 正康，川崎 達也，川原 千香子，仙頭 佳起，中田 孝明，藤谷 茂樹，藤原 紳佑，三宅 章公，織田 成人（Rapid Response System検討委員会）

2月14日（日） 9：00～9：50 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
委員会報告16 Global Sepsis Alliance委員会報告
座長 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

CR16-1 敗血症診療改善のために
中川 聡（国立成育医療研究センター病院集中治療科）

CR16-2 市民への情報発信としてのホームページ
井上 茂亮[1,2]（1. 東海大学医学部付属八王子病院，2. Global Sepsis Alliance委員会）

2月14日（日） 10：00～10：50 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
委員会報告17 臨床工学部門活動報告
座長 木村 政義（兵庫医科大学病院臨床工学室）

CR17 臨床工学部会活動報告
加納 隆（埼玉医科大学保健医療学部医用生体工学科）

ガイドライン

2月12日（金） 9：00～10：00 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
ガイドライン1 日本版重症患者の栄養管理ガイドライン
座長 小谷 穣治（兵庫医科大学病院救急・災害医学講座・救命救急センター）

GD1-1 「重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会」の委員会報告：全体像と作成法
小谷 穣治[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.兵庫医科大学救急・災害医学講座, 2.日本集中治療医学会）

GD1-2 重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会の委員会報告：栄養投与ルート
白井 邦博[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.兵庫医科大学病院救急災害医学, 2.日本集中治療医学会）

GD1-3 重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会の委員会報告：経腸栄養
東別府 直紀[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2.日本集中治療医学会）

GD1-4 「重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会」の委員会報告：静脈栄養（PNの開始時期, PNの至適投与量）
海塚 安郎[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.製鉄記念八幡病院救急・集中治療部, 2.日本集中治療医学会）

GD1-5 「重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会」の委員会報告：血糖管理
江木 盛時[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.神戸大学医学部附属病院麻酔科, 2.日本集中治療医学会）

GD1-6 経腸・静脈栄養療法中の患者管理
清水 孝宏[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.那覇市立病院看護部, 2.日本集中治療医学会）

GD1-7 重症患者の栄養療法ガイドライン作成委員会」の委員会報告（小児の栄養管理）
清水 義之[1], 重症患者の栄養管理ガイドライン作成委員会[2]（小谷 穣治, 江木 盛時, 海塚 安郎, 亀井 有子, 神應 知道, 木下 浩作, 佐藤 格夫, 清水 孝宏, 清水 義之, 志馬 伸朗, 白井 邦博, 巽 博臣, 西田 修, 東別府 直紀, 松田 兼一, 真弓 俊彦）（1.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科, 2.日本集中治療医学会）

2月12日（金） 10：00～10：50 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
ガイドライン2 J-PADガイドライン
座長 行岡 秀和（大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座）

GD2-1 集中治療領域における痛み・不穏・せん妄管理の現状調査
植村 桜[1], 古賀 雄二[2], 吹田 奈津子[3], 茂呂 悦子[4], 鶴田 良介[5], 西 信一[6], 長谷川 隆一[7], 行岡 秀和[8], 布宮 伸[9]（1.地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター, 2.学校法人鉄蕉館亀田医療大学看護学部看護学科成人看護学, 3.日本赤十字社和歌山医療センター集中治療室, 4.自治医科大学附属病院集中治療部, 5.山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学分野, 6.兵庫医科大学集中治療医学科, 7.筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院, 8.大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座, 9.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）

GD2-2 早期離床促進における末梢神経ブロックの役割
藤原 祥裕[1], 藤田 義人[1], 畠山 登[2], 木下 浩之[1], 神立 延久[1], 山田 満[1], 佐藤 祐子[1], 橋本 篤[1], 赤堀 貴彦[1]（1.愛知医科大学医学部麻酔科学講座, 2.愛知医科大学病院周術期集中治療部）

GD2-3 前橋日赤早期離床プロトコール導入により安全に早期離床を推進できる
劉 啓文, 小倉 崇以, 中村 光伸, 宮崎 大, 藤塚 健次, 原澤 朋史（前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科）

GD2-4 ICU看護師に対する計画的行動理論に基づくせん妄評価の教育的介入
村上 綾乃, 池田 詩織, 高山 洋平, 坂本 美賀子, 西上 和宏（済生会熊本病院集中治療治療室）

2月13日（土） 17：05～18：10 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
ガイドライン3 日本集中治療医学会・日本救急医学会合同日本版重症敗血症診療ガイドライン：シンポジウム

座長 西田 修（藤田保健衛生大学病院麻酔・侵襲制御医学講座）
小倉 裕司（大阪大学医学部付属病院高度救命救急センター）

GD3-1 日本版敗血症ガイドライン（感染源のコントロール）
中田 孝明，小豆畑 丈夫，大嶋 清宏，後藤 孝治，升田 好樹，西田 修，小倉 裕司，井上 茂亮，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，松嶋 麻子，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

GD3-2 ICU-acquired weakness と Post-Intensive Care Syndrome ―CQの策定からメタ解析まで―
井上 茂亮，畠山 淳司，斉藤 伸行，福家 良太，近藤 豊，一二三 亨，武居 哲洋，西田 修，小倉 裕司，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，松嶋 麻子，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

GD3-3 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016：初期蘇生領域のCQとガイドラインの方向性
垣花 泰之，松嶋 麻子，久志本 成樹，松田 明久，神應 知道，井手 健太郎，安田 英人，櫻谷 正明，松田 直之，西田 修，小倉 裕司，井上 茂亮，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

GD3-4 DIC対策
射場 敏明，小倉 裕司，松田 直之，松嶋 麻子，澤村 淳，廣瀬 智也，坂本 壮，山川 一馬，西田 修，井上 茂亮，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

GD3-5 ステロイド，免疫グロブリン（IVIG）のガイドラインの作成過程の経過
今泉 均，藤島 清太郎，升田 好樹，巽 博臣，藤村 直幸，後藤 孝治，早川 峰司，安田 英人，角 由佳，西田 修，小倉 裕司，井上 茂亮，射場 敏明，江木 盛時，垣花 泰之，久志本成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，松嶋 麻子，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

GD3-6 日本版重症敗血症診療ガイドライン2016：学会合同作成の意義と今後
小倉 裕司，西田 修，井上 茂亮，射場 敏明，今泉 均，江木 盛時，垣花 泰之，久志本 成樹，小谷 穣治，貞広 智仁，志馬 伸朗，中川 聡，中田 孝明，布宮 伸，林 淑朗，藤島 清太郎，升田 好樹，松嶋 麻子，松田 直之，織田 成人，田中 裕（日本版重症敗血症診療ガイドライン2016作成特別委員会）

2月13日（土） 17：40～18：20 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
ガイドライン4 日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会・日本呼吸器学会合同 ARDS 診療ガイドライン

座長 讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

GD4 ARDS診療のためのガイドライン
橋本 悟，讃井 将満，江木 盛時，大下 慎一郎，塩塚 潤二，田中 竜馬，瀬尾 龍太郎，則末 泰博，林 淑朗，南郷 栄秀（日本集中治療医学会ARDS診療のためのガイドライン作成委員会）

モーニングセミナー

2月13日（土）　7：45～8：45　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A

モーニングセミナー1（MS1）　重症敗血症における抗凝固療法の展望　　共催：帝人ファーマ株式会社

演者　射場 敏明（順天堂大学大学院医学研究科救急災害医学）

座長　丸藤 哲（北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野）

ランチョンセミナー

2月12日（金）　12：20～13：20　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A
ランチョンセミナー1（LS1）　The latest advances in lung protective strategy　　共催：コヴィディエン ジャパン株式会社
演者　Mercelo Britto Passos Amato（CardioPulmonary Department, Incor-Heart Institute, Faculdade de Medicina da Universidade de São Paulo, São Paulo, Brazil）
座長　藤野 裕士（大阪大学大学院医学系研究科生体制御医学講座麻酔・集中治療医学教室）

2月12日（金）　12：20～13：20　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
ランチョンセミナー2（LS2）　血管内カテーテル由来血流感染対策　　共催：スリーエム ジャパン株式会社
座長　織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）
LS2-1　SPEED2：カテーテル関連血流感染対策再考
志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院　応用生命科学部門　救急医学）
LS2-2　「3M™テガダーム ™CHGドレッシング」を使用している現場の声
清水 克彦（独立行政法人国立病院機構京都医療センター救命救急センター）

2月12日（金）　12：20～13：20　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
ランチョンセミナー3（LS3）　敗血症・多臓器不全に対する血液浄化　　共催：バクスター株式会社
演者　土井 研人（東京大学救急部・集中治療部）
座長　平澤 博之（千葉大学名誉教授/東千葉メディカルセンター理事長・センター長）

2月12日（金）　12：20～13：20　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
ランチョンセミナー4（LS4）　劇症肝炎における血液浄化療法　　共催：川澄化学工業株式会社
演者　谷口 巧[1,2]（1.金沢大学医薬保健研究域周術期管理学（麻酔・蘇生学），2.金沢大学附属病院集中治療部）
座長　持田 智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）

2月12日（金）　12：20～13：20　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
ランチョンセミナー5（LS5）　Optimizing patient's brain function after critical illness: ICU management via the PAD guidelines and beyond
共催：ホスピーラ・ジャパン株式会社/丸石製薬株式会社
演者　Ely Wesley（Vanderbilt University Medical and Critical Care, USA）
座長　布宮 伸（自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）

2月12日（金）　12：20～13：20　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
ランチョンセミナー6（LS6）　未来の蘇生学　　共催：日本光電工業株式会社
演者　市瀬 史（ハーバードメディカルスクール・マサチューセッツ総合病院麻酔・集中治療科）
座長　今中 秀光（徳島大学救急集中治療部）

2月12日（金）　12：20～13：20　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
ランチョンセミナー7（LS7）　Improvement of patient outcome by the use of coagulation testing in the acute coagulopathy of trauma（ACoT）
共催：ヘモネティクスジャパン合同会社
演者　Bryan Cotton（Department of Surgery, Division of Acute Care Surgery, The University of Texas, USA）
座長　丸藤 哲（北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野）

2月12日（金）　12：20～13：20　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
ランチョンセミナー8（LS8）　集中治療領域におけるハイフローセラピー戦略　　共催：日本メディカルネクスト株式会社
座長　橋本 悟（京都府立医科大学付属病院集中治療部）
LS8-1　救急・集中治療領域におけるハイフローセラピー
長谷川 隆一[1,2]（1.筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター，2.総合病院水戸協同病院救急・集中治療科）
LS8-2　小児集中治療領域におけるハイフローセラピー戦略
黒坂 了正（長野県立こども病院小児集中治療科）

2月12日（金）　12：20～13：20　第10会場　神戸国際展示場1号館2F　2A展示室
ランチョンセミナー9（LS9）　集中治療における神経モニタリング ― Intensivistのためのminimum essential
共催：アイ・エム・アイ株式会社
演者　横堀 將司（日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野）
座長　奥寺 敬（富山大学大学院医学薬学研究部危機管理医学講座）

2月12日（金）　12：20～13：20　第11会場　神戸国際展示場1号館2F　2B展示室
ランチョンセミナー10（LS10）　Extra-corporeal Membrane Oxygenation for Respiratory Failure: A Therapy Whose Time Has Come
共催：マッケ・ジャパン株式会社
演者　Michael S. Firstenberg（Northeast Ohio Medical University. Departments of Surgery, The Summa Health Care System, Akron City Hospital. Akron, Ohio, USA）
座長　市場 晋吾（日本医科大学付属病院外科系治療科）

2月12日（金）　12：20～13：20　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
ランチョンセミナー11（LS11）　Noninvasive Ventilation in Acute Cardiogenic Pulmonary Edema
共催：フィリップス・レスピロニクス合同会社
演者　Josep Masip（Department of Intensive Care Medicine, University of Barcelona, Spain）
座長　佐藤 直樹（日本医科大学武蔵小杉病院内科・循環器内科）

2月12日（金）　12：20～13：20　第13会場　神戸国際展示場2号館3F　3A会議室
ランチョンセミナー12（LS12）　DICの研究における最近の動向　共催：一般社団法人 日本血液製剤機構
演者　射場 敏明（順天堂大学大学院医学研究科救急・災害医学）
座長　久志本 成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）

2月13日（土）　12：20～13：20　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田A
ランチョンセミナー13（LS13）　Usefulness of transpulmonary thermodilution systems in ICU patients
共催：フクダ電子株式会社
座長　平 泰彦（聖マリアンナ医科大学救急医学）
LS13-1　循環動態モニターの基礎パラメータ
田上 隆（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）
LS13-2　Usefulness of transpulmonary thermodilution systems in ICU patients
Jean-Louis Teboul（Medical ICU, Bicètre Hospital, University Paris-South, France）

2月13日（土）　12：20～13：20　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田B
ランチョンセミナー14（LS14）　先進医療：細菌・薬剤耐性遺伝子検査システムによる敗血症の迅速診断
共催：株式会社日立ハイテクノロジーズ
演者　大曲 貴夫（国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）
座長　池田 寿昭（東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部）

2月13日（土）　12：20～13：20　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田C
ランチョンセミナー15（LS15）　ICU領域における神経筋電気刺激療法　共催：ミナト医科学株式会社
演者　山田 純生（名古屋大学大学院医学系研究科（保健学））
座長　野原 隆司（国家公務員共済組合連合会枚方公済病院）

2月13日（土）　12：20～13：20　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館B1F　サファイア
ランチョンセミナー16（LS16）　新たな敗血症マネジメント ―臓器障害とDIC対策―
共催：旭化成ファーマ株式会社 / ファイザー株式会社
LS16　2020年に向けた敗血症治療戦略 ―抗凝固療法の実臨床および基礎研究の知見をふまえて―
演者　阪本 雄一郎（佐賀大学医学部救急医学講座）
座長　真弓 俊彦（産業医科大学医学部救急医学講座）

2月13日（土）　12：20～13：20　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館B1F　トパーズ
ランチョンセミナー17（LS17）　Fluid Management in Sepsis ― The role of Dynamic Measure
共催：アイ・エム・アイ株式会社
演者　Tiffany M. Osborn[1,2]（1. Department of Surgery and Emergency Medicine. Section of Acute Care Surgical Services, Surgical/Trauma Critical Care. Barnes Jewish Hospital, USA, 2. Washington University, USA）
座長　松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

2月13日（土）　12：20～13：20　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
ランチョンセミナー 18（LS18）　ICU 感染制御：今改めて考える改善への道　　共催：株式会社ジェイ・エム・エス
演者　志馬 伸朗[1,2]（1.広島大学大学院救急医学，2.広島大学病院高度救命救急センター・集中治療部）
座長　祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

2月13日（土）　12：20～13：20　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
ランチョンセミナー 19（LS19）　ICU design
共催：パラマウントベッド株式会社 / 株式会社 SISM
演者　Jukka Takala（Bern University Hospital: Department of Intensive Care Medicine, Switzerland）
座長　織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

2月13日（土）　12：20～13：20　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
ランチョンセミナー 20（LS20）　救急集中治療における β 遮断薬の有用性　　共催：小野薬品工業株式会社
演者　岡島 正樹（金沢大学附属病院集中治療部）
座長　山科 章（東京医科大学循環器内科）

2月13日（土）　12：20～13：20　第10会場　神戸国際展示場1号館 2F　2A 展示室
ランチョンセミナー 21（LS21）　やさしく学ぶ，重症患者の栄養療法 ～便失禁ケアシステムの意義を交えて～
共催：株式会社メディコン
演者　佐藤 格夫（京都大学医学部附属病院初期診療・救急科）
座長　小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

2月13日（土）　12：20～13：20　第11会場　神戸国際展示場1号館 2F　2B 展示室
ランチョンセミナー 22（LS22）　集中治療分野の鎮痛と解熱を考える ～アセトアミノフェン静注液の役割～
共催：テルモ株式会社
座長　布宮 伸（自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門）
LS22-1　重症患者の発熱に対するアセトアミノフェン静注液の可能性を探る
鈴木 聡（岡山大学病院集中治療部）
LS22-2　集中治療分野でのアセトアミノフェンによる鎮痛
藤原 祥裕（愛知医科大学麻酔科学講座）

2月13日（土）　12：20～13：20　第12会場　神戸国際展示場2号館 2F　2A 会議室
ランチョンセミナー 23（LS23）　Pulmonary Mechanics　　共催：パシフィックメディコ株式会社
演者　Kacmarek RM（Department of Anaesthesia, Harvard Medical School/ Massachusetts General Hospital, USA）
座長　竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）

2月13日（土）　12：20～13：20　第13会場　神戸国際展示場2号館 3F　3A 会議室
ランチョンセミナー 24（LS24）　早期目標指向型治療は必要か？ 有用か？　共催：エドワーズライフサイエンス株式会社
演者　小林 誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター）
座長　垣花 泰之（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野）

2月14日（日）　12：20～13：20　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田 A
ランチョンセミナー 25（LS25）　VAP を予防するための口腔ケア・オーラルマネジメント ～ Q・Care を使いこなす～
共催：ニプロ株式会社
演者　岸本 裕充（兵庫医科大学歯科口腔外科学講座）
座長　宇都宮 明美（聖路加国際大学看護学部成人看護学）

2月14日（日）　12：20～13：20　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
ランチョンセミナー 26（LS26）　AKI に対する CRRT に新たな展開はあるのか？　　共催：旭化成メディカル株式会社
演者　土井 研人（東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部）
座長　石倉 宏恭（福岡大学医学部救命救急医学講座）

2月14日（日）　12：20～13：20　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
ランチョンセミナー 27（LS27）　重症敗血症における補助療法の現況 ―エビデンスの整理と本邦疫学調査の結果の解説
共催：日本製薬株式会社
演者　小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）
座長　大段 秀樹（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門消化器・移植外科学）

2月14日（日）　12：20～13：20　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
ランチョンセミナー28（LS28）　大量出血に伴う凝固異常の評価と治療　共催：平和物産株式会社
演者　香取 信之（慶応義塾大学医学部麻酔学教室）
座長　溝部 俊樹（京都府立医科大学麻酔科学教室）

2月14日（日）　12：20～13：20　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
ランチョンセミナー29（LS29）　ICUで間接熱量計をどのように活かすか　共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社
演者　讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部）
座長　藤野 裕士（大阪大学大学院医学系研究科生体統御医学講座麻酔集中治療医学教室）

2月14日（日）　12：20～13：20　第10会場　神戸国際展示場1号館 2F　2A展示室
ランチョンセミナー30（LS30）　尿中NGALからみたAKIバイオマーカーの発現機序　共催：アボット ジャパン株式会社
演者　森 潔（京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンターTMKプロジェクト）
座長　吉本 明弘（神戸市立医療センター中央市民病院腎臓内科）

2月14日（日）　12：20～13：20　第11会場　神戸国際展示場1号館 2F　2B展示室
ランチョンセミナー31（LS31）　ICUにおけるantimicrobial stewardshipの実践
共催：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
演者　志馬 伸朗[1,2]（1.広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学，2.広島大学病院高度救命救急センター・集中治療部）
座長　池田 寿昭（東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部）

2月14日（日）　12：20～13：20　第12会場　神戸国際展示場2号館 2F　2A会議室
ランチョンセミナー32（LS32）　全身性炎症管理バンドル2016：病態生理学的診断と治療
共催：東レ株式会社 / 東レ・メディカル株式会社
演者　松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）
座長　西田 修（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

2月14日（日）　12：20～13：20　第13会場　神戸国際展示場2号館 3F　3A会議室
ランチョンセミナー33（LS33）　集中治療で必要な薬剤，投与法と機器の安全管理について　共催：テルモ株式会社
座長　中島 芳樹（浜松医科大学麻酔・蘇生学講座）
LS33-1　みんなでポンプを安全・スマートに ～集中治療におけるシリンジポンプ・輸液ポンプ使い方・管理のコツ～
露木 菜緒（杏林大学医学部付属病院（集中ケア認定看護師））
LS33-2　ハイブリッド機器管理って知ってます？ ～機種統一の新しい考え方～
高田 裕（近畿大学医学部附属病院臨床工学部）

イブニングセミナー

2月12日（金） 17：20～18：50 第3会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田B
イブニングセミナー1（ES1） 第5回MIICS
～ICUにおける人工呼吸器関連事象（VAE/VAC/IVAC/PVAP）のマネジメントの最前線～
共催：ファイザー株式会社

総合座長 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）
第1部座長 小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）
第2部座長 髙倉 俊二（京都大学医学部附属病院感染制御部）

ES1-1 【第1部】人工呼吸器関連事象の新たな診断基準と私たちの治療戦略2016
「集中治療における人工呼吸器関連肺炎への展望」
松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

ES1-2 【第1部】人工呼吸器関連事象の新たな診断基準と私たちの治療戦略2016
「人工呼吸器関連肺炎のマネージメント」
志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

ES1-3 【第2部】経口気管挿管患者に対する口腔ケア・オーラルマネジメント
岸本 裕充（兵庫医科大学歯科口腔外科学講座）

2月12日（金） 16：40～18：10 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
イブニングセミナー2（ES2）“栄養療法”初心者のための経腸栄養セミナー 共催：ネスレ日本株式会社

座長 西田 修（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

ES2-1 早期経腸栄養の重要性とたんぱく質投与の意義
矢田部 智昭（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

ES2-2 流動食の種類と選択 ～ペプチド流動食～
堤 理恵（徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野）

ES2-3 早期経腸栄養開始時の条件，合併症対策
巽 博臣（札幌医科大学医学部集中治療医学）

2月12日（金） 17：20～18：20 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
イブニングセミナー3（ES3） ARDSに対する肺保護換気戦略 ～早期肺保護の重要性～
共催：ドレーゲル・メディカルジャパン株式会社

演者 小谷 透（東京女子医科大学麻酔科学教室）
座長 貝沼 関志（名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部）

2月13日（土） 16：50～18：50 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
イブニングセミナー4（ES4） 新たな敗血症バンドルを考察する ～多臓器不全へ立ち向かう～
共催：旭化成ファーマ株式会社 / ファイザー株式会社

座長 遠藤 重厚[1,2]（1.岩手医科大学医学部九州医学講座，2.盛岡友愛病院）
阪本 雄一郎（佐賀大学医学部救急医学講座）

ES4-1 敗血症における感染症バンドル
志馬 伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急医学）

ES4-2 臓器障害とDICを考える
小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

ES4-3 重症敗血症に対するトロンボモジュリン製剤の治療バンドルにおける位置づけ
井上 貴昭[1,2]（1.順天堂大学大学院救急災害医学教室，2.順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科）

ES4-4 敗血症性DICのパラダイムシフト
石倉 宏恭（福岡大学医学部救命救急医学講座）

2月13日（土） 17：20～18：20 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
イブニングセミナー5（ES5） ICUでのEarly Mobilization ～患者本来のあるべき姿へ導くケアとは～
共催：アルジョハントレー（ゲッティンゲグループジャパン）/
株式会社ケアフォース

演者 小松 由佳（杏林大学医学部付属病院集中ケア学科）
座長 道又 元裕（杏林大学医学部付属病院看護部長）

【一般演題（優秀演題）】

2月12日（金） 13：30～14：30 第1会場 神戸ポートピアホテル 南館1F ポートピアホール
優秀演題1

座長：西田 修（藤田保健衛生大学病院麻酔・侵襲制御医学講座）

AW1-1 低体温症の実態 ―Hypothermia STUDY2014中間報告―
三宅 康史[1], 横田 裕行[2], 奥寺 敬[3], 小田 泰崇[4], 北原 孝雄[5], 清水 敬樹[6], 白石 振一郎[7], 坪倉 正治[8], 中村 俊介[1], 若杉 雅浩[3]（1.昭和大学医学部救急医学, 2.日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野, 3.富山大学大学院医学薬学研究部危機管理医学, 4.山口大学大学院医学系研究科救急・生体侵襲制御医学分野, 5.横浜旭中央総合病院脳血管センター, 6.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 7.会津中央病院救命救急センター, 8.東京大学医科学研究所）

AW1-2 閉鎖式導尿バッグの空気による流出を阻害する要因について
東川 恵利子, 星 英輝, 佐藤 英樹, 勝 博史（東京都立多摩総合医療センター看護部）

AW1-3 心拍変動を用いた向精神薬中毒重症度評価
藤川 翼, 河井 健太郎, 佐々木 博一, 鈴木 智哉, 東 一成, 河井 知子, 内田 康太郎, 太田 祥一, 三島 史朗, 行岡 哲男（東京医科大学救急・災害医学分野）

AW1-4 熱中症の冷却法・冷却時間と予後の関連について
神田 潤, 三宅 康史, 中村 俊介, 有賀 徹（昭和大学医学部救急医学講座）

2月12日（金） 13：30～14：30 第4会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田C
優秀演題2

座長：黒田 泰弘（香川大学医学部附属病院救命救急センター）

AW2-1 出血性ショック後蘇生の急性腎障害におけるIL-10のアポトーシスとオートファジーの影響について
村尾 佳則, 濱口 満英, 松島 知秀, 植嶋 利文（近畿大学医学部救急医学救命救急センター）

AW2-2 溶血性尿毒症性症候群の病態における補体系レクチン経路活性化の関与
尾崎 将之[1,2], 下澤 信彦[1], 森澤 健一郎[1], 柳井 真知[1], 和田 崇文[1], 藤谷 茂樹[1], Gregory Stahl[2], 平 泰彦[1]（1.聖マリアンナ医科大学救急医学, 2.ブリガム・アンド・ウィメンズ病院麻酔科）

AW2-3 下行大動脈血流VTI比測定による体肺動脈短絡術後の急性期肺血流量評価
長谷川 智巳, 大嶋 義博, 田中 敏克, 圓尾 文子, 佐藤 有美, 祖父江 俊樹（兵庫県立こども病院心臓血管外科）

AW2-4 Sonoclotを用いた血液凝固管理が人工心肺下開心術の周術期輸血量に及ぼす影響
汲田 翔[1], 川口 亮一[2], 西原 教晃[3], 枝長 充隆[2], 山蔭 道明[2]（1.北見赤十字病院麻酔科, 2.札幌医科大学医学部麻酔科, 3.市立釧路総合病院麻酔科）

2月12日（金） 11：00～12：00 第6会場 神戸ポートピアホテル 南館B1F トパーズ
優秀演題3

座長：丸藤 哲（北海道大学病院先進急性期医療センター）

AW3-1 日本語版CAM-ICUフローシートが最も推奨されるICUせん妄評価ツールである
古賀 雄二, 宮崎 俊一郎（学校法人鉄蕉館亀田医療大学成人看護学）

AW3-2 手術後せん妄発症と手術前後での関連因子の検討
山下 遊平[1], 生須 義久[1], 高柳 麻由美[1], 満山 兼一郎[1], 長谷川 豊[2], 江連 雅彦[2], 金子 達夫[2], 大島 茂[3]（1.群馬県立心臓血管センターリハビリテーション課, 2.群馬県立心臓血管センター心臓血管外科, 3.群馬県立心臓血管センター循環器内科）

AW3-3 全身炎症の早期における情動変化の解析 ～全身炎症モデルラットの扁桃体ドパミンの動態～
市川 崇[1], 西脇 公敏[2]（1.名古屋大学医学部附属病院麻酔科, 2.名古屋大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生医学）

AW3-4 くも膜下出血後の Goal Directed Therapy
磯谷 栄二[1], 米田 浩[2], 堀江 信貴[3], 横堀 將司[4], 小幡 佳輝[5]（1.東京女子医科大学東医療センター救急医療科, 2.山口大学医学部脳神経外科, 3.長崎大学医学部脳神経外科, 4.日本医科大学医学部高度救命救急センター, 5.東京医科歯科大学医学部脳神経外科）

2月13日（土） 11：00～12：00 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
優秀演題4

座長：池田 寿昭（東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部）

AW4-1 本邦における重症急性膵炎の原因別における患者背景および予後の検討：多施設後方視的観察研究結果
岸原 悠貴[1], 堀部 昌靖[2], 讃井 將満[3], 安田 英人[1], 本澤 大志[1], 三浪 陽介[1], 東 秀律[1]（1.武蔵野赤十字病院救命救急科, 2.慶應義塾大学消化器内科, 3.自治医大さいたま医療センター麻酔集中治療部）

AW4-2 Sepsis-induced cardiomyopthyにおける可逆性心筋虚血の関与
鈴木 秀明[1], 工藤 大介[2], 久志本 成樹[2]（1.東北大学病院循環器内科, 2.東北大学病院高度救命救急センター）

AW4-3　プレセプシン（可溶性CD14）は小児敗血症において細菌感染症に特異的とは言えない
平林 茉莉奈，澤田 奈美，伊原 慎吾，堀 智志，山口 順子，小豆畑 丈夫，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

AW4-4　重症敗血症に対するストレス潰瘍予防の効果
笹渕 裕介[1]，松居 宏樹[1]，Alan Lefor[2]，伏見 清秀[3]，康永 秀生[1]（1.東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学，2.自治医科大学，3.東京医科歯科大学）

2月13日（土）　13：30～14：30　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
優秀演題5

座長：織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

AW5-1　院外心停止患者の蘇生努力の医学的無益性の量的判断における初期波形の重要性
福田 龍将[1,2]，大橋 奈尾子[1]，松原 全宏[2]，土井 研人[2]，橘田 要一[1,2]，中島 勧[2]，矢作 直樹[1,2]（1.東京大学大学院医学系研究科救急医学，2.東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部）

AW5-2　非高齢者や非心原性心停止では即時の心肺蘇生は迅速な通報より優先されるべきかもしれない
稲葉 英夫[1,3]，明星 康裕[2]，太田 圭亮[2]，後藤 由和[1]，前田 哲生[1,3]，船田 晃[1,3]（1.金沢大学，2.石川県立中央病院，3.金沢大学附属病院救命センター）

AW5-3　小児患者を対象とするRapid response systemの長期的効果
川崎 達也[1]，関根 裕司[2]，唐木 克二[2]，諏訪 まゆみ[2]，塩崎 麻那子[2]，稲員 恵美[2]，金沢 貴保[1]，菊地 斉[1]，伊藤 雄介[1]（1.静岡県立こども病院小児集中治療科，2.静岡県立こども病院MET部会）

AW5-4　小児の中心静脈穿刺のアウトカム；超音波ガイドとランドマーク法の比較；システマティック・レビュー
細川 康二[1]，志馬 伸朗[2]，橋本 悟[3]（1.京都府立医科大学麻酔科学，2.京都医療センター救命救急センター/救命救急科，3.京都府立医科大学附属病院集中治療部）

【一般演題（口演）】

2月12日（金）　11：00～12：00　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A
口演1　気道・呼吸・呼吸管理①

座長：浅賀 健彦（香川大学医学部附属病院集中治療部）

O1-1　Identifying Patients at Risk for Respiratory Depression
Daniel Eversole[2], Voscopoulos C[1], Eamon Fleming[2], Diane Ladd[3], Ed George[4]（1. University of Hawaii, 2. Respiratory Motion, Inc., 3. West Virginia University, 4. Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School）

O1-2　Risk Stratification Using a Respiratory Volume Monitor
Daniel Eversole[4], Christopher Voscopoulos[1], Kimberly Theos[1], H.A. Tillmann Hein[2], Edward George[3]（1. University of Hawaii, 2. University of Texas Southwestern Medical School, 3. Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, 4. Respiratory Motion, Inc.）

O1-3　当院ICUにおける挿管チューブの自己抜管症例の検討
大岩 雅彦，角谷 隆史，石川 友規，三枝 秀幸，石井 瑞恵，佐藤 幸子，岩崎 衣津，奥 格，福島 臣啓，時岡 宏明（岡山赤十字病院麻酔科）

O1-4　小児集中治療室における事故抜管に関連する因子
渡辺 太郎，松本 正太朗，西村 奈穂，中川 聡（国立成育医療研究センター集中治療科）

O1-5　咳嗽時の腹腔内圧上昇によって計測される咳嗽強度は再挿管を予測しうるか
片岡 惇[1]，岡本 賢太郎[1,2]，川口 剛史[1,2]，内藤 貴基[1]，藤谷 茂樹[1,2]，則末 泰博[1]（1.東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科，2.聖マリアンナ医科大学救急医学）

O1-6　当院ICUにおける抜管後再挿管症例の検討
藤井 恵美[1]，宮武 秀光[1]，清水 淳次[1]，今宿 康彦[3]，山根 哲信[1]，辻田 靖之[1]，田畑 貴久[2]，高橋 完[1]，江口 豊[2]（1.滋賀医科大学医学部付属病院救急集中治療部，2.滋賀医科大学医学部付属病院救急集中治療医学講座，3.滋賀医科大学医学部付属病院麻酔科）

2月12日（金）　13：30～14：30　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田A
口演2　気道・呼吸・呼吸管理②

座長：北浦 道夫（独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院麻酔科）

O2-1　人工呼吸療法に関する疫学研究
齋藤 伸行[1]，讃井 將満[2]（1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター，2.自治医科大学さいたま医療センター集中治療部）

O2-2　従量式換気と従圧式換気はどのように選択されているか
本田 博之，上村 夏生，鈴木 友康，青木 信将，新田 正和，本多 忠幸，遠藤 裕（新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター）

O2-3　間質性肺炎急性増悪例の人工呼吸器設定についての検討
若林 健二[1]，足立 裕史[1]，立石 知也[2]，稲瀬 直彦[2]，中沢 弘一[1]（1.東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体集中管理学，2.東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科統合呼吸器病学）

O2-4　小児ARDS患者に対するHFOV使用例の検討
芳賀 大樹，井手 健太郎，西村 奈緒，中川 聡（国立成育医療研究センター病院集中治療科）

O2-5　小児におけるNIV-NAVA（Non-Invasive Ventilation with Neurally Adjusted Ventilatory Assist）の有用性
小田 新，中村 友彦，山口 由美（長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科）

2月12日（金）　11：00～12：00　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
口演3　気道・呼吸・呼吸管理③

座長：磨田 裕（埼玉医科大学国際医療センター集中治療科）

O3-1　顕微鏡的多発血管炎によるびまん性肺胞出血は急性心不全よりCT値が高い
小谷 祐樹，辻本 登志英，亀井 純，山田 裕樹，千代 孝夫（日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部）

O3-2　CT画像と比較したElectrical Impedance TomographyによるARDS肺の評価
小野寺 悠[1]，松浦 優[2]，百瀬 望[2]，森谷 真知佳[2]，鈴木 博人[2]，岡田 真行[2]，中根 正樹[1,2]，川前 金幸[2]（1.山形大学医学部救急医学講座，2.山形大学医学部麻酔科学講座）

O3-3　ECMO使用患者における予後因子としての赤血球分布幅
大下 慎一郎，木田 佳子，京 道人，島谷 竜俊，鳥越 勇佑，鈴木 慶，山賀 聡之，岩崎 泰昌，廣橋 伸之，志馬 伸朗（広島大学大学院救急医学）

O3-4　iPS細胞から2型肺胞上皮細胞への分化誘導
林 真雄[1]，神崎 浩孝[2]，松岡 義和[1]，森松 博史[1]（1.岡山大学病院麻酔科蘇生科，2.岡山大学病院薬剤部）

O3-5　n-3不飽和多価脂肪酸はLPS刺激によるHMVEC-L血管内皮モデル血管透過性を有意に減少させる
尾迫 貴章[1]，坂田 寛之[1]，山田 太平[1]，山下 勇人[2]，石川 倫子[2]，宇佐美 眞[2]，中尾 篤典[1]，小谷 穣治[1]（1.兵庫医科大学救急・災害医学講座，2.神戸大学大学院保健学研究科病態代謝学）

O3-6　呼吸音自動解析能を有する新たな電子聴診器の開発
山賀 聡之[1], 大下 慎一郎[1], 貞森 拓磨[1], 儀賀 普嗣[2], 岩崎 泰昌[1], 廣橋 伸之[1], 志馬 伸朗[1]（1.広島大学大学院救急医学, 2.県立広島病院救急科）

2月12日（金） 13：30～14：30　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
口演4　気道・呼吸・呼吸管理④

座長：梅垣 修（大阪医科大学集中治療部）

O4-1　国内初の乳児施設間ECMO搬送を行い救命した, 百日咳感染に伴う呼吸不全の一例
渡邉 伊知郎[1], 齊藤 修[1], 居石 崇志[1], 本村 誠[1], 中山 祐子[1], 新津 健裕[1], 清水 直樹[1], 池山 貴也[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部, 2.あいち小児保健医療総合センター集中治療科）

O4-2　致死的気道閉塞の治療にVeno-Venous Extracorporeal Membrane Oxygenation（VV-ECMO）を使用し救命した一例
永本 盛嗣, 梅井 菜央, 市場 晋吾, 杉田 慎二, 竹田 晋浩, 坂本 篤裕（日本医科大学付属病院外科系集中治療科）

O4-3　気管切開孔用二腔気管支チューブを用いて人工呼吸器離脱に成功した術後有瘻性膿胸例
松本 森作, 小林 寛基, 青山 文, 寺田 統子, 武藤 渚, 釋谷 和子, 鷹取 誠（広島市立広島市民病院麻酔集中治療科）

O4-4　骨髄移植後に認めた重症呼吸器合併症の7例
小池 康志, 蜂谷 聡明, 中村 美穂, 相良 明宏, 関 晃裕, 佐藤 康次, 越田 嘉尚, 野田 透, 岡島 正樹, 谷口 巧（金沢大学付属病院集中治療部）

O4-5　当院における気道出血36症例の検討
井上 和茂[1], 金村 剛宗[1], 金子 真由子[1], 高田 浩明[1], 神保 一平[1], 吉岡 早戸[1], 岡田 一郎[1], 霧生 信明[1], 加藤 宏[1], 小井土 雄一[2]（1.国立病院機構災害医療センター救命救急センター, 2.国立病院機構災害医療センター臨床研究部）

O4-6　Berlin基準によるnon-ARDS症例の90日予後の検討
寺町 涼, 谷口 博之, 近藤 康博, 木村 智樹, 片岡 健介, 松田 俊明, 横山 俊樹（公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科）

2月12日（金） 11：00～12：00　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
口演5　早期離床・リハビリテーション①

座長：横山 正尚（高知大学医学部附属病院麻酔科・集中治療部）

O5-1　集中治療領域における専従療法士体制が及ぼす影響
稲垣 京司, 菊地 聡, 藤本 幹雄, 高橋 功（総合病院国保旭中央病院診療技術部リハビリテーション科）

O5-2　急性期早期離床を目指したシミュレーション実施報告
菅野 寛子[1], 石井 由紀[1], 大島 貴彦[1], 栗山 陽子[1], 妹尾 聡美[2], 太田 慧[2], 平田 尚子[2], 廣島 勉[1], 古野 薫[1], 菊野 隆明[2]（1.国立病院機構東京医療センターリハビリテーション科, 2.国立病院機構東京医療センター救急科）

O5-3　当院集中治療室における早期離床と予後の検討
大川 晶未[1], 飯田 有輝[1], 伊藤 武久[1], 三宅 健太郎[2], 水落 雄一朗[2]（1.愛知厚生連海南病院リハビリテーション科, 2.愛知厚生連海南病院集中治療センター・麻酔科）

O5-4　当院におけるICUリハビリテーションの経過と課題
大崎 仁[1], 大竹 弘哲[1], 田中 真理子[1], 劉 啓文[2]（1.前橋赤十字病院リハビリテーション科, 2.前橋赤十字病院救急科）

O5-5　救急ICUでリハビリテーションを施行した外傷患者の退院時QOLの特徴
川田 稔[1], 下雅意 崇亨[1], 沖 圭祐[2], 田村 暢一郎[2], 福岡 敏雄[2]（1.公益財団法人倉敷中央病院リハビリテーション部, 2.公益財団法人倉敷中央病院救急科）

O5-6　救急ICUにおける内科系疾患患者の自宅退院に影響する要因の検討
下雅意 崇亨[1,2], 川田 稔[1], 福岡 敏雄[2], 沖 圭祐[1]（1.公益財団法人倉敷中央病院リハビリテーション部, 2.公益財団法人倉敷中央病院救命救急センター）

2月12日（金） 11：00～12：00　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
口演6　心臓・循環・体液管理①

座長：野村 岳志（横浜市立大学大学院医学研究科麻酔科学）

O6-1　うっ血性心不全急性期に合併した急性腎障害の予後分析；KDIGO基準を用いて
吉眞 孝, 野田 俊之, 荒井 正純, 谷畠 進太郎, 小野 浩司, 廣瀬 武司, 岩間 眞, 小島 帯, 割田 俊一郎, 加藤 崇（岐阜県総合医療センター循環器内科）

O6-2　FinGraphを用いた指先採血によるNa, K濃度と静脈採血によるNa, K濃度の比較試験
曽根 教子[1], 高木 宏治[1], 徳山 榮男[1], 菊池 有史[1], 石川 昌弘[1], 佐藤 直樹[1], 清水 渉[2]（1.日本医科大学武蔵小杉病院, 2.日本医科大学付属病院）

O6-3　CONUT scoreは急性心不全入院患者における感染症発症の予測因子となりうる
瀬川 貴嗣（呉医療センター）

O6-4　ST上昇型急性心筋梗塞症における適切なDoor-in to Door-out Timeの検討
永野 雅英, 西上 和宏, 中尾 浩一, 坂本 知浩（済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科）

O6-5　当院に来院した心原性院外心停止における冠攣縮の頻度と特徴についての検討
羽田 佑[1], 望月 俊明[1], 大出 幸子[2], 石松 伸一[1](1.聖路加国際病院救急部, 2.聖路加国際病院臨床疫学センター)

O6-6　急性冠症候群におけるドクターヘリ搬送症例の臨床的特徴
西郡 卓, 小林 宣明, 澁谷 淳介, 塩村 玲子, 岡崎 大武, 鶴見 昌史, 品田 卓郎, 松本 尚, 畑 典武, 清水 渉(日本医科大学千葉北総病院集中治療部)

2月12日(金) 13:30～14:30　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
口演7　血液・凝固線溶①

座長:相引 眞幸(愛媛大学医学部附属病院救急医学)

O7-1　繰り返す皮下出血から診断に至った後天性血友病Aの1症例
倉田 秀明[1], 熊本 新一[1], 堀家 一哉[1], 遠藤 清[1], 井口 竜太[3], 中島 勧[2], 矢作 直樹[2](1.阪奈中央病院外科, 2.東京大学医学部付属病院, 3.JR東京総合病院)

O7-2　特発性血小板減少性紫斑病を合併した感染性大動脈瘤・食道穿孔の血液凝固管理にROTEMが有効であった1例
谷川 義則[1], 中村 公秀[1], 山田 友子[1], 中川内 章[1], 松本 浩一[2], 坂口 嘉郎[1](1.佐賀大学医学部附属病院麻酔科蘇生科, 2.伊万里有田共立病院)

O7-3　小児開心術後の体外式心肺補助装置管理に血液弾性粘ちょう度検査が有用であった一症例
佐野 文昭, 松本 梓, 長谷川 達也, 岡野 将典, 小出 明里, 米倉 寛, 寺島 良幸, 河野 真人, 浅井 明倫, 祖父江 和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野)

O7-4　心臓手術後ICU入室時のFIBTEMはフィブリノゲン値より新鮮凍結血漿の必要性予測に優れる
鈴木 祐二[1], 木倉 睦人[1], 川島 信吾[2], 佐藤 恒久[3], 土井 松幸[2], 中島 芳樹[2](1.独立行政法人労働者健康福祉機構浜松労災病院麻酔科, 2.浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学講座, 3.すずかけセントラル病院麻酔科)

O7-5　脳神経外科緊急手術時のワーファリン拮抗薬としてのクリオプレシピテートの有用性
富田 守(焼津市立総合病院救急科)

O7-6　ICUにおける深部静脈血栓・肺塞栓症のリスク因子解析
佐藤 武揚, 久志本 成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

2月12日(金) 13:30～14:30　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
口演8　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床①

座長:山口 弘子(名古屋大学医学部附属病院看護部)

O8-1　間欠的騒音はラットモデルにおいてストレス反応を生じる
星野 晴彦[1], 下條 信威[1], 櫻本 秀明[2], 卯野木 健[2], 大内 玲[1], 吉野 靖代[1], 松石 雄二郎[1], Jesmin Subrina[1], 河野 了[1], 水谷 太郎[1](1.筑波大学人間総合科学研究科救急・集中治療医学, 2.筑波大学附属病院看護部)

O8-2　ミダゾラムは末梢性ベンゾジアゼピン受容体を介してマクロファージの免疫応答を調節する
大田 典之[1], 山本 俊介[1,2], 堀口 祐[2], 藤野 裕士[2], 内山 昭則[1](1.大阪大学医学部附属病院, 2.大阪大学医学部麻酔集中治療医学)

O8-3　重症患者におけるスボレキサントのせん妄発症に与える影響
増山 智之[1], 吉田 直人[1], 飯塚 悠祐[1], 小室 哲也[1], 神尾 直[1], 小林 雅矢[1], 八木橋 智子[1], 笹渕 裕介[2], 讃井 將満[1](1.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部, 2.東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻)

O8-4　離脱症候群を起こすリスクファクターの検討
瀬端 龍太郎(筑波大学附属病院看護部)

O8-5　手術患者の悪夢発生に対するICU管理の影響 ―プロペンシティスコア解析を用いた検討
園部 奨太, 井上 聡己, 内藤 祐介, 寺田 雄紀, 野村 泰充, 安宅 一晃, 川口 昌彦(奈良県立医科大学麻酔科集中治療部)

O8-6　ICU-AWへの取り組み ～NSサイドでのリハビリ導入を試みて
佐藤 隆美, 村松 明子, 山田 親代, 日隈 玲(大津市民病院)

2月12日(金) 11:00～12:00　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
口演9　小児・新生児①

座長:嶋岡 英輝(大阪市立総合医療センター集中治療センター)

O9-1　超音波検査を用いた早産児における慢性呼吸障害の評価について
櫻井 淑男, 荒木 俊介, 川崎 秀徳, 金井 雅代, 石黒 秋生, 田村 正徳(埼玉医科大学総合医療センター)

O9-2　機能的単心室患者術後横隔神経麻痺に対する非侵襲的陽圧換気の有用性と限界
田畑 雄一, 橋本 悟, 徳平 夏子, 井上 美帆, 木村 彰夫, 黄瀬 ひろみ, 三井 誠司, 成宮 博理(京都府立医科大学麻酔科集中治療部)

O9-3　先天性心疾患術後の新生児症例における再挿管リスクファクターの検討
三浦 慎也, 濱本 奈央, 大崎 真樹, 中野 諭, 齋藤 千徳, 粒良 昌弘, 宮越 千智(静岡県立こども病院循環器集中治療科)

O9-4　小児集中治療室での気管切開までの期間と予後
和田 宗一郎[1], 菊地 斉[1], 伊藤 雄介[1], 金沢 貴保[1], 川崎 達也[1], 福本 弘二[2], 漆原 直人[2](1.静岡県立こども病院小児集中治療科, 2.静岡県立こども病院小児外科)

O9-5　術後予定外ICU入室に関する検討　有害事象に備え小児麻酔・集中治療に熟達した医師とICUが必要である
秋山 類[1,2], 糟谷 周吾[1], 西村 奈穂[1], 中川 聡[1], 鈴木 康之[1](1.国立成育医療研究センター手術・集中治療部, 2.聖路加国際病院麻酔科・集中治療室)

O9-6　沖縄県における小児集中治療室(PICU)設置および専従医配置が, 地域の小児死亡にもたらした影響
藤原 直樹, 制野 勇介, 八坂 有起(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児集中治療科)

2月12日(金) 13:30～14:30　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
口演10　多臓器不全・敗血症①

座長:蒲地 正幸(産業医科大学病院集中治療部)

O10-1　敗血症性DIC症例のプロテインC値の変動と転帰
千葉 宣孝[1,2], 齋藤 豪[1,2], 櫻井 淳[1,2], 木下 浩作[1](1.日本大学医学部救急集中治療医学分野, 2.日本大学病院救急科)

O10-2　トロンボモジュリン遺伝子多型が重症敗血症の病態および転帰に与える影響
渡邉 栄三[1], 坂本 照夫[2], 高須 修[2], 池田 寿昭[3], 小谷 穣治[4], 北村 伸哉[5], 寺竹 洋一[6], 幡野 雅彦[6], 織田 成人[1](1.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2.久留米大学医学部救急医学, 3.東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部, 4.兵庫医科大学救急・災害医学, 5.君津中央病院救急・集中治療科, 6.千葉大学バイオメディカル研究センター)

O10-3　DICを伴った尿路感染症患者に対するAT3およびrTM投与の効果:DPCデータを用いた検討
大坪 広樹[1], 村松 圭司[2], 岡田 祥明[1], 米良 好正[1], 弓指 恵一[1], 高間 辰雄[1], 久保 達彦[2], 古屋 智規[1], 松田 晋哉[2], 真弓 俊彦[1](1.産業医科大学医学部救急医学講座, 2.産業医科大学医学部公衆衛生学)

O10-4　敗血症の早期診断におけるプレセプシンの有用性
山本 朋納, 西村 哲郎, 晋山 直樹, 加賀 慎一郎, 寺田 貴史, 内田 健一郎, 森岡 貴勢, 武貞 博治, 溝端 康光(大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター)

O10-5　重症敗血症におけるADAMTS13活性低下は重症化と予後不良を予測する
吉田 良太朗, 工藤 大介, 佐藤 哲哉, 宮川 乃理子, 藤田 基生, 野村 亮介, 遠藤 智之, 佐藤 武揚, 入野田 崇, 久志本 成樹(東北大学病院高度救命救急センター)

O10-6　Organ system network disruption in non-survivor of critically ill patients
浅田 敏文[1], 青木 悠太[2], 山本 幸[1], 土井 研人[1], 石井 健[1], 橘田 要一[1], 中島 勧[1], 矢作 直樹[1](1.東京大学医学部附属病院救急部集中治療部, 2. New York University, Langone's Child Study Center)

2月12日(金) 11:00～12:00　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
口演11　心臓・循環・体液管理②

座長:渡海 裕文(兵庫県立淡路医療センター麻酔科)

O11-1　急性A型大動脈解離患者に対する初期大量輸血療法が術後の臨床転帰に及ぼす影響
佐光 英人[1], 仲村 佳彦[1], 峰松 紀明[2], 和田 秀一[2], 田代 忠[2], 石倉 宏恭[1](1.福岡大学病院救命救急センター, 2.福岡大学病院心臓血管外科)

O11-2　急性B型大動脈解離後の急性腎障害と院内合併症の関連
高橋 寿由樹, 平田 直己, 中川 晋(東京都済生会中央病院循環器科)

O11-3　腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の短期集中治療によるtype Ⅱエンドリーク減少効果
栗本 義彦[1], 氏平 功祐[1], 西岡 成知[1], 伊庭 裕[1], 丸山 隆史[1], 八田 英一郎[1], 山田 陽[1], 中西 克彦[1], 横山 健[2](1.手稲渓仁会病院心臓血管外科, 2.手稲渓仁会病院麻酔科)

O11-4　食道穿孔の治療に胸部大動脈ステントグラフト内挿術を併用した3例
上村 亮介[1], 山口 春子[1], 秋本 貴子[2], 横山 健[1], 片山 勝之[1](1.手稲渓仁会病院麻酔科集中治療室, 2.手稲渓仁会病院感染症科)

O11-5　急性肺血栓塞栓症の予後と, 症状出現から治療までの時間についての検討
宗像 亮[1], 栗原　理[1], 岡崎 大武[2], 鶴見 昌史[2], 小林 宣明[2], 品田 卓郎[1], 高野 雅充[2], 畑 典武[1], 清野 精彦[1], 清水 渉[3](1.日本医科大学千葉北総病院循環器センター, 2.日本医科大学千葉北総病院集中治療室, 3.日本医科大学付属病院循環器内科)

O11-6　慢性血栓塞栓性肺高血圧症の8症例の検討
塩屋 悠斗, 東 倫子, 海野 仁, 日下 琢雅, 田村 有人, 江嶋 正志, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

2月12日(金) 13:30～14:30　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
口演12　外傷・熱傷①

座長:中川 隆(愛知医科大学災害医療研究センター)

O12-1　来院時凝固障害は重症鈍的外傷の独立した予後因子か?
石井 健太, 水島 靖明, 井戸口 孝二, 渡部 広明, 松岡 哲也(りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター)

O12-2　頭部外傷における脳実質損傷の指標としてのD-dimerの可能性
八ツ繁 寛，早川 隆宣，住吉 京子，重田 恵吾，百瀬 俊也，榎本 真也，佐藤 慎，平 直記（独立行政法人国立病院機構災害医療センター脳神経外科）

O12-3　高齢外傷患者における急性腎傷害に関する前向き観察研究
藤永 潤[1]，栗山 明[2]，島田 典明[3]（1.倉敷中央病院救急科，2.倉敷中央病院総合診療科，3.倉敷中央病院腎臓内科）

O12-4　Persistent inflammation, immunosuppression and catabolism syndrome（PICS）発症の関連因子についての検討
岡田 一宏[1]，齋藤 伸行[1]，柴田 あみ[1]，久城 正紀[1]，阪本 太吾[1]，八木 貴典[1]，原 義明[1]，松本 尚[1]，横田 裕行[2]（1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター，2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

O12-5　尿中尿素窒素排泄量を指標に栄養を管理した80％重症全身熱傷の一症例
川島 信吾[1]，鈴木 祐二[2]，加藤 弘美[2]，成瀬 智[1]，御室 総一郎[1]，土井 松幸[2]，中島 芳樹[1]（1.浜松医科大学麻酔蘇生学講座，2.浜松医科大学集中治療部）

O12-6　高齢者急性硬膜下血腫に対する緊急血腫除去術の工夫による早期リハビリテーション
重森 裕[1,2,3]，大蔵 裕子[2]，長島 亮太郎[2]，鈴木 祥子[2]，西田 武司[2]，岩朝 光利[1,2,3]，石倉 宏恭[2]（1.国立病院機構福岡東医療センター脳血管センター，2.福岡大学病院救命救急センター，3.福岡大学病院脳神経外科）

2月12日（金）　11：00～12：00　第9会場　神戸国際展示場2号館1F　コンベンションホール南
口演13　看護技術・ケアの工夫

座長：栗原 早苗（金沢大学附属病院看護部）

O13-1　術後ドレーンのミルキングによる陰圧の測定と看護師が行うミルキングの実態報告
田地 勝利，布施 健太，諸星 優子，阿部 拓実（東京都立多摩総合医療センター看護部看護科）

O13-2　気管挿管チューブ内のバイオフィルム形成の現状調査
佐野 香織[1]，片原 美香[1]，田中 陽子[1]，木下 葉介[1]，藤田 敬生[1]，爲廣 一仁[2]，財津 昭憲[2]（1.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院E-ICU・CCU，2.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院集中治療科）

O13-3　スマートポンプRを使用したカテコラミン製剤のシリンジ交換における循環動態の変化の検証
村岡 祐介，堀谷 あゆみ，山口 智子，赤牛 留美子，橋場 英二（弘前大学医学部附属病院ICU）

O13-4　膵頭十二指腸切除症例における体温変化に対する年齢の影響
太田 康子，伊藤 聖恵，青山 徹，村川 正明，山奥 公一郎，渥美 陽介，風間 慶介，岸 ひろみ，森永 総一郎（神奈川県立がんセンター）

O13-5　ICUにおける患者の音環境について ～環境調査と患者アンケートの結果から～
菊地 寿美枝[1]，袋地 好美[1]，霜山 真[2]（1.東北薬科大学病院，2.宮城大学看護学部）

2月12日（金）　13：30～14：30　第9会場　神戸国際展示場2号館1F　コンベンションホール南
口演14　看護教育

座長：仁科 典子（大阪警察病院救命センターICU）

O14-1　救命救急センター看護スタッフにおける環境音への配慮に向けた減音対策プログラムの開発と評価
大泉 昌也[1]，佐藤 薫[1]，中丸 真[1]，福田 敦子[1]，斉藤 意子[1]，荒井 佑佳理[3]，太田 慧[2]（1.国立病院機構東京医療センター看護部救命救急センター，2.国立病院機構東京医療センター救急科，3.自治医科大学附属さいたま医療センター看護部）

O14-2　急変前の前駆徴候の気づきに向けた教育の取り組み予定外ICU入室患者の振り返り・シミュレーション教育より
古味 秀美，島田 佐苗（独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院）

O14-3　当院におけるICU退室患者の呼吸数測定の現状
馬場 多恵[1]，中村 紀子[1]，佐伯 公亮[1]，池田 智之[2]，中野 顯[1,2]（1.彦根市立病院ICU・CCU病棟，2.彦根市立病院循環器科）

O14-4　看護におけるフィジカルアセスメント能力を評価するOSCE評価表の一致率の検証
石川 幸司[1]，中村 惠子[2]，菅原 美樹[2]（1.北海道科学大学保健医療学部看護学科，2.札幌市立大学看護学部）

O14-5　ICU看護師による超音波検査の臨床活用 ―膀胱エコーの有用性―
柴崎 有美[1]，寺西 広美[1]，株本 杏奈[1]，和田 陽子[1]，小幡 敏枝[1]，鈴木 久美子[1]，谷口 隼人[1,3]，中村 京太[2,3]，森村 尚登[2,3]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学，3.横浜市立大学医学部救急医学教室）

O14-6　急性期リハビリテーション時のブリーフィング・デブリーフィングの効果
平賀 千江美，増田 正和，古市 則光，見井田 和正，田中 由梨亜（北里大学病院）

2月12日（金）　11：00～12：00　第10会場　神戸国際展示場1号館2F　2A展示室
口演15　多臓器不全・敗血症②

座長：住田 臣造（日本赤十字社旭川赤十字病院集中治療部）

O15-1　救急外来における重症敗血症の初期所見
松嶋 麻子[1]，中本 直樹[2]，吉川 吉暁[2]，藤見 聡[2]（1.名古屋市立大学医学研究科先進急性期医療学，2.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科）

O15-2　敗血症患者の頻脈性不整脈に対するランジオロールの使用経験
木井 菜摘[1], 佐藤 昌太[2], 東口 隆[1], 巽 博臣[3], 升田 好樹[3]（1.札幌医科大学医学部麻酔科学講座, 2.国立病院機構災害医療センター, 3.札幌医科大学医学部集中治療医学）

O15-3　β遮断薬服用患者の敗血症の生命予後は良好である
岡田 基[1], 柏木 友太[1], 鷹架 健一[1], 中嶋 駿介[1], 林 健太郎[1], 長島 道生[2], 小林 厚志[1], 西浦 猛[1], 小北 直宏[2], 藤田 智[1]（1.旭川医科大学救急医学講座, 2.旭川医科大学集中治療部）

O15-4　敗血症性ショックにおける臨床的に妥当なPVPIの上限値の検討
重光 胤明, 林下 浩士, 山下 智也, 大川 惇平, 森本 健, 師岡 誉也, 石川 順一, 福家 顕宏, 有元 秀樹, 宮市 功典（大阪市立総合医療センター救命救急センター）

O15-5　人工心肺補助管理中のcontinuous plasma diafiltration併用によるサイトカイン除去と臓器障害への効果
中村 美穂, 蜂谷 聡明, 小池 康志, 相良 明宏, 関 晃裕, 佐藤 康次, 越田 嘉尚, 野田 透, 岡島 正樹, 谷口 巧（金沢大学附属病院集中治療部）

O15-6　敗血症性ショック患者の腎障害に対する保存的な血液浄化法の使用と予後
溝渕 有助[1], 大岩 雅彦[1], 南 絵里子[1], 進 吉彰[1], 石井 瑞恵[1], 岩崎 衣津[1], 小林 浩之[1], 實金 健[1], 時岡 宏明[1], 川上 直哉[2]（1.岡山赤十字病院麻酔科, 2.岡山大学病院集中治療部）

2月12日（金）　13：30～14：30　第10会場　神戸国際展示場1号館2F　2A展示室
口演16　腎臓・腎機能・血液浄化①

座長：有村 敏明（鹿児島市医師会病院麻酔科）

O16-1　敗血症性急性腎障害におけるリポカリン型プロスタグランジンD合成酵素（L-PGDS）血中濃度の検討
山根 哲信[1], 藤野 和典[2], 江口 豊[2]（1.滋賀医科大学附属病院救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学救急集中治療医学講座）

O16-2　集中治療患者におけるクレアチニン・クリアランス測定値と糸球体濾過量推定値の比較：単施設後方視観察研究
軽米 寿之[1], 白石 淳[2], 山本 良平[1], 藤内 まゆ子[1], 佐藤 仁信[1], 松本 敬[1], 小林 宏維[1], 麻生 将太郎[1], 笹野 幹雄[1], 林 淑朗[1]（1.医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科, 2.東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

O16-3　腎臓超音波検査を用いた定常流型補助人工心臓装着患者での腎機能評価の試み
井口 直也, 酒井 佳奈紀, 内山 昭則, 藤野 裕士（大阪大学医学部附属病院集中治療部）

O16-4　血液浄化を要した急性腎障害におけるICU死亡予測因子
土井 研人[1], 山下 徹志[2], 野入 英世[2], 松原 全宏[1], 石井 健[1], 矢作 直樹[1]（1.東京大学医学部救急部・集中治療部, 2.東京大学医学部血液浄化療法部）

O16-5　KDIGOによる診断基準を用いた心臓手術後急性腎障害の発症に及ぼす術前・術中因子についての検討
長屋 慶, 伊藤 洋介, 宇井 あかね, 吉田 明子（東北薬科大学病院麻酔科）

O16-6　小児持続的血液濾過透析に併発する，無尿の是非
宮原 瑤子[1], 居石 崇志[1], 渡邉 伊知郎[1], 本村 誠[1], 中山 祐子[1], 齊藤 修[1], 新津 健裕[1], 清水 直樹[1], 吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部, 2.東京都立小児総合医療センター臨床工学センター）

2月12日（金）　11：00～12：00　第11会場　神戸国際展示場1号館2F　2B展示室
口演17　神経①

座長：小林 孝史（大崎市民病院麻酔科）

O17-1　中枢神経モニタリングに関するアンケート
黒田 泰弘[1], 内野 博之[2], 永山 正雄[3], 相引 眞幸[4], 木下 浩作[5], 小畑 仁司[6], 三宅 康史[7], 澤村 淳[8], 坂本 哲也[9]（1.香川大学医学部救急災害医学, 2.東京医科大学麻酔科, 3.国際医療福祉大学熱海病院神経内科, 同脳卒中・神経センター, 4.愛媛大学医学部救急医学, 5.日本大学医学部救急集中治療医学, 6.大阪府三島救命救急センター, 7.昭和大学医学部救急医学, 8.北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野, 9.帝京大学医学部救急医学）

O17-2　Amplitude-integrated electroencephalographyで昏睡患者のnon-convulsive status epilepticusを捉えた1例
岩崎 夢大, 千田 康之, 伊藤 文人, 石田 時也（太田西ノ内病院麻酔科）

O17-3　非痙攣性てんかん重積状態の診断にbispectral index（BIS）モニターが参考になった2症例
前島 英恵[1], 速水 元[2]（1.済生会横浜市南部病院, 2.横浜市立市民病院）

O17-4　ICUでの意識障害患者におけるnonconvulsive status epilepticus（NCSE）の発生頻度とその治療効果
江川 悟史[1], 一二三 亨[2], 松村 光[2], 岡崎 智哉[2], 宍戸 肇[2], 篠原 奈都代[2], 高野 耕志郎[2], 阿部 祐子[2], 河北 賢哉[2], 黒田 泰弘[2]（1.兵庫県災害医療センター救急部, 2.香川大学医学部附属病院救命救急センター）

O17-5　両側を同時に測定可能なモバイル型自動瞳孔測定器を用いた，健常人の瞳孔径と直接・間接対光反射の測定結果
坂田 寛之, 中尾 博之, 小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

O17-6　プロポフォールが瞳孔径に及ぼす影響：赤外線瞳孔計を用いた検討
白水 和宏[1], 瀬戸口 秀一[1], 徳田 賢太郎[2], 藤吉 哲宏[3], 外 須美夫[3]（1.九州大学病院手術部, 2.九州大学病院集中治療部, 3.九州大学大学院麻酔・蘇生学）

2月12日（金） 13：30～14：30 第11会場 神戸国際展示場1号館2F 2B展示室
口演18 多臓器不全・敗血症③

座長：伊藤 辰哉（高松赤十字病院救急部）

O18-1 肝臓における低酸素応答を標的とした新たな乳酸アシドーシス治療法の開発 ～Cori回路制御機構の解明～
壽原 朋宏[1], 菱木 貴子[2], 笠原 正貴[3], 早川 典代[2], 小柳津 智子[1], 中西 豪[4], 久保 亜紀子[2], 末松 誠[2], 南嶋 洋司[2], 森崎 浩[1]（1.慶應義塾大学医学部麻酔学教室, 2.慶應義塾大学医学部医化学教室, 3.東京歯科大学歯学部薬理学講座, 4.島津製作所分析計測事業部）

O18-2 DAMPsとしてのヒストンの体内動態
杉本 亮[1], 伊藤 隆史[2], 丸山 征郎[2], 垣花 泰之[1]（1.鹿児島大学医歯学総合研究科救急・集中治療医学講座, 2.鹿児島大学大学院医歯学総合研究科システム血栓制御学講座）

O18-3 マウス敗血症モデルでのリコンビナントトロンボモジュリンによるNETosisの抑制効果
加藤 由布[1], 下村 泰代[1], 須賀 美華[1], 酒井 俊和[1], 加藤 大貴[1], 原 嘉孝[1], 中村 智之[1], 柴田 純平[1], 森山 和広[2], 西田 修[1]（1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 2.藤田保健衛生大学医学部臨床免疫制御医学講座）

O18-4 敗血症性心機能障害に対する亜硝酸塩の保護作用
川口 亮一[1], 平田 直之[1], 井上 茂亮[2], 渡邊 伸央[2], 吉川 裕介[1], 茶木 友浩[1], 宮下 龍[1], 山蔭 道明[1]（1.札幌医科大学医学部麻酔科学講座, 2.東海大学医学部外科学系救命救急医学）

O18-5 敗血症ラットモデル坐骨神経毛細血管におけるglycocalyx層の脱落
日野 博文[1], 三浦 亜里彩[2], 新見 佐知[1], 舘田 武志[1]（1.聖マリアンナ医科大学麻酔学教室, 2.金沢文庫病院）

O18-6 耳介迷走神経電気刺激による抗炎症治療法の可能性
森下 幸治[1], 八木 雅幸[1], 伊藤 裕一[2], 植野 彰規[2], 大友 康裕[1]（1.東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター, 2.東京電機大学工学部）

2月12日（金） 11：00～12：00 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
口演19 重症度・予後評価

座長：安宅 一晃（奈良県立医科大学附属病院医療安全推進室）

O19-1 ICUに入室した血液悪性腫瘍患者の予後因子についての検討
入江 洋正, 大竹 孝尚, 楠 宗矩, 河合 恵子, 新庄 泰孝, 古谷 明子, 生津 綾乃, 日野 真彰, 山形 淑, 山下 茂樹（倉敷中央病院麻酔科）

O19-2 ICU入室を要した血液内科患者の予後規定因子に関する検討
上田 吉宏, 前田 明倫, 浅田 敏文, 比留間 孝広, 松原 全宏, 土井 研人, 中島 勧, 矢作 直樹（東京大学医学部附属病院救急部・集中治療部）

O19-3 電子スピン共鳴装置を用いた周術期酸化ストレスのリアルタイム評価と術後重症度, 合併症との関連
小山 淑正, 松本 重清, 荻原 洋二郎, 牧野 剛典, 甲斐 真也, 安部 隆国, 古賀 寛教, 安田 則久, 後藤 孝治, 北野 敬明（大分大学医学部麻酔科学講座）

O19-4 手術前後の筋量変化のCT画像による検討
大西 龍貴[1], 高田 朋彦[1], 桐野 若葉[1], 佐藤 千穂子[1], 松永 裕樹[2], 三島 秀樹[2], 片山 康[2], 石川 進[2], 鈴木 健雄[1], 伊藤 淳[2]（1.東京都都立墨東病院麻酔科, 2.東京都都立墨東病院心臓血管外科）

O19-5 Neutrophil-to-Lymphocyte Ratioを用いた集中治療の予後解析
眞喜志 剛, 塩屋 悠斗, 海野 仁, 日下 琢雅, 東 倫子, 田村 有人, 江嶋 正志, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

O19-6 日本における重篤小児の予測致死率算出式（PIM-j.β）の開発
松本 正太朗[1], 賀来 典之[2], 六車 崇[3]（1.国立成育医療研究センター成育社会医学研究部, 2.九州大学病院救命救急センター, 3.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター）

2月12日（金） 13：30～14：30 第12会場 神戸国際展示場2号館2F 2A会議室
口演20 中毒・体温異常①

座長：伊関 憲（福島県立医科大学地域救急医療支援講座）

O20-1 アカクラゲ刺傷により高血圧性脳症を発症した5歳男児
久保 達哉, 余川 順一郎, 相良 明宏, 関 晃裕, 北野 鉄平, 佐藤 康次, 越田 嘉尚, 野田 透, 岡島 正樹, 谷口 巧（金沢大学付属病院集中治療部）

O20-2 一過性左心機能低下を併発した若年のⅢ度熱中症の1例
翁 佳輝[1], 塚田 恵[2], 一本木 邦治[2], 小林 尊志[2], 高山 浩史[2], 嘉嶋 勇一郎[2], 三山 浩[2], 望月 勝徳[2], 新田 憲一[2], 今村 浩[2]（1.信州大学医学部付属病院卒後臨床研修センター, 2.信州大学医学部付属病院高度救命救急センター）

O20-3 熱中症と診断された患者における血清procalcitoninの有用性の検討
児玉 善之, 仲村 将高, 島田 忠長, 橋田 知明, 小倉 皓一郎, 平澤 博之（東千葉メディカルセンター）

O20-4 ヒト遺伝子組み換えトロンボモジュリン（rTM）の熱射病後神経障害に対する効果についての検討
宮本 和幸[1], 大滝 博和[2], 佐々木 純[1], 林 宗貴[1], 三宅 康史[3], 有賀 徹[3]（1.昭和大学藤が丘病院救急医学科, 2.昭和大学医学部顕微解剖学講座, 3.昭和大学医学部救急医学講座）

O20-5　重症熱中症におけるDAMPsの動態
島崎 淳也[1], 小川 新史[1], 山田 知輝[1], 岸 正司[1], 丸山 征郎[2]（1.大阪警察病院救命救急科, 2.鹿児島大学システム血栓制御学講座）

O20-6　高度偶発性低体温症に対する復温効果の検討
岡田 遥平, 市川 哲也, 荒井 祐介, 榊原 謙, 石井 亘, 檜垣 聡（京都第二赤十字病院救命救急センター）

2月12日（金）　11：00～12：00　第13会場　神戸国際展示場2号館3F　3A会議室
口演21　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床②

座長：伊藤 明子（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

O21-1　統一したせん妄の看護介入を目指して ～看護師の意識変化と質の保証～
山田 かおり, 光岡 理江, 大濱 忍（川崎医科大学附属病院ICU・CCU）

O21-2　せん妄予防の取組みに家族ケアを導入したことによる患者家族への影響 ～せん妄パンフレットを導入して～
池田 身佳, 角田 恵理子（新都市医療研究会［関越］会関越病院）

O21-3　POV方式で撮影した動画を使用した術前リアリティオリエンテーションのせん妄予防の効果
菅 広信（秋田大学医学部附属病院集中治療部）

O21-4　心臓血管外科術後早期離床の有用性：せん妄における看護ケア
谷脇 和歌子[1], 田井 遥[1], 三好 奈央[1], 山辺 亮平[1], 手嶋 英樹[1], 入江 博之[1], 井上 正隆[2]（1.社会医療法人近森会近森病院集中治療室, 2.高知県立大学）

O21-5　CAM-ICUでは評価できない『せん妄』 ～言語聴覚士の視点より～
山家 貴仁[1], 江田 陽一[2]（1.医療法人徳洲会福岡徳洲会病院リハビリテーション科, 2.医療法人徳洲会福岡徳洲会病院集中治療センター）

2月12日（金）　13：30～14：30　第13会場　神戸国際展示場2号館3F　3A会議室
口演22　Rapid Response Team・院内急変①

座長：白石 義人（藤枝市立総合病院）

O22-1　適切な要請基準策定のためのMedical Emergency Team（MET）要請症例の後方視的検討
矢崎 めぐみ[1], 織田 成人[1], 渡邉 栄三[1], 安部 隆三[1], 中田 孝明[1], 立石 順久[1], 服部 憲幸[1], 高橋 和香[1], 島居 傑[1], 栗田 健朗[2]（1.千葉大学附属病院救急科・集中治療部, 2.成田赤十字病院救急・集中治療科）

O22-2　Rapid Response Team要請時期と予後因子ならびに患者特性の関係
小池 朋孝[1], 黒岩 政之[1,2], 森安 恵実[1], 大谷 尚也[1], 伊藤 荘平[2], 新井 正康[1,2,3]（1.北里大学病院集中治療センターRST・RRT室, 2.北里大学医学部麻酔科学教室, 3.北里大学医学部附属新世紀医療開発センター集中治療医学）

O22-3　Rapid Response System起動基準における看護師の懸念の有用性について
内藤 貴基[1], 工藤 由子[2], 岡本 賢太郎[1], 片岡 惇[1], 則末 泰博[1], 平 泰彦[3], 藤谷 茂樹[1]（1.東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療科, 2.東京ベイ浦安市川医療センター集中治療室, 3.聖マリアンナ医科大学救急医学）

O22-4　がん専門病院におけるEarly Warning Scoreの有用性についての検討
松三 絢弥[1], 廣井 一正[2], 川口 洋佑[1], 柴田 麻理[1], 新井 美奈子[1], 佐藤 哲文[1]（1.国立がん研究センター中央病院麻酔集中治療科, 2.岡山大学病院麻酔蘇生科）

O22-5　Rapid Response Systemに準じた拡大コードシステム導入の効果 ～続報～
鈴木 健人, 和智 万由子, 武居 哲洋, 米澤 直樹, 畠山 淳司, 藤 雅文, 山田 広之, 藤澤 美智子, 永田 功, 伊藤 敏孝（横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター）

O22-6　当院Rapid Response Systemが終末期医療へ与える影響の調査
新井 正康[1], 小池 朋孝[2], 森安 恵実[2], 大塚 智久[3], 吉野 和久[3], 伊藤 壮平[3], 小坂 康晴[3], 鈴木 優太郎[3], 西澤 義之[3], 黒岩 政之[3]（1.北里大学医学部附属新世紀医療開発センター集中治療医学, 2.北里大学病院集中治療センターRST・RRT室, 3.北里大学医学部麻酔科学）

2月13日（土）　13：30～14：30　第2会場　神戸ポートピアホテル 南館1F　大輪田A
口演23　多臓器不全・敗血症④

座長：橋本 圭司（松江赤十字病院集中治療科）

O23-1　JSEPTIC DIC study報告：重症敗血症における乳酸値の推移と予後
早川 桂[1], 本間 洋輔[2], 早川 峰司[3], 佐藤 啓太[1], 五木田 昌士[1], 勅使河原 勝伸[1], 田口 茂正[1], 清田 和也[1]（1.さいたま赤十字病院救命救急センター救急医学科, 2.東京ベイ・浦安市川医療センター救急科, 3.北海道大学病院先進急性期医療センター）

O23-2　重症敗血症診療におけるICU専従医の意義
藤塚 健次[1], 小倉 崇以[1,2], 小橋 大輔[1], 劉 啓文[1], 宮崎 大[1], 中村 光伸[1]（1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科, 2. JSEPTIC DIS Study Group）

O23-3　敗血症性ショックに対するPMX-DHP療法の生命予後に関する多施設検討：JSEPTIC DIC study group解析結果
仲村 佳彦[1], 清見 文明[2], 星野 耕大[1], 川野 恭雅[1], 水沼 真理子[1], 市来 玲子[1], 石倉 宏恭[1]（1.福岡大学病院救命救急センター, 2.福岡大学ライフイノベーション）

O23-4　JSEPTIC DIC study報告：敗血症におけるV-V ECMOの効果
高氏 修平[1,3]，早川 峰司[2,3]（1.市立札幌病院救命救急センター，2.北海道大学病院先進急性期医療センター，3. JSEPTIC DIC study group）

O23-5　敗血症における急性期DIC診断基準・日本血栓止血学会DIC診断基準の比較 ～予後との関連～
矢田 憲孝[1]，廣田 哲也[2]，藤本 善大[3]，原 悠也[3]，堀 雅俊[3]，長田 俊彦[3]，的井 愛紗[3]，則本 和伸[3]，三木 豊和[3]，西尾 健治[1]（1.奈良県立医科大学総合医療学，2.多根総合病院救急科，3.淀川キリスト教病院救急科）

O23-6　全重症度敗血症の解析から示された，「急性期DIC診断基準」の意義
小豆畑 丈夫，中村 和裕，酒井 康行，河野 大輔，桑名 司，小松 智英，古川 誠，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

2月13日（土）　11：00～12：00　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
口演24　気道・呼吸・呼吸管理⑤

座長：倉田 二郎（東京医科歯科大学医学部附属病院麻酔・蘇生・ペインクリニック科）

O24-1　気管挿管が喉頭に及ぼす形態学的影響 ―単施設前向き観察研究―
石川 淳哉[1,2]，森村 尚登[2]，内倉 淑男[2]，古郡 慎太郎[2]，川村 祐介[2]，大塚 剛[2]（1.横浜市立市民病院救急総合診療科，2.横浜市立大学医学部救急医学教室）

O24-2　気管切開患者に対する高流量酸素療法の効果：酸素流量の違いによる評価
三住 拓誉[1]，藤本 大地[2]，北 博志[3]，今中 秀光[4]，溝渕 知司[2]（1.神戸大学附属病院集中治療部，2.神戸大学附属病院麻酔科，3.神戸大学附属病院臨床工学部門，4.徳島大学病院ER・災害医療診療部）

O24-3　酸素マスクの形状による吸入酸素濃度および二酸化炭素濃度に関する研究
高磯 甫隆，安見 武哲，大西 沙紀，大藤 純，近田 優介，今中 秀光，西村 匡司（徳島大学病院救急集中治療部）

O24-4　プレチスモグラム変動から得られる，非侵襲的呼吸回数測定装置（NellcorTM PM1000N）の確からしさの検討
新井 正康[1]，吉岡 俊輔[2]，阪井 茉有子[2]，田中 一生[2]，鈴木 優太郎[2]，西澤 義之[2]，小坂 康晴[2]，伊藤 壮平[2]，黒岩 政之[2]，岡本 浩嗣[2]（1.北里大学医学部附属新世紀医療開発センター集中治療医学，2.北里大学医学部麻酔科学）

O24-5　Respiratory Rate is a Poor Assessment of Respiratory Status During and After Upper Endoscopy
Daniel Eversole[2], Holley K[1], Brayanov JB[1], Mathews DM[1]（1. Clinical Trials Research, 2. Respiratory Motion, Inc.）

O24-6　Respiratory Volume Monitoring Reduces False Alarms
Daniel Eversole[3], Peggy Duke[1], Ed George[2]（1. Emory University, 2. Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, 3. Respiratory Motion , Inc）.

2月13日（土）　13：30～14：30　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
口演25　気道・呼吸・呼吸管理⑥

座長：市場 晋吾（日本医科大学付属病院外科系集中治療科）

O25-1　心臓大血管手術後の長期挿管になる要因の検討
加藤 直輝，中村 美津（医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院）

O25-2　SBTプロトコルを用いた看護師によるWeaning assessment
仲間 敏春，大城 和也，臼井 雄一，兼久 絵里，山内 芳乃，仲間 康敏，玉城 正弘（社会医療法人友愛会豊見城中央病院集中治療室）

O25-3　人工呼吸器離脱プロトコル導入がVAE（人工呼吸器関連事象）サーベイランスに及ぼす効果
嶋 雅範，文字 香織，橋本 めぐみ，出見世 真人，篠原 智誉，山下 直己（三菱京都病院RST）

O25-4　人工呼吸器離脱プロトコル導入により得た効果と今後の課題
文字 香織，山下 直己，篠原 智誉，橋本 めぐみ，出見世 真人（三菱京都病院）

O25-5　当院におけるRSTの現状と課題
宮原 聡子[1]，松村 京子[2]，和田 翔[1]，重光 胤明[2]，亀井 靖子[1]，福井 威夫[3]，松下 千紘[4]，佐野 由花[1]，山本 貴子[1]，林下 浩士[2]（1.大阪市立総合医療センターICU，2.大阪市立総合医療センター救命救急センター，3.大阪市立総合医療センター臨床工学部，4.大阪市立総合医療センター看護部）

2月13日（土）　11：00～12：00　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
口演26　気道・呼吸・呼吸管理⑦

座長：後藤 孝治（大分大学医学部附属病院集中治療部）

O26-1　喀痰吸引量の主観的な感覚の違いについて
宮川 亮太，法雲 浄恵，鈴木 亜耶香（大垣市民病院）

O26-2　呼気胸郭圧迫法は痰の排出に有用なのか？
大内 玲[1,2]，櫻本 秀明[1]，下條 信威[3]，榎本 有希[3]，小山 泰明[3]，卯野木 健[1]，宮 顕[3]，吉野 靖代[1,2]，星野 晴彦[1,2]，水谷 太郎[3]（1.筑波大学附属病院ICU，2.筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻，3.筑波大学附属病院救急・集中治療部）

O26-3　心臓血管外科術後においてハイフローセラピー（High flow therapy：以下HFT）を導入した症例の実態
藤井 裕一郎，立花 奈緒美，雨宮 由季，朝倉 登美子（埼玉医科大学国際医療センターICU病棟）

O26-4　心臓血管手術後患者におけるネーザルハイフローの使用効果
西本 亜紀子[1], 八木 恵子[1], 御手洗 武博[1], 山崎 大輔[1], 林 裕子[1], 加藤 貴大[2], 原木 俊明[2], 讃岐 美智義[2], 河本 昌志[2](1.広島大学病院外科系集中治療室, 2.広島大学病院麻酔科)

O26-5　当院ICUで抜管後の小児に対するHFTの使用経験
新屋 真弓, 平敷 好史, 諸見里 勝, 里井 陽介, 普天間 誠, 清水 孝宏, 伊波 寛, 宮田 裕史(地方独立行政法人那覇市立病院)

O26-6　ネーザルハイフロー(Nasal High-Flow；以下NHFと略す)装着患者の苦痛に関する調査
藤巻 弘史, 小谷 真依, 大西 純子(国立循環器病研究センターHCU)

2月13日（土） 11：00～12：00　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
口演27　心臓・循環・体液管理③

座長：塩川 泰啓(近畿大学医学部附属病院集中治療部)

O27-1　循環不全を呈した小児に対しNPPVを使用した17例の検討
山下 由理子, 岡田 広, 三好 義隆, 平本 龍吾(松戸市立病医院小児集中治療科)

O27-2　小児心臓手術後の，新たな呼吸器weaning法 ―Nasal High Flow system-一酸化窒素併用療法―
小渡 亮介[1], 鈴木 保之[1], 冨田 栄一[2], 後藤 武[2], 福田 幾夫[1](1.弘前大学医学部胸部心臓血管外科, 2.弘前大学医学部付属病院医療技術部・臨床工学部門)

O27-3　先天性心疾患術後の急性期におけるトルバプタン使用症例の検討
上村 友二, 宮津 光範, 小出 明里, 冨田 麻衣子, 佐野 文昭, 太田 晴子, 田村 哲也, 森島 徹朗, 薊 隆文, 祖父江 和哉(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野)

O27-4　フォンタン型手術時の乳酸値と短期予後との関係
山本 真崇, 八木 泰憲, 斉藤 仁志, 森 敏洋, 森本 裕二(北海道大学病院麻酔科)

O27-5　スライド気管形成術における心血管同時手術は術後のリスク因子となり得るか
小林 匡[1], 川崎 達也[1], 粒良 昌弘[2], 三浦 慎也[2], 中野 諭[2], 濱本 奈央[2], 大崎 真樹[2], 櫨木 大祐[3](1.静岡県立こども病院小児集中治療科, 2.静岡県立こども病院循環器集中治療科, 3.鹿児島大学病院小児科)

O27-6　二心室修復術後にplastic bronchitisを発症した両大血管右室起始の小児例
祖父江 俊樹[1], 田中 敏克[1], 長谷川 智巳[2], 圓尾 文子[2](1.兵庫県立こども病院循環器内科, 2.兵庫県立こども病院心臓血管外科)

2月13日（土） 13：30～14：30　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
口演28　心臓・循環・体液管理④

座長：櫻田 春水(財団法人東京都保健医療公社大久保病院循環器内科)

O28-1　J波症候群が原因と考えられた心室細動の1例
余川 順一郎[1,2], 蜂谷 聡明[1], 相良 明宏[1], 関 晃裕[1], 北野 鉄平[1], 佐藤 康次[1], 越田 嘉尚[1], 野田 透[1], 岡島 正樹[1], 谷口 巧[1](1.金沢大学集中治療部, 2.金沢大学大学院医学系研究科循環医科学専攻臓器機能制御学講座)

O28-2　著明な高マグネシウム血症のため高度徐脈・意識障害を来した原発性副甲状腺機能亢進症患者の1例
加来 秀隆, 原 雅俊, 徳田 賢太郎, 生野 雄二, 中川 拓, 久保田 健介, 安田 光宏, 前原 喜彦(九州大学病院救命救急センター・集中治療部)

O28-3　うっ血性心不全に合併した頻脈性心房細動・心房頻拍に対するアミオダロン静注の有効性と安全性
林 洋史[1], 山本 剛[1], 圷 宏一[1], 細川 雄亮[1], 三軒 豪仁[1], 黄 俊憲[1], 鈴木 啓士[1], 古瀬 領人[1], 清水 渉[1], 時田 祐吉[2](1.日本医科大学心臓血管集中治療科, 2.日本医科大学循環器内科)

O28-4　アミオダロン投与中に低血圧と徐脈となり，濃度測定で有効血中濃度上限を超えていたことが判明した症例
小倉 玲美, 月永 晶人, 早川 翔, 宮本 裕里, 鈴木 ちえ子, 村田 志乃, 刈谷 隆之, 後藤 正美, 倉橋 清泰, 大塚 将秀(横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部)

O28-5　心臓手術後の心房細動予防に対するベータ遮断薬の有用性について ―各種メタ解析からの分析
下山 哲[1], 讃井 將満[2], 守谷 俊[1](1.自治医科大学附属さいたま医療センター救急部, 2.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)

O28-6　出血性ショック心臓の催不整脈性に対する異なった人工酸素運搬体の効果
高瀬 凡平[1], 橋本 賢一[1], 田中 良弘[2], 東村 悠子[1], 池内 尚司[2](1.防衛医科大学校病院集中治療部, 2.防衛医科大学校病院救急部)

2月13日（土） 11：00～12：00　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
口演29　心肺蘇生・蘇生後ICU管理①

座長：江口 豊(滋賀医科大学医学部救急集中治療医学講座)

O29-1　成人マウスの低酸素症に対する100％酸素蘇生は炎症とアポトーシスを惹起する
西村 与志郎[1], 植木 正明[2], 安藤 維洋[1], 岡田 直己[1], 西村 侑翼[1], 比森 千博[1], 大坪 里織[1], 山田 克己[1], 前田 祐仁[1], 西山 隆[1](1.神戸大学医学部附属病院救命救急科, 2.西脇市立西脇病院麻酔科)

O29-2　出血性ショック時初期輸液の選択が蘇生後肺傷害に与える影響(ラット出血性ショック蘇生モデルを用いて)
中村 龍[1], 井上 一由[2], 清水 裕子[1], 谷岡 野人[1], 山岡 正和[1], 高橋 徹[3], 森松 博史[1](1.岡山大学大学院医歯薬総合研究科麻酔蘇生学, 2.香川県立中央病院麻酔科, 3.岡山県立大学保健福祉学部)

O29-3　アムロジピンが出血性ショック後の生存率に及ぼす影響の検討
山本 剛史，栗田 昭英，谷口 巧（金沢大学附属病院麻酔科蘇生科）

O29-4　蘇生後患者における動脈血二酸化炭素濃度の変化と脳内酸素飽和度の関連 ―prospective physiological study
田中 愛子[1]，Glenn Eastwood[1,2,3]，Rinaldo Bellomo[1,2]（1. Department of Intensive Care, Austin Hospital, Australia, 2. Australian and New Zealand Intensive Care Research Centre, 3. School of Nursing and Midwifery, Deakin University）

O29-5　心停止後症候群における凝固線溶異常 ―心停止の原因による凝血学的因子の変化の相違―
和田 剛志[1]，丸藤 哲[1]，家子 正裕[2]，水柿 明日美[1]，前川 邦彦[1]，方波見 謙一[1]，小野 雄一[1]，早川 峰司[1]，澤村 淳[1]，Subrina Jesmin[3]（1.北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野，2.北海道医療大学歯学部内科学講座，3.筑波大学医学医療系救急集中治療医学分野）

O29-6　院外心停止症例の自己心拍再開後における冠動脈造影についての検討
五十嵐 昂，山中 希有子，黒岩 信行，内山 貴史，市川 壮一郎，前川 潤平，池田 篤史，沖野 晋一，福澤 茂，稲垣 雅行（船橋市立医療センター）

2月13日（土）　13：30～14：30　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
口演30　心肺蘇生・蘇生後ICU管理②

座長：倉田 二郎（東京医科歯科大学医学部附属病院麻酔・蘇生・ペインクリニック科）

O30-1　帝王切開麻酔導入時の心停止に対し，死戦期帝王切開を施行した1例
高野 信二[1]，多田 文彦[2]（1.四国こどもとおとなの医療センター救命救急センター，2.四国こどもとおとなの医療センター麻酔科）

O30-2　心肺停止蘇生後にSSEP N-20陰性から意識が回復した2症例
久野 将宗[1]，金子 純也[1]，磐井 佑輔[1]，田上 隆[1]，諸江 雄太[1]，谷 将星[1]，富永 直樹[1]，福田 令雄[1]，畝本 恭子[1]，横田 裕行[2]（1.日本医科大学多摩永山病院救命救急センター，2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

O30-3　院外心停止のECPRにおけるX線透視下カニュレーションによる合併症発生の低下
柏浦 正広，田邉 孝大，杉山 和宏，明石 暁子，濱邊 祐一（東京都立墨東病院救命救急センター）

O30-4　院内心停止に対するECPR施行症例の転帰の検討
星野 哲也[1]，大村 和也[1]，金尾 邦生[1]，木村 慎一[1]，相馬 良一[2]，森實 雅司[2]，高橋 宏行[1]（1.済生会横浜市東部病院集中治療科，2.済生会横浜市東部病院臨床工学部）

O30-5　院内ICUに入室した院内心肺停止患者についての検討
井上 敬太[1]，奥田 裕子[2]，藤本 佳久[1]，平山 敬浩[1]，香村 安健[2]，松山 広樹[1]，長門 優[1]，阪口 雅洋[1]，竹上 徹郎[2]，平田 学[1]（1.京都第一赤十字病院麻酔科，2.京都第一赤十字病院救急科）

O30-6　ドクターヘリで対応した院外心肺停止症例の検討
三村 誠二[1]，田根 なつ紀[1]，森 勇人[1]，川田 篤志[2]，大村 健史[1]，森下 敦司[2]，川下 陽一郎[2]，奥村 澄枝[3]，住友 正幸[3]（1.徳島県立中央病院救命救急センター，2.徳島県立中央病院外科，3.徳島県立三好病院救急科）

2月13日（土）　11：00～12：00　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
口演31　中毒・体温異常②

座長：田勢 長一郎（公立大学法人福島県立医科大学救急医療学講座）

O31-1　OTC医薬品に含まれるジヒドロコデインの異常代謝に起因した小児オピオイド中毒
種市 尋宙[1]，澁谷 伸子[2]（1.富山大学医学部小児科，2.富山大学附属病院集中治療部）

O31-2　モダフィニル中毒によりくも膜下出血およびPRESを呈した1例
小野 将平[1]，清水 敬樹[1]，鈴木 茂利雄[1]，荒川 裕貴[1]，濱口 純[1]，萩原 祥弘[1]，金子 仁[1]，光銭 大裕[1]，森川 健太郎[1]，三宅 康史[2]（1.多摩総合医療センター救命救急センター，2.昭和大学医学部救急医学講座）

O31-3　急性一酸化炭素中毒に対する新しい治療法としての光照射 ―照射強度の違いについて―
鹿志村 剛，田中 拓，平 泰彦（聖マリアンナ医科大学救急医学）

O31-4　抗精神病薬・睡眠薬過量内服による急性薬物中毒における合併症（誤嚥性肺炎）の検討
濱口 満英，植嶋 利文，松島 知秀，村尾 佳則（近畿大学医学部救急医学）

O31-5　急性中毒診療における集中治療管理の必要性
吉永 雄一，澤野 宏隆，佐藤 秀峰，夏川 知輝，小濱 圭佑，大場 次郎，大谷 尚之，伊藤 裕介，林 靖之，甲斐 達朗（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）

O31-6　DPCデータを用いた有機リン中毒におけるPAMの有効性の検討
荒井 秀明[1]，城戸 貴志[2]，高橋 直樹[2]，染谷 一貴[2]，長谷川 潤[2]，大坪 広樹[2]，高間 辰雄[2]，蒲地 正幸[1]，真弓 俊彦[2]（1.産業医科大学病院集中治療部，2.産業医科大学病院救急医学講座）

2月13日（土）　13：30～14：30　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
口演32　小児・新生児②

座長：広木 公一（神奈川県立こども医療センター）

O32-1　小児のVeno-arterial extracorporeal membrane oxygenation（V-A ECMO）における心房/心室ベントに関する検討
赤木 健太郎[1]，三浦 慎也[1]，中野 諭[1]，濱本 奈央[1]，大崎 真樹[1]，小野 安生[2]，坂本 喜三郎[3]（1.静岡県立こども病院循環器集中治療科，2.静岡県立こども病院循環器科，3.静岡県立こども病院心臓血管外科）

O32-2　静肺コンプライアンスはECMO離脱の指標になりうる ～新生児呼吸不全のECMO中にCstを測定した4例の経験～
小田 新，中村 友彦（長野県立こども病院総合周産期医療センター新生児科）

O32-3　当院のECMO患者の長期フォローの現状と課題
宮下 徳久[1]，新津 健裕[1]，居石 崇志[1]，渡邉 伊知郎[1]，本村 誠[1]，中山 祐子[1]，齊藤 修[1]，清水 直樹[1]，吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部，2.東京都立小児総合医療センター臨床工学技士室）

O32-4　小児cardiac ECMO後の腎予後の検討
中野 諭，大崎 真樹，三浦 慎也，濱本 奈央（静岡県立こども病院循環器集中治療科）

O32-5　大血管転位症患者における新生児期Arterial switch術後急性腎障害発症riskの検討
海老島 宏典[1]，黒嵜 健一[1]，三宅 啓[1]，坂口 平馬[1]，北野 正尚[1]，帆足 孝也[2]，鍵崎 康司[2]，市川 肇[2]，白石 公[1]（1.国立循環器病研究センター小児循環器科，2.国立循環器病研究センター心臓外科）

O32-6　小児循環器集中治療室における心疾患新生児期死亡例の検討
黒嵜 健一[1]，海老島 宏典[1]，三宅 啓[1]，坂口 平馬[2]，北野 正尚[2]，帆足 孝也[3]，鍵崎 康治[3]，市川 肇[3]，白石 公[3]（1.国立循環器病研究センター病院小児循環器集中治療室，2.国立循環器病研究センター病院小児循環器科，3.国立循環器病研究センター病院小児心臓外科）

2月13日（土）　11：00～12：00　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
口演33　感染・感染対策①

座長：土手 健太郎（愛媛大学医学部附属病院集中治療部）

O33-1　集中治療室における黄色ブドウ球菌菌血症患者の予後因子の検討
京 道人，木田 佳子，大下 慎一郎，鈴木 慶，山賀 聡之，廣橋 伸之，志馬 伸朗（広島大学大学院救急医学）

O33-2　2015年度の敗血症性ショックのICU死亡の原因解析
海野 仁，山本 尚範，日下 琢雅，東 倫子，眞喜志 剛，田村 有人，江嶋 正志，沼口 敦，角 三和子，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

O33-3　名古屋大学救急・集中治療部における侵襲性アスペルギルス感染症の現状と未来
塩屋 悠斗，東 倫子，海野 仁，日下 琢雅，山本 尚範，田村 有人，江嶋 正志，角 三和子，沼口 敦，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

O33-4　誤嚥性肺炎の治療方針決定におけるプロカルシトニンの有用性
柳井 真知[1]，江原 淳[2]，藤谷 茂樹[1,2]，津久田 純平[1]，高松 由佳[1]，森澤 健一郎[1]，平 泰彦[1]（1.聖マリアンナ医科大学救急医学，2.東京ベイ浦安市川医療センター）

O33-5　ICUでの入院加療が必要であった急性咽頭炎・喉頭炎の検討
生塩 典敬[1]，安達 普至[1]，鶴 昌太[1]，原口 正大[2]，上村 弘行[2]，臼元 典子[1]，鮎川 勝彦[1]（1.飯塚病院集中治療部，2.飯塚病院耳鼻咽喉科）

O33-6　意識障害の原因が非ウレアーゼ産生菌の閉塞性尿路感染症による高アンモニア血症であった1症例
山口 和将，渡辺 隆明，佐々木 庸郎，小島 直樹，稲川 博司，岡田 保誠（公立昭和病院救命救急センター）

2月13日（土）　13：30～14：30　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
口演34　感染・感染対策②

座長：七戸 康夫（独立行政法人国立病院機構北海道医療センター救命救急センター救急科）

O34-1　多白血球血症における β-D glucan測定法の基礎検討
菅 重典[1]，高橋 学[1]，稲田 捷也[1]，成田 和也[2]，山田 友紀[2]，秋丸 理世[1]，佐藤 諒[1]，佐藤 正幸[1]，佐藤 寿穂[1]，井上 義博[1]（1.岩手医科大学救急医学講座，2.岩手医科大学臨床検査部）

O34-2　マウス緑膿菌性急性肺傷害モデルにおける血清抗体の有効性の検討
木下 真央[1]，加藤 秀哉[2]，清水 優[2]，濱岡 早枝子[1]，秋山 浩一[1]，内藤 慶史[1]，佐和 貞治[1]（1.京都府立医科大学麻酔科学教室，2.京都鞍馬口医療センター）

O34-3　多剤耐性*Acinetobacter*に対するnorepinephrineの病原性増強作用と薬剤耐性誘導に関する基礎研究
稲葉 正人，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

O34-4　小児集中治療室におけるカテーテル関連血流感染症診断の問題点
喜久山 和貴[1]，井手 健太郎[1]，松本 正太朗[1]，小林 徹[2]，船木 孝則[3]，宮入 烈[3]，西村 奈穂[1]，中川 聡[1]（1.国立成育医療研究センター手術集中治療部集中治療科，2.国立成育医療研究センター臨床研究企画室，3.国立成育医療研究センター生体防御系内科部感染症科）

O34-5　当院で経験したダニ媒介感染症の7例 ～初診時にSFTSを鑑別できるか？～
喜多村 泰輔，山本 浩大郎，野島 剛，石原 潤子，大西 広一，田村 竜，村西 謙太郎（高知医療センター救命救急センター）

O34-6　ICUにおけるGram染色を取り入れた感染症診療の取り組み
日比野 将也，植西 憲達，多和田 哲郎，都築 誠一郎，神宮司 成弘，田口 瑞季，近藤 司（藤田保健衛生大学救急総合内科）

2月13日（土） 11：00～12：00 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
口演35 ナースのストレス

座長：高松 道生（長野県厚生農業協同組合連合会鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院循環器内科）

O35-1 A病院ICU・CCU看護師のレジリエンスとレジリエンスに影響する要因の検討
西山 久美江，君島 愛里（東海大学医学部付属八王子病院）

O35-2 集中治療部に配置された看護師のストレスを評価する
菅原 希，坂本 千尋，秋山 恵美，鈴木 友里恵，工藤 淳，神 久美子，須東 光江，亀山 良亘，齋藤 浩二，星 邦彦（東北大学病院ICU1）

O35-3 自殺企図を繰り返す患者のケアにおいて看護師が抱く感情労働とストレスの関係
長津 貴子[1]，栗原 加代[2]，長谷川 隆一[3]（1.水戸協同病院集中治療室，2.茨城キリスト教大学看護学部看護学科，3.筑波大学水戸地域医療教育センター水戸協同病院救急集中治療科）

O35-4 当院PICUにおけるグリーフカンファレンスの現状と今後の課題
塚原 怜子[1]，小坂 奈穂[1]，新津 健裕[2]（1.東京都立小児総合医療センター看護部看護科，2.東京都立小児総合医療センター集中治療科）

O35-5 救急・集中治療領域に携わる看護師の疲労の実態に関する全国調査
牧野 夏子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

O35-6 救急・集中治療領域に携わる医療職者の語りから捉えた共通する疲労の実態
牧野 夏子（札幌医科大学保健医療学部看護学科）

2月13日（土） 13：30～14：30 第9会場 神戸国際展示場2号館1F コンベンションホール南
口演36 産婦人科

座長：足立 健彦（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院麻酔科）

O36-1 脳動静脈奇形破裂をきたした妊娠患者の周産期管理：血管内治療後に帝王切開を行い母児ともに救命した一症例
浅野 哲[1]，林 南穂子[2]，諏訪 潤子[2]，細川 麻衣子[2]，枝窪 俊輔[2]，齋藤 豊[1]，種田 益造[1]，矢野 喜一[2]，渡辺 えり[2]，加藤 啓一[2]（1.日本赤十字社医療センター集中治療科，2.日本赤十字社医療センター麻酔科）

O36-2 腫瘍内出血によるDICを伴う巨大子宮腫瘍摘出術の出血コントロールに大動脈遮断バルーンが著効した1例
浜川 綾子，中尾 謙太，石井 久成（天理よろづ相談所病院）

O36-3 HELLP症候群に対する帝王切開術後に右肝梗塞を呈した1例
西周 祐美，山口 嘉一，山本 夏啓，堺 結有，出井 真史，吉田 輔，高木 俊介，野村 岳志，山口 修，後藤 隆久（横浜市立大学附属病院）

O36-4 妊娠中に皮膚筋炎に伴う急性間質性肺炎が発症した一例
正司 智洋，梅垣 岳志，穴田 夏樹，安藤 亜希子，右馬 猛生，甲斐 慎一，岡本 明久，西 憲一郎，廣田 喜一，新宮 興（関西医科大学附属枚方病院麻酔科総合集中治療部）

O36-5 妊娠関連の非典型溶血性尿毒症症候群（atypical HUS）の1例
菅原 梨香[1]，丹保 亜希仁[2]，川田 大輔[3]，中嶋 駿介[3]，柏木 友太[3]，小林 厚志[3]，西浦 猛[3]，岡田 基[3]，小北 直宏[3]，藤田 智[3]（1.旭川医科大学病院卒後臨床研修センター，2.名寄市立総合病院救命救急センター，3.旭川医科大学病院救命救急センター）

O36-6 過去3年間に集中治療管理を要した周産期患者の検討
柿沼 孝泰，山本 亜矢，西山 遼太，沖田 綾乃，清川 聖代，金子 恒樹，浜田 隆太，西山 隆久，今泉 均，内野 博之（東京医科大学麻酔科学分野）

2月13日（土） 11：00～12：00 第10会場 神戸国際展示場1号館2F 2A展示室
口演37 血液・凝固線溶②

座長：矢口 有乃（東京女子医科大学病院）

O37-1 基礎疾患のない小児の感染性DICにトロンボモジュリンは有効である
林 拓也[1]，山田 香里[1]，永渕 弘之[2]（1.神奈川県立こども医療センター救急診療科，2.神奈川県立こども医療センター集中治療科）

O37-2 JSEPTIC DIC study報告：敗血症性DICに対するトロンボモジュリン製剤の効果
早川 峰司[1]，山川 一馬[2]，齋藤 慎二郎[3]，内野 慈彦[3]，工藤 大介[4]，飯塚 悠祐[5]，讃井 將満[5]，滝本 浩平[6]，真弓 俊彦[7]（1.北海道大学病院先進急性期医療センター，2.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科，3.東京慈恵医科大学附属病院集中治療部，4.東北大学大学院医学系研究科救急医学分野，5.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部，6.大阪大学病院集中治療部，7.産業医科大学救急医学講座）

O37-3 敗血症性DICに対するAT製剤の有効性 ―血栓止血学会DIC診断基準暫定案での追加検討―
村尾 淳司[1]，宮武 秀光[1]，藤井 恵美[1]，清水 淳次[1]，今宿 康彦[2]，山根 哲信[1]，辻田 靖之[1]，田畑 貴久[3]，高橋 完[1]，江口 豊[3]（1.滋賀医科大学救急・集中治療部，2.滋賀医科大学麻酔科，3.滋賀医科大学救急・集中治療学講座）

O37-4 JSEPTIC DIC study報告：敗血症性DICに対するアンチトロンビン製剤の効果
早川 峰司[1]，工藤 大介[4]，齋藤 慎二郎[3]，内野 慈彦[3]，山川 一馬[2]，飯塚 悠祐[5]，讃井 將満[5]，滝本 浩平[6]，真弓 俊彦[7]（1.北海道大学病院先進急性期医療センター，2.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科，3.東京慈恵医科大学附属病院集中治療部，4.東北大学大学院医学系研究科救急医学分野，5.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部，6.大阪大学病院集中治療部，7.産業医科大学救急医学講座）

O37-5　重症敗血症に関連したDICに対するアンチトロンビン製剤とトロンボモジュリン製剤の併用効果の検討
荻原 洋二郎，安田 則久，後藤 孝治，中村 尚子，横尾 あずさ，佐々木 美圭，大地 嘉史，安部 隆国，山本 俊介，北野 敬明（大分大学医学部麻酔科・集中治療部）

O37-6　JSEPTIC DIC study報告：敗血症性DIC治療方針の転帰への影響
工藤 大介[1]，早川 峰司[3]，内野 慈彦[2]，讃井 將満[4]，山川 一馬[5]，飯塚 悠祐[4]，滝本 浩平[6]，齋藤 慎二郎[2]，真弓 俊彦[7]，Japan Septic DIC study group[8]（1.東北大学大学院医学系研究科救急医学分野，2.東京慈恵医科大学附属病院集中治療部，3.北海道大学病院先進急性期医療センター，4.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部，5.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科，6.大阪大学病院集中治療部，7.産業医科大学救急医学講座，8.Japan Septic DIC study group）

2月13日（土）　13：30～14：30　第10会場　神戸国際展示場1号館2F　2A展示室
口演38　神経②

座長：瀬尾 勝弘（小倉記念病院麻酔科・集中治療部）

O38-1　外傷性脊髄硬膜外血腫に対し，透視下経皮的ドレナージを施行した1症例
藤井 雅士，小田 裕太，藤野 光洋，浜崎 幹久，岡田 信長，大木 伸吾，田中 博之，竹下 淳，別府 賢，志馬 伸朗（国立病院機構京都医療センター救命救急科）

O38-2　診断に難渋した自己抗体介在性辺縁系脳炎の一例
石原 徹，柳 秀高，小松 昌道，桑野 公輔，真鍋 早季，門倉 彩奈，小澤 秀樹（東海大学医学部総合内科）

O38-3　抗NMDAR脳炎の2症例
堀 泰雄，佐野 博昭，中谷 桂治，栗田 聡（JCHO大阪病院麻酔科）

O38-4　腫瘍随伴性抗NMDA受容体脳炎に対して集中治療管理を要した2症例
白川 尚隆[1]，三住 拓誉[2]，藤本 大地[1]，西村 太一[1]，巻野 将平[1]，長江 正晴[1]，小幡 典彦[1]，江木 盛時[2]，出田 眞一郎[1]，溝渕 知司[1]（1.神戸大学附属病院麻酔科，2.神戸大学附属病院集中治療部）

O38-5　脳出血患者の急性期血圧管理と予後の検討
山田 哲久[1]，名取 良弘[2]，今本 尚之[2]，村上 信哉[2]（1.飯塚病院救急部，2.飯塚病院脳神経外科）

O38-6　可逆性脳血管攣縮症候群におけるプロポフォールの有効性
長田 貴洋[1]，下田 雅美[2]，堀田 和子[1]，重松 秀明[1]，松前 光紀[1]（1.東海大学医学部脳神経外科，2.東海大学医学部付属八王子病院脳神経外科）

2月13日（土）　11：00～12：00　第11会場　神戸国際展示場1号館2F　2B展示室
口演39　早期離床・リハビリテーション②

座長：水谷 太郎（筑波大学附属病院救急・集中治療科）

O39-1　足部の位置と運動間隔が下腿パンピング運動中の総大腿静脈血流速度に及ぼす影響について
高橋 哲也[1]，森沢 知之[2]（1.東京工科大学医療保健学部，2.兵庫医療大学リハビリテーション学部）

O39-2　大腸穿孔患者の大腰筋断面積と歩行能力との関連
渡辺 伸一[1]，大野 美香[2]，森田 恭成[2]，鈴木 秀一[2]，染矢 富士子[3]（1.国立病院機構名古屋医療センターリハビリテーション科，2.独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター集中治療科，3.金沢大学大学院医薬保健研究域保健学系）

O39-3　生体肝移植術施行患者における周術期の身体運動機能に関する検討
花田 匡利[1]，及川 真人[1,4]，名倉 弘樹[1]，関野 元裕[2]，東島 潮[2]，日高 匡章[3]，曽山 明彦[3]，江口 晋[3]，神津 玲[1,4]（1.長崎大学病院リハビリテーション部，2.長崎大学病院集中治療部，3.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科移植・消化器外科，4.長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内部障害リハビリテーション学）

O39-4　外傷性心室中隔穿孔を伴う多発外傷後にEMSを実施した一例
佐藤 宏樹（川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター）

O39-5　心臓血管外科術後患者の在院日数延長要因の検討
古田 弘二[1]，立石 奈己[2]，松平 宗典[3]，槇田 徹次[3]（1.佐世保市立総合病院リハビリテーション室，2.佐世保市立総合病院看護部ICU，3.佐世保市立総合病院救急集中治療科）

O39-6　心臓血管外科手術による身体機能低下関連因子の検討
大浦 啓輔，相方 由香理，井手迫 光弘，越智 裕介（福山循環器病院リハビリテーション課）

2月13日（土）　13：30～14：30　第11会場　神戸国際展示場1号館2F　2B展示室
口演40　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床③

座長：高岡 勇子（北海道大学病院集中治療部）

O40-1　高度救命救急センター初療段階におけるせん妄発症状況の実態調査（DTS・bCAMを使用して）
嶋岡 征宏[1]，相楽 章江[1]，田中 美知代[1]，白石 知之[1]，宇多川 文子[1]，古賀 雄二[2]（1.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター，2.亀田医療大学成人看護学）

O40-2　集中治療室における急性腎傷害の発生とせん妄の関連についての検討
井手上 龍児[1,2]，小林 圭子[3]，楠 さくら[3]（1.JCHO東京城東病院，2.東京医療保健大学大学院看護学研究科，3.武蔵野赤十字病院集中治療室）

O40-3　PRE-DELIRI modelにおけるせん妄予測の検討
森 一直[1], 黒澤 昌洋[1], 中山 敬太[2], 藤田 義人[3], 畠山 登[3], 藤原 祥裕[3]（1.愛知医科大学病院看護部, 2.愛知医科大学病院ICU, 3.愛知医科大学麻酔科学講座）

O40-4　頸動脈血行再建術における過灌流症候群とせん妄についての評価
鈴木 利枝[1], 松井 智美[2], 金子 勇輝[1], 福田 久子[1]（1.筑波メディカルセンター病院, 2.旧筑波メディカルセンター病院）

O40-5　ICU・HCU看護師のせん妄に対するとりくみ ～CAM－ICU導入前後の意識と行動の変化～
佐藤 支保, 本田 飛鳥, 仮屋 千穂（都城市郡医師会病院）

O40-6　A病院集中治療室におけるABCDEバンドル導入の活動報告
菅 侑也, 佐々木 亜理沙, 飯島 正美, 澤田 大輔（国際親善総合病院）

2月13日（土） 11：00～12：00　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
口演41　栄養管理①

座長：北村 晶（埼玉医科大学国際医療センター麻酔科）

O41-1　ICU入室中の筋肉量減少と予後の関連性
堤 理恵[1], 大藤 純[2], 井内 茉莉奈[1], 小野寺 睦雄[2], 堤 保夫[3], 今中 秀光[2], 原田 永勝[1], 西村 匡司[2]（1.徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野, 2.徳島大学病院救急集中治療部, 3.徳島大学大学院医歯薬学研究部麻酔疼痛治療医学）

O41-2　ICU acquired weakness発症患者における筋力及び筋肉量の回復推移 ～栄養摂取量との関連に着目した一考察～
松嶋 真哉[1,2], 根本 慎司[1], 吉沢 和也[1], 横山 仁志[3], 渡邉 陽介[3], 武市 梨絵[3], 吉田 英樹[4], 吉田 徹[4], 桝井 良裕[4]（1.聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部, 2.聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院NST, 3.聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部, 4.聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院救命救急センター）

O41-3　本邦ICUにおける人工呼吸器装着症例の間接熱量測定：連続80症例の測定
海塚 安郎（製鉄記念八幡病院救急・集中治療部）

O41-4　人工呼吸管理を含む集中治療を実施した急性心不全患者への栄養療法
郷間 厳[1,2], 小原 章敏[3], 西田 幸司[1]（1.堺市立総合医療センター呼吸器内科, 2.堺市立総合医療センター栄養サポートチーム, 3.堺市立総合医療センター循環器内科）

O41-5　心不全入院患者に対する栄養管理と指導 ―文献検索とメタ解析
宮島 功[1,2], 矢田部 智昭[2], 田村 貴彦[2], 横山 正尚[2]（1.社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部, 2.高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

O41-6　集中治療室における急性期心不全患者の血中BNPと栄養状態の関連性の検討
宮島 功, 宮澤 靖（社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部）

2月13日（土） 13：30～14：30　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
口演42　栄養管理②

座長：国元 文生（国立大学法人群馬大学医学部附属病院集中治療部）

O42-1　取下げ

O42-2　本邦ICUでの経腸栄養と予後への影響について 国際栄養調査2011と2013の結果から
東別府 直紀[1], 讃井 將満[2], 祖父江 和哉[3], 佐藤 武揚[4], 水野 篤[5]（1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科/NST, 2.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部, 3.名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔・危機管理医学分野, 4.東北大学病院高度救命救急センター, 5.聖路加国際病院循環器内科）

O42-3　当院における国際栄養調査の結果と今後のNSTの役割
富田 仁美（大浜第一病院診療技術部栄養給食科）

O42-4　国際栄養調査結果からみたICUの栄養管理の現状と課題
原口 さやか[1], 大村 和也[2], 工藤 雄洋[1], 藤谷 朝美[1], 高橋 宏行[2]（1.済生会横浜市東部病院栄養部, 2.済生会横浜市東部病院集中治療科）

O42-5　国際栄養調査2013：本邦におけるグルタミンの投与の実態
小山 洋史[1], 東別府 直紀[2], 中川 温美[3], 神尾 直[1], 讃井 將満[1]（1.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科/NST, 3.自治医科大学附属さいたま医療センター看護部）

O42-6　集中治療領域における胃蠕動薬の使用状況について ～国際栄養調査の結果から～
水野 篤[1], 東別府 直紀[2]（1.聖路加国際病院循環器内科, 2.神戸市立医療センター中央市民病院）

2月13日（土） 11：00～12：00 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
口演43 消化器①

座長：北浦 道夫（独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院麻酔科）

O43-1 集中治療におけるD体乳酸値上昇は腸管壊死（虚血）と関連する
吉田 真一郎[1], 升田 好樹[1], 巽 博臣[1], 片山 洋一[1], 数馬 聡[1], 高橋 科那子[1], 今泉 均[2]（1.札幌医科大学医学部集中治療医学, 2.東京医科大学医学部麻酔科学講座集中治療部）

O43-2 開心術後の非閉塞性腸間膜虚血症例の検討
川上 大裕, 植田 浩司, 下薗 崇宏, 美馬 裕之, 山崎 和夫（神戸市立医療センター中央市民病院）

O43-3 当センターにおける開心術後の非閉塞性腸間膜虚血に対する取り組み
大城 国夫[1], 青松 昭徳[1], 佐藤 瑞樹[2], 小室 哲也[1], 飯塚 悠祐[1], 神尾 直[1], 簗瀬 史貴[1], 中嶋 いくえ[1], 毛利 英之[3], 讃井 將満[1]（1.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部, 2.倉敷中央病院救急科, 3.沖縄県立中部病院集中治療部）

O43-4 当院におけるOpen abdominal management（OAM）症例の検討
松居 亮平, 新井 正徳, 石井 浩統, 萩原 令彦, 萩原 純, 増野 智彦, 金 史英, 宮内 雅人, 辻井 厚子, 横田 裕行（日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

O43-5 水素水の腹腔内注射によるマウス術後腸管麻痺の改善効果
中尾 篤典, 岡本 彩那, 山下 勇人, 石川 倫子, 小濱 圭祐, 西村 健, 藤崎 宣友, 小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

O43-6 内視鏡を用いたベッドサイドでの消化管チューブ（ED・イレウス管）の挿入
馬塲 雄造（桜橋渡辺病院外科）

2月13日（土） 13：30～14：30 第13会場 神戸国際展示場2号館3F 3A会議室
口演44 消化器②

座長：升田 好樹（札幌医科大学附属病院集中治療部）

O44-1 重症急性膵炎の経過に影響を与える因子についての検討
鈴木 銀河, 佐藤 諒, 高萩 基仁, 森田 幸子, 澤野 宏隆, 林 靖之, 甲斐 達朗（済生会千里病院千里救命救急センター）

O44-2 重症急性膵炎に対するrenal replacement therapyの効果 ―多施設観察研究―
澤野 宏隆[1], 堀部 昌靖[2], 佐々木 満仁[3], 後藤 隆司[4], 池浦 司[5], 濱田 毅[6], 尾田 琢也[7], 安田 英人[8], 真弓 俊彦[9], 讃井 將満[10]（1.大阪府済生会千里病院千里救命救急センター, 2.慶應義塾大学医学部, 3.独立行政法人国立癌研究センター, 4.広島市立広島市民病院, 5.関西医科大学, 6.東京大学医学部附属病院, 7.飯塚病院, 8.武蔵野赤十字病院, 9.産業医科大学, 10.自治医科大学附属さいたま医療センター）

O44-3 感染性膵壊死の診断におけるプレセプシン測定の有用性
関 晃裕, 佐藤 康次, 越田 嘉尚, 野田 透, 岡島 正樹, 谷口 巧（金沢大学附属病院集中治療部）

O44-4 急性膵炎患者の感染性膵壊死合併の診断にプロカルシトニンは有用か
東 秀律, 安田 英人, 須崎 紳一郎, 勝見 敦, 原田 尚重, 原 俊輔, 平山 優, 安達 朋宏, 本澤 大志, 岸原 悠貴（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

O44-5 重症急性膵炎における感染性膵壊死に発展する予測因子の検討
木口 雄之, 中本 直樹, 藤見 聡（大阪府立急性期・総合医療センター高度救命救急センター）

O44-6 肝移植術後の高カルシウム血症についての検討
酒井 佳奈紀[1], 井口 直也[1], 岩谷 博次[2], 内山 昭則[1], 藤野 裕士[1]（1.大阪大学医学部附属病院集中治療部, 2.大阪医療センター腎臓内科）

2月14日（日） 11：00～12：00 第2会場 神戸ポートピアホテル 南館1F 大輪田A
口演45 倫理・終末期・看護ケア

座長：明神 哲也（東京医科大学病院看護部）

O45-1 CNS-FACEの改訂ポイントと改訂版の内容
山勢 博彰[1], 立野 淳子[2], 田戸 朝美[1], 山勢 善江[3]（1.山口大学大学院医学系研究科, 2.小倉記念病院, 3.日本赤十字九州国際看護大学）

O45-2 ICUにおける体外式VAD装着患者の終末期看護の一例 ～家族と共に終末期に向き合えた事例を通して～
荒木 知美[1], 池田 真理[2], 加藤 翼沙[1], 山本 則子[2]（1.東京大学医学部附属病院看護部, 2.東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻）

O45-3 救命救急センターにおけるグリーフケア
上高 円佳[1], 土屋 志保[1], 片岡 祐一[2], 新井 久稔[2], 高橋 恵[3], 山野辺 みち子[1]（1.北里大学病院救命救急・災害医療センターEICU, 2.北里大学医学部救命救急医学, 3.北里大学病院医療支援部）

O45-4 PICUにおける終末期ケアの実践 ～グリーフカンファレンスに焦点を当てて～
新垣 奈津子（沖縄県立南部医療センター・こども医療センターPICU）

O45-5 集中治療において終末期患者家族が捉える「望ましい最期」に関する探索的研究
立野 淳子[1], 山勢 博彰[2], 山本 小奈美[2], 久間 朝子[3], 西村 祐枝[4], 田戸 朝美[2], 藤本 理恵[5]（1.小倉記念病院, 2.山口大学, 3.福岡大学病院, 4.西南女学院大学, 5.山口大学医学部附属病院）

O45-6　集中治療室における終末期患者に対する治療方針の認識とDNAR指示の捉え方の違い —医師と看護師の比較—
板花 昇[1], 齋藤 真実子[1], 菅井 恵[1], 山田 尚弘[2]（1.山形県立救命救急センター看護部HCU, 2.山形県立救命救急センター救急科）

2月14日（日） 11：00～12：00　第3会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田B
口演46　教育・専門医・医療経済

座長：西 信一（兵庫医科大学病院ICU）

O46-1　特殊診療部門における院内急変シミュレーションの現状
佐藤 圭路, 湯本 哲也, 飯田 淳義, 塚原 紘平, 松尾 瑞恵, 山川 泰明, 芝 直基, 寺戸 通久, 山内 英雄, 鵜川 豊世武（岡山大学病院高度救命救急センター）

O46-2　交差法と平行法を併用した新しい超音波ガイド下中心静脈穿刺についての検討：シミュレーターを用いて
竹下 淳, 藤野 光洋, 狩野 謙一, 浜崎 幹久, 岡田 信長, 大木 伸吾, 藤井 雅士, 田中 博之, 別府 賢, 志馬 伸朗（国立病院機構京都医療センター救命救急科）

O46-3　ICU専従医配置前後の心臓血管外科術後患者管理の変化
佐伯 有香[1], 武居 哲洋[2], 古田島 太[1], 磨田 裕[1], 北村 晶[1]（1.埼玉医科大学国際医療センター集中治療科, 2.横浜市立みなと赤十字病院集中治療科）

O46-4　心臓外科High Volume CenterにおけるICU専門医による術後管理開始前後の比較
原口 剛[1], 松尾 耕一[1], 望月 大輔[2], 三高 千恵子[3]（1.新東京病院集中治療部, 2.関東中央病院, 3.順天堂大学医学部大学院麻酔科学・ペインクリニック講座）

O46-5　集中治療室の病床規模によって重症患者の年間施設別症例数とアウトカムの関係が変化するか
笹渕 裕介[1], 康永 秀生[1], 松居 宏樹[1], Alan Lefor[2], 堀口 裕正[3], 伏見 清秀[4], 讃井 將満[5]（1.東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学, 2.自治医科大学, 3.独立行政法人国立病院機構, 4.東京医科歯科大学, 5.自治医科大学附属さいたま医療センター）

O46-6　集中治療部における包括化（DPC）対策会議の活動：11年間の総括
土手 健太郎[1], 池宗 啓蔵[1], 出崎 陽子[1], 中西 和雄[2], 菊池 幸太郎[2], 藤井 園子[2], 小西 周[2], 西原 佑[2], 阿部 尚紀[2], 萬家 俊博[2]（1.愛媛大学医学部附属病院集中治療部, 2.愛媛大学医学部付属病院麻酔・周術期科）

2月14日（日） 11：00～12：00　第4会場　神戸ポートピアホテル 南館 1F　大輪田C
口演47　感染・感染対策③

座長：林 淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科）

O47-1　敗血症の新しいバイオマーカーとしてのプレセプシンの有用性の検討
東口 隆[1], 高橋 科那子[3], 佐藤 昌太[2], 数馬 聡[3], 木井 菜摘[1], 片山 洋一[3], 吉田 真一郎[3], 巽 博臣[3], 升田 好樹[3], 山蔭 道明[1]（1.札幌医科大学医学部麻酔科学講座, 2.札幌医科大学医学部救急医学講座高度救命救急センター, 3.札幌医科大学医学部集中治療医学）

O47-2　プレセプシンと腎機能との相関及び基準値の妥当性の検討
大地 嘉史, 佐々木 美圭, 荻原 洋二郎, 牧野 剛典, 古賀 寛教, 安田 則久, 後藤 孝治, 北野 敬明（大分大学医学部附属病院麻酔科・集中治療部）

O47-3　侵襲性肺炎球菌感染症においてプレセプシンが陰性であった1症例
田窪 一誠, 亀山 実季, 青山 文, 鷹取 誠（広島市立広島市民病院麻酔集中治療科）

O47-4　ニューモシスチス肺炎におけるプレセプシン測定の意義
宮崎 裕也[1], 佐藤 庸子[2], 小谷 透[2]（1.埼玉県済生会川口総合病院麻酔科, 2.東京女子医科大学麻酔科学教室）

O47-5　敗血症における血中プレセプシン, IL-6, PCTの臨床的意義
高橋 和香, 中田 孝明, 矢崎 めぐみ, 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

O47-6　熱中症と発熱の鑑別におけるプレセプシン測定の有用性
狩野 謙一[1], 岡田 信長[1], 堤 貴彦[2], 志馬 伸朗[3]（1.国立病院機構京都医療センター救命救急科, 2.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科, 3.広島大学大学院医歯薬保健学研究院救急医学）

2月14日（日） 11：00～12：00　第5会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　サファイア
口演48　内分泌・代謝・免疫

座長：杉田 学（学校法人順天堂順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科）

O48-1　甲状腺クリーゼ, 心室細動に対してVA ECMOおよび血漿交換療法を用いて救命した1例
漆畑 直, 千田 篤, 遠藤 英樹, 庄古 知久（松戸市立病院救命救急センター）

O48-2　当院に搬送され特発性縦隔気腫と診断された3例の検討
平山 一郎, 比留間 孝広, 吉本 広平, 山本 幸, 上田 吉宏, 松原 全宏, 土井 研人, 石井 健, 中島 勧, 矢作 直樹（東京大学医学部附属病院救急部集中治療部）

O48-3　マクロファージ活性化症候群を合併し, 多臓器不全に至った成人発症Still病の一症例
中西 未来, 田代 恵太, 神戸 賢利, 吉山 直政, 下条 芳秀, 高松 学文, 長井 孝二郎, 高須 修, 山下 典雄, 坂本 照夫（久留米大学病院高度救命救急センター）

O48-4　高アンモニア血症を呈し持続血液浄化を行ったミトコンドリア呼吸鎖異常症の新生児症例
岩田 博文，管 敏晃，奥村 将年，山本 泰史，大塚 康義，宇城 敦司，嶋岡 英輝（大阪市立総合医療センター集中治療部）

O48-5　摂食障害の身体合併症の臨床像の検討
松森 響子[1,3]，日野 耕介[1,4]，安部 猛[1,3]，中村 京太[1,2,3]，森村 尚登[1,2,3]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学，3.横浜市立大学医学部救急医学教室，4.横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）

O48-6　プロポフォールによる脂肪酸代謝抑制に対する糖・アミノ酸代謝の反応
森山 孝宏，原田 浩輝，中原 真由美，松永 明，上村 裕一（鹿児島大学医歯学総合研究科侵襲制御学教室）

2月14日（日）　11：00～12：00　第6会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　トパーズ
口演 49　心臓・循環・体液管理⑤

座長：鷹取 誠（広島市立広島市民病院麻酔科・集中治療科）

O49-1　HITにおけるヘパリンコーティングカニューレを継続使用したPCPSに対して，血小板数の回復を認めた1症例
吉田 幸太郎[1]，林 輝行[1]，前田 琢磨[2,3]，四井田 英樹[1]，西垣 孝行[1]，高橋 裕三[1]，小川 浩司[1]，松本 泰文[1]，服部 希衣子[1]，宮田 茂樹[2]（1.国立循環器病研究センター臨床工学部，2.国立循環器病研究センター輸血管理室，3.国立循環器病研究センター麻酔/集中治療科）

O49-2　気管支喘息発作を発症した17kg女児に対するダブルルーメン体外循環肺補助用カニューレによるECMOの経験
大城 幸作[1]，藤原 直樹[2]，八坂 有起[2]，制野 勇介[2]（1.沖縄県立南部医療センター・こども医療センターMEセンター，2.沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児集中治療科）

O49-3　心筋炎に対しPCPSを施行した13例の検討
倉島 直樹，佐藤 由利，星野 春奈，野田 明里（東京医科歯科大学医学部附属病院MEセンター）

O49-4　長期化したECMO管理における問題点
板坂 竜[1]，猫宮 伸佳[1]，那須 敏裕[1]，前中 則武[1]，進藤 尚樹[1]，高氏 修平[2]（1.市立札幌病院臨床工学科，2.市立札幌病院救命救急センター）

O49-5　当院ECMOにおける溶血に関する揚程と陰圧の後ろ向き解析結果について
中島 康佑[1]，永田 和之[1]，大下 智也[1]，有道 真久[1]，林田 晃寛[3]，平岡 有努[2]，鍵山 暢之[3]，坂口 太一[2]（1.心臓病センター榊原病院臨床工学科，2.心臓病センター榊原病院循環器外科，3.心臓病センター榊原病院循環器内科）

O49-6　長期型（シリコンコーティング）膜型人工肺の使用時における，早期にガス交換能を低下させる因子の検討
加茂 嗣典，江間 信吾，川村 茂之，伊藤 裕美，大村 守弘，森田 耕司，林 秀晴（浜松医科大学医学部附属病院医療機器管理部）

2月14日（日）　11：00～12：00　第7会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　エメラルド
口演 50　心臓・循環・体液管理⑥

座長：鈴木 武志（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）

O50-1　当施設における経皮的心肺補助装置患者75名の後方視的検討 ～予後予測因子の解析～
東島 潮，岡田 恭子，矢野 倫太郎，松本 聡治朗，松本 周平，関野 元裕，原 哲也（長崎大学病院集中治療部/麻酔科）

O50-2　当院ICUにおける植え込み型補助人工心臓HeartMate II植込術後管理導入プロセスの報告
大津 義徳[1]，清水 彩里[1]，三田 篤義[1]，今村 浩[1,3]，山田 真理[2]，金子 香代[2]，塩原 まゆみ[2]，道永 祐希[4]，瀬戸 達一郎[5]，岡田 健次[5]（1.信州大学医学部附属病院集中治療部，2.信州大学医学部附属病院看護部，3.信州大学医学部附属病院高度救命救急センター，4.信州大学医学部附属病院医療用電子機器管理センター，5.信州大学医学部附属病院心臓血管外科）

O50-3　V-V ECMO施行中にTPTDで得られるデータはECMO流量に影響されるか
鶴岡 歩，河本 晃宏，那須 徹也，藤野 高久，井上 賀元（京都民医連中央病院腎循環器センター救急・集中治療科）

O50-4　小児ECMO患者における水分バランスと転帰に関する検討
小谷 匡史[1]，齊藤 修[1]，居石 崇志[1]，本村 誠[1]，中山 祐子[1]，新津 健裕[1]，清水 直樹[1]，吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部集中治療科，2.東京都立小児総合医療センター臨床工学技士室）

O50-5　小児の左心補助人工心臓（Berlin Heart EXCORE）装着術6例の周術期管理と問題点
髭野 亮太[1]，廣瀬 将紀[1]，平松 大典[1]，高橋 邦彦[2]，小垣 滋豊[2]，平 将生[3]，上野 高義[3]，澤 芳樹[3]，内山 昭則[1]，藤野 裕士[1]（1.大阪大学医学部附属病院集中治療部，2.大阪大学医学部附属病院小児科，3.大阪大学医学部附属病院心臓血管外科）

O50-6　当院での小児急性心筋炎に対するVA-ECMOの適応
河野 洋介[1]，小泉 敬一[1,2]，喜瀬 広亮[1,2]，戸田 孝子[1,2]，加賀 重亜喜[4]，森口 武史[3]，鈴木 章司[4]，松田 兼一[3]，杉田 完爾[1]，星合 美奈子[1,2]（1.山梨大学医学部小児科，2.山梨大学医学部附属病院新生児集中治療部，3.山梨大学医学部救急集中治療医学講座，4.山梨大学医学部第二外科）

2月14日（日）　11：00～12：00　第8会場　神戸ポートピアホテル 南館 B1F　ダイヤモンド
口演51　外傷・熱傷②

座長：久志本 成樹（東北大学病院高度救命救急センター）

O51-1　外傷性出血性ショックへの大動脈遮断バルーンカテーテル（IABO catheter）によるPartial occlusion戦略
折田 智彦，船曳 知弘，山崎 元靖，佐藤 智洋，明石 卓，小林 陽介，吉田 浩輔，中道 嘉，倉田 早織，北野 光秀（済生会横浜市東部病院救命救急センター）

O51-2　外傷性腹部大動脈解離による両下肢虚血に対し，腹部大動脈から腸骨動脈へのbare stent留置で救肢し得た1例
渡辺 俊明[1]，毛利 雅治[2]，上木原 健太[2]，宮本 智也[2]，西田 翔[3]，堀 耕太[3]，林田 和之[3]（1.熊本赤十字病院集中治療部，2.熊本赤十字病院心臓血管外科，3.熊本赤十字病院外傷外科）

O51-3　骨盤骨折に対するTAE後の再出血リスクの検討 ～集中治療医が考慮すべきこと～
佐藤 智洋，船曳 知弘，倉田 早織，中道 嘉，吉田 浩輔，明石 卓，小林 陽介，折田 智彦，山崎 元靖，北野 光秀（済生会横浜市東部病院救急科）

O51-4　日本外傷データバンクを用いた外傷患者における開胸心マッサージの有効性の検討
遠藤 彰，白石 淳，大友 康裕（東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

O51-5　当院における肋骨骨折と肺炎の関係性についての検討
高森 聡，金内 直樹，渡辺 光，鈴木 香菜（日本海総合病院呼吸器外科）

O51-6　外傷性脳内出血症例と鑑別が困難であったAOAVMの検討
澤村 淳，水柿 明日美，村上 博基，方波見 謙一，前川 邦彦，小野 雄一，宮本 大輔，和田 剛志，早川 峰司，丸藤 哲（北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野）

2月14日（日）　11：00～12：00　第9会場　神戸国際展示場2号館 1F　コンベンションホール南
口演52　その他

座長：北浦 道夫（独立行政法人労働者健康福祉機構香川労災病院麻酔科）

O52-1　院内クラウド化情報管理システムを活用した患者管理システムの構築
八反丸 善裕，渡邊 恭通（東京大学医学部附属病院医療機器管理部）

O52-2　QC活動における音環境改善
清水 重光，村崎 由起，小田 和也（株式会社麻生飯塚病院臨床工学部）

O52-3　セントラル及びカメラモニタでの患者監視
山中 智弘，長尾 進一郎（社会医療法人近森会近森病院）

O52-4　各メーカーのシリンジについて構造・特徴の検討
小松 義輝，藤川 義之（北播磨総合医療センター臨床工学室）

O52-5　通信の確保を意識したアクセスポイントの検証
野原 剛（社会法人かりゆし会ハートライフ病院医療技術部臨床工学科）

2月14日（日）　11：00～12：00　第10会場　神戸国際展示場1号館 2F　2A展示室
口演53　気道・呼吸・呼吸管理⑧

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部附属病院麻酔科）

O53-1　陽・陰圧体外式人工呼吸器RTXとHRTXにおける体外式高頻度振動換気の比較・検討
下田 優作，北 博志，横山 朋大（神戸大学医学部附属病院臨床工学部門）

O53-2　陽・陰圧体外式人工呼吸器RTXとHRTXにおける擬似咳の実験的比較・検討
北 博志[1]，下田 優作[1]，水上 一也[1]，横山 朋大[1]，三住 拓誉[2]（1.神戸大学医学部附属病院臨床工学部門，2.神戸大学医学部附属病院集中治療部）

O53-3　Nasal High Flowにおけるガス流量と回路内圧の関係
加藤 隆太郎，後藤 武，紺野 幸哉（弘前大学医学部附属病院医療技術部臨床工学・技術部門）

O53-4　オープンフェースマスクと酸素療法デバイスの吸入気酸素濃度の比較
細谷 裕一[1]，山本 信章[1]，渡部 雄介[1]，斉藤 航[1]，秋山 泰利[1]，神山 洋一郎[1,2]，神山 具也[2]，渡部 晃士[2]（1.順天堂大学医学部附属浦安病院臨床工学室，2.順天堂大学医学部附属浦安病院麻酔科）

O53-5　モイストラップF人工鼻（泉工医科工業製）の48時間使用における安全性
吉野 智哉[1]，堀尾 福雄[1]，山本 康裕[2]（1.愛知厚生連江南厚生病院臨床工学技術科，2.愛知厚生連江南厚生病院集中治療部）

O53-6　人工鼻用バクテリアフィルターのハウジング内位置による重量・流量抵抗への影響についての実験的検討
富田 敏司[1]，平尾 収[1]，山下 健次[1]，西村 信哉[1]，森 隆比古[2]（1.大阪府立急性期・総合医療センター麻酔科，2.大阪府立急性期・総合医療センター医療情報部）

2月14日（日）　11：00～12：00　第11会場　神戸国際展示場1号館 2F　2B展示室
口演54　Rapid Response Team・院内急変②

座長：大谷 典生（聖路加国際病院救急部・救命救急センター）

O54-1　Rapid Response System開始後の院内死亡患者の推移と予期せぬ死亡患者の内容分析
松下 千紘，上田 小百合，川口 なぎさ，木村 千穂，松村 京子，宮原 聡子，有元 秀樹，奥村 将年，重光 胤明，師岡 誉也（大阪市立総合医療センター）

O54-2　当院救急部門におけるRRS導入によるコード状況の変化についての考察
高岡 宏一[1], 山口 優[1], 奥田 有紀[1], 高尾 佳美[1], 利川 亜弥[1], 井出 絹代[1], 稲岡 佳子[2], 亀井 博紀[3], 瀬尾 龍太郎[4]
(1.神戸市立医療センター中央市民病院看護部救急病棟・救急外来, 2.神戸市立医療センター中央市民病院看護部医療安全管理室, 3.神戸市立医療センター中央市民病院総合診療科, 4.神戸市立医療センター中央市民病院救急救命センター救急部)

O54-3　一般病棟からICUへ緊急入室した患者の臨床転帰の検討
中村 紀子[1], 佐伯 公亮[1], 池田 智之[2], 中野 顯[1,2](1.彦根市立病院ICUCCU病棟, 2.彦根市立病院循環器科)

O54-4　救急外来コールで対応した患者の急変兆候に関する実態調査
小松 麻衣, 谷山 吉美, 西尾 友子, 越智 明子, 三上 淳子(旭川赤十字病院救命救急センターHCU・救急外来)

O54-5　Modified Early Warning Scoring(MEWS)が4点以上で急変した入院患者背景の検討
伊東 裕貴, 池田 沙穂, 井好 昭博, 山本 直美(潤和会記念病院, 看護部)

O54-6　救命救急センター看護師の急変を未然に防ぐ為の気づき・報告過程の考察
黄川田 幸子, 小野寺 淳, 平山 奈保美, 佐藤 博文(岩手県立大船渡病院救命救急センター)

2月14日（日） 11：00～12：00　第12会場　神戸国際展示場2号館2F　2A会議室
口演55　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床④

座長：茂呂 悦子(学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院看護部)

O55-1　心臓血管外科手術後における急性期早期離床プロトコール改訂後の効果
川上 友里絵, 丸山 純治, 山口 直樹, 三浦 智美, 植村 桜, 亀井 靖子(地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター)

O55-2　心臓移植術後急性期の離床に関連する要因
志村 ともみ, 原田 愛子, 古賀 麻位子, 渡邉 裕美子, 秦 広樹, 藤田 知之, 中谷 武嗣, 小林 順二郎(国立循環器病研究センター)

O55-3　人工呼吸器離脱に難渋した心臓術後患者への継続的なリハビリテーションの試み
中村 秋子, 稲垣 範子, 佃 順子(大阪大学医学部附属病院集中治療部)

O55-4　成人男性における電気刺激を用いたトレーニング中の筋肉酸素化状態および換気状態の変化
中岡 正昭[1], 沓澤 智子[2], 栗田 太作[3](1.東海大学医学部付属病院看護部, 2.東海大学健康科学部看護学科, 3.東海大学情報教育センター)

O55-5　脳卒中急性期患者の肩関節外旋制限の発生要因の検討
南川 貴子[1], 市原 多香子[1], 日坂 ゆかり[1], 原田 路可[2], 田村 綾子[1](1.徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学部門看護学系, 2.徳島大学病院)

O55-6　食道癌患者における周術期サポートチーム(POST)運用の効果
赤澤 里美, 小沢 由佳, 伊藤 富佐恵, 佐藤 美樹, 石森 由樹, 高橋 弘江, 秋山 有史(岩手医科大学附属病院集中治療部)

2月14日（日） 11：00～12：00　第13会場　神戸国際展示場2号館3F　3A会議室
口演56　腎臓・腎機能・血液浄化②

座長：片山 浩(川崎医科大学麻酔・集中治療医学3/川崎医科大学附属病院麻酔・集中治療科)

O56-1　透析患者の人工心肺手術後における血漿再充填速度(Plasma refilling rate: PRR)についての検討
芝田 正道[1], 中山 友子[1], 近藤 敦子[1], 桧垣 洋平[1], 豊見山 真智子[1], 廣瀬 沙優里[1], 樋口 千恵子[2], 小川 哲也[2], 中澤 速和[3], 中野 清治[4](1.東京女子医科大学東医療センター臨床工学部, 2.東京女子医科大学東医療センター内科, 3.東京女子医科大学東医療センター泌尿器科, 4.東京女子医科大学東医療センター心臓血管外科)

O56-2　CRRTにおけるダブルルーメンカテーテル逆接続時の透析効率に関する検討
中村 恵子(仙台循環器病センター臨床工学科)

O56-3　ポンプセグメント径の違いによる長時間流量特性の基礎検討
武藏 健裕(広島国際大学保健医療学部医療技術学科)

O56-4　血液浄化装置TR-55Xでの持続血液濾過モードでの透析回路側への濾液逆流現象の検討
小川 輝之[1], 千原 伸也[1], 島田 朋和[1], 山口 真依[1], 中村 勇輝[1], 室橋 高男[1,2], 高橋 科那子[3], 巽 博臣[3], 升田 好樹[3], 山蔭 道明[3](1.札幌医科大学附属病院臨床工学部, 2.札幌医科大学医療安全部, 3.札幌医科大学医学部集中治療医学)

O56-5　持続緩徐式血液濾過器の(1→3)-β-D-グルカン値に関する基礎的検討
太田 稔[1], 岡本 花織[1], 加藤 伸彦[1], 南 昭子[2], 財津 雅昭[3], 川村 典生[3], 腰塚 靖之[3], 後藤 了一[3], 山下 健一郎[3,4], 嶋村 剛[3,5](1.北海道大学病院ME機器管理センター, 2.北海道大学病院検査輸血部, 3.北海道大学消化器外科I, 4.北海道大学移植外科, 5.北海道大学病院臓器移植医療部)

O56-6　持続血液浄化血液回路におけるAeromonas hydrophilaについて
安藤 勝信[1], 百瀬 直樹[1], 大河原 晋[2], 神尾 直[3], 中嶋 いくえ[3], 大城 國夫[3], 青松 昭徳[3], 中張 浩史[3], 森下 義幸[2], 讃井 將満[3](1.自治医科大学附属さいたま医療センター臨床工学部, 2.自治医科大学附属さいたま医療センター腎臓科, 3.自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)

【一般演題（デジタルポスター）】

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース1　神戸国際展示場
デジタルポスター1　栄養管理

座長：佐藤 善一（大阪回生病院麻酔科）

DP1-1　リフィーディング後の低血糖，肝機能障害，血小板低下をきたした5例
中本 直樹[1], 清水 健太郎[2], 吉川 吉暁[1], 木口 雄之[1], 藤見 聡[1]（1.大阪府立急性期総合医療センター救急診療科，2.大阪大学医学部付属病院高度救命救急センター）

DP1-2　当院ICUで経験した3例から重症神経性食思不振症に対する急性期栄養管理戦略を考える
川治 崇泰[1], 原 嘉孝[1], 大槻 藍[1], 山添 泰佳[1], 勝田 賢[1], 小松 聖史[1], 秋山 正慶[2], 内山 壮太[1], 柴田 純平[1], 西田 修[1]（1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座，2.公立西知多総合病院集中治療部・麻酔科）

DP1-3　心臓血管術後患者の術直後における必要カロリーの検討 ―間接熱量計とHarris-Benedict式との比較―
田村 貴彦，矢田部 智昭，立岩 浩規，山下 幸一，横山 正尚（高知大学医学部麻酔科学集中治療医学講座）

DP1-4　救命ICUにおける糖尿病患者の経管栄養の選択 ―インスローとその他栄養剤の比較―
菅 智行，磯谷 栄二，吉川 秀和，原田 志保（東京女子医科大学東医療センター）

DP1-5　救命救急センター入院患者における亜鉛欠乏に関する検討
山野 修平，上木 智博，井山 慶大，猪熊 孝実，田島 吾郎，平尾 朋仁，野崎 義宏，山下 和範，田崎 修（長崎大学病院救命救急センター）

DP1-6　早期経腸栄養管理バンドルによる栄養管理の解析
東 倫子，日下 琢雅，海野 仁，眞喜志 剛，山本 尚範，江嶋 正志，田村 有人，沼口 敦，角 三和子，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース2　神戸国際展示場
デジタルポスター2　気道・呼吸・呼吸管理①

座長：橋場 英二（弘前大学医学部附属病院集中治療部）

DP2-1　AIDS患者のPjPに対して，VV-ECMOを用いて救命した一例
堀北 奨，讃井 將満，松永 渉，神尾 直，藤本 由貴，毛利 英之，簗瀬 史貴，柿本 大輔（自治医科大学付属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

DP2-2　緊急V-V ECMOが有効であった，食道癌再発による気道狭窄に対する気管ステント留置の1例
曽我 朋宏[1], 川人 伸次[1], 箕田 直治[2], 片山 俊子[2], 若松 成知[2], 久米 克佳[2], 堤 保夫[2], 田中 克哉[2], 北畑 洋[3]（1.徳島大学地域医療人材育成分野，2.徳島大学麻酔疼痛治療医学分野，3.徳島大学歯科麻酔科学分野）

DP2-3　長期ECMO管理中の肺生検によりECMO継続か撤退かを判断した重症呼吸不全の2例
鈴木 裕之[1], 桜澤 忍[1], 中村 光伸[1], 町田 浩志[1], 宮崎 大[1], 井貝 仁[2], 上吉原 光宏[2], 井出 宗則[3], 星野 圭治[4], 石川 和徳[5]（1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科，2.同，呼吸器外科，3.同，病理診断科，4.同，心臓血管内科，5.同，心臓血管外科）

DP2-4　敗血症性ショックによるARDSに対し早期のECMO導入および腹臥位療法により良好な転帰を得た一例
原 悠也，淺井 英樹，多田 祐介，川井 廉之，福島 英賢，奥地 一夫（奈良県立医科大学救急医学高度救急救命センター）

DP2-5　ARDSを合併した有瘻性膿胸に対しVV-ECMO管理下にEWSによる気管支充填術を行い救命できた1例
近藤 丈博[1], 櫻谷 正明[2], 吉田 研一[2]（1.JA広島総合病院呼吸器内科，2.JA広島総合病院救急・集中治療科）

DP2-6　Respiratory ECMOにおける離脱基準の検討
萩原 祥弘[1], 清水 敬樹[1], 小野 将平[1], 鈴木 茂利雄[1], 荒川 裕貴[1], 濱口 純[1], 金子 仁[1], 光銭 大裕[1], 森川 健太郎[1], 三宅 康史[2]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター，2.昭和大学医学部救急医学講座）

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース3　神戸国際展示場
デジタルポスター3　気道・呼吸・呼吸管理②

座長：芹田 良平（学校法人東京歯科大学東京歯科大学市川総合病院麻酔科）

DP3-1　新しい加温加湿器HAMILTON-H900の使用評価
錦織 大輔，梶原 吉春，中山 雄司，石高 拓也（社会医療法人財団大和会東大和病院臨床工学科）

DP3-2　User Evaluation Report on the New High Flow Therapy “STEADYAIR SYSTEM”
梶原 吉春，石高 拓也，片瀬 葉月，錦織 大輔，中島 義博，中山 雄司（社会医療法人財団大和会東大和病院）

DP3-3　ネーザルハイフロー使用時のMR-850各モードでの加湿状況の検討
鎌田 隆行（医療法人社団康心会茅ヶ崎中央病院）

DP3-4　Nasal High FlowにおけるF＆P社製MR850を用いた加温加湿器設定の検討
小林 祐治，高橋 延之，尾崎 稔，宮嵜 大介，高沼 和幸，高沼 亜貴，近藤 文麿，横田 大将，桜沢 貴俊，関原 宏幸（JA長野厚生連篠ノ井総合病院臨床工学科）

DP3-5　新生児/乳児用High Flow Nasal Cannula中の加温加湿
近田 優介[1], 大西 沙紀[2], 小野寺 睦雄[3], 大藤 純[3], 西村 匡司[3]（1.徳島大学病院臨床工学技術部門，2.徳島大学医学部医学科，3.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学）

DP3-6　人工呼吸器使用時における加温加湿器の安全管理への取り組み
坂本 裕美, 嶋崎 公司(名古屋記念病院臨床工学部)

2月12日（金） 11：00～12：00　デジタルポスターブース4　神戸国際展示場
デジタルポスター4　災害・病院前管理

座長：久木田 一朗(国立大学法人琉球大学大学院医学研究科/救急医学講座)

DP4-1　小児患者のICU間新幹線搬送の経験と考察
水野 光規[1], 池山 貴也[2], 池山 由紀[1], 今井 一徳[2], 丹羽 雄大[2], 伊藤 友弥[1], 伊藤 友理枝[1], 石川 祥一朗[1](1.あいち小児保健医療総合センター救急科, 2.あいち小児保健医療総合センター集中治療科)

DP4-2　口頭指導の地域差は院外心停止の予後に関係する
稲葉 英夫[1], 太田 圭亮[2], 明星 康裕[2], 前田 哲生[1,3], 後藤 由和[1,3], 船田 晃[3](1.金沢大学医薬保健研究域医学系血液情報発信学(救急医学), 2.石川県立中央病院救命救急センター, 3.金沢大学附属病院救命センター)

DP4-3　神奈川県における災害拠点病院ごとの小児災害医療リスクリソース比
問田 千晶[1], 服部 響子[2], 服部 潤[3], 本多 英喜[4], 内山 宗人[5], 松田 潔[6], 浅利 靖[3,6], 安部 猛[1], 森村 尚登[1](1.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学, 2.北里大学医学部産婦人科学産科学, 3.北里大学医学部救命救急医学, 4.横須賀市立うわまち病院救命救急センター, 5.横須賀共済病院救命救急センター, 6.日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)

DP4-4　超遠隔地小笠原村における新血液供給システム“血液製剤ローテーション計画(Blood Rotation 計画)”の試み
笠井 あすか[1], 嶋 太郎[1], 飴谷 利江子[2], 都能 克博[3], 松崎 浩史[2](1.小笠原村診療所, 2.東京都日本赤十字血液センター, 3.CBCエスト株式会社)

DP4-5　小笠原地域での急患患者搬送の現状
伊藤 直[1], 佐々木 寿[2], 東原 拓也[3], 稲田 真[2](1.自衛隊中央病院胸部外科, 2.硫黄島航空基地, 3.防衛医科大学校病院)

DP4-6　事件・テロ対策医療の集中治療の重要性
奥村 徹[1], 富永 隆子[2](1.警視庁警務部, 2.放射線医学総合研究所)

2月12日（金） 11：00～12：00　デジタルポスターブース5　神戸国際展示場
デジタルポスター5　心臓・循環・体液管理①

座長：公文 啓二(近畿大学医学部奈良病院救命救急科)

DP5-1　小児先天性心疾患術後管理におけるトルバプタンの使用経験
太安 孝允[1], 浅井 英嗣[1], 佐藤 公治[1], 新宮 康栄[1], 加藤 裕貴[1,2], 大岡 智学[1], 若狭 哲[1], 橘 剛[1], 松居 喜郎[1], 丸藤 哲[2](1.北海道大学大学院医学研究科循環器・呼吸器外科, 2.北海道大学病院先進急性期医療センター)

DP5-2　重症大動脈弁狭窄症を合併した高齢急性心不全患者に対する低用量トルバプタムの有効性
高須 清, 宮崎 哲朗, 根来 加奈子, 加藤 隆生, 須田 翔子, 比企 優, 葛西 隆敏, 宮内 克己, 代田 浩之(順天堂大学医学部循環器内科)

DP5-3　成人心臓手術後の不整脈とランジオロール使用状況 ―OPCAB症例と弁手術の比較―
澁谷 伸子[1], 青木 正哉[4], 有嶋 拓郎[2], 山崎 光章[3], 若杉 雅浩[2], 奥寺 敬[1](1.富山大学附属病院集中治療部, 2.富山大学附属病院救急部, 3.富山大学附属病院麻酔科, 4.富山大学附属病院心臓血管外科)

DP5-4　VA ECMO管理に塩酸ランジオロールが有用であった2症例
政所 祐太郎, 二木 貴弘, 宮本 昇太郎, 寺田 晋作, 谷口 淳一郎, 柳元 孝介, 有馬 都, 山口 桂司, 安田 智嗣, 垣花 泰之(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学講座)

DP5-5　2014年のランジオロールの急性期管理における使用調査
久保寺 敏, 東 倫子, 高谷 悠大, 稲葉 正人, 山本 尚範, 沼口 敦, 高橋 英夫, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

DP5-6　デクスメデトミジン投与で惹起されたと考えられる徐脈性不整脈4例の検討
塩田 修玄, 原茂 明弘, 大森 敬文, 増田 孝広, 丸山 史, 若林 健二, 足立 裕史, 中沢 弘一, 槇田 浩史(東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部)

2月12日（金） 11：00～12：00　デジタルポスターブース6　神戸国際展示場
デジタルポスター6　神経①

座長：岡田 保誠(公立昭和病院救命救急センター)

DP6-1　急性期脳梗塞の患者が胆嚢癌をともなったTrousseau症候群であった1症例
濱川 俊朗[1], 立山 真吾[2], 中村 禎志[2], 成尾 浩明[1](1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科)

DP6-2　CTガイド下マーキング中に発症した空気塞栓症に対し高圧酸素療法を含めた集学的治療が奏功した一例
山添 大輝, 三輪 立夫, 三浦 政直, 永森 達也, 堀 智音, 野村 祐子, 鈴木 あさ美, 青木 優祐, 山内 浩揮, 中村 不二雄(刈谷豊田総合病院)

DP6-3　外傷性脳損傷後に重篤な脳梗塞を来し症候性脳血管攣縮が疑われた一例
下戸 学, 鈴木 崇生, 角田 洋平, 播摩 裕, 森 智治, 趙 晃済, 大鶴 繁, 西山 慶, 佐藤 格夫, 小池 薫(京都大学医学部附属病院初期診療・救急科)

DP6-4　重症頭部外傷に対する脳低温療法施行時における血糖管理の意義．B-HYPO Study登録症例の検討．
小畑 仁司[1]，杉江 亮[1]，末廣 栄一[2]，土肥 謙二[3]，金子 唯[4]，小田 泰崇[5]，黒田 泰弘[6]，山下 進[7]，前川 剛志[8]（1.大阪府三島救命救急センター，2.山口大学脳神経外科，3.東京慈恵会医科大学救急医学，4.熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部，5.山口大学医学部附属病院先進救急医療センター，6.香川大学救急医学，7.徳山中央病院救急集中治療，8.山口県立総合医療センター）

DP6-5　頚髄損傷の経口挿管率と人工呼吸器離脱率
浅香 葉子[1]，瀬尾 龍太郎[2]，朱 祐珍[2]，蛯名 正智[2]，山崎 和夫[1]（1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科集中治療部，2.神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

DP6-6　当院心臓外科手術後の下肢対麻痺に対するbundle treatmentの取り組み
簗瀬 史貴，小室 哲也，飯塚 悠祐，増山 智之，神尾 直，大城 国夫，中嶋 いくえ，青松 昭徳，讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース7　神戸国際展示場
デジタルポスター7　腎臓・腎機能・血液浄化①

座長：井上 義博（岩手医科大学医学部救急医学講座）

DP7-1　AN69ST膜を用いたCHDF施行例の検討
吉本 広平[1]，土井 研人[1]，松浦 亮[2]，吉田 輝彦[2]，小丸 陽平[2]，野入 英世[3]，矢作 直樹[1]（1.東京大学医学部付属病院救急部・集中治療部，2.東京大学医学部付属病院腎臓・内分泌内科，3.東京大学医学部付属病院血液浄化療法部）

DP7-2　重症敗血症に対するAN69ST膜による持続血液濾過透析の有用性の検討
近藤 香[1]，宮脇 宏[1]，鴛渕 るみ[1]，隈元 泰輔[1]，栗林 淳也[1]，角本 眞一[1]，中島 研[2]，瀬尾 勝弘[1]（1.小倉記念病院麻酔科・集中治療部，2.小倉記念病院救急部）

DP7-3　SIRSに対して使用したAN69ST膜のサイトカイン除去効果の検討
金子 仁[1]，清水 敬樹[1]，萩原 祥弘[1]，濱口 純[1]，荒川 裕貴[1]，光銭 大裕[1]，笠原 道[1]，鈴木 茂利雄[1]，森川 健太郎[1]，三宅 康史[2]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター，2.昭和大学医学部救急医学講座）

DP7-4　急性腎傷害患者におけるCHDF補充液の電解質組成の検討
阿部 隆一郎，内山 昭則，酒井 佳奈紀，井口 直也，藤野 裕士（大阪大学医学部附属病院麻酔・集中治療部）

DP7-5　非昏睡性急性肝不全に対する持続緩徐式Plasma Filtration with Dialysis（PDF）の有用性
橋本 賢吾[1]，藤井 恵美[1]，宮武 秀光[1]，今宿 康彦[2]，山根 哲信[1]，田畑 貴久[3]，辻田 靖之[1]，高橋 完[1]，萬代 良一[1]，江口 豊[3]（1.滋賀医科大学救急・集中治療部，2.滋賀医科大学麻酔科，3.滋賀医科大学救急集中治療学講座）

DP7-6　腎移植の周術期管理において高クロール血症が移植腎に与える影響の検討
岡田 修，片山 正夫，宮坂 勝之，青木 和裕，橋本 学，藤田 信子，篠田 麻衣子，篠浦 央，岡部 宏文，米倉 なほ（聖路加国際病院麻酔科集中治療室）

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース8　神戸国際展示場
デジタルポスター8　多臓器不全・敗血症①

座長：谷口 巧（金沢大学附属病院集中治療部）

DP8-1　TSLS（Streptcoccal toxic shock-like syndrome）の予後規定因子
一林 亮，豊田 幸樹年，小泉 雅之，佐藤 大輔，横室 浩樹，吉原 克則，本多 満（東邦大学医療センター大森病院総合診療・救急医学講座）

DP8-2　Edwardsiella tardaによる敗血症性ショック後の髄膜脳炎・化膿性脊椎炎の一例
高橋 清英[1]，廣田 誠二[2]，村上 翼[2]，原 真也[2]，島津 友一[2]，山崎 浩史[2]，藤本 枝里[2]，安岡 やよい[2]，西山 謹吾[2]（1.高知赤十字病院初期臨床研修医，2.高知赤十字病院救命救急センター）

DP8-3　Edwardsiella tardaによる卵管留膿腫の1例
坂本 広登[1]，塩野入 規[3]，三澤 俊一[1]，黒河内 顕[1]，桐井 靖[1]，赤穂 伸二[2]，塩沢 功[3]，高木 洋行[1]（1.松本市立病院外科，2.松本市立病院内科，3.松本市立病院産婦人科）

DP8-4　イヌ咬傷後*Capnocytophaga canimorsus*敗血症による剖検例
中山 泉，毛利 英之（沖縄県立中部病院集中治療部）

DP8-5　犬咬傷によるCapnocytophaga canimorsus感染症の1例
柏谷 信博，宮庄 浩司，米花 伸彦，大熊 隆明，石橋 直樹，山下 貴弘（福山市民病院救命センター）

DP8-6　「タイミャンマー国境における現地で学ぶ熱帯感染症研修」で経験したmelioidosisによる重症敗血症の3症例
滝本 浩平（大阪大学医学部付属病院集中治療部）

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース9　神戸国際展示場
デジタルポスター9　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床①

座長：祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

DP9-1　譫妄評価におけるCAM/ICUと3D/CAMの検討
田中 友康，新見 拓也，池田 亜里沙，川野 マキ（潤和会記念病院集中治療部）

DP9-2　せん妄に対する看護師の意識変化 ～ICDSCを導入して～
庄谷 和真，酒井 一匡（金沢医科大学氷見市民病院3階東病棟集中治療室）

DP9-3　当センターICUにおけるCAM-ICUを用いたせん妄評価の実態調査
吉田 直人, 増山 智之, 中嶋 いくえ, 大城 国夫, 神尾 直, 飯塚 悠祐, 小室 哲也, 小林 雅矢, 八木橋 智子, 讃井 將満(自治医科大学附属さいたま医療センター集中治療部)

DP9-4　当院救命センターにおけるせん妄の発症率とリスク因子の関連性に対する分析
金浜 英介, 葛西 陽子, 奈良 理(手稲渓仁会病院)

DP9-5　術後挿管患者のCAM-ICU陽性率は経時的に変化する
宮崎 俊一郎, 古賀 雄二(学校法人鉄蕉館亀田医療大学成人看護学)

2月12日（金）　11：00～12：00　デジタルポスターブース10　神戸国際展示場
デジタルポスター10　内分泌・代謝・免疫

座長：高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部)

DP10-1　破傷風に合併した抗リン脂質抗体症候群が疑われた巨細胞性動脈炎の1症例
樋口 和宏[1], 成尾 浩明[1], 中村 禎志[2], 濱川 俊朗[1](1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科)

DP10-2　続発性副腎不全に起因するQT延長症候群から心室頻拍をきたし, 心停止に至った一例
中村 順子[1], 三木 竜介[2], 菊田 正太[2], 石原 諭[2], 川瀬 鉄典[2](1.兵庫県立尼崎総合医療センター, 2.兵庫県災害医療センター)

DP10-3　重篤なアナフィラキシーショックを繰り返した症例の原因薬剤をICUで同定し得た1例
中村 公秀[1], 三浦 大介[2], 山田 友子[1], 中川内 章[1], 谷川 義則[1], 松本 浩一[3], 坂口 嘉郎[2](1.佐賀大学医学部附属病院集中治療部, 2.佐賀大学医学部附属病院麻酔・蘇生学講座, 3.伊万里有田共立病院麻酔科)

DP10-4　経過中に突然の心肺停止をきたしたIgG4関連疾患の一例
高谷 信宏(日立総合病院救急集中治療科)

DP10-5　敗血症性ショックの臨床像を呈した小児衝心脚気の一例
谷口 昌志, 本村 誠, 居石 崇志, 渡邉 伊知郎, 中山 祐子, 新津 健裕, 齊藤 修, 清水 直樹(東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部)

DP10-6　血糖変動を抑制する方法に関する検討
星野 正己[1], 原口 義座[2], 津端 徹[2], 梶原 周二[1](1.公益財団法人会田病院外科, 2.京葉病院外科)

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース1　神戸国際展示場
デジタルポスター11　外傷・熱傷

座長：清田 和也(さいたま赤十字病院救命救急センター・救急医学科)

DP11-1　外傷性脳底動脈絞扼による閉じ込め症候群
桑原 佑典, 朱 祐珍, 浅香 葉子, 瀬尾 龍太郎(神戸市立医療センター中央市民病院救急部)

DP11-2　前頭部打撲を契機に発症した外傷性後後咽頭間隙血腫により遅発性上気道狭窄をきたした1例
鈴木 聡史, 清水 導臣, 増茂 功次(大阪府済生会野江病院救急集中治療科)

DP11-3　多発外傷後に肺血栓塞栓症を発症し, 抗凝固療法が奏功した1症例
伊藤 櫻子, 高見 浩樹, 坂本 壮, 小松 孝行, 水野 慶子, 関井 肇, 野村 智久, 杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

DP11-4　大都市郊外型救命救急センターにおける小児外傷症例についての検討
佐野 秀史[1], 弦切 純也[1], 大村 泰史[1], 星合 朗[1], 太田 祥一[2](1.東京医科大学八王子医療センター救命救急センター, 2.恵泉クリニック)

DP11-5　当院救命センターにおける電撃症26例の臨床的検討
岡野 雄一, 高橋 大介, 野田 慶太, 加藤 陽一, 大塚 尚実, 原富 由香, 山家 純一, 桑原 謙, 奥本 克己, 井 清司(熊本赤十字病院第一救急科)

DP11-6　墜落外傷の自殺未遂例における希死念慮の予測因子に関する検討
菊田 正太[1], 石原 諭[1], 古賀 聡人[1], 甲斐 聡一郎[1], 井上 明彦[1], 三木 竜介[1], 中山 伸一[1], 村上 典子[2], 加藤 寛[3](1.兵庫県災害医療センター救急部, 2.神戸赤十字病院心療内科, 3.兵庫県こころのケアセンター)

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース2　神戸国際展示場
デジタルポスター12　気道・呼吸・呼吸管理③

座長：遠藤 裕(新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター・集中治療部)

DP12-1　NPPVを導入したseptic shock症例の後方視的検討
益弘 健太朗, 緒方 嘉隆, 光山 裕美, 高田 創, 金 成浩, 矢賀 元, 井原 祥一, 南 誠剛, 山本 傑, 小牟田 清(大阪警察病院呼吸器内科)

DP12-2　小児の抜管後呼吸不全における, 非侵襲的人工呼吸管理(NPPV)とNasal high flow療法(NHFT)の治療成績
林 拓也[1], 山田 香里[1], 永渕 弘之[2](1.神奈川県立こども医療センター救急診療科, 2.神奈川県立こども医療センター集中治療科)

DP12-3　新生児/乳児用High Flow Nasal Cannula療法中の吸入酸素濃度
大西 沙紀[1], 近田 優介[2], 小野寺 睦雄[3], 大藤 純[3], 西村 匡司[3](1.徳島大学医学部医学科, 2.徳島大学病院臨床工学技術部門, 3.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学)

DP12-4　気管切開患者に対する高流量酸素療法の効果：附属キャップ位置の違いによる評価
三住 拓誉[1], 藤本 大地[2], 上野 喬平[2], 北 博志[3], 今中 秀光[4], 溝渕 知司[2]（1.神戸大学附属病院集中治療部, 2.神戸大学附属病院麻酔科, 3.神戸大学附属病院臨床工学部門, 4.徳島大学病院ER・災害医療診療部）

DP12-5　High-flow nasal cannula療法（NHF療法）は人工呼吸器離脱成功に有効である
山田 成美[1], 白水 春香[1], 日宇 宏之[1], 増田 幸子[1], 中道 親昭[1], 高山 隼人[1], 谷脇 裕介[2]（1.国立病院機構長崎医療センター救命救急センター, 2.国立病院機構長崎医療センターME機器センター）

DP12-6　2014年におけるハイフローネーザルカヌラによる呼吸管理の解析
東 倫子, 日下 琢雅, 海野 仁, 眞喜志 剛, 山本 尚範, 江嶋 正志, 田村 有人, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース3　神戸国際展示場
デジタルポスター13　重症度・予後評価

座長：星 拓男（茨城県立中央病院集中治療部）

DP13-1　ICU長期滞在症例の検討
三田 篤義, 清水 彩里, 大津 義徳, 今村 浩（信州大学医学部附属病院集中治療部）

DP13-2　ICU長期滞在患者の背景と予後
高木 雅生[1], 五十野 博基[1], 長谷川 隆一[2]（1.水戸協同病院総合診療科, 2.水戸協同病院救急・集中治療科）

DP13-3　術後集中治療患者における高ビリルビン血症の患者予後予測能に関する検討
長江 正晴, 巻野 将平, 江木 盛時, 溝渕 知司（神戸大学医学部附属病院麻酔科）

DP13-4　救急症例における初診時血中NGAL値の検討
金子 唯, 笠岡 俊志（熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部）

DP13-5　救急入院患者の初期集中治療における管理失敗の予測因子についての検討
黒川 英輝, 横山 俊樹, 中島 義仁, 市原 利彦, 川瀬 正樹（公立陶生病院救急部集中治療室）

DP13-6　敗血症患者の救急外来滞在時間とICU入室後の予後に関する検討
佐藤 瑞樹, 岡本 洋史, 福岡 敏雄（倉敷中央病院救急科）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース4　神戸国際展示場
デジタルポスター14　心臓・循環・体液管理②

座長：高松 道生（長野県厚生農業協同組合連合会鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院循環器内科）

DP14-1　FloTrac/Vigileo™とLiDOCOrapid™による心拍出量・stroke volume variationの比較
池宗 啓蔵[1], 出崎 陽子[1], 小西 周[2], 中西 和雄[3], 西原 佑[2], 藤井 園子[2], 菊池 幸太郎[2], 関谷 慶介[2], 土手 健太郎[1], 萬家 俊博[2]（1.愛媛大学医学部附属病院集中治療部, 2.愛媛大学医学部麻酔・周術期学, 3.愛媛大学医学部附属病院手術部）

DP14-2　Estimated continuous cardiac output によるcardiac outputとstroke volume variationの測定
鈴木 武志, 鈴木 悠太, 伊東 真吾, 奥田 淳, 御園生 与志, 上田 朝美, 森崎 浩（慶應義塾大学医学部麻酔学教室）

DP14-3　定量化毛細血管再充満時間（Q∞CRT）と組織灌流に係る研究：救急初療室におけるショックとの相関
酒井 拓磨[1,2], 藤井 裕人[2,3], 土井 智喜[1,2], 六車 崇[1,2], 春成 伸之[1,2], 安部 猛[1,2], 森村 尚登[1,2]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター, 2.横浜市立大学医学部救急医学教室, 3.横須賀共済病院）

DP14-4　脈波伝搬時間により脈圧変化を予測できるか？
山下 幸一, 矢田部 智昭, 立岩 浩規, 田村 貴彦, 阿部 秀宏, 横山 正尚（高知大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

DP14-5　術中RPP抑制は術後カテコラミン量に影響するか ―短時間作用型 β1遮断薬による抗虚血効果の検討―
前畠 慶人, 藤野 裕士（大阪大学医学部附属病院麻酔・集中治療医学教室講座）

DP14-6　豚敗血症モデルにおけるブドウ糖初期分布容量の変化の検討
橋場 英二[1], 斎藤 淳一[2], 葛西 俊範[2], 赤石 真啓[2], 丹羽 英智[1], 櫛方 哲也[2], 廣田 和美[2]（1.弘前大学医学部附属病院集中治療部, 2.弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース5　神戸国際展示場
デジタルポスター15　心臓・循環・体液管理③

座長：小坂 誠（昭和大学横浜市北部病院麻酔科・集中治療部）

DP15-1　腋窩動脈大腿動脈バイパス術により救命し得た急性大動脈閉塞の一例
池上 かおり[1], 田嶋 淳哉[1], 佐藤 信宏[1], 吉田 暁[1], 井ノ上 幸典[1], 関口 博史[2], 宮島 衛[1], 田中 敏春[1], 熊谷 謙[1], 広瀬 保夫[1]（1.新潟市民病院救命救急循環器病脳卒中センター, 2.魚沼基幹病院）

DP15-2　修正大血管転位症に対する三尖弁置換術後に中心静脈圧上昇を伴わない心タンポナーデを認めた一例
長嶺 嘉通[1], 原田 浩輝[1], 岩川 昌平[1], 中原 真由美[1], 長谷川 麻衣子[1], 安田 智嗣[2], 垣花 泰之[2], 上村 裕一[1]（1.鹿児島大学医学部麻酔科, 2.鹿児島大学医学部集中治療部）

DP15-3　持続性心室頻拍で来院し, 早期に体外循環導入を行い, 救命し得た劇症型心筋炎の一例
小木曽 正隆, 田中 博之, 山田 千翔, 大野 睦記, 巴里 彰吾, 磯貝 俊明, 加藤 賢, 手島 保（東京都立多摩総合医療センター循環器内科）

DP15-4　経皮的心肺補助装置搭載型Mobile CCUによる劇症型心筋炎例の搬送
中村 通孝, 西上 和宏, 柴田 啓智, 管田 塁, 高山 洋平, 永野 雅英, 高志 賢太郎, 坂本 美賀子, 上杉 英之, 中尾 浩一（済生会熊本病院集中治療室）

DP15-5　PCPS下開腹術の経験
増田 健[1], 下条 芳秀[2], 中西 未来[2], 宇津 秀晃[2], 高須 修[2], 山下 典雄[2], 疋田 茂樹[2], 坂本 照夫[2]（1.久留米大学病院臨床研修管理センター, 2.久留米大学病院高度救命救急センター）

DP15-6　病的肥満のうっ血性心不全患者に対するヘマトクリットモニタリング下ECUMの有用性
村上 紗羅, 熊澤 淳史, 青柳 健一, 小畠 久和, 小原 章敏（堺市立総合医療センター集中治療科）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース6　神戸国際展示場
デジタルポスター16　神経②

座長：川口 昌彦（奈良県立医科大学附属病院麻酔科学教室）

DP16-1　急速に進行した意識障害と両下肢脱力で精神疾患と診断されていた成人T細胞白血病の1症例
梶田 一旭[1], 樋口 和宏[1], 中村 禎志[2], 濱川 俊朗[1], 成尾 浩明[1]（1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科）

DP16-2　傍腫瘍性辺縁系脳炎の3症例
紺田 眞規子, 平尾 収, 西村 信哉（大阪府立急性期・総合医療センター）

DP16-3　第3病日に頭部MRI画像所見が顕在化したインフルエンザ脳症の1例
古賀 聡人, 菊田 正太, 井上 明彦, 三木 竜介, 石原 諭（兵庫県災害医療センター救急部）

DP16-4　結核性髄膜炎との鑑別が困難であった癌性髄膜炎の1例
楠 宗矩, 大竹 孝尚, 生津 綾乃, 河合 恵子, 古谷 明子, 入江 洋正, 山下 茂樹（倉敷中央病院麻酔科）

DP16-5　名古屋大学におけるMELIt Trialの開始にあたって
錦見 満暁, 江嶋 正志, 沼口 淳, 松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

DP16-6　aEEGに対する麻酔薬と低体温の影響について —周術期の使用経験から
関根 秀介, 今泉 均, 長尾 明紘, 山田 梨香子, 長島 史明, 沖田 綾乃, 竹下 裕二, 矢数 芳英, 内野 博之（東京医科大学麻酔科学分野集中治療部）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース7　神戸国際展示場
デジタルポスター17　腎臓・腎機能・血液浄化②

座長：内野 滋彦（東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部）

DP17-1　ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を呈しICU管理を要したAicardi-Goutieres症候群の1例
松本 梓, 伊藤 秀和, 寺島 良幸, 河野 真人, 吉澤 佐也, 仙頭 佳起, 平手 博之, 杉浦 健之, 笹野 寛, 祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

DP17-2　小児先天性代謝異常症に対し急性血液浄化療法を施行した3症例の検討
小川 慧, 河田 耕太郎, 大槻 藍, 若子 尚子, 竹田 彩香, 磯部 恵里, 柳 明男, 小松 聖史, 山下 千鶴, 西田 修（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

DP17-3　新生児における持続的血液濾過透析および腹膜透析中の薬物動態の検討
種田 靖久[1], 孫田 みゆき[2], 伊東 真隆[2], 山口 均[3], 吉村 知哲[1]（1.大垣市民病院薬剤部, 2.大垣市民病院第二小児科, 3.大垣市民病院集中治療室）

DP17-4　肝不全に対するOn-line HDF施行中にバンコマイシン持続投与を行った症例
堺 結有[1], 高木 俊介[1], 金城 梢[2], 山本 夏啓[1], 西周 祐美[1], 出井 真史[1], 吉田 輔[1], 山口 嘉一[1], 山口 修[1], 後藤 隆久[3]（1.横浜市立大学附属病院医学部麻酔科学講座, 2.横浜市立大学附属病院薬剤部, 3.横浜市立大学附属病院麻酔科）

DP17-5　持続的腎代替療法施行中にピペラシリン・タゾバクタムの薬物血中濃度を測定した8例
小濱 華子, 井手 岳, 西 信一（兵庫医科大学集中治療医学）

DP17-6　敗血症性ショック急性期の重度代謝性アシドーシスに対する間歇的血液透析；単施設後向き観察研究
野木 一孝[1], 白石 淳[2], 山本 良平[1], 笹野 幹雄[1], 麻生 将太郎[1], 佐藤 仁信[1], 藤内 まゆ子[1], 松本 敬[1], 軽米 寿之[1], 林 淑朗[1]（1.亀田総合病院集中治療科, 2.東京医科歯科大学救急災害医学分野/救命救急センター）

2月12日（金）　13：30～14：30　デジタルポスターブース8　神戸国際展示場
デジタルポスター18　多臓器不全・敗血症②

座長：小山 薫（埼玉医科大学総合医療センター麻酔科）

DP18-1　敗血症関連のバイオマーカから見た菌血症（Bacteremia）と敗血症（sepsis）の比較
池田 寿昭, 泉谷 義人, 須田 慎吾, 上野 琢哉, 小野 聡（東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部）

DP18-2　CD4陽性T細胞でのPD-1発現からみた術後感染性合併症のリスク評価に関する検討
小野 聡[1], 久保 徹[2], 須田 慎吾[1], 泉谷 義人[1], 上野 琢哉[1], 池田 寿昭[1]（1.東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部, 2.防衛医科大学校外科学）

DP18-3　敗血症性DIC治療において臓器障害の改善に寄与する因子は何か
望月 勝徳, 森 幸太郎, 八塩 章弘, 竹重 加奈子, 城下 聡子, 新田 憲市, 今村 浩（信州大学医学部救急集中治療医学教室）

DP18-4　DICを合併した重症敗血症に対する遺伝子組み換えトロンボモジュリン投与の効果の検討
奥田 淳[1], 鈴木 武志[1], 鈴木 悠太[1], 印南 靖志[1], 御園生 与志[2], 上田 朝美[1], 森崎 浩[1](1.慶應義塾大学医学部麻酔学教室, 2.埼玉メディカルセンター)

DP18-5　敗血症性DICにおけるリコンビナントトロンボモジュリンの有用性
世良 俊樹[1], 牛澤 洋人[1], 高橋 宏之[2], 遠藤 彰[1], 落合 香苗[1], 森下 幸治[1], 相星 淳一[1], 加地 正人[1], 磯谷 栄二[2], 大友 康裕[1](1.東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター, 2.東京女子医科大学東医療センター救命救急センター)

2月12日（金） 13：30～14：30　デジタルポスターブース9　神戸国際展示場
デジタルポスター19　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床②

座長：村川 雅洋(福島県立医科大学附属病院麻酔科)

DP19-1　ICU離床プログラムを導入後の現状
又吉 愛美, 新川 愛実, 安村 公均, 勝連 しのぶ, 洲鎌 正子, 久場 良也(社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院)

DP19-2　当院高度救命救急センター外傷患者における静脈血栓塞栓症発症の現状
相賀 美佳[1], 湯本 哲也[1], 川田 将弘[1], 寄高 麻奈実[1], 木口 隆[1], 加藤 湖月[1], 難波 志穂子[2], 平山 敬浩[3], 難波 由美子[1], 佐藤 圭路[1](1.岡山大学病院高度救命救急センター, 2.岡山大学病院看護研究・教育センター, 3.京都第一赤十字病院麻酔科)

DP19-3　Functional Independence Measure(FIM)の認知項目における脳出血部位別のリハビリ(RT)前後の機能改善の比較
井好 昭博, 池田 沙穂, 伊東 裕貴, 山本 直美(潤和会記念病院看護部)

DP19-4　脳卒中急性期患者にシリアスリハビリテーションゲームソフトを用いた起立運動による廃用症候群の予防の効果
折坂 明里[1], 南川 貴子[2], 市原 多香子[2], 日坂 ゆかり[2], 原田 路可[1], 田村 綾子[2](1.徳島大学病院, 2.徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学部門看護学講座系)

DP19-5　急性期脳血管障害患者の他動的足関節運動中の非運動肢の下腿筋肉酸素化状態
岩本 敏志[1], 沓澤 智子[2], 栗田 太作[3](1.東海大学医学部附属病院, 2.東海大学健康科学部, 3.東海大学情報教育センター)

DP19-6　看護チームアプローチの効果 ～早期離床実現のための活動～
越水 久美, 石本 やえみ(地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院)

2月12日（金） 13：30～14：30　デジタルポスターブース10　神戸国際展示場
デジタルポスター20　脳死・移植

座長：中川 聡(国立研究開発法人国立成育医療研究センター病院集中治療科)

DP20-1　第一回法的脳死判定から第二回法的脳死判定まで一週間を要した脳死下臓器提供症例
師岡 誉也, 孫 麗香, 山下 智也, 立木 規与秀, 大川 惇平, 重光 胤明, 福家 顕宏, 有元 秀樹, 宮市 功典, 林下 浩士(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

DP20-2　小児脳死事例に対して長距離搬送を行った一例
種市 尋宙[1], 澁谷 伸子[2](1.富山大学医学部小児科, 2.富山大学附属病院集中治療部)

DP20-3　救命救急センターの集中治療下における脳死・心停止下臓器提供の現状と問題点
櫻井 将継[1], 弦切 純也[1], 櫻井 悦男[2](1.東京医科大学八王子医療センター救命救急センター, 2.東京医科大学八王子医療センター臓器移植コーディネーター)

DP20-4　生活保護認定遅延により臓器移植が遅延した一例 ～行政と医療の温度差～
岡島 正樹, 北野 鉄平, 吉川 陽文, 相良 明宏, 関 晃裕, 佐藤 康次, 越田 嘉尚, 野田 透, 谷口 巧(金沢大学附属病院集中治療部)

DP20-5　糖原病1型(von Gierke Disease)患者の腎移植周術期管理の一例
櫛方 哲也[1], 野口 智子[2], 斎藤 淳一[2], 橋場 英二[3], 丹羽 英智[1], 工藤 倫之[2], 廣田 和美[1](1.弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座, 2.弘前大学医学部附属病院麻酔科, 3.弘前大学医学部附属病院集中治療部)

DP20-6　当院で経験した呼吸不全に対する長期VV-ECMO患者の肺移植登録についての検討
杉田 慎二[1], 竹田 晋浩[1], 梅井 菜央[1], 市場 晋吾[1], 坂本 篤裕[2](1.日本医科大学付属病院外科系集中治療科, 2.日本医科大学麻酔科学教室)

2月13日（土） 11：00～12：00　デジタルポスターブース1　神戸国際展示場
デジタルポスター21　感染・感染対策①

座長：大嶋 清宏(国立大学法人群馬大学医学部附属病院救急科)

DP21-1　壊死性軟部組織感染症に対するデブリドマン後の創管理
中野 志保[1], 加藤 久晶[1], 水野 洋佑[1], 北川 雄一郎[1], 田中 卓[1], 神田 倫秀[1], 中野 通代[1], 白井 邦博[2], 豊田 泉[1], 小倉 真治[1](1.岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2.兵庫医科大学病院救命救急センター)

DP21-2　当院における壊死性軟部組織感染症への取り組み
濱口 純[1], 清水 敬樹[1], 笠原 道[1], 荒川 裕貴[1], 鈴木 茂利雄[1], 萩原 祥弘[1], 金子 仁[1], 光銭 大裕[1], 森川 健太郎[1], 三宅 康史[2](1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 2.昭和大学病院救急医学講座)

DP21-3　2015年における胆道系分離菌の解析
高谷 悠大[1], 八木 哲也[2], 東 倫子[1], 稲葉 正人[1], 井口 光孝[2], 松田 直之[1]（1.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野, 2.名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部）

DP21-4　ICU患者を対象としたESBL産生菌腸管内保菌者検出の意義
川野 恭雅, 水沼 真理子, 星野 耕大, 山崎 玲子, 森本 紳一, 西田 武司, 石倉 宏恭（福岡大学病院救命救急センター）

DP21-5　人工呼吸器関連肺炎と人工呼吸器関連イベントのサーベイランスの相違と有用性についての検討
小林 絵梨[1], 内藤 貴基[2], 岡本 賢太郎[2], 川口 剛史[2], 片岡 惇[2], 則末 泰博[2], 岡田 邦彦[1], 藤谷 茂樹[2]（1.佐久総合病院救命救急センター, 2.東京ベイ浦安市川医療センター集中治療科）

DP21-6　中心静脈カテーテルの感染率3年間の調査 ～岡山大学高度救命救急センター～
平岡 知浩[1], 木口 隆[2], 山内 英雄[4], 飯田 淳義[3], 塚原 紘平[1], 湯本 哲也[1], 松尾 瑞恵[1], 佐藤 圭路[1], 鵜川 豊世武[4], 氏家 良人[1]（1.岡山大学病院救急科, 2.岡山大学病院高度救命救急センター, 3.岡山大学医療教育統合開発センター, 4.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急外傷治療学講座）

2月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース2　神戸国際展示場
デジタルポスター22　看護教育

座長：伊藤 明子（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

DP22-1　ME機器管理導入のためのOff－JT, On－JTを組み合わせた教育体系の効果と今後の課題
大山 隼人[1], 十文字 英雄[2], 渡邊 裕介[3], 辻口 直紀[4]（1.市立函館病院救命救急センター, 2.市立函館病院ICU, 3.市立函館病院看護局看護科, 4.市立函館病院麻酔科）

DP22-2　ECMO装着患者を受け持つ看護師に対する教育方法の検討 ―看護基準手順を作成して―
山中 恵美子, 中村 智美, 田中 理奈, 諏訪 豊美, 川野邉 麻美（済生会横浜市東部病院救命救急センター病棟）

DP22-3　呼吸管理研修が実践に及ぼす影響について ―受講後の追跡調査を通じて―
茂木 奈津, 荒木田 真子, 小泉 雅子, 江畑 典子（東京女子医科大学病院看護部）

DP22-4　呼吸サポートチーム主導による院内呼吸ケア学習システム構築に向けた取り組み
石田 恵充佳, 小林 圭子, 楠 さくら（日本赤十字社武蔵野赤十字病院）

DP22-5　クーリングに関する看護師の認識変化 ―学習会前後の内容分析―
鈴木 佑実, 小野 高, 倉本 紀, 赤松 直子（横浜市立市民病院ICU）

DP22-6　術後患者の観察をした学生の体験における構造的特徴 ―KH Coderによる計量的な内容分析より―
松田 麗子, 江尻 晴美, 中山 奈津紀, 梅田 奈歩, 牧野 典子（中部大学生命健康科学部保健看護学科）

2月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース3　神戸国際展示場
デジタルポスター23　気道・呼吸・呼吸管理④

座長：落合 亮一（東邦大学医療センター大森病院麻酔科）

DP23-1　頸部超音波検査により抜管前に食道癌術後の両側反回神経麻痺を診断し得た1例
山本 夏啓, 山口 嘉一, 堺 結有, 西周 祐美, 吉田 輔, 出井 真史, 高木 俊介, 野村 岳志, 山口 修, 後藤 隆久（横浜市立大学附属病院集中治療部）

DP23-2　超音波ガイド下鎖骨下静脈穿刺に際し, 気胸の合併を超音波で迅速に診断した一例
衛藤 由佳[1], 舘岡 一芳[1], 丹保 亜希仁[2]（1.名寄市立総合病院麻酔科, 2.名寄市立総合病院救急科）

DP23-3　輪状甲状間膜切開と肺エコーを施行した困難気道管理の1症例
山田 直人, 鈴木 健二（岩手医科大学医学部麻酔科）

DP23-4　Proportional Assist Ventilation Plusに基づく肺コンプライアンスは, 術後の体重変化と相関する
岡部 悠吾[1], 浅賀 健彦[2], 別宮 小由理[2], 村上 あきつ[1], 齋田 昌史[1], 山田 祥子[1], 中條 浩介[1], 山鳥 佑輔[1], 菅原 友道[1], 白神 豪太郎[1]（1.香川大学医学部麻酔学講座, 2.香川大学医学部附属病院集中治療部）

DP23-5　拡張障害型心不全治療に対して横隔膜電位（Edi）モニタリングを活用した一症例
吉鷹 志保[1], 清水 一好[1], 岡原 修司[1], 落葉 佑昌[2], 日笠 友起子[1], 廣井 一正[1], 鈴木 聡[1], 林 真雄[1], 森松 博史[1]（1.岡山大学病院麻酔科蘇生科, 2.岡山大学病院臨床工学部）

DP23-6　開心術において左心径拡大患者が術後呼吸機能に与える影響の検討
坂本 元, 服部 洋一郎, 田原 慎太郎, 多田羅 康章（明石医療センター麻酔科）

2月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース4　神戸国際展示場
デジタルポスター24　小児・新生児①

座長：竹内 護（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院）

DP24-1　救命救急センター併設型PICUにおける小児重症頭部外傷診療の治療成績
武藤 雄一郎, 大平 智子, 平井 克樹（熊本赤十字病院こども医療センター）

DP24-2　当院ICUに入室し血漿交換を施行した小児ギランバレー症候群の5症例
菅 敏晃, 嶋岡 英輝, 宇城 敦司, 大塚 康義, 山本 泰史, 奥村 将年, 和田 翔, 岩田 博文, 宮内 清司（大阪市立総合医療センター集中治療部）

DP24-3　病初期よりフェノバルビタール超大量療法を行った難治頻回部分発作重積型急性脳炎（AERRPS）の一男児例
岸本 卓磨[1], 田中 智基[1], 橋本 賢吾[1], 清水 淳次[1], 今宿 康彦[2], 山根 哲信[1], 田畑 貴久[3], 辻田 靖之[1], 江口 豊[3]（1.滋賀医科大学救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学麻酔学講座, 3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座）

DP24-4　取下げ

DP24-5　小児溺水に対する脳低温療法の有効性
大西 俊彦[1], 今高 城治[2], 星山 栄成[1], 鍛 良之[1], 菊池 仁[1], 神津 成紀[1], 和気 晃司[1], 松島 久雄[1], 小野 一之[1]（1.獨協医科大学病院救命救急センター, 2.獨協医科大学医学部小児科学）

DP24-6　新生児仮死の2例と低体温療法の適応に関する考察
吉田 英里佳[1,2], 立石 格[1], 中村 久理子[1], 峯川 奈緒美[1], 武田 義隆[1]（1.済生会横浜市東部病院, 2.横浜市立大学医学部小児科学教室）

2月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース5　神戸国際展示場
デジタルポスター25　心臓・循環・体液管理④

座長：大塚 将秀（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター集中治療部）

DP25-1　褐色細胞腫破裂による急激な血行動態悪化に対し，集中管理により緊急手術を回避し，待機手術に成功した一例
黄 俊憲[1], 林 洋史[1], 圷 宏一[1], 山本 剛[1], 岡本 彬美[3], 杉原 仁[3], 五十嵐 健人[4], 市場 晋吾[5], 萩原 かな子[2], 清水 渉[2]（1.日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, 2.日本医科大学付属病院循環器内科, 3.日本医科大学付属病院内分泌代謝内科, 4.日本医科大学付属病院内分泌外科, 5.日本医科大学付属病院外科系集中治療科）

DP25-2　食道癌術後に冠動脈攣縮による心停止をきたした1症例
出井 真史[1], 水谷 健司[1], 小坂 隆司[2], 山本 夏啓[1], 堺 結有[1], 吉田 輔[1], 山口 嘉一[1], 高木 俊介[1], 山口 修[1], 後藤 隆久[3]（1.横浜市立大学附属病院集中治療部, 2.横浜市立大学附属病院消化器・肝移植外科, 3.横浜市立大学附属病院麻酔科）

DP25-3　感染性心内膜炎の疣贅により急性心筋梗塞を認めた一例
桑原 政成, 森谷 学, 富田 康弘, 石村 理英子, 児玉 隆秀, 三谷 治夫, 藤本 陽, 石綿 清雄, 大野 実（虎の門病院循環器センター内科）

DP25-4　Stanford A型慢性大動脈解離に，真腔狭窄から急性肺水腫，心原性ショックを来した1症例
佐藤 晃[1], 新山 修平[1], 有永 康一[1], 和田 久美子[2], 飛永 覚[2], 赤須 晃治[2], 高瀬谷 徹[2], 平田 雄一郎[2], 明石 英俊[2], 田中 啓之[2]（1.久留米大学病院集中治療部, 2.久留米大学心臓血管外科）

DP25-5　CTでは診断に苦慮した，全周性内膜剥離を呈したStanford A型急性大動脈解離
山岸 利暢, 中田 一弥, 湯川 高寛, 横山 太郎, 重城 未央子, 柏浦 正広, 田邉 孝大, 杉山 和宏, 明石 暁子, 濱邊 祐一（東京都立墨東病院救命救急センター）

DP25-6　BTシャント閉塞により心肺停止となり経皮的バルーン拡張術で救命し得たファロー四徴症の成人例
安富 き恵, 仲村 尚司, 米丸 裕樹（中頭病院）

2月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース6　神戸国際展示場
デジタルポスター26　心臓・循環・体液管理⑤

座長：竹田 晋浩（かわぐち心臓呼吸器病院）

DP26-1　埋込型ペースメーカの放射線治療時における臨床工学技士の役割
中 公三[1], 北浦 道夫[2], 戸田 成志[2], 海野 知洋[3], 古味 秀美[3]（1.独立行政法人健康者福祉機構香川労災病院MEセンター, 2.独立行政法人健康者福祉機構香川労災病院麻酔科, 3.独立行政法人健康者福祉機構香川労災病院集中治療部）

DP26-2　IABPとBalloonの応答性の比較検討
森田 真[1], 道越 淳一[1], 伊藤 朋晃[1], 丹生 治司[1], 宮脇 宏[2], 瀬尾 勝弘[2]（1.小倉記念病院検査技師部工学課, 2.小倉記念病院麻酔科・集中治療部）

DP26-3　PCPS及びIABPを装着した劇症型心筋炎患者の救急車長距離搬送の経験
宮崎 健[1], 吉田 浩二[1], 寺尾 嘉彰[2], 中村 利秋[3]（1.長崎労災病院臨床工学部, 2.長崎労災病院麻酔科, 3.長崎労災病院救急集中治療科）

DP26-4　搬送経路上でECMOの緊急挿入が予期された小児肺移植症例の長距離患者空輸に従事した経験
菅原 康介[1], 島田 朋和[1], 橋本 佳苗[1], 千原 伸也[1], 室橋 高男[1], 片山 洋一[2], 巽 博臣[2], 升田 好樹[2], 山蔭 道明[2], 山口 大介[3]（1.札幌医科大学附属病院臨床工学部, 2.札幌医科大学医学部集中治療医学, 3.防衛省航空自衛隊航空医学実験隊）

DP26-5　当院におけるECMO装着患者の搬送シミュレーションについて
堀川 卓志[1], 近田 優介[1], 林 昌晃[1], 森西 啓介[1], 小野寺 睦雄[2], 西村 匡司[2]（1.徳島大学病院臨床工学技術部門, 2.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学）

DP26-6　ECMO中における輸血管理
有道 真久[1], 永田 和之[1], 中島 康佑[1], 大下 智也[1], 村木 亮介[1], 林田 晃寛[2], 坂口 太一[3]（1.心臓病センター榊原病院診療支援部門臨床工学科, 2.心臓病センター榊原病院循環器内科, 3.心臓病センター榊原病院心臓血管外科）

2月13日（土） 11：00～12：00 デジタルポスターブース7 神戸国際展示場
デジタルポスター27 腎臓・腎機能・血液浄化③

座長：小林 誠人（公立豊岡病院組合立豊岡病院但馬救命救急センター）

DP27-1 持続緩徐式血液濾過器の膜特性の比較検討
久保 諭[1], 岡部 悠吾[2], 別宮 小由理[2], 浅賀 健彦[2], 白神 豪太郎[2], 濱谷 英幸[3], 篠原 奈都代[3], 阿部 祐子[3], 河北 賢哉[3], 黒田 泰弘[3]（1.香川大学医学部附属病院ME機器管理センター, 2.香川大学医学部附属病院集中治療部, 3.香川大学医学部附属病院救命救急センター）

DP27-2 新しい持続的血液浄化濾過膜sepXiris150のlifetimeについての検討
今泉 力也[1], 芝田 正道[1], 小林 利道[1], 川名 由浩[1], 鮫島 麻子[1], 中澤 速和[2], 小川 哲也[2], 樋口 千恵子[2], 中野 清治[1,3], 磯谷 栄二[4]（1.東京女子医科大学東医療センター臨床工学部, 2.東京女子医科大学東医療センター血液浄化部, 3.東京女子医科大学東医療センター心臓血管外科, 4.東京女子医科大学東医療センター救急医療科）

DP27-3 AN69ST（sepxiris）はnafamostat mesilateの抗凝固作用に影響を与えるか
鳩本 広樹[1], 仲村 佳彦[2], 山崎 慎太郎[1], 大藏 裕子[2], 鈴木 祥子[2], 長島 亮太郎[2], 西田 武司[2], 石倉 宏恭[2]（1.福岡大学病院臨床工学センター, 2.福岡大学病院救命救急センター）

DP27-4 AN69ST膜によるFGF-23吸着の優位性
峰松 佑輔[1], 倭 成史[2], 池宮 裕太[1]（1.国立病院機構大阪医療センター臨床工学室, 2.同センター腎臓内科）

DP27-5 直並列法を用いたPMX-DHP施行症例の検討
千葉 二三夫[1], 多田 亮祐[1], 鈴木 学[1], 齋藤 大貴[1], 今野 裕嗣[1], 菅原 誠一[1], 渡部 悟[1], 横山 健[2]（1.手稲渓仁会病院臨床工学部, 2.手稲渓仁会病院麻酔科集中治療室）

DP27-6 ROTEM®を用いて評価したALSにおける合成能補助療法としてのPDFの有用性
平山 千佳[1], 神里 興太[2], 照屋 孝二[2], 渕上 竜也[2], 垣花 学[2]（1.琉球大学医学部附属病院ME機器センター, 2.琉球大学医学部附属病院麻酔科集中治療部）

2月13日（土） 11：00～12：00 デジタルポスターブース8 神戸国際展示場
デジタルポスター28 早期離床・リハビリテーション①

座長：志賀 英敏（学校法人帝京大学帝京大学ちば総合医療センター）

DP28-1 くも膜下出血後における肺炎に関連する因子の検討
山内 康太[1], 熊谷 謙一[1], 萩原 理紗[1], 小柳 靖裕[1], 中溝 玲[2]（1.製鉄記念八幡病院リハビリテーション部, 2.製鉄記念八幡病院脳卒中・神経センター）

DP28-2 術前のGNRIが消化器外科術後の離床に与える影響について
小山内 大地, 秋元 健太郎, 青山 誠（医療法人渓仁会手稲渓仁会病院）

DP28-3 CABG施行後初回立位負荷後長時間循環応答にカテコラミンが及ぼす影響
笹沼 直樹[1], 井谷 祐介[1], 田中 隆史[1], 眞渕 敏[1], 児玉 典彦[2], 高橋 敬子[3], 宮本 裕治[4], 西 信一[5], 道免 和久[6]（1.兵庫医科大学病院リハビリテーション部, 2.兵庫医科大学リハビリテーション部, 3.兵庫医科大学医学教育センター, 4.兵庫医科大学心臓血管外科, 5.兵庫医科大学集中治療医学, 6.兵庫医科大学リハビリテーション医学教室）

DP28-4 急性心不全・慢性心不全急性増悪によるICU入室患者の退院時歩行速度関連因子の検討
岩津 弘太郎[1], 山田 純生[2], 堀内 あゆみ[3], 岡崎 善則[4], 大上 真理子[4]（1.国家公務員共済組合連合会枚方公済病院リハビリテーション科, 2.名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻, 3.国家公務員共済組合連合会枚方公済病院看護部, 4.国家公務員共済組合連合会枚方公済病院循環器内科）

DP28-5 ICU在室患者における一日の座位時間の調査 ～3軸加速度計を用いた評価の試み～
井出 篤嗣, 前野 里恵, 斉藤 均, 森川 由季, 今村 純子, 江井 佐知恵, 杉本 俊太郎, 三橋 拓, 塚本 佐保, 高橋 素彦（横浜市立市民病院リハビリテーション部）

DP28-6 急性期内科疾患入院患者における自立歩行判定のための簡易的評価項目の検討
山内 真哉[1], 眞渕 敏[1], 児玉 典彦[1], 道免 和久[2]（1.兵庫医科大学病院リハビリテーション部, 2.兵庫医科大学リハビリテーション医学教室）

2月13日（土） 11：00～12：00 デジタルポスターブース9 神戸国際展示場
デジタルポスター29 中毒・体温異常・悪性症候群①

座長：武居 哲洋（横浜市立みなと赤十字病院集中治療部）

DP29-1 ホウ酸中毒の一例
大西 淳司, 林 裕之, 谷津 祐一, 武知 かおる, 池田 智子, 井上 一由, 平崎 盟人（香川県立中央病院麻酔科）

DP29-2 メトホルミン中毒が想定された過量服薬後の乳酸アシドーシスに対し, 集学的治療が奏功した一例
丹生谷 啓介, 前田 明倫, 早瀬 直樹, 浅田 敏文, 上田 吉宏, 土井 研人, 中島 勧, 矢作 直樹（東京大学医学部附属病院救急部集中治療部）

DP29-3 急性血液浄化にて救命し得たメトホルミン中毒の一例
松本 優[1], 恒光 健史[1], 野田 健仁[2], 鈴木 崇生[1]（1.兵庫県立尼崎総合医療センター救急集中治療科, 2.兵庫県立尼崎総合医療センターER総合内科）

DP29-4　持続血液透析により救命し得た急性カフェイン中毒の一例
山下 智也，重光 胤明，大川 惇平，森本 健，師岡 誉也，石川 順一，福家 顕宏，有元 秀樹，宮市 功典，林下 浩士（大阪市立総合医療センター救命救急部）

DP29-5　早期に持続血液濾過透析で治療した急性リチウム中毒の１例
為近 舞子，井上 芳門，藤井 智章，伊藤 優，村橋 一，寺澤 篤，杉本 憲治，高須 宏江（名古屋第二赤十字病院麻酔・集中治療部）

DP29-6　HD後にCVVHDFを行いQTc時間を指標に透析を行いリバウンド現象を起こさずに治療し得たリチウム中毒の１例
土井 賢治，白川 和宏，近野 祐介，野口 啓，塩島 裕樹，伊藤 壮一，田熊 清継（川崎市立川崎病院救急科）

２月13日（土）　11：00～12：00　デジタルポスターブース10　神戸国際展示場
デジタルポスター30　保守管理・医療安全①

座長：加納 隆（埼玉医科大学保健医療学部医用生体工学科）

DP30-1　エコーガイド下中心静脈穿刺においてガイドワイヤーが右内頸静脈を貫通し，右椎骨静脈に迷入した一症例
梅宮 槙樹，中尾 謙太，浜川 綾子，石井 久成（天理よろづ相談所病院麻酔科）

DP30-2　動脈圧ライン固定具による刺入部合併症の軽減効果の検討
綱野 祐美子，井澤 眞代，中瀧 恵実子，小野寺 睦雄，大藤 純，今中 秀光，西村 匡司（徳島大学病院救急集中治療部）

DP30-3　電子カルテ緊急停止時の問題点と対応
関 啓輔[1]，乙宗 佳奈子[1]，音成 芳正[1]，西信 俊宏[1]，白神 真乃[1]，神野 敬祐[1]，木村 廷和[2]，穴吹 大介[2]，藤本 正司[2]，前川 聡一[1]（1.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院救急センター，2.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院麻酔科）

DP30-4　開放型ICUに適した電子カルテ熱型表システムの開発と運用
七種 伸行[1]，新山 修平[2]，有永 康一[2]，佐藤 晃[2]，坂本 照夫[2]（1.久留米大学病院医療情報センター，2.久留米大学病院集中治療部）

DP30-5　徳島大学病院集中治療室における長期滞在例の検討
井澤 眞代，綱野 祐美子，小野寺 睦雄，大藤 純，西村 匡司（徳島大学病院救急集中治療部）

DP30-6　チェックリストを用いたブリーフィングの導入と，早期リハビリテーションに与える影響
藤田 義人，赤堀 貴彦，安田 吉孝，吉野 博子，橋本 篤，佐藤 祐子，下村 毅，畠山 登，木下 浩之，藤原 祥裕（愛知医科大学医学部麻酔科学講座）

２月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース１　神戸国際展示場
デジタルポスター31　その他

座長：井上 聡己（奈良県立医科大学附属病院麻酔科）

DP31-1　重篤な小児を成人と同様に診る ― 救命救急センター5施設の実績から重篤小児診療の展望を示す ―
六車 崇[1]，賀来 典之[2]，多田 昌弘[3]，塚原 紘平[4]，安達 晋吾[5]，松岡 哲也[5]，鵜川 豊世武[4]，山野上 敬夫[3]，水口 壮一[2]，森村 尚登[6]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.九州大学病院救命救急センター，3.県立広島病院救命救急センター，4.岡山大学病院高度救命救急センター，5.りんくう総合医療センター泉州救命救急センター救命診療科，6.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学）

DP31-2　当院の集中治療体制に問題はあるか？ ～ドクターヘリによる他施設への搬送の観点からの検討～
田嶋 実[1]，柳谷 忠雄[1]，岸本 朋宗[2]（1.市立三次中央病院麻酔科・集中治療室，2.国立病院機構浜田医療センター）

DP31-3　人工呼吸患者との意思疎通のための機械読唇術システム構築に関する予備研究
中島 強[1]，宮本 恭兵[1]，川副 友[1]，永野 雄大[2]，李 周浩[2]，木田 真紀[1]，岩崎 安博[1]，加藤 正哉[1]（1.和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座，2.立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科）

DP31-4　代謝阻害剤を用いた細胞内エネルギー枯渇と再供給が血管内皮細胞機能に及ぼす影響
小幡 由佳子[1]，袴田 晃央[2]，小田切 圭一[2]，渡邉 裕司[2]，土井 松幸[1]（1.浜松医科大学附属病院集中治療部，2.浜松医科大学臨床薬理学講座）

DP31-5　当院救急外来におけるABO異型適合血輸血施行症例の検討
新田 正和，本多 忠幸，本田 博之，青木 信将，林 悠介，上村 夏生，遠藤 裕（新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター）

DP31-6　組立型モバイル治療室制作の試み
島田 二郎，田勢 長一郎（福島県立医科大学医学部救急医療学講座）

２月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース２　神戸国際展示場
デジタルポスター32　感染・感染対策②

座長：中尾 浩一（済生会熊本病院循環器内科）

DP32-1　PCRでRickettsia japonicaを迅速診断し救命し得た重症日本紅斑熱の１例
角田 尚紀[1]，二階 哲朗[1]，三原 亨[1]，串崎 浩行[1]，榊原 学[1]，藤原 辰也[1]，新原 寛之[2]，齊藤 洋司[1]（1.島根大学医学部麻酔科学教室，2.島根大学医学部皮膚科学教室）

DP32-2　マダニ咬症による重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を発症し，死亡した一症例
太田黒 崇伸，生塩 典敬，鶴 昌太，山田 哲久，奥山 稔朗，鮎川 勝彦（飯塚病院救急部）

DP32-3　ECMOを要した成人のヒトメタニューモウイルス感染によるARDSの1例
大井 秀則, 間藤 卓, 中田 一之, 山口 充, 奈倉 武郎, 大瀧 聡史, 杉浦 潤, 有馬 史人, 杉山 聡, 堤 晴彦(埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)

DP32-4　Fusobacterium nucleatumによる重篤な膿胸の1症例
小寺 厚志(長崎みなとメディカルセンター市民病院集中治療科)

DP32-5　Capnocytophaga感染症による電撃性紫斑病の一例
上村 夏生[1], 鈴木 友康[2], 青木 信将[2], 本田 博之[2], 岡部 康之[1], 林 悠介[1], 新田 正和[1], 本多 忠幸[1], 遠藤 裕[1](1.新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター, 2.新潟大学医歯学総合病院集中治療部)

DP32-6　A群 β 溶血性連鎖球菌による急性汎発性腹膜炎から救命し得た1症例
鈴木 一周[1], 酒井 宏明[2], 白石 義人[2], 山中 裕太[3], 西山 元啓[3](1.藤枝市立総合病院心臓血管外科, 2.藤枝市立総合病院麻酔科, 3.藤枝市立総合病院外科)

2月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース3　神戸国際展示場
デジタルポスター33　気道・呼吸・呼吸管理⑤

座長：芹田 良平(東京歯科大学市川総合病院)

DP33-1　非侵襲的陽圧換気により改善した胸部外傷後の気道狭窄の一例
横野 良典, 深田 祐作(十和田市立中央病院麻酔科)

DP33-2　高度肥満患者のcannot ventilate, cannot intubateの経験
上松 敬吾, 佐藤 裕一, 三宅 悠香, 芝 陽介, 田中 光一, 橘 直人, 濱見 原(愛媛県立中央病院救急科)

DP33-3　当院での熱傷後顔面・頚部拘縮による気管挿管困難症例に対する挿管法の検討
浅野 貴裕, 加藤 真奈美, 森 俊輔, 伊藤 洋, 田中 厚司, 金 日成(独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院麻酔科)

DP33-4　気管挿管後声門下狭窄症3症例の検討
阿部 世紀[1], 佐藤 公則[2], 天笠 俊介[2], 北村 真友[2], 笠井 正志[2], 松井 彦郎[2](1.長野県立こども病院麻酔科, 2.長野県立こども病院小児集中治療科)

DP33-5　EMG気管チューブ抜管後に喉頭浮腫による気道狭窄を認めた4例
勝田 哲史[1], 松田 憲昌[1], 藤原 康弘[1], 上田 晃志郎[1], 松本 聡[1], 若松 弘也[1], 松本 美志也[1,2](1.山口大学医学部附属病院集中治療部, 2.山口大学医学部麻酔・蘇生・疼痛管理学分野)

DP33-6　当院救命救急センターにおける遅発性気管切開術後気道狭窄に関する検討
久城 正紀, 齋藤 伸行, 八木 貴典, 阪本 太吾, 岡田 一宏, 中山 文彦, 本村 友一, 益子 一樹, 原 義明, 松本 尚(日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)

2月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース4　神戸国際展示場
デジタルポスター34　血液・凝固線溶

座長：小竹 良文(東邦大学医療センター大橋病院麻酔科)

DP34-1　出血傾向・舌の著明な腫脹を契機にビタミンK欠乏症を合併した後天性血友病Aと診断した1例
野間 貴之, 山田 茉美, 安達 晋吾, 布施 貴司, 水島 靖明, 松岡 哲也(大阪府泉州救命救急センター)

DP34-2　診断と初期治療に難渋した血球貪食症候群の1例
松本 泰幸[1], 増田 徹[2], 立川 義倫[2](1.九州労災病院重症治療部, 2.九州労災病院内科)

DP34-3　テイコプラニンによる免疫性血小板減少性紫斑病で肺胞出血を来した1例
阿部 建彦, 瀧浪 將典, 内野 滋彦, 齋藤 敬太, 遠藤 新大, 飯島 正紀, 小林 秀嗣, 齋藤 慎二郎, 吉田 拓生, 横田 泰佑(東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部)

DP34-4　覚醒剤使用歴のある患者に発症した動揺性の意識障害を伴った特発性血栓性血小板減少性紫斑病の一例
桑野 公輔, 石原 徹, 小松 昌道, 沖 将行, 柳 秀高, 小澤 秀樹, 高木 敦司(東海大学医学部付属病院総合内科)

DP34-5　Secondary TTP病態におけるトロンボモジュリン製剤の有効性
中村 謙介, 高谷 信宏, 大道寺 洋顕, 大島 和馬, 徳永 蔵人(日立総合病院救命救急センター救急集中治療科)

DP34-6　口腔癌術後における深部静脈血栓症の発生頻度と危険因子の検討
小板橋 敦[1], 宮崎 英隆[2], 高山 優[2], 小川 将[2], 牧口 貴哉[2], 國元 文生[3], 齋藤 繁[4], 横尾 聡[1,2](1.群馬大学大学院医学系研究科顎口腔科学分野, 2.群馬大学医学部附属病院歯科口腔・顎顔面外科, 3.群馬大学医学部附属病院集中治療部, 4.群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学)

2月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース5　神戸国際展示場
デジタルポスター35　小児・新生児②

座長：林下 浩士(大阪市立総合医療センター救命救急センター)

DP35-1　人工呼吸下の小児・乳児に対するヘッドアップと分泌物の気管内挙動に関する実験的検討
斉藤 岳史[1], 赤星 博和[2](1.東京医療保健大学大学院看護研究科, 2.筑波大学附属病院医療機器管理センター)

DP35-2　気道閉塞所見を認めた頸部リンパ管腫に対して選択的に気管切開を行った小児の2例
清水 淳次[1], 橋本 賢吾[1], 岸本 卓磨[1], 今宿 康彦[2], 山根 哲信[1], 田畑 貴久[3], 辻田 靖之[1], 江口 豊[3](1.滋賀医科大学救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学麻酔学講座, 3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座)

DP35-3　当院における小児敗血症性ショック患者へのEarly Goal-Directed Therapyの検討
鴻池 善彦[1,2], 居石 崇志[1], 渡邉 伊知郎[1], 本村 誠[1], 中山 祐子[1], 新津 健裕[1], 齊藤 修[1], 清水 直樹[1](1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部, 2.久留米大学医学部小児科学講座)

DP35-4　本邦小児集中治療領域における敗血症性ショック管理の現状
横川 真理[1], 笠井 正志[2], 志馬 伸朗[3](1.長崎大学病院小児科, 2.長野県立こども病院小児集中治療科, 3.国立病院機構京都医療センター救命救急科)

DP35-5　当院で経験した心臓術後の乳糜胸水腹水を合併した症例への検討
杉村 洋子, 松永 綾子(千葉県こども病院集中治療科)

DP35-6　当院における術後乳糜胸発症症例の検討
中山 祐子, 居石 崇志, 渡邉 伊知郎, 本村 誠, 新津 健裕, 齊藤 修, 清水 直樹(東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部)

2月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース6　神戸国際展示場
デジタルポスター36　心臓・循環・体液管理⑥

座長：垣花 泰之(鹿児島大学病院救急・集中治療部)

DP36-1　CCUにおけるCardiac ECMO長期サポート例の最近の成績
三軒 豪仁[1,2], 鈴木 啓士[1], 古瀬 領人[1], 林 洋史[1], 細川 雄亮[1], 圷 宏一[1], 山本 剛[1], 杉田 慎二[3], 竹田 晋浩[3], 清水 渉[1,2](1.日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, 2.日本医科大学付属病院循環器内科, 3.日本医科大学付属病院外科系集中治療科)

DP36-2　救急外来の血圧別に評価した心不全の病態評価と予後の検討
小林 正武[1,2], 渡邉 雅貴[1,2], 岩崎 陽一[1,2], 山科 章[1,2](1.東京医科大学循環器内科, 2.東京医科大学先進的心不全治療医学講座)

DP36-3　腹部大動脈瘤破裂手術後の集中治療室滞在長期化予測因子
三田 範勝[1], 華山 悟[1], 高橋 利和[1], 加賀谷 慎[1], 三好 壮太郎[1], 齋藤 繁[2](1.埼玉県立循環器呼吸器病センター麻酔科, 2.群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科)

DP36-4　内因性出血性ショックの緊急手術に際し，全身麻酔管理に大動脈バルーンオクルージョンが奏効した3症例
橋本 克彦, 岩崎 夢大, 伊藤 文人, 石田 時也(太田西ノ内病院麻酔科・救命救急センター)

DP36-5　急性心筋梗塞に対するPCI中の急性ステント内血栓症に対するパーフュージョンバルーンの有用性
松田 淳也[1], 高橋 保裕[1], 福泉 偉[1], 羽田 朋人[1], 佐藤 太亮[1], 清水 渉[2](1.同愛記念病院循環器科, 2.日本医科大学付属病院循環器内科)

DP36-6　褐色細胞腫による逆たこつぼ型左室壁運動異常を来たした2症例
藤田 信子, 岡田 修, 橋本 学, 篠田 麻衣子, 岡部 宏文, 青木 和裕, 片山 正夫(聖路加国際病院麻酔科)

2月13日（土）　13：30～14：30　デジタルポスターブース7　神戸国際展示場
デジタルポスター37　早期離床・リハビリテーション②

座長：住田 臣造(日本赤十字社旭川赤十字病院集中治療部)

DP37-1　ICUの人工呼吸患者における抜管後の器械的排痰補助(mechanical insufflation-exsufflation, MI-E)の有用性
横山 仁志[1], 堅田 紘頌[1], 渡邉 陽介[1], 松嶋 真哉[2], 中田 秀一[3], 森澤 健一郎[4], 柳井 真知[4], 高松 由佳[4], 津久田 純平[4], 平 泰彦[4](1.聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部, 2.聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部, 3.川崎市立多摩病院リハビリテーション科, 4.聖マリアンナ医科大学救急医学)

DP37-2　当院ICUにおける人工呼吸器離脱困難症例へのアプローチの分析
田中 雅也[1], 江里口 杏平[1], 坂本 智代[1], 横手 翼[1], 安達 普至[2], 鮎川 勝彦[2](1.飯塚病院リハビリテーション部, 2.飯塚病院集中治療部)

DP37-3　当院ICUにおける挿管下人工呼吸器装着患者に対する早期リハビリテーションと鎮静剤総投与量との関連性
西原 浩真[1], 岩田 健太郎[1], 小柳 圭一[1], 前川 利雄[1], 瀬尾 龍太郎[2], 朱 祐珍[2](1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部, 2.神戸市立医療センター中央市民病院救急部)

DP37-4　譫妄を発症したsepsis患者に対する機能予後影響因子からみたリハビリテーションの役割
宮崎 道輝[1], 片岡 祐一[2], 見井田 和正[1], 神應 智道[2], 服部 潤[2], 浅利 靖[2](1.北里大学病院リハビリテーション部, 2.北里大学医学部救命救急医学)

DP37-5　ICU多職種カンファレンス導入による早期離床促進に及ぼす効果
中川 義嗣[1], 長谷川 隆一[2], 高木 雅生[2], 柏 俊一[1], 土子 紗也香[1], 坂田 薫[1], 辻村 悠[1], 吉田 和歌子[1,3], 長津 貴子[3], 丸岡 正則[4](1.水戸協同病院リハビリテーション部, 2.筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター救急・集中治療科, 3.水戸協同病院看護部, 4.水戸協同病院臨床工学部)

DP37-6　ICU専任理学療法士配置前後におけるICU入室患者の在院日数の比較検討
山口 裕臣[1], 戸部 賢[2], 菅谷 知明[1], 長谷川 信[1], 田澤 昌之[1], 日野原 宏[2], 国元 文生[2], 和田 直樹[1](1.群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部, 2.群馬大学医学部附属病院集中治療部)

2月13日（土） 13：30～14：30 デジタルポスターブース8 神戸国際展示場
デジタルポスター38 多臓器不全・敗血症③

座長：小北 直宏（旭川医科大学病院集中治療部）

DP38-1 敗血症管理における低血糖と転帰の関係
古川 誠，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

DP38-2 敗血症患者における予後と栄養関連マーカーとの関連性について
竹川 良介，清水 健太郎，小倉 裕司，嶋津 岳士（大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター）

DP38-3 敗血症早期の運動介入はPGC-1αを介して脂質代謝と生存率を改善する
苛原 隆之[1,2,3]，佐藤 格夫[2]，大嶽 康介[1,2]，齋藤 龍史[2]，角田 洋平[2]，森 智治[2]，大鶴 繁[2]，井上 和生[3]，小池 薫[2]，横田 裕行[1]（1.日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野，2.京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野，3.京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野）

DP38-4 低用量steroidが投与された敗血症患者におけるCRP，IL-6，PCTの動態
小倉 皓一郎，島田 忠長，仲村 将高，橋田 知明，児玉 善之，平澤 博之（東千葉メディカルセンター救急科）

DP38-5 Detection of suppressive activity on innate immune DAMPs response in sepsis
Ho Minh Van[1]，廣橋 伸之[1]，山賀 聡之[1]，鈴木 慶[1]，板井 純治[1]，太田 浩平[1]，志馬 伸朗[1]，Weng Sheng Kong[2]，管野 雅元（1.広島大学救急医学，2.広島大学免疫学）

DP38-6 顆粒球コロニー刺激因子Knock Outマウスでは敗血症に伴う血管内皮障害が抑制される
鈴木 浩大，岡田 英志，小田 和正，田中 卓，中野 志保，吉田 隆浩，吉田 省造，牛越 博昭，豊田 泉，小倉 真治（岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野）

2月13日（土） 13：30～14：30 デジタルポスターブース9 神戸国際展示場
デジタルポスター39 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床③

座長：土井 松幸（浜松医科大学医学部附属病院集中治療部）

DP39-1 緊急開腹手術における術後超音波ガイド下体幹部神経ブロックは早期回復に寄与する
萩原 信太郎[1]，上野 剛[1]，濱崎 順一郎[1]，山口 俊一郎[1]，内野 えりか[1]，川崎 孝一[1]，有村 俊明[2]（1.鹿児島市立病院麻酔科集中治療部，2.鹿児島市医師会病院）

DP39-2 ICUの鎮静管理におけるSedLineの使用経験
鈴木 博人[1,2]，高橋 菜々子[2]，黒田 美聡[2]，鈴木 麻奈美[2]，小野寺 悠[2,3]，秋元 亮[2]，小林 忠宏[1,2]，中根 正樹[1,3]，川前 金幸[2,3]（1.山形大学医学部附属病院高度集中治療センター，2.山形大学医学部附属病院麻酔科，3.山形大学医学部附属病院救急科）

DP39-3 トラマドールとデクスメデトミジン併用によるEndovascular aortic repair（EVAR）術後患者への有用性
御室 総一郎[1]，小林 賢輔[2]，鈴木 祐二[1]，大橋 雅彦[1]，加藤 弘美[1]，大杉 浩一[1]，八木原 正浩[1]，小幡 由佳子[1]，土井 松幸[1]，中島 芳樹[2]（1.浜松医科大学医学部附属病院集中治療部，2.浜松医科大学麻酔・蘇生学講座）

DP39-4 鎮痛・鎮静プロトコールによるせん妄発生率の減少
奥村 将年，宇城 敦司，大塚 康義，山本 泰史，和田 翔，岩田 博文，菅 敏晃，宮内 清司，嶋岡 英輝（大阪市立総合医療センター集中治療部）

DP39-5 作業療法士のICU専従化でせん妄は減らせるか？
高場 章宏[1]，瀬尾 龍太郎[1]，蛯名 正智[1]，朱 祐珍[2]，淺井 康紀[3]，有吉 孝一[1]（1.神戸市立医療センター中央市民病院救急部，2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科，3.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部）

DP39-6 ガイドラインを使用したPAD評価の取り組み
高橋 麗子[1]，沖野 優子[2]，西 幸恵[2]，太田 淳子[2]，松原 隆夫[2]，石塚 修一[1]，新田 俊一[1]（1.石川県立中央病院麻酔科，2.石川県立中央病院集中治療部）

2月13日（土） 13：30～14：30 デジタルポスターブース10 神戸国際展示場
デジタルポスター40 保守管理・医療安全②

座長：木村 政義（兵庫医科大学病院臨床工学室）

DP40-1 集中治療における臨床工学技士常駐体制の効果
須藤 弘樹，西方 貴洋，浅見 幸恵，木内 耕己，相嶋 一登（横浜市立市民病院臨床工学部）

DP40-2 当直体制導入の効果について
清水 信之，藤田 智一，間中 泰弘，水谷 瞳（医療法人豊田会刈谷豊田総合病院）

DP40-3 ICU業務導入後から見えた問題点への取り組み
菊地 浩之[1]，八代 三恵子[2]（1.JAとりで総合医療センター臨床工学部，2.JAとりで総合医療センター看護部）

DP40-4 集中治療室における臨床工学技士二交代制勤務の現状と課題
林 裕樹（名古屋大学医学部附属病院臨床工学技術部）

DP40-5 当直業務開始前後における人工呼吸器装着時間の推移について
管田 塁[1]，吉永 修平[1]，荒木 康幸[1]，上杉 英之[2]，西上 和宏[2]（1.済生会熊本病院臨床工学部門，2.済生会熊本病院集中治療室）

DP40-6　当直業務開始前後の業務量の変化と看護師満足度調査について
森本 学[1], 刈田 瑛子[1], 小林 彩[1], 花岡 和也[1], 高尾 彰孝[1], 丸山 朋康[1], 宮川 宜之[1], 酒井 龍一[2], 河野 哲也[3]（1.諏訪赤十字病院医療技術部臨床工学技術課, 2.諏訪赤十字病院救急部, 3.諏訪赤十字病院集中治療部）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース1　神戸国際展示場
デジタルポスター41　医療安全

座長：石松 伸一（聖路加国際病院救急部・救命救急センター）

DP41-1　ICU病棟における重要ルート類自己抜去の要因 ～抜去群と非抜去群の2群間比較より～
寺井 彩[1], 浦上 恵里[1], 松木 健宏[1], 寺井 孝弘[2]（1.富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院看護部救命救急病棟, 2.金沢医科大学）

DP41-2　当センターにおけるCAM-ICUの評価と挿入物の自己抜去の関連についての検討
高砂 伊代[1], 津田 雅美[1], 足立 久美子[1], 井上 明彦[2]（1.兵庫県災害医療センター看護部, 2.兵庫県災害医療センター救急部）

DP41-3　チューブ類計画外抜去の前駆症状に対する看護師の認識の違いと行動制限の臨床判断
永野 何奈, 新井 洋, 田中 由見子, 森口 裕美, 亀崎 智都江（国立病院機構千葉医療センター看護部）

DP41-4　当院における身体抑制の見直しについて
十文字 英雄, 本田 周司, 菊地 智, 北村 里絵, 和田 望美, 酒井 香, 辻口 直紀（市立函館病院3階南ICU病棟）

DP41-5　安全帯フローチャートの導入と効果 ～安全帯の適正使用を目指して～
濱本 実也, 生駒 周作, 鈴木 麻里菜, 川瀬 正樹（公立陶生病院集中治療室）

DP41-6　ICU経験1年未満の看護師のインシデント報告要因分析 ―教育課題の検討―
河合 真由美, 冨石 香代子, 萬谷 和代（愛知医科大学病院看護部）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース2　神戸国際展示場
デジタルポスター42　感染・感染対策③

座長：升田 好樹（札幌医科大学附属病院集中治療部）

DP42-1　ICUにおけるアデノシン三リン酸拭き取り検査を用いた環境清浄度調査
永迫 望[1], 田中 友康[2], 坂本 加代子[3], 川野 マキ[2]（1.潤和会記念病院感染対策管理室, 2.潤和会記念病院集中治療部, 3.潤和会記念病院看護部）

DP42-2　ICUにおける手荒れ予防効果のある手指消毒剤の使用は手指衛生遵守率を向上させるか
杉本 直樹[1], 相庭 克行[1], 中村 真巳[1], 新山 和也[1], 佐伯 有香[2], 磨田 裕[2], 古田島 太[2], 根本 学[3]（1.埼玉医科大学国際医療センター, 2.埼玉医科大学国際医療センター集中治療科, 3.埼玉医科大学国際医療センター救命救急科）

DP42-3　多剤耐性アシネトバクターの感染拡大防止に向けた取り組み
伊藤 真実[1], 森井 杏奈[1], 濱口 美咲[1], 正木 香苗[1], 水谷 典子[1], 鈴木 圭[2], 今井 寛[2]（1.三重大学医学部付属病院総合集中治療センター, 2.三重大学医学部付属病院救命救急センター）

DP42-4　VAEサーベイランスを用いたケア介入の現状と課題
押川 大輔, 竹内 愛美, 岸良 達也, 日高 祥子, 田中 妙子, 田中 裕美（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院集中治療部）

DP42-5　当院ICUにおけるVAEs発症リスク因子の検討
原田 真希[1], 佐藤 智子[1], 稲垣 歩[1], 鈴木 絵理奈[1], 石川 ひとみ[1], 佐藤 多実子[1], 五十嵐 季子[2], 中永 士師明[2], 奥山 学[2], 多治見 公高[3]（1.秋田大学医学部附属病院集中治療部, 2.秋田大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学講座, 3.独立行政法人労働者健康福祉機構秋田労災病院）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース3　神戸国際展示場
デジタルポスター43　気道・呼吸・呼吸管理⑥

座長：金井 尚之（東京警察病院救急部）

DP43-1　大葉性肺炎による著明な酸素化不良に対し一酸化窒素吸入療法を行い救命に至った1例
宇仁田 亮, 山口 直城, 上野原 惇, 後藤 隆司, 鷹取 誠（広島市立広島市民病院麻酔集中治療科）

DP43-2　心肺蘇生後の気道出血に対し, 気管支動脈塞栓術が有効であった1症例
古島 夏奈, 増田 恵里香, 出口 美希, 依田 智美, 中村 芳美, 稲井 舞夕子, 山岡 正和, 仙田 正博, 八井田 豊, 倉迫 敏明（姫路赤十字病院麻酔科）

DP43-3　ウイルス培養にて診断されたインフルエンザ肺炎の2症例
速井 俊策, 谷口 博之, 近藤 康博, 木村 智樹, 片岡 健介, 松田 俊明, 横山 俊樹（公立陶生病院呼吸器アレルギー疾患内科）

DP43-4　拘束性障害で著明な高二酸化炭素血症を合併した呼吸不全に対してHFOVが有効であった1例
制野 勇介, 八坂 有起, 藤原 直樹（沖縄県立南部医療センターこども医療センター）

DP43-5　Guillain-Barre症候群に対してNAVA modeが有効であった1症例
服部 淳一[1], 櫻井 絵里[2]（1.鹿児島県立大島病院救命救急センター, 2.鹿児島大学医学部麻酔・蘇生学）

DP43-6　Neurally Adjusted ventilator Assistが有用であった慢性肺疾患の乳児例
阿部 迪子, 壷井 伯彦, 後藤 祐也, 青木 一憲, 松本 正太朗, 井手 健太郎, 西村 奈穂, 中川 聡（国立成育医療研究センター集中治療科）

2月14日（日） 11：00～12：00 デジタルポスターブース4 神戸国際展示場
デジタルポスター44 高齢者

座長：貝沼 関志（名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部）

DP44-1 高齢者の急性硬膜下血腫の特徴にあわせた治療戦略
堀田 和子[1], 小松 文成[2], 長田 貴洋[1], 小田 真理[2], 下田 雅美[2], 松前 光紀[1]（1.東海大学医学部脳神経外科, 2.東海大学医学部付属八王子病院脳神経外科）

DP44-2 当院救急ICUにおける超高齢者症例（85歳以上）の入室状況
土井 智章, 竹村 春起, 志水 清和, 永田 二郎（一宮市立市民病院救命救急センター救急科）

DP44-3 当院集中治療室における超高齢者緊急入室の検討
山口 均（大垣市民病院集中治療部）

DP44-4 当ICUにおける超高齢者の検討
木村 慎一[1], 金尾 邦生[1], 大村 和也[1], 星野 哲也[1], 秋山 容平[2], 佐藤 智行[2], 高橋 宏行[1]（1.済生会横浜市東部病院集中治療科, 2.済生会横浜市東部病院麻酔科）

DP44-5 高齢化が進んだ地域のICUにおける高齢集中治療患者の疫学：単施設後方視記述的観察研究
笹野 幹雄[1], 白石 淳[2], 山本 良平[1], 藤内 まゆ子[1], 野木 一孝[1], 佐藤 仁信[1], 松本 敬[1], 小林 宏維[1], 麻生 将太郎[1], 林 淑朗[1]（1.医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科, 2.東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

DP44-6 脊髄くも膜下麻酔が術後認知機能に与える影響について
安村 里絵, 佐藤 奈々子, 杉浦 孝広, 山崎 治幸, 和田 浩輔, 小林 佳郎（独立行政法人国立病院機構東京医療センター麻酔科）

2月14日（日） 11：00～12：00 デジタルポスターブース5 神戸国際展示場
デジタルポスター45 消化器

座長：井上 義博（岩手医科大学医学部救急医学講座）

DP45-1 肝切除術中のPringle法による血行動態変化の検討
白水 和宏[1], 徳田 賢太郎[2], 藤吉 哲宏[3], 瀬戸口 秀一[1], 外 須美夫[3]（1.九州大学病院手術部, 2.九州大学病院集中治療部, 3.九州大学大学院麻酔・蘇生学）

DP45-2 エンドトキシン吸着療法の施行の有無で下部消化管穿孔の症例検証
谷河 篤[1], 清水 敬樹[1], 濱口 純[1], 荒川 裕貴[1], 鈴木 茂利雄[1], 萩原 祥弘[1], 金子 仁[1], 光銭 大裕[1], 森川 健太郎[1], 三宅 康史[2]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 2.昭和大学医学部救急医学講座）

DP45-3 門脈ガス血症を呈していたにも関わらず, 保存的治療により軽快した非閉塞性腸間膜虚血症（NOMI）の2症例
友塚 直人, 坂本 里沙, 林 久美子, 住吉 公洋, 岡部 大輔, 鈴木 勉, 戸田 成志, 小野 潤二, 北浦 道夫（香川労災病院麻酔科）

DP45-4 ハイブリッド治療により選択的腸管切除にて治療した小腸出血の1例
明石 卓, 倉田 早織, 中道 嘉, 吉田 浩輔, 小林 陽介, 佐藤 智洋, 折田 智彦, 山崎 元靖, 北野 光秀（済生会横浜市東部病院救急部）

DP45-5 胸部操作を開胸及び胸腔鏡補助下で行った食道がん手術の周術期経過
首藤 誠[1], 正岡 光智子[1], 越智 美緒[1], 泉本 恵理[2]（1.独立行政法人四国がんセンター麻酔科, 2.愛媛大学医学部麻酔周術期医学）

DP45-6 当院ICUにおけるチェックリストの効果 ストレス潰瘍予防の観点から
小笠原 治, 宮津 光範, 岡野 将典, 上村 友二, 冨田 麻衣子, 藤掛 数馬, 田村 哲也, 森島 徹朗, 草間 宣好, 祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

2月14日（日） 11：00～12：00 デジタルポスターブース6 神戸国際展示場
デジタルポスター46 心臓・循環・体液管理⑦

座長：久野 将宗（日本医科大学多摩永山病院救命救急センター）

DP46-1 ガドリニウム造影剤が冠動脈狭窄の診断に有用であったヨード造影剤アレルギーの2症例
佐藤 督忠, 佐藤 千聡, 笹井 正宏, 前田 敦夫, 若林 公平, 鈴木 洋（昭和大学藤が丘病院循環器内科）

DP46-2 胸部X線写真における末梢挿入中心静脈カテーテル先端位置の視認性の評価
岩下 耕平, 重松 研二, 十時 崇彰, 山浦 健（福岡大学医学部麻酔科学）

DP46-3 小児心臓手術術後管理におけるAESCULON miniの有用性
有馬 大輔, 宮本 隆司, 笹原 聡豊, 本川 真美加, 内藤 祐次（群馬県立小児医療センター）

DP46-4 血液浄化によるEV1000各測定値への影響 ―注入部位による比較検討―
酒井 俊和[1], 加藤 由布[1], 原 嘉孝[1], 中村 智之[1], 下村 泰代[1], 山下 千鶴[1], 森山 和広[2], 西田 修[1]（1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座, 2.藤田保健衛生大学医学部臨床免疫制御医学講座）

DP46-5 肺動脈カテーテルが循環管理に有用であった重症心不全の1例
副島 崇旨[1], 丸山 崇[1], 久保 智紀[2], 糸洲 佑介[1], 雨森 英彦[1]（1.砂川市立病院麻酔科, 2.札幌厚生病院）

DP46-6 当院における重症心不全患者に対するチーム医療の役割 ～ソノグラファーの視点から～
小山 卓也[1], 土岐 美沙子[1], 有高 進悟[1], 本部 弘美[1], 中島 久美子[1], 中島 康佑[2], 林田 晃寛[3], 坂口 太一[4]（1.心臓病センター榊原病院生理検査科, 2.心臓病センター榊原病院臨床工学科, 3.心臓病センター榊原病院循環器内科, 4.心臓病センター榊原病院心臓血管外科）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース7　神戸国際展示場
デジタルポスター47　多臓器不全・敗血症④

座長：小谷 穣治（兵庫医科大学病院救急・災害医学講座・救命救急センター）

DP47-1　敗血症患者におけるBNP（Brain Natriuretic Peptide）推移の検討
松川 志乃，瀬川 一，谷本 圭司，田中 具治，福田 和彦（京都大学医学部附属病院麻酔科）

DP47-2　敗血症の転機予測には拡張期圧が最も有用である
小林 直也[1,6]，中川 敦寛[2]，齋藤 浩二[4]，江島 豊[5]，吾妻 俊弘[1]，外山 裕章[1]，遠藤 康弘[1]，工藤 大介[3]，山内 正憲[1]（1.東北大学大学院医学系研究科麻酔科学・周術期医学分野，2.東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野，3.東北大学大学院医学系研究科救急医学分野，4.東北大学病院集中治療部，5.東北大学病院手術部，6.大崎市民病院麻酔科）

DP47-3　重症敗血症患者における組織酸素代謝モニタリングとしてのRegional Saturation of Oxygen（rSO2）の検討
谷口 隼人[1,2]，中村 京太[1,2]，古郡 慎太郎[1,2]，土井 智喜[1,2]，安部 猛[1]，森村 尚登[1,2]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.横浜市立大学医学部医学科救急医学）

DP47-4　敗血症性ショックに対しVA-ECMOを導入し救命したチアノーゼ性心疾患の一例
小泉 沢[1]，楠本 耕平[1]，小西 章敦[2]，松川 周[1]（1.宮城県立こども病院集中治療科，2.宮城県立こども病院心臓血管外科）

DP47-5　血液悪性腫瘍患者の重症呼吸不全3症例に対してのECMO使用の検討
森田 智教，杉田 慎二，竹田 晋浩，坂本 篤裕（日本医科大学付属病院麻酔科学教室）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース8　神戸国際展示場
デジタルポスター48　中毒・体温異常・悪性症候群②

座長：坂本 哲也（帝京大学医学部附属病院救急医学講座）

DP48-1　バルサルバ洞動脈瘤破裂術後に生じた悪性症候群に対する1例
坂口 昌幸[1]，高野 環[1]，毛原 啓[1,2]，福家 愛[1]，寺崎 貴光[1]，西村 和典[1]（1.長野赤十字病院心臓血管外科，2.諏訪赤十字病院心臓血管外科）

DP48-2　重症敗血症として治療中に発症した悪性症候群の1例
田中 清高[1]，川向 洋介[1]，西原 教晃[1]，土屋 滋雄[1]，辻口 直紀[1]，山蔭 道明[2]（1.市立函館病院麻酔科，2.札幌医科大学医学部麻酔科学講座）

DP48-3　髄膜炎と鑑別困難だったセロトニン症候群の1例
井上 堂司[1]，秋冨 慎司[1]，寺山 毅郎[1,2]，橋本 賢一[2]，田中 良弘[1]，高瀬 凡平[2]，池内 尚司[1]（1.防衛医科大学校救急部，2.防衛医科大学校集中治療部）

DP48-4　III度熱中症に対する血管内冷却カテーテルおよび体表冷却の比較
安念 優，菱川 恭子，中尾 彰太，水島 靖明，松岡 哲也（大阪府泉州救命救急センター）

DP48-5　重症III度熱中症に対する血管内体温管理システム（サーモガード®）導入例の特徴
酒井 康行，桑名 司，伊原 慎吾，澤田 奈実，堀 智志，小豆畑 丈夫，木下 浩作（日本大学救急医学救命集中治療医学分野）

DP48-6　急性汎発性発疹性膿疱症に対しガンマグロブリン大量療法を行った1症例
長谷 洋和，杉木 馨，杉山 貴康，高田 真二，宇野 幸彦，澤村 成史（帝京大学医学部附属病院麻酔集中治療科）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース9　神戸国際展示場
デジタルポスター49　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床④

座長：鶴田 良介（山口大学医学部附属病院先進救急医療センター）

DP49-1　Behavioral Pain Scaleの導入による鎮痛管理の実態
千田 多絵子，宮原 聡子，中島 愛那，清水 朋，植村 桜（地方独立行政法人市民病院機構大阪市立総合医療センター）

DP49-2　心臓血管外科術後の気管挿管中の患者に鎮痛評価スケール（BPS）を使用した疼痛管理の効果
成田 英仁，佐々木 美子（青森県立中央病院集中治療看護班）

DP49-3　ICUで人工呼吸器管理を行った患者のせん妄発症と人工呼吸器管理中の疼痛コントロールの関係
立松 美和[1]，運天 匠[1]，中村 有作[1]，水谷 由香里[1]，平手 裕市[2]（1.名古屋掖済会病院，2.名古屋掖済会病院心臓血管外科）

DP49-4　Critical-Care Pain Observation Tool導入による変化 ～看護介入と薬剤投与量について～
深瀬 明日香[1]，佐藤 萌[1]，須賀 恭子[1]，金子 千佳子[1]，工藤 とし子[1]，中根 正樹[1,2]，川前 金幸[1]（1.山形大学医学部附属病院高度集中治療センターICU，2.山形大学医学部麻酔科学講座）

DP49-5　ICUスタッフによる人工呼吸患者への鎮痛プロトコル導入の影響
那須 愛美，有馬 勝洋，高山 洋平，坂本 美賀子，西上 和宏（社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院）

DP49-6　救命救急センターにおけるRASS・BPS導入による効果 ～医師・看護師の共通認識を目指して～
藁谷 夏音，門脇 正子，坂本 愛，清水 るみ子（独立病院機構国立病院機構仙台医療センター救命救急センター）

2月14日（日）　11：00～12：00　デジタルポスターブース10　神戸国際展示場
デジタルポスター50　倫理・終末期・看護ケア

座長：小林 孝史（大崎市民病院麻酔科）

DP50-1　心臓手術をうけICUに入室した患者の家族が抱く思いの構造
恒吉 さやこ，石塚 真希子，山口 裕衣（宮崎県立宮崎病院）

DP50-2　気管挿管されてICUに入室した患者家族に対する看護援助
田中 いづみ，川畑 さとみ（鹿児島市医師会病院）

DP50-3　回復期から急性期を振り返る ～回復期移行出来た患者家族が急性期に望む事～
中川 さつき，松井 陽子，門川 桂子（一般社団法人巨樹の会原宿リハビリテーション病院）

DP50-4　集中治療室において急変時の代理意思決定を行う家族が医療者に求めること～家族インタビューを通して～
戸敷 咲，井村 友美，山口 大介，西村 摩里子，柴尾 嘉洋（社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院）

DP50-5　PICUにおける終末期患者・家族のケアへの取組み
藤澤 江里子（長野県立こども病院）

DP50-6　脳死下臓器提供における選択肢提示の現状と看護
山本 小奈実[1]，山勢 博彰[1]，佐伯 京子[1]，立野 淳子[2]，田戸 朝美[1]（1.山口大学大学院医学系研究科，2.小倉記念病院）

【一般演題（ポスター CP）】

2月12日（金）　9：30～10：30　CP ポスター会場　神戸国際展示場
ポスター CP 1　Rapid Response Team・院内急変①

座長：株丹 浩二（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター）

CP1-1　当院におけるMedical Emergency Team（MET）導入の経緯と現状
山本 豊[1], 竹中 誠[2], 中山 章子[3], 玄 運官[4], 七松 恭子[4], 宮崎 恵美子[4], 佐野 博美[4], 横田 美幸[4]（1.公益財団法人がん研究会有明病院集中治療部, 2.公益財団法人がん研究会有明病院MEセンター, 3.公益財団法人がん研究会有明病院看護部, 4.公益財団法人がん研究会有明病院麻酔科）

CP1-2　当院におけるRRS導入の工夫と現状
名知 祥[1], 熊田 恵介[1,3], 林 賢二[2], 杉原 博子[1,2], 玉井 小百合[2,3], 吉田 隆浩[1], 吉田 省造[1], 牛越 博昭[1], 豊田 泉[1], 小倉 真治[1]（1.岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2.岐阜大学医学部附属病院看護部, 3.岐阜大学医学部附属病院医療安全管理室）

CP1-3　当院MET call要請基準および要請システム変更前後での変化および今後の課題
柴田 尚明, 米満 尚史, 宮本 恭兵, 田中 真生, 中島 強, 山下 真史, 島 幸宏, 木田 真紀, 岩崎 安博, 加藤 正哉（和歌山県立医科大学付属病院高度救命救急センター）

CP1-4　当院におけるRapid Response Systemに関するデータ集積と解析の現状調査
仙頭 佳起, 平手 博之, 佐野 文昭, 米倉 寛, 加藤 利奈, 吉澤 佐也, 太田 晴子, 田村 哲也, 草間 宣好, 祖父江 和哉（名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

CP1-5　ICU再入室例の原因に関する検討
阪本 太吾[1], 齋藤 伸行[1], 柴田 あみ[1], 岡田 一宏[1], 益子 一樹[1], 本村 友一[1], 八木 貴典[1], 原 義明[1], 松本 尚[1], 横田 裕行[2]（1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

CP1-6　当院におけるRRS運用の現状とその問題点
池田 武史（社会医療法人慈泉会相澤病院集中治療科）

2月12日（金）　9：30～10：30　CP ポスター会場　神戸国際展示場
ポスター CP 2　チーム医療①

座長：橋本 良子（岩手医科大学附属病院看護部）

CP2-1　リハビリテーションカンファレンスによる早期離床の取り組み ～話し合いだけではなく，即実行を～
新山 和也[1], 中村 真巳[1], 杉本 直樹[1], 島袋 裕太[1], 原 麻衣子[1], 相庭 克行[1], 古田島 太[2], 佐伯 有香[2], 磨田 裕[2], 根本 学[3]（1.埼玉医科大学国際医療センター救命救急センターICU, 2.埼玉医科大学国際医療センター集中治療科, 3.埼玉医科大学国際医療センター救命救急科）

CP2-2　多職種参加型の定期的ICUカンファレンス導入前後の比較検討　第2報
渡邊 一也[1], 高橋 千枝[1], 伊在井 淳子[2], 佐々木 隆徳[3], 郷古 親夫[3]（1.公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院看護部, 2.公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院外科, 3.公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院救急科）

CP2-3　ブリーフィングチェックリストの導入とその効果
永田 剛大[1], 丸谷 幸子[1], 石井 房世[1], 伊藤 加代子[1], 米倉 寛[2], 宮津 光範[2], 祖父江 和哉[2]（1.名古屋市立大学病院看護部ICUPICUCCU, 2.名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学集中治療医学分野）

CP2-4　集中治療室に病棟担当薬剤師が配置されたことの有用性の検討
佐藤 茜[1], 平野 了子[1], 矢澤 愛里沙[1], 高橋 瑞江[1], 小磯 昭一[1], 田中 大[2], 三田 亜希子[1]（1.藤沢市民病院看護部ICUCCU, 2.藤沢市民病院医療技術部薬局）

CP2-5　自宅退院が困難と予想された超高齢者のAS患者に対して看護師中心で取り組むチーム医療が有効であった一例
清原 由希[1], 木脇 恵子[1], 小池 雅人[2], 浅井 徹[3]（1.近江草津徳洲会病院看護部, 2.近江草津徳洲会病院心臓血管外科, 3.滋賀医科大学心臓血管外科）

CP2-6　食道癌の高齢患者への周手術期ケア ～内科から外科へと継続したケアによりQOL維持した一事例～
松倉 早知子（日本赤十字社富山赤十字病院）

2月12日（金）　9：30～10：30　CP ポスター会場　神戸国際展示場
ポスター CP 3　感染・感染対策①

座長：小林 敦子（宝塚市立病院）

CP3-1　髄液細胞数上昇を認めない肺炎球菌性髄膜炎の1例
後藤 崇夫, 佐藤 良太, 屋宜 亮兵, 福井 英人, 北原 佑介, 那須 道高, 八木 正晴（浦添総合病院救命救急センター総合診療科）

CP3-2　異常行動で搬送されたLemierre症候群の一例
日高 有司[1], 寳住 肇[2], 西平 崇人[3], 坂本 千代織[2], 高野 雅嗣[3], 神津 成紀[2], 松島 久雄[2], 和氣 晃司[2], 小野 一之[2]（1.獨協医科大学病院研修センター, 2.獨協医科大学病院救命救急センター, 3.獨協医科大学病院神経内科）

CP3-3　たこつぼ型心筋症の合併が考えらえた破傷風の1例
徳毛 健太郎[1], 大道 和佳子[1], 益田 健[1], 瀧口 侑[2], 吉田 敬[1]（1.JA尾道総合病院内科, 2.JA尾道総合病院循環器内科）

CP3-4　細菌学的診断を得られた破傷風の1例
平澤 康孝, 柳井 真知, 川口 剛史, 津久田 純平, 高松 由佳, 井上 哲也, 森澤 健一郎, 下澤 信彦, 和田 崇文, 平 泰彦(聖マリアンナ医科大学救急医学)

CP3-5　硫酸マグネシウムの持続投与が有効であった重症破傷風の1例
藤井 智章, 寺澤 篤, 秋泉 春樹, 井上 芳門, 村橋 一, 古田 敬亮, 古田 裕子, 高須 宏江(名古屋第二赤十字病院麻酔・集中治療部)

CP3-6　硫酸マグネシウムの持続静注により長期人工呼吸管理を回避しえた破傷風患者の一例
岡田 恭子, 矢野 倫太郎, 松本 聡治朗, 東島 潮, 松本 周平, 関野 元裕, 原 哲也(長崎大学病院集中治療部麻酔科)

2月12日(金) 9:30～10:30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 4　気道・呼吸・呼吸管理①

座長:佐多 竹良(産業医科大学病院)

CP4-1　防水スプレー吸入により呼吸障害をきたした1例
中村 藍子, 田口 学, 藤井 智章(名古屋第二赤十字赤十字病院麻酔集中治療部)

CP4-2　急速な経過をたどった皮膚筋炎関連間質性肺炎の一例
香河 清和, 二宮 万理恵, 松本 充弘, 川瀬 太助, 前田 英里, 大井 智香子, 盤井 多美子, 吉河 久美子, 佐々原 友子, 高田 幸治(市立豊中病院麻酔科)

CP4-3　名古屋大学病院救急・内科系集中治療室における間質性肺炎の管理の解析
東 倫子, 日下 琢雅, 海野 仁, 眞喜志 剛, 山本 尚範, 江嶋 正志, 田村 有人, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

CP4-4　脳深部刺激装置埋め込み術後に発生した陰圧性肺水腫の2症例
丹保 亜希仁[1,2], 川田 大輔[1], 西浦 猛[1], 小北 直宏[1], 藤田 智[1](1.旭川医科大学病院救命救急センター, 2.名寄市立総合病院救命救急センター)

CP4-5　巨大腺腫様甲状腺腫による上気道狭窄を契機に発症した陰圧性肺水腫の一例
山添 泰佳, 早川 聖子, 勝田 賢, 高木 沙央里, 前田 隆求, 小松 聖史, 内山 壮太, 中村 智之, 柴田 純平, 西田 修(藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

CP4-6　低侵襲僧帽弁形成術後に再膨張性肺水腫を契機として発症した急性呼吸窮迫症候群の一例
出野 サトシ, 鈴木 武志, 若宮 里恵, 奥田 淳, 御園生 与志, 上田 朝美, 香取 信之, 森崎 浩(慶應義塾大学医学部麻酔学教室)

2月12日(金) 9:30～10:30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 5　気道・呼吸・呼吸管理②

座長:梅垣 修(大阪医科大学集中治療部)

CP5-1　上気道狭窄モデルにおける輪状甲状間膜カニューレからのHigh constant flowの効果
鈴木 慧太郎, 篠崎 正博, 鍜冶 有登, 薬師寺 泰匡, 山田 元大, 白坂 渉(岸和田徳洲会病院救命救急センター)

CP5-2　閉鎖式気管吸引時に, 気管チューブの内径と吸引カテーテルのサイズが換気量に及ぼす影響
渡辺 雅之, 佐藤 暢一, 出光 亘, 寺田 亨志, 落合 亮一(東邦大学医療センター大森病院麻酔科)

CP5-3　気管チューブカフの素材とカフ圧がマイクロアスピレーションに与える影響についての実験的検討
原山 信也[1], 長田 圭司[1], 清水 智子[1], 金澤 綾子[1], 内田 貴之[2], 尾辻 健[1], 荒井 秀明[1], 二瓶 俊一[1], 相原 啓二[1], 蒲地 正幸[1](1.産業医科大学病院集中治療部, 2.産業医科大学麻酔科)

CP5-4　モデル肺におけるmechanical insufflation-exsufflation(MI-E)の効果についての検討
工藤 淳[1], 星 邦彦[2], 齋藤 浩二[2], 亀山 良亘[2], 坂本 千尋[1], 大場 一英[1], 須東 光江[1](1.東北大学病院集中治療部ICU1, 2.東北大学病院集中治療部)

CP5-5　Ventilation is a Better Assessment of Respiratory Status than EtCO2
Daniel Eversole[2], Voscopoulos C[1], MacNabb CM[2](1. University of Hawaii, 2. Respiratory Motion, Inc)

CP5-6　Assessing Ventilation in Patients Receiving Opioids
Daniel Eversole[4], Felicia Griggs[1], George Williams[2], Ed George[3](1. Resident, University of Texas Medical School at Houston, 2. University of Texas Medical School at Houston, 3. Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, 4. Respiratory Motion, Inc.)

2月12日(金) 9:30～10:30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 6　血液・凝固線溶①

座長:石倉 宏恭(福岡大学医学部救命救急医学講座)

CP6-1　胸腔内出血が持続した産科的播種性血管内凝固症候群に対し遺伝子組み換え活性型第7因子製剤が著効した一例
細川 哲[1], 本江 純子[1], 大西 克実[1], 椎貝 勝[1], 武藤 光範[1], 浅野 拓[2], 松井 泰樹[2], 辻田 裕昭[2], 小貫 龍也[2], 小林 洋一[2](1.菊名記念病院循環器内科, 2.昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

CP6-2　急激に進行するDIC, 急性肝不全, AKIを伴うIII度熱中症の1例
山根 哲信[1], 藤井 恵美[1], 加藤 隆之[1], 北村 直美[1], 松下 美季子[1], 辻田 靖之[1], 田畑 貴久[2], 高橋 完[1], 松村 一弘[3], 江口 豊[2](1.滋賀医科大学附属病院救急・集中治療部, 2.滋賀医科大学救急集中治療医学講座, 3.滋賀医科大学家庭医療学講座)

CP6-3　敗血症性ショック及びDICを呈した成人発症川崎病の一例
村西 謙太郎, 山本 浩大郎, 野島 剛, 盛實 篤史, 田村 竜, 大森 貴夫, 大西 広一, 石原 潤子, 喜多村 泰輔（高知医療センター救命救急センター）

CP6-4　JSEPTIC DIC study報告：JSEPTIC DIC studyオーバービュー
早川 峰司[1], 齋藤 慎二郎[3], 内野 慈彦[3], 山川 一馬[5], 工藤 大介[2], 飯塚 悠祐[4], 讃井 將満[4], 滝本 浩平[6], 真弓 俊彦[7]（1.北海道大学病院先進急性期医療センター, 2.東北大学大学院医学系研究科救急医学分野, 3.東京慈恵医科大学附属病院集中治療部, 4.自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部, 5.大阪府立急性期・総合医療センター救急診療科, 6.大阪大学病院集中治療部, 7.産業医科大学救急医学講座）

CP6-5　アンチトロンビン製剤の特定使用成績調査報告 ―中間報告の解析結果から
江口 豊[1], 永渕 弘之[2], 池田 寿昭[3]（1.滋賀医科大学医学部救急集中治療医学講座, 2.神奈川県立こども医療センター集中治療科, 3.東京医科大学八王子医療センター特定集中治療）

CP6-6　敗血症性DIC治療におけるトロンボモデュリン アルファの治療効果と有害事象に関する検討
下村 悠佳[1], 今浦 将治[1], 大村 和也[2], 木幡 雄至[1], 星野 哲也[2], 高橋 宏行[2], 菅野 浩[1]（1.済生会横浜市東部病院薬剤部, 2.済生会横浜市東部病院集中治療科）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 7　四肢・骨盤・体表

座長：石川 康朗（おゆみの中央病院循環器内科）

CP7-1　砕石位用膝窩型支脚器による仙骨部への外圧力と身体的特徴
水野 樹[1], 高橋 徹[2]（1.順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター, 2.岡山県立大学保健福祉学部）

CP7-2　複数の出血性素因のある患者に生じた特発性腹直筋血腫
武部 佐和子, 武知 かおる, 川西 裕之, 中村 仁, 池田 智子, 井上 一由, 谷津 祐市, 長井 昭宏, 松田 力哉, 平崎 盟人（香川県立中央病院麻酔科）

CP7-3　呼吸筋をターゲットとした特発性横紋筋融解症の1症例
中原 光三郎, 塩屋 悠人, 錦見 満暁, 東 倫子, 山本 尚範, 江嶋 正志, 田村 有人, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

CP7-4　内腸骨動脈瘤術後に臀部コンパートメント症候群を発症した症例
重田 哲哉[1], 荻野 隆史[2], 与田 真隆[3], 中島 邦喜[3]（1.北関東循環器病院救急総合外科・整形外科, 2.北関東循環器病院救急総合外科, 3.北関東循環器病院心臓血管外科）

CP7-5　筋肉内注射後に生じた臀部コンパートメント症候群の1例
海老原 貴之, 守谷 俊（自治医科大学さいたま医療センター救急科）

CP7-6　当院におけるカテコラミン皮下漏出症例の治療経過と対策
森 友紀子, 田中 弓子, 山岸 一也, 白塚 秀之, 福岡 直, 小柳 覚, 田邉 毅（福井赤十字病院麻酔科）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 8　消化器①

座長：升田 好樹（札幌医科大学附属病院集中治療部）

CP8-1　急性腎盂腎炎による敗血症性ショックの遷延によりNOMIを合併したが, 集学的治療により救命し得た一例
河本 晃宏[1], 鶴岡 歩[1], 鳥取 洋昭[2], 川島 市郎[2], 木下 公司[3], 岡井 康葉[4], 井上 賀元[4], 本田 正典[2], 三浦 拓郎[4], 四方 典裕[1]（1.京都民医連中央病院救急科, 2.京都民医連中央病院外科, 3.京都民医連中央病院消化器内科, 4.京都民医連中央病院総合内科）

CP8-2　体外式膜型人工肺離脱後に非閉塞性腸管虚血を発症した2症例
高橋 希[1], 高橋 和香[1], 服部 憲幸[1], 今枝 太郎[1], 島居 傑[1], 佐藤 由美[2], 織田 成人[1]（1.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学, 2.千葉大学医学部附属病院臨床栄養部）

CP8-3　複数回手術を要した非閉塞性腸管虚血4症例の検討
橋田 知明, 渡邉 栄三, 安部 隆三, 中田 孝明, 服部 憲幸, 大網 毅彦, 児玉 善之, 岡 義人, 小倉 晧一郎, 織田 成人（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

CP8-4　重症呼吸不全を合併した絞扼性イレウスに対し, Damage Control Surgeryに引き続いた集中治療が奏功した1例
稲葉 基高[1], 桃木 律也[2], 水川 俊一[3], 小林 洋二[3]（1.岡山済生会総合病院救急科, 2.岡山済生会総合病院内科, 3.岡山済生会総合病院麻酔科）

CP8-5　脳梗塞の急性期管理中に壊死型虚血性腸炎を発症した2例
藤本 佳久, 奥田 裕子, 香村 安健, 松山 広樹, 竹上 徹郎（京都第一赤十字病院麻酔科）

CP8-6　Chilaiditi症候群に急性偽性腸閉塞を合併した2症例
木村 康宏, 小野 富士恵, 柏 健一郎, 七尾 大観, 赤川 玄樹, 藤本 潤一, 西澤 英雄（横浜労災病院中央集中治療部）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 9　心臓・循環・体液管理①

座長：時田 祐吉（日本医科大学付属病院循環器内科）

CP9-1　大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術の早期成績（80歳以上 vs 80歳未満）
阪越 信雄（紀南病院心臓血管外科）

CP9-2　術前に経皮的大動脈弁拡張術（PTAV）を行った重症大度脈弁狭窄症（AS）を合併した非心臓手術の2症例
山田 徳洪，辻川 翔吾，末廣 浩一，土屋 正彦，西川 精宣（大阪市立大学大学院医学研究科麻酔科学）

CP9-3　手術適応外の重症大動脈弁狭窄症に対してバルーン大動脈弁形成術後に大動脈弁置換術を行い救命し得た一例
孫 麗香，山下 智也，重光 胤明，森本 健，師岡 誉也，福家 顕宏，石川 順一，有元 秀樹，宮市 功典，林下 浩士（大阪市立総合医療センター救命救急部）

CP9-4　急性心不全を伴う外傷性大動脈弁逆流症の1例
恩賀 陽平，山中 一朗，仁科 健，廣瀬 圭一，水野 明宏，吉田 幸代，矢田 匡（天理よろづ相談所病院心臓血管外科）

CP9-5　Bartonellaによる血液培養陰性感染性心内膜炎の1例
矢田 匡，山中 一朗，仁科 健，廣瀬 圭一，水野 明宏，吉田 幸代，恩賀 陽平（天理よろづ相談所病院心臓血管外科）

CP9-6　Fabry病患者の僧帽弁置換術における周術期全身管理の経験
木村 太[1]，櫛方 哲也[1]，廣田 和美[1]，斎藤 淳一[1]，丹羽 英智[2]，橋場 英二[2]（1.弘前大学医学部麻酔科，2.弘前大学医学部集中治療部）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 10　心臓・循環・体液管理②

座長：井上 聡己（奈良県立医科大学附属病院麻酔科）

CP10-1　大動脈内バルーンパンピングカテーテルの屈曲による動作不良を経験した1例
白前 達大，行光 昌宏，暮石 陽介，西川 祐策，加藤 隆史，岩田 英城（三重大学医学部附属病院臨床工学部）

CP10-2　ビジレオモニターとEV1000におけるCO/CIの比較検討
福島 克也，竹田 誠，亘 誠司，高橋 誠一郎（健和会大手町病院臨床工学センター）

CP10-3　VV-ECMOの送血側回路にCRRTを接続した1例報告
鈴木 秀典，森實 雅司，半田 麻有佳，相馬 良一，佐藤 亜耶，大石 英治（済生会横浜市東部病院臨床工学部）

CP10-4　PCPS離脱後肺塞栓症を起こした劇症型心筋炎の1例
林 昌晃[1]，近田 優介[1]，森西 啓介[1]，堀川 卓志[1]，奥田 菜緒[3]，井澤 眞代[2]，小野寺 睦雄[2]，今中 秀光[4]，西村 匡司[2]（1.徳島大学病院臨床工学技術部門，2.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学，3.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療部，4.徳島大学病院ER・災害医療診療部）

CP10-5　ローラーポンプを用いたECMO管理で血流測定の必要性
森西 啓介[1]，近田 優介[1]，林 昌晃[1]，堀川 卓志[1]，小野寺 睦雄[2]，奥田 菜緒[3]，井澤 眞代[2]，今中 秀光[4]，西村 匡司[2]（1.徳島大学病院臨床工学技術部門，2.徳島大学大学院病態情報医学講座救急集中治療医学，3.大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科，4.徳島大学病院ER・災害医療診療部）

CP10-6　術後CRRTを必要とする人工心肺中の因子の検討
溝口 貴之[1]，中嶋 辰徳[1]，大地 嘉史[2]，安部 隆国[2]，安田 則久[2]，日高 正剛[2]，後藤 孝治[2]，北野 敬明[2]（1.大分大学医学部附属病院医療技術部臨床工学・歯科部門，2.大分大学医学部附属病院集中治療部）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 11　多臓器不全・敗血症①

座長：中田 孝明（千葉大学医学部附属病院救急科・集中治療部）

CP11-1　プレセプシンとプロカルシトニンの乖離症例に関する検討
高橋 治郎，椎野 泰和，宮地 啓子，宮地 隆，竹原 延治，山田 祥子，堀田 敏弘，井上 貴博（川崎医科大学救急医学）

CP11-2　日本のclosed-ICUにおけるsevere sepsisの疫学：単施設後方視記述的観察研究
山本 良平[1]，笹野 幹雄[1]，軽米 寿之[1]，南 三郎[1]，佐藤 明[1]，前田 淳子[1]，安田 英人[1,2]，林 淑朗[1,3]（1.医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科，2.武蔵野赤十字病院救命救急センター，3.クイーンズランド大学臨床研究センター）

CP11-3　当院における敗血症性ショックの予後と血中乳酸値についての検討
高安 弘美[1]，前田 敦雄[1]，宮本 和幸[1]，佐々木 純[1]，林 宗貴[1]，國分 二三男[2]（1.昭和大学藤が丘病院救命救急センター，2.昭和大学藤が丘病院呼吸器内科）

CP11-4　敗血症性DICにおける遺伝子組換えヒトトロンボモジュリン製剤投与のプロトコール化の有用性
加藤 隆之[1]，村尾 淳司[1]，水野 隆芳[2]，岸本 卓磨[1]，山根 哲信[1]，辻田 靖之[1]，田畑 貴久[3]，高橋 完[1]，萬代 良一[1]，江口 豊[1]（1.滋賀医科大学医学部附属病院救急・集中治療部，2.滋賀医科大学麻酔科学講座，3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座）

CP11-5　敗血症性DICにおけるアンチトロンビン製剤とリコンビナントトロンボモジュリン併用投与の有効性の検討
高橋 宏之，栗山 桂一，吉川 和秀，植木 穣，高橋 政照，磯谷 栄二（東京女子医科大学東医療センター救急医療科）

CP11-6　低IgG血症の有無による敗血症性ショック患者における静注用免疫グロブリン製剤の有効性の検討
古賀 寛教，後藤 孝治，大地 嘉史，小山 淑正，佐々木 美圭，荻原 洋二郎，牧野 剛典，甲斐 真也，安田 則久，北野 敬明（大分大学医学部附属病院集中治療部）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 12　中毒・体温異常・悪性症候群①

座長：宮内 雅人（日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

CP12-1　ドメスト服毒により腐食性消化管炎と化学性肺炎となった1例
小林 賢輔[1], 御室 総一郎[1], 大橋 雅彦[1], 鈴木 祐二[1], 加藤 弘美[1], 大杉 浩一[1], 八木原 正浩[1], 小幡 由佳子[1], 土井 松幸[1], 中島 芳樹[2]（1.浜松医科大学医学部附属病院集中治療部, 2.浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学講座）

CP12-2　クレゾール中毒による声門浮腫に対し気道管理を要した1症例
梅村 武寛, 新里 盛朗, 土屋 洋之, 宮川 幸子, 富山 修志, 高江洲 怜, 吉田 有法, 川浪 淳一（沖縄県立南部医療センター救命救急センター）

CP12-3　王水蒸気吸入による肺障害の1例
遠藤 広史, 松田 潔, 菊池 広子, 長谷川 智宏, 石丸 直樹, 山村 英治, 渡邊 顕弘, 黒川 顕（日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター）

CP12-4　体外式膜型人工肺（ECMO）が奏功した急性薬物中毒に伴う急性呼吸促迫症候群（ARDS）の1例
矢口 慎也[1], 小田桐 有沙[2], 斎藤 淳一[1], 伊藤 勝博[1], 山村 仁[1]（1.弘前大学大学院医学研究科救急・災害医学講座, 2.弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修センター）

CP12-5　4週の経過で回復したアセトアミノフェン中毒による急性肝不全の一例
横山 太郎, 明石 暁子, 宮崎 紀樹, 湯川 高寛, 山岸 利暢, 重城 美央子, 柏浦 正広, 田邉 孝大, 杉山 和宏, 濱邊 祐一（東京都立墨東病院救命救急センター）

CP12-6　遅発性に症状が出現し，服毒告知がないため診断困難であったが良好な経過を得たフェニトロチオン中毒の一例
後藤 真也, 三浦 政直, 辻 達也, 辻 菜々子, 渡辺 文雄, 岡本 泰明, 鈴木 宏康, 井口 広靖, 黒田 幸恵, 中村 不二雄（刈谷豊田総合病院麻酔科・救急集中治療部）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 13　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床①

座長：平井 勝治（社会医療法人平成記念病院手術・周術期管理センター）

CP13-1　当ICU入室患者のせん妄の現状分析
古厩 智美, 牛山 聡子, 浅沼 澄子（さいたま赤十字病院救命救急センターICU）

CP13-2　ICU入室患者におけるせん妄発生要因分析
深草 優子, 國本 貴子, 弘中 真紀, 古谷 旭（独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院ICU）

CP13-3　ICUにおける心臓血管外科術後患者のせん妄に関する実態調査
菅原 恵[1], 半田 厚子[1], 大谷 喜美子[1], 長屋 慶[2]（1.東北薬科大学病院集中治療室, 2.東北薬科大学病院麻酔科）

CP13-4　CAM-ICUを用いたせん妄評価の導入に向けた取り組み
吉田 順子, 小幡 悦子（さいたま赤十字病院看護部CCU）

CP13-5　ICDSC定着への取り組み ～見出された課題と今後のアプローチ～
谷口 誠太, 山下 香奈恵, 眞竹 史成, 宇野 恵里華, 岡本 育枝（池友会福岡和白病院看護部HCU）

2月12日（金）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 14　倫理・終末期

座長：藤谷 茂樹（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター集中治療部）

CP14-1　白血病寛解導入療法中に人工呼吸を開始したが，原疾患の制御が困難で看取りを行った1例
箱崎 貴大, 井石 雄三, 最上 翠, 小原 伸樹, 五十洲 剛, 村川 雅洋（福島県立医科大学麻酔科学講座）

CP14-2　集中治療室での重症心不全患者の緩和医療を考えさせられた一例
渡邊 江莉[1], 岩崎 陽一[1,2], 小林 正武[1,2], 斎藤 哲史[1], 篠原 幸恵[3], 長村 生野[3], 山下 淳[1], 渡邉 雅貴[1,2], 山科 章[1,2]（1.東京医科大学循環器内科学分野, 2.東京医科大学先進的心不全治療医学講座, 3.東京医科大学看護部）

CP14-3　集中治療におけるインフォームドコンセント
鈴木 知秀, 市原 利彦, 中島 義仁, 川瀬 正樹（公立陶生病院救急救命センター）

CP14-4　呼吸器外科術後の積極的治療中に集中治療室で死亡した4症例に対する終末期医療の検討
出口 志保[1], 駒澤 伸泰[1], 日下 裕介[1], 市橋 良夫[2], 佐藤 澄[2], 花岡 伸治[2], 梅垣 修[3], 南 敏明[1]（1.大阪医科大学麻酔科学教室, 2.大阪医科大学呼吸器外科, 3.大阪医科大学附属病院集中治療部）

CP14-5　終末期における決定に関するアンケート調査
田村 高志, 柴崎 誠一, 工藤 裕子（済生会山口総合病院麻酔科・集中治療部）

CP14-6　外国籍無保険の劇症肝炎患者の集中治療の経験
庄古 知久, 千田 篤, 遠藤 英樹, 漆畑 直（松戸市立病院救命救急センター）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 15　Rapid Response Team・院内急変②

座長：田中 行夫（日本ACLS協会）

CP15-1　当院ICU・CCUに再入室した症例の検討
小林 由美[1], 福田 由紀[1], 坂下 真依[2], 濱田 孝光[2], 橋本 圭司[2]（1.松江赤十字病院ICU・CCU, 2.松江赤十字病院集中治療科部）

CP15-2　左室流出路心筋切除術後に急変し43日目に退院した1症例からの看護の学び
鈴木 順子，中村 可奈（三重ハートセンター看護部）

CP15-3　RRTラウンドの振り返りと今後の課題 ～病棟看護師への急変に対するアンケート調査からの検討～
川口 なぎさ[1]，木村 千穂[1]，安宅 一晃[2]，堀江 沙矢香[1]，松村 京子[1]，宮原 聡子[1]，松下 千紘[1]，上田 小百合[1]，千田 多絵子[1]，有元 秀樹[1]（1.大阪市立総合医療センター，2.奈良県立医科大学病院）

CP15-4　ICU看護師による敗血症の早期発見への取り組みと今後の課題
木下 淑恵[1]，大戸 智江[1]，藤原 満里子[2]，石井 由美[1]，東田 かずえ[1]，大網 毅彦[3]，竹内 純子[1]，織田 成人[3]（1.千葉大学医学部附属病院看護部ICU/CCU病棟，2.千葉大学医学部附属病院感染制御部，3.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

CP15-5　A病院における急変前徴候の有無と記録に関する実態調査
西村 佳奈子，前田 亜沙子，小黒 洋子（社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院）

CP15-6　当院の院内トリアージにおけるアンダートリアージの現状
濱 厚志[1]，千葉 詩乃[2]，大林 由貴[2]，蓑輪 ハンナ[2]，石橋 咲子[2]，山田 留維[2]，福田 敦子[2]，斉藤 意子[2]，太田 慧[3]，菊野 隆明[3]（1.国立病院機構東京医療センタークリティカルケア支援室，2.国立病院機構東京医療センター救命救急センター，3.国立病院機構東京医療センター救急科）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 16　医療安全

座長：山崎 和夫（神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科）

CP16-1　看護師による電気的除細動使用制度（DCナース）の有用性と問題点の抽出
阿部 絵美，今井 澄子（日本赤十字社前橋赤十字病院ICU）

CP16-2　一次救命処置（BLS）研修の教育介入後の評価
八木 恵子，岡本 ひとみ，山崎 大輔，林 裕子（広島大学病院外科系集中治療室）

CP16-3　RSTリンクナースの活動報告 ～インシデント事例の検討と課題への取り組み～
池田 理沙[1]，大坪 麗[1]，上田 篤史[1]，花岡 正志[2]，吉田 哲也[2]，飯塚 瑞恵[1]，伊藤 聡子[1]，柴田 美由紀[1]，永田 一真[3]（1.神戸市立医療センター中央市民病院看護部，2.神戸市立医療センター中央市民病院臨床工学技術部，3.神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科）

CP16-4　病院の統合移転に伴う開胸下V-A ECMO装着患者の安全な搬送に向けた看護師の取り組み
文野 佳恵，中原 絵美子（兵庫県立尼崎総合医療センター）

CP16-5　心臓血管外科術後患者に対するインスリンプロトコール使用状況と糖尿病既往がプロトコール使用に与える影響
庄司 葵[1]，佐藤 真由美[1]，小島 広宣[1]，牧野 友美[1]，神 久美子[1]，高田 望[2,3]，土肥 千秋[1]（1.東北大学病院西三階病棟，2.東北大学病院看護部，3.東北大学医学系研究科）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 17　感染・感染対策②

座長：田中 博之（東京医科大学救急・災害医学）

CP17-1　2015年における名古屋大学救急・集中治療部の救急・内科系集中治療室の分離菌の解析
高谷 悠大[1]，八木 哲也[2]，東 倫子[1]，稲葉 正人[1]，井口 光孝[2]，松田 直之[1]（1.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野，2.名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部）

CP17-2　胸部心臓血管手術における鼻腔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）保菌と手術部位感染（SSI）の関連
澤登 慶治[1]，植村 直哉[2]，岡部 悠吾[1]，別宮 小由理[1]，浅賀 健彦[1]，白神 豪太郎[1]（1.香川大学医学部麻酔学講座，2.坂出市立病院）

CP17-3　広域抗菌薬の使用とStenotrophomonas maltophiliaに関する検討
藤本 善大，則本 和伸，山本 幸治，長田 俊彦，的井 愛紗，原 悠也，堀 雅俊，三木 豊和（淀川キリスト教病院救急・集中治療科）

CP17-4　多剤耐性アシネトバクタ（MDRAb）による医療機器汚染とアウトブレイク収束への臨床工学技士の関わり
行光 昌宏[1]，佐生 喬[1]，白前 達大[1]，暮石 陽介[1]，西川 祐策[1]，加藤 隆史[1]，岩田 英城[1]，今井 寛[2]（1.三重大学医学部附属病院臨床工学部，2.三重大学医学部附属病院救命救急センター）

CP17-5　ERで実施した血液培養検査における耐性菌の検出動向と薬剤感受性の解析
稲葉 正人，高谷 悠大，久保寺 敏，東 倫子，山本 尚範，角 三和子，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

CP17-6　当院救命センターにおいて検出されたMRSAに対するVCMの感受性の検討
關 匡彦，尾中 敦彦（奈良県総合医療センター救命救急センター）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 18　気道・呼吸・呼吸管理③

座長：佐藤 智行（済生会横浜市東部病院麻酔科）

CP18-1　突然の筋硬直により呼吸停止し挿管・換気不能となり，輪状甲状靭帯切開にて救命しえた破傷風の1例
山崎 浩史，島津 友一，本多 康人，泉 江利子，藤本 枝里，安岡 やよい，廣田 誠二，原 真也，西山 謹吾（高知赤十字病院救命救急センター救急部）

CP18-2　長時間腹臥位術後の舌浮腫が原因で抜管後に上気道閉塞を来し，経皮的輪状甲状膜穿刺を施行した1例
新山 修平，佐藤 晃，有永 康一，坂本 照夫（久留米大学病院集中治療部）

CP18-3　当科における輪状甲状靭帯切開術の検討
寺田 貴史，武貞 博治，森岡 貴勢，山本 朋納，内田 健一郎，加賀 慎一郎，晋山 直樹，西村 哲郎，山本 啓雅，溝端 康光（大阪市立大学大学院医学研究科救急医学）

CP18-4　当施設における内科的気道緊急（気道確保困難）症例の検討
豊原 貴之，当麻 美樹，高岡 涼，國重 千佳，佐野 梨佐（兵庫県立加古川医療センター救急科）

CP18-5　気管切開術後の気管腕頭動脈瘻をきたした2例
小舘 旭，定本 圭弘，水柿 明日美，村上 博基，小野 雄一，前川 邦彦，方波見 謙一，宮本 大輔，和田 剛志，丸藤 哲（北海道大学病院先進急性期医療センター救急科）

CP18-6　当院ICUにおける頸椎前方固定術術後患者の気道管理プロトコールに関して
大畠 博人[1,2]，菊地 俊介[1]，上田 宣夫[1]，太田 宗一郎[2]，山本 拓巳[3]，飯田 宏樹[3]（1.岐阜市民病院集中治療部，2.岐阜市民病院麻酔科，3.岐阜大学医学部附属病院麻酔・疼痛制御学）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 19　気道・呼吸・呼吸管理④

座長：志馬 伸朗（広島大学大学院救急医学/広島大学病院高度救命救急センター・集中治療部）

CP19-1　心臓大血管術後に気管軟化症が判明し，人工呼吸器離脱に難渋した一例
赤川 玄樹，小野 富士恵，柏 健一郎，木村 康宏，七尾 大観，藤本 潤一，西澤 英雄（独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院中央集中治療部）

CP19-2　開心術後の抜管遅延症例に関する検討
古田島 太，佐伯 有香，磨田 裕，北村 晶（埼玉医科大学国際医療センター集中治療科）

CP19-3　開心術後の昇圧剤の使用が抜管に影響するかどうかについての後方視的検討
覚本 雅也，長野 真之（天陽会中央病院麻酔科）

CP19-4　左心補助人工心臓（LVAD）装着術術後における人工呼吸離脱困難症例の検討
本庄 郁子[1]，内山 昭則[1]，榎谷 祐亮[1]，岩崎 光生[1]，柏 庸三[1]，平松 大典[1]，戸田 宏一[2]，澤 芳樹[2]，藤野 裕士[1]（1.大阪大学医学部附属病院集中治療部，2.大阪大学医学部心臓血管外科）

CP19-5　抜管後の酸素化低下についての検討
宮内 清司，菅 敏晃，和田 翔，奥村 将年，岩田 博文，山本 泰史，大塚 康義，宇城 敦司，嶋岡 英輝（大阪市立総合医療センター集中治療部）

CP19-6　早期離床のための人工呼吸器離脱過程に関する検討
齋藤 伸行[1]，八木 貴典[1]，岡田 一宏[1]，阪本 大吾[1]，本村 友一[1]，原 義昭[1]，松本 尚[1]，横田 裕行[2]（1.日本医科大学千葉北総病院救命救急センター，2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 20　血液・凝固線溶②

座長：坂口 嘉郎（佐賀大学医学部附属病院）

CP20-1　侵入門戸不明の肺炎球菌感染症に血栓性微小血管障害（TMA）を発症した66歳の男性
澤井 啓介（藤沢市民病院救命救急センター）

CP20-2　急性リンパ性白血病に対するHLA半合致造血幹細胞移植後に致死的なEBウイルス感染症を発症した1例
上野 昌輝[1]，中西 加寿也[1]，奥 怜子[1]，山地 芳弘[1]，栗田 健郎[1]，竹田 雅彦[1]，稲垣 俊一郎[2]，増田 真一[2]，青墳 信之[2]（1.成田赤十字病院救急集中治療科，2.成田赤十字病院血液腫瘍科）

CP20-3　遅発性血胸と静脈血栓症を合併し血栓予防に難渋した胸部外傷の1例
長谷川 智宏，松田 潔，菊池 広子，遠藤 広史，石丸 直樹，山村 英治，渡邊 顕弘，黒川 顯（日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター）

CP20-4　鈍的外傷急性期における下肢静脈血栓症の検討
高岡 諒，当麻 美樹，豊原 貴之，佐野 梨沙（兵庫県立加古川医療センター）

CP20-5　Spontaneous Extraperitoneal Hemorrhageの臨床的検討
丸橋 孝昭，山谷 立大，竹内 一郎，片岡 祐一，浅利 靖（北里大学医学部救命救急医学）

CP20-6　ECMO回路におけるメシル酸ナファモスタットの安全性の検討
居石 崇志[1]，齊藤 修[1]，本村 誠[1]，中山 祐子[1]，新津 健裕[1]，井上 信明[1]，清水 直樹[1]，吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部，2.東京都立小児総合医療センター臨床工学技士室）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 21　重症度・予後評価

座長：宮崎 大（前橋赤十字病院高度救急救命センター集中治療科・救急科）

CP21-1　敗血症における心拍変動のDeceleration CapacityとAcceleration Capacityを用いた重症度と転帰予測
遠藤 裕，岡部 康之，上村 夏生，新田 正和，林 悠介，渡邊 要，本多 忠幸，本田 博之（新潟大学医歯学総合病院高度救命救急センター・集中治療部）

CP21-2　重症患者における栄養予後指標としての位相角の有用性
井内 茉莉奈[1], 大藤 純[2], 堤 理恵[1], 小野寺 睦雄[2], 阪上 浩[1], 今中 秀光[2], 西村 匡司[2](1.徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野, 2.徳島大学病院救急集中治療部)

CP21-3　急性非代償性心不全における全身性炎症反応症候群：合併率と臨床的意義, 予後についての検討
春木 伸太郎, 森岡 佑太, 南 雄一郎, 嵐 弘之, 重城 健太郎, 嶋崎 健介, 猪谷 亮介, 山口 淳一, 志賀 剛, 萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

CP21-4　当院における3度熱中症患者の傾向と重症度スコア
高橋 科那子, 喜屋武 玲子, 井上 弘行, 上村 修二, 長谷 守, 成松 英智(札幌医科大学医学部救急医学講座)

CP21-5　ICU増設により救急入院患者の転帰は改善されたか
奥田 裕子[1], 竹上 徹朗[1], 香村 安健[1], 藤本 佳久[2], 井上 敬太[2], 平山 敬浩[2], 松山 広樹[2], 平田 学[2](1.京都第一赤十字病院救命救急センター, 2.京都第一赤十字病院麻酔科)

CP21-6　麻酔医が術後ICU管理を要請した症例の検討
小松 孝美[1], 朝元 雅明[2], 折井 亮[2], 山田 芳嗣[2](1.東京大学医学部附属病院手術部, 2.東京大学医学部附属病院麻酔科)

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 22　消化器②

座長：瀬川 一(京都大学医学部附属病院集中治療部)

CP22-1　当院における門脈ガス血症3例の臨床的検討
木多 秀彰[1], 田崎 洋太郎[1], 林 堅二[1], 根本 真人[1], 寶住 肇[2](1.那須赤十字病院救急集中治療部, 2.獨協医科大学救命救急センター)

CP22-2　ノロウイルス感染を契機に腹部コンパートメント症候群を発症し集中治療管理を要した1歳女児例
岡田 広, 山下 由理子, 三好 義隆, 平本 龍吾(松戸市立病院小児集中治療科)

CP22-3　腸管出血性大腸菌(O-157)による溶血性尿毒症症候群に急性膵炎を合併した1例
金子 真由子[1], 金村 剛宗[1], 加藤 宏[1], 高田 浩明[1], 神保 一平[1], 井上 和茂[1], 岡田 一郎[1], 霧生 信明[1], 長谷川 栄寿[1], 小井土 雄一[1,2](1.国立病院機構災害医療センター救命救急科, 2.国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

CP22-4　ショック離脱困難な出血性十二指腸潰瘍に対して, 大動脈閉塞バルーン(IABO)挿入法併用が有用であった1例
谷川 祐二[1], 本里 健一郎[1], 岡林 慎二[1], 増谷 勇太[1], 二ノ坂 建史[1], 福田 容久[1], 樋口 裕介[1], 阿部 太郎[1], 仲道 孝次[1], 江田 陽一[2](1.福岡徳洲会病院消化器内科, 2.福岡徳州会病院集中治療センター)

CP22-5　重症急性膵炎に合併した多発消化管穿孔に対し, ドレナージにて非手術的に治療しえた2例
森岡 貴勢, 山本 朋納, 寺田 貴史, 晋山 直樹, 西村 哲郎, 山本 啓雅, 溝端 康光(大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター)

CP22-6　重症急性膵炎に対する持続的血液濾過透析の治療効果についての検討
柳沢 政彦, 松田 兼一, 森口 武史, 針井 則一, 後藤 順子, 原田 大希, 菅原 久徳, 高三野 淳一, 吉野 匠(山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 23　心臓・循環・体液管理③

座長：中川 晋(東京都済生会中央病院循環器科)

CP23-1　意識障害を主訴として救急搬送された肺動脈血栓塞栓症の一例
上田 宣夫[1], 大畠 博人[1], 菊地 俊介[1], 太田 宗一郎[1], 飯田 宏樹[2], 山本 拓巳[2](1.岐阜市民病院救急・集中治療部, 2.岐阜大学医学部麻酔・疼痛制御学講座)

CP23-2　手術前日まで抗凝固療法を実施していたにもかかわらず骨盤骨折手術直後に発症した重症肺血栓塞栓症の1症例
佐々木 庸郎, 渡辺 隆明, 山口 和将, 小島 直樹, 稲川 博司, 岡田 保誠(公立昭和病院救命救急センター)

CP23-3　下肢静脈血栓症から肺塞栓症と卵円孔開存による奇異性動脈塞栓症を生じた一例
三山 浩[1], 清水 邦彦[1], 秋田 真代[1], 山本 勇輝[1], 嘉嶋 勇一郎[1], 望月 勝徳[2], 小林 尊志[2], 高山 浩[2], 新田 憲市[2], 今村 浩[2](1.信州大学医学部付属病院高度救命救急センター, 2.信州大学医学部救急集中治療医学)

CP23-4　人工骨頭置換術中に肺血栓塞栓症をきたし, PCPS導入で救命しえた超高齢者の一例
久保田 恵理, 繁田 麻里, 渡海 裕文(兵庫県立淡路医療センター麻酔科)

CP23-5　胸腔鏡下肺全摘術後発症した肺塞栓症に対しVA-ECMOを使用し救命できた1例
都築 通孝[1], 沖島 正幸[2], 南良 義和[2], 林 大介[3], 平松 義規[4], 中前 健二[2], 小林 修一[1](1.豊田厚生病院救命救急センター, 2.豊田厚生病院臨床工学技術科, 3.豊田厚生病院循環器内科, 4.豊田厚生病院呼吸器外科)

CP23-6　PCPS導入後に胸骨圧迫による肋骨骨折から大量出血をきたした肺血栓塞栓症の1例
久保 拓也, 山口 桂司, 安田 智嗣, 柳元 孝介, 谷口 淳一郎, 伊藤 隆史, 寺田 晋作, 宮本 昇太郎, 政所 祐太郎, 垣花 泰之(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学講座)

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 24　神経①

座長：定光 大海（国立病院機構大阪医療センター救命救急センター）

CP24-1　未破裂動脈瘤クリッピング術後にpseudohypoxic brain swellingを呈した1症例
杉木 馨，澤井 淳，長谷 洋和，宇野 幸彦，高田 真二，澤村 成史（帝京大学医学部付属病院麻酔・集中治療科）

CP24-2　脊椎手術後にPseudohypoxic brain swelling（PHBS）を呈した1例
柏 健一郎，小野 富士恵，木村 康宏，七尾 大観，赤川 玄樹，藤本 潤一，西澤 英雄（横浜労災病院中央集中治療部）

CP24-3　取下げ

CP24-4　くも膜下出血後のたこつぼ様心筋障害に伴い左室内血栓を認めた1例
宮脇 宏，角本 眞一，近藤 香，瀬尾 勝弘（小倉記念病院麻酔科集中治療部）

CP24-5　分娩後の脳幹梗塞による遷延性意識障害の1例
仙田 正博，倉迫 敏明，八井田 豊，山岡 正和，稲井 舞夕子，古島 夏奈，出口 美希，増田 恵里香，中村 芳美，依田 智美（姫路赤十字病院麻酔科）

CP24-6　胸部大動脈瘤により生じた遅発性対麻痺の2症例
小澤 拓郎，木村 相樹，三喜 和明，塚越 美喜子，奈良 岳志，松本 晶平（富士重工業健康保険組合太田記念病院麻酔科）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 25　早期離床・リハビリテーション①

座長：笹沼 直樹（兵庫医科大学病院リハビリテーション部）

CP25-1　理学療法士による超音波診断装置（USG）を用いたICU患者の下肢筋厚測定の有用性
馬場 義行（潤和会記念病院リハビリテーション療法部）

CP25-2　ICUリハビリテーションにおける疾患別座位達成度の比較
岡村 正嗣[1]，藤田 康孝[1]，志水 泰夫[1]，内田 真樹[1]，中村 陵子[2]，松永 晋作[2]，島 正巳[2,3]，岡田 隆[2]，安本 寛章[3,4]，荒井 俊之[3,4]（1.京都市立病院リハビリテーション科，2.京都市立病院循環器内科，3.京都市立病院集中治療科，4.京都市立病院麻酔科）

CP25-3　持続的腎代替療法施行中のリハビリテーション実施状況および安全性についての検討
見井田 和正[1]，黒岩 政之[2]，宮崎 道輝[1]，新井 正康[1]（1.北里大学病院リハビリテーション部，2.北里大学医学部麻酔科学）

CP25-4　当院開心術後患者の転帰を術前に予想できるか？
坂本 裕規[1,2]，岩田 健太郎[1,2]，井澤 和大[2]，植田 浩司[3]，下薗 崇宏[3]，美馬 裕之[3]（1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部，2.神戸大学大学院保健学研究科，3.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科）

CP25-5　救命科入院患者に対する看護師協働の理学療法が離床に与える影響 ～入院時人工呼吸装着患者に着目して～
山下 康次[1,5]，大山 隼人[2]，田中 清美[2]，三上 祐樹[2]，来生 恵[2]，十文字 英雄[3]，酒井 香[3]，岡本 博之[4]，武山 佳洋[4]，高見 彰淑[5]（1.市立函館病院中央医療技術部リハビリ技術科，2.市立函館病院救命救急病棟，3.市立函館病院集中治療室，4.市立函館病院救命救急センター，5.弘前大学大学院保健学研究科）

CP25-6　挿管人工呼吸管理中の早期理学療法介入は早期の機能回復に影響する
岡田 大輔[1]，中村 通孝[2]，上杉 英之[3]，西上 和宏[2]（1.済生会熊本病院リハビリテーション部，2.済生会熊本病院集中治療室，3.済生会熊本病院心臓血管外科）

2月12日（金）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 26　多臓器不全・敗血症②

座長：堂籠 博（琉球大学医学部附属病院救急部）

CP26-1　BCG膀胱内注入療法後に敗血症性DICとなった1剖検例
中島 潤，萩原 周一，青木 誠，村田 将人，金子 稔，中村 卓郎，大嶋 清宏（群馬大学大学院医学系研究科救急医学）

CP26-2　膿瘍ドレナージを施行できず，多数の播種病巣を生じ急激な経過で死亡した侵襲性Klebsiella感染症の1剖検例
亀井 純，辻本 登志英，小谷 祐樹，山田 裕樹，千代 孝夫（日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部）

CP26-3　空腸動脈の感染性動脈瘤が破裂した感染性心内膜炎の1症例
三浪 陽介，須崎 紳一郎，勝見 敦，原田 尚重，原 俊輔，安田 英人，東 秀律，平山 優，安達 朋宏，本澤 大志（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

CP26-4　劇症型溶血性連菌球菌感染症の一例
黒澤 慶子，田邉 三思，竹中 隆一，和田 伸介，石井 圭亮，重光 修（大分大学医学部附属病院高度救命救急センター）

CP26-5　ARDS，NOMI，PRES，下腿コンパートメント症候群を合併した重症急性膵炎の一例
貫和 亮太[1]，昆 祐理[1]，大川 浩文[2]，野田頭 達也[1]，今 明秀[1]（1.八戸市立市民病院救命救急センター，2.八戸市立市民病院麻酔科）

CP26-6　重篤な敗血症を呈した降下性壊死性縦隔炎の3例
横山 健[1]，秋本 貴子[2]，石原 聡[1]，山口 春子[1]，上村 亮介[1]，西迫 良[1]，立石 浩二[1]，片山 勝之[1]（1.手稲渓仁会病院麻酔科・集中治療室，2.手稲渓仁会病院総合内科・感染症科）

2月12日（金） 15：00～16：00 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 27 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床②

座長：藤田 義人（愛知医科大学病院麻酔科）

CP27-1 Open ICUにおける人工呼吸器患者に対する早期離床の実態調査
中島 貴志[1], 小松 良平[2], 趙 崇至[3], 安田 考志[4]（1.パナソニック健康保険組合松下記念病院看護部集中治療室, 2.パナソニック健康保険組合松下記念病院看護部集中治療室, 3.パナソニック健康保険組合松下記念病院麻酔科, 4.パナソニック健康保険組合松下記念病院腎不全科）

CP27-2 当院ICU, HCUにおける早期リハビリテーションの現状把握と今後の展望
藤井 俊紀, 山根 堂代（公立豊岡病院但馬救命救急センター）

CP27-3 離床に対する視覚的アプローチの効果からみる今後の課題の検討
杉島 寛, 平野 友裕, 後藤 祥平, 高田 清佳, 梅木 道, 中島 仁美, 坂本 照夫（久留米大学病院高度救命救急センター）

CP27-4 早期回復に向けた包括的ケアの取り組み ～リハビリプロトコルを導入して～
角田 沙智, 酒井 彩夏, 河野 知美, 桑原 周吾, 深牧 静穂（北九州総合病院救命救急センターICU）

CP27-5 ICUにおける重症患者のリハビリテーションに関する看護の実際
谷口 聡子, 杉山 しのぶ, 山田 恵子（さいたま市立病院看護部ICU）

2月12日（金） 15：00～16：00 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 28 内分泌・代謝・免疫

座長：貝沼 関志（名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部）

CP28-1 過換気を主訴に来院しGitelman症候群と臨床診断した一例
藤井 優尚[1], 長谷川 隆一[1], 阿部 智一[2]（1.筑波大学附属病院 総合病院水戸協同病院救急部・集中治療部, 2.筑波メディカルセンター病院救急診療科）

CP28-2 免疫抑制療法経過中に肺胞出血が再燃したGoodpasture症候群の1症例
岸田 浩一[1], 金本 匡史[1], 神山 彩[1], 神山 治郎[1], 楢原 創[1], 柳澤 晃広[1], 戸部 賢[1], 吉川 大輔[2], 國元 文生[1], 齋藤 繁[1]（1.群馬大学医学部附属病院麻酔科集中治療部, 2.伊勢崎市民病院麻酔科）

CP28-3 横紋筋融解を合併した糖尿病性ケトアシドーシスの1例
山田 周, 山下 幾太郎, 江良 正, 狩野 亘平, 櫻井 聖大, 北田 真己, 橋本 聡, 原田 正公, 瀧 賢一郎, 高橋 毅（国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部）

CP28-4 重症急性膵炎にSIADHを合併した1症例
工藤 倫之[1], 橋場 英二[1], 大石 将文[1], 丹羽 英智[1], 櫛方 哲也[2], 廣田 和美[2]（1.弘前大学医学部附属病院集中治療部, 2.弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座）

CP28-5 低心機能を伴った高浸透圧性高血糖症候群に血液浄化をはじめとする集学的治療を行い軽快した一例
磯部 恵里, 中村 智之, 原 嘉孝, 柳 明男, 前田 隆求, 早川 聖子, 河田 耕太郎, 内山 壮太, 山下 千鶴, 西田 修（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

CP28-6 多臓器不全を呈し心停止からの蘇生や腎代替療法などの集中治療を要した神経性食思不振症2症例の検討
小丸 陽平, 前田 明倫, 浅田 敏文, 山本 幸, 比留間 孝広, 上田 吉宏, 松原 全宏, 土井 研人, 中島 勧, 矢作 直樹（東京大学医学部附属病院救急部集中治療部）

2月12日（金） 15：00～16：00 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 29 褥瘡・スキンケア

座長：西村 祐枝（下関医療センター看護部）

CP29-1 ICUにおける皮膚障害発生要因の検討
菅尾 知世, 嶽道 愛, 川西 友香, 中村 由実子, 井上 郁子, 藤田 麻未, 吉里 孝子, 本 尚美（熊本大学医学部付属病院看護部）

CP29-2 気管内挿管チューブ固定テープによって引き起こされる皮膚障害要因の検討
濱口 真実子, 津田 恭子, 越田 貴美子, 越野 みつ子（金沢大学附属病院）

CP29-3 ECMO施行中に発生した褥瘡に関する検討
福嶋 春奈[1], 西村 奈穂[2], 井手 健太郎[2], 奥田 裕美[1], 佐藤 摂[1], 伊藤 好美[1]（1.国立研究開発法人国立成育医療研究センター看護部, 2.国立研究開発法人国立成育医療研究センター集中治療科）

CP29-4 ICU内で発生した後頭部に限局した褥瘡の4症例
高端 真梨, 馬屋原 涼子, 重政 兼悟, 中村 道明, 宮庄 浩司（福山市民病院）

CP29-5 便失禁管理システムに関する不具合の原因と不具合に応じた管理方法の検討
津田 恭子, 栗原 早苗, 越野 みつ子（金沢大学附属病院）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 30 腎臓・腎機能・血液浄化①

座長：三住 拓誉（神戸大学医学部附属病院集中治療部）

CP30-1 劇症肝炎に対するHigh Flow HDF療法施行時の膜の検討
畠山 龍人[1,2], 冨永 浩史[1], 平林 則行[1], 上田 朝美[2], 鈴木 武志[2], 森崎 浩[2]（1.慶應義塾大学病院医用工学センター, 2.慶應義塾大学病院麻酔科学教室）

CP30-2　4%クエン酸Naを抗凝固剤としたCRRT実施経験
長見 英治[1], 久我 洋志[1], 小倉 健[1], 堀川 俊之介[1], 岡崎 徹[1], 山口 友生[1], 高村 卓志[2], 伊良部 真一郎[2], 森脇 龍太郎[2]（1.独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院臨床工学部, 2.同救急・集中治療部）

CP30-3　CRRTにおける回路交換についての検討
田村 美沙紀, 木下 春奈, 中村 恭子, 佐藤 さやか, 藤井 正実, 東條 圭一（北里大学病院ME部）

CP30-4　AN69ST膜sepXirisを使用した前希釈CHDFにおける小児2症例の回路内凝固の考察
山田 幸恵[1], 新 典雄[1], 加藤 政雄[1], 長谷川 みどり[2], 湯澤 由紀夫[2], 西田 修[3]（1.藤田保健衛生大学病院血液浄化センター, 2.藤田保健衛生大学医学部腎内科, 3.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

CP30-5　炎症性疾患におけるsepXiris使用経験
占部 泰寛[1], 平澤 幸太郎[1], 小竹 亮輔[1], 山田 健太[1], 関本 崇[1], 神園 武[1], 森 典子[2]（1.静岡県立病院機構静岡県立総合病院臨床工学室, 2.静岡県立病院機構静岡県立総合病院腎臓内科）

CP30-6　敗血症性ショックに対するAN69ST-CHFとPMX + CHFの臨床効果の比較検討
千原 伸也[1], 小川 輝之[1], 島田 朋和[1], 山口 真依[1], 中村 勇輝[1], 室橋 高男[1], 数馬 聡[2], 巽 博臣[2], 升田 好樹[2], 山蔭 道明[2]（1.札幌医科大学附属病院臨床工学部, 2.札幌医科大学医学部集中治療医学）

2月13日（土）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 31　Respiratory Support Team

座長：佐藤 善一（大阪回生病院麻酔科）

CP31-1　Respiratory Support Team（RST）活動の変遷
安岡 やよい, 泉 江利子, 本多 康人, 藤本 枝里, 村上 翼, 廣田 誠二, 西山 謹吾（高知赤十字病院救命救急センター）

CP31-2　当センターにおける2年間のRST活動報告
上山 淳史[1], 菊田 正太[2], 井上 明彦[2], 勝木 亮介[2], 川口 未次[1], 大西 毅[1], 足立 久美子[1]（1.兵庫県災害医療センター看護部, 2.兵庫県災害医療センター救急部）

CP31-3　当院における呼吸ケアサポートチーム（RST）の活動について
岡本 竜哉, 鈴木 学, 米廣 由紀, 小美濃 明子, 仁平 知保, 小川 竜徳, 深谷 隆史, 鈴木 舞, 目黒 香織, 杉山 温人（国立国際医療研究センター呼吸ケアサポートチーム）

CP31-4　独立型救命センターにおける非人工呼吸器装着患者に対するRST介入の実態
川口 未次[1], 井上 明彦[2], 菊田 正太[2], 上山 淳史[1], 勝木 亮介[2], 大西 毅[1], 足立 久美子[1]（1.兵庫県災害医療センター看護部, 2.兵庫県災害医療センター救急部）

CP31-5　人工呼吸器離脱困難症例への他職種協働による呼吸リハビリテーション
月岡 悦子, 山口 貴子（日本医科大学武蔵小杉病院）

CP31-6　呼吸ケアに関する「看護支援体制表」の運用後の現状と課題 ～一般病棟における安全な呼吸ケアを目指して～
相園 晴子, 小林 邦子, 嶋田 正子, 守谷 千明, 古川 智美, 小泉 雅子（東京女子医科大学病院看護部）

2月13日（土）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 32　栄養管理①

座長：西澤 英雄（独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院中央集中治療部）

CP32-1　当センターInternational Nutrition Survey 2013-2014からみる，集中治療領域における栄養療法のoutcome
岡 和幸, 杉野 貴彦, 藤崎 修, 前山 博輝, 吉岡 崇, 松井 大作, 番匠谷 友紀, 門馬 秀介, 蕪木 友則, 小林 誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター）

CP32-2　ゲル化剤添付経管栄養投与に伴い巨大胃石を形成した一例
古川 彩香[1], 榎本 有希[1], 上田 泰弘[2], 宮 顕[1], 小山 泰明[1], 萩谷 圭一[1], 下條 伸威[1], 山崎 裕一郎[1], 河野 了[1], 水谷 太郎[1]（1.筑波大学附属病院救急・集中治療部, 2.JAとりで総合医療センター脳神経外科）

CP32-3　ICUから退院に至るまで管理栄養士が介入した熱傷患者の一例
栗並 美保[1], 江田 陽一[2], 二ノ坂 建史[2]（1.医療法人徳洲会福岡徳洲会病院栄養管理室, 2.医療法人徳洲会福岡徳洲会病院集中治療センター）

CP32-4　当院ICU朝カンファレンスから病棟NSTへ ～病棟間連携の必要性に関する検討～
父川 拓朗[1], 奥 悟[1], 佐伯 紘子[2], 高田 智子[2], 上野 弘恵[2], 井上 健[3]（1.独立行政法人国立病院機構関門医療センター栄養管理室, 2.独立行政法人国立病院機構関門医療センター看護部, 3.独立行政法人国立病院機構関門医療センター外科）

CP32-5　取下げ

CP32-6　経腸栄養剤とプロバイオティクスに用いられる生菌性剤との相互関係
間藤 卓, 中田 一之, 山口 充, 大井 秀則, 大瀧 聡, 奈倉 武朗, 杉浦 潤, 有馬 史一, 杉山 聡（埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 33 感染・感染対策③

座長：宮内 善豊（独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院集中治療科）

CP33-1 救命不可能であった犬咬傷によるCapnocytophaga canimorsus重症敗血症の一例
小笠原 紀信[1], 安藤 幸吉[2], 村田 祐二[2]（1.仙台市立病院外科, 2.仙台市立病院救急科）

CP33-2 *Saccharomyces cereviciae*による真菌敗血症の1例
斉藤 仁志, 森本 裕二（北海道大学病院麻酔科）

CP33-3 Parvimonas micraによる敗血症性ショックの一例
根岸 穂波, 中野 貴明, 宮崎 真奈美, 稲村 宏紀, 浅賀 知也, 竹本 正明（横浜栄共済病院救急科）

CP33-4 大動脈弁置換術後患者におけるVCMのMICが2 μg/mLのMRSA持続菌血症に対しABK併用下VCM持続投与を行った1例
小林 宏維, 藤内 まゆ子, 松本 敬, 麻生 将太郎, 佐藤 仁信, 前田 淳子, 軽米 寿之, 笹野 幹雄, 高山 千尋, 林 淑朗（医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科）

CP33-5 Flavobacterium indologenesにより3週間菌血症が持続した一例
中田 円仁（那覇市立病院）

CP33-6 劇症型黄色ブドウ球菌感染症を契機に急性感染性電撃性紫斑病を呈し死亡に至った一例
稲田 梓[1], 江藤 敏[2], 稲葉 晋[1], 花岡 勅行[2], 藤芳 直彦[2], 石橋 克彦[1], 國分 宙[1]（1.千葉県救急医療センター麻酔科, 2.千葉県救急医療センター集中治療科）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 34 気道・呼吸・呼吸管理⑤

座長：讃井 將満（自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科集中治療部）

CP34-1 高機能患者シミュレータを用いた，経鼻高流量酸素療法による呼吸軽減効果の評価
神山 智幾, 本保 晃, 森山 潔, 小谷 真理子, 山田 達也, 萬 知子（杏林大学医学部麻酔科学教室）

CP34-2 当院で開心術後にHFNCを使用した症例の検討
長田 圭司, 原山 信也, 清水 智子, 金澤 綾子, 尾辻 健, 荒井 秀明, 二瓶 俊一, 相原 啓二, 蒲地 正幸（産業医科大学病院集中治療部）

CP34-3 当院におけるハイフローセラピー（high flow therapy: HFT）の検討
上瀧 善邦, 迫田 頼武, 有森 陽二郎, 上野 正克, 松元 崇史（聖マリア病院呼吸器内科）

CP34-4 救急・集中治療室におけるHigh-Flow Nasal Cannulaを用いた診療成績の解析
日下 琢雅, 東 倫子, 松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

CP34-5 当センターICUにおけるNPPV症例の検討
宇城 敦司, 大塚 康義, 奥村 将年, 山本 泰史, 和田 翔, 岩田 博文, 菅 敏晃, 宮内 清司, 嶋岡 英輝（大阪市立総合医療センター集中治療部）

CP34-6 HCU病棟におけるNPPV使用患者の実態
吉田 美帆, 菅原 彩子, 原田 有未, 高橋 優菜, 吉川 真由, 福田 幸人, 松本 千香江（社会福祉法人三井記念病院）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 35 気道・呼吸・呼吸管理⑥

座長：白石 義人（藤枝市立総合病院）

CP35-1 口腔ケアキットQ-Care導入前後のVAP発生状況の比較 ～今後の取り組みへ向けて～
里路 光太郎, 森田 幸子, 立川 敬子, 高林 祥子, 長谷川 ユリ, 畦田 彩, 福澤 史香, 永石 かずみ（神戸市立医療センター中央市民病院）

CP35-2 自動カフ圧計導入について ～RSTにおけるカフ管理の取り組み～
古賀 明洋, 上野 亜沙美, 梅崎 望（健和会大手町病院看護部ICU）

CP35-3 Sun Med社製カフセントリーの使用経験
牧野 高明[1], 田中 誠子[1], 山内 ゆり[1], 高橋 幸子[2]（1.名古屋掖済会病院救命救急室, 2.名古屋掖済会病院臨床工学部）

CP35-4 先天性心疾患術後ECMO装着患児に対し，覚醒下にRTX®を使用した呼吸理学療法を行った1例
金行 梨江[1], 小澤 あかね[1], 加藤 佑衣[1], 兵頭 昇[1], 志村 ともみ[1], 森内 里枝[1], 渡邉 裕美子[1], 帆足 孝也[2], 鍵崎 康治[2], 市川 肇[2]（1.国立循環器病研究センター看護部ICU病棟, 2.国立循環器病研究センター小児心臓外科）

CP35-5 当院一般病棟における酸素療法の実態とルール整備に向けた取り組み
山田 剛史[1], 立野 淳子[1], 道越 淳一[2], 森田 真[2], 有田 孝[1], 上田 千晶[1]（1.小倉記念病院看護部, 2.小倉記念病院検査技師部工学課）

CP35-6 集中治療領域における人工呼吸器離脱にむけた取り組み
竹田 明希子（独立行政法人国立病院機構呉医療センター）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 36 口腔ケア

座長：切田 学（加古川西市民病院救急科）

CP36-1 ICU入室患者における口腔内評価の意義
内藤 久貴，蒲原 英伸，中川 純泰，山下 淳二，徳永 健太郎，早田 学，鷺島 克之，木下 順弘（熊本大学医学部附属病院集中治療部）

CP36-2 重症患者の口腔ケアに焦点を当てた「看る」「診る」視点へのチームアプローチ
長屋 佳奈子，小川 勝利，友原 千恵，安藤 千恵，坂口 栞，服部 祐子，内山 泉，佐藤 信枝（中部ろうさい病院）

CP36-3 口腔ケアの質の改善にむけた取り組み
増田 博紀，森田 幸子，渡邊 朝子（社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院）

CP36-4 看護師の口腔ケア技術の向上のための取り組みと成果 ―RSTで活動する集中ケア認定看護師の関わり―
山本 加奈子，手塚 正美，小宮 美香，岩澤 優子（自衛隊中央病院）

CP36-5 経口気管挿管患者に対する口腔ケアの検討 ―洗浄法と拭取り法による口腔内細菌数の変化に着目して―
和田 沙矢香，入井 美保，中村 敦子，高田 美香，堀 由紀子，香西 慰枝（札幌医科大学付属病院集中治療部看護室）

CP36-6 経口気管挿管患者への安全で効果的な口腔ケア方法の検討 ―標準的方法（Rinse法）に対するWipe法の非劣性試験―
村松 恵多[1]，河合 佑亮[1]，山本 司[1]，天野 綱介[1]，原 嘉孝[2]，下村 泰代[2]，山下 千鶴[2]，西田 修[2]（1.藤田保健衛生大学病院看護部ICU，2.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 37 小児・新生児①

座長：鈴木 康之（独立行政法人国立成育医療研究センター手術・集中治療部）

CP37-1 大学病院PICUに搬送された15歳未満・小児症例の現状
安藤 寿，峰尾 恵梨，金子 忠弘，石井 正浩（北里大学医学部小児科）

CP37-2 当院PICUに入室した新生児症例のまとめ
小原 隆史，平井 克樹，三浦 義文，市坂 有基，大平 智子，武藤 雄一郎（熊本赤十字病院小児科）

CP37-3 当院PICUにおける小児重症管理の現状と課題
山岡 正慶，森 琢磨，伊藤 怜司，飯島 正紀，平野 大志，井田 博幸（東京慈恵会医科大学附属病院小児科）

CP37-4 PICUでの時間外入室が患者予後に及ぼす影響の検討
福原 信一，石田 悠介，楠元 真由美，梶原 伸介，山口 善道，竹田 洋樹，上谷 良行（兵庫県立こども病院救急集中治療科）

CP37-5 当院における小児集中治療室長期在室者の傾向
徳平 夏子[1]，田畑 雄一[1]，井上 美帆[1]，三井 誠司[1]，木下 真央[2]，成宮 博理[1]，黄瀬 ひろみ[1]，木村 彰夫[1]，佐和 貞治[2]，橋本 悟[1]（1.京都府立医科大学付属病院集中治療部，2.京都府立医科大学麻酔科学教室）

CP37-6 小児集中治療室における臨床研究への同意取得に関連する要因の分析
井上 美帆[1]，加藤 祐子[2]，石井 祥代[2]，徳平 夏子[1]，田畑 雄一[1]，古川 泰三[3]，糸井 利幸[4]，山岸 正明[5]，佐和 貞治[2]，橋本 悟[1]（1.京都府立医科大学附属病院集中治療部，2.京都府立医科大学附属病院麻酔科，3.京都府立医科大学附属病院小児外科，4.京都府立医科大学附属病院小児循環器科，5.京都府立医科大学附属病院小児心臓血管外科）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 38 心臓・循環・体液管理④

座長：森脇 龍太郎（独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院救急・集中治療部）

CP38-1 僧房弁形成術後タコつぼ型心筋症の1例
中井 真尚（静岡市立静岡病院心臓血管外科）

CP38-2 A型急性大動脈解離の周術期に重症冠攣縮を繰り返し治療に難渋した1例
加藤 雅史，北條 瞬，櫛山 晃央，金田 和久，溝口 哲，三木 真司，吉田 章（三菱京都病院心臓内科）

CP38-3 下腹部痛を主訴に来院し，急性心筋梗塞による左室自由壁破裂を診断し救命し得た一例
小泉 雅之[1]，豊田 幸樹年[2]，一林 亮[2]，坪田 貴也[2]，横室 浩樹[2]，本多 満[2]，吉原 克則[2]（1.東邦大学医療センター大森病院内科分野循環器内科学講座，2.東邦大学医療センター大森病院総合診療・救急医学講座）

CP38-4 冠動脈形成術を要した造影剤によるKounis症候群2型の1例
須賀 将文，井上 彰，松岡 由典，水 大介，有吉 孝一（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

CP38-5 外科的治療に先行する心嚢穿刺の適応判断に苦慮した心タンポナーデの3例
鈴木 啓士[1]，山本 剛[1]，圷 宏一[1]，林 洋史[1]，古瀬 領人[1]，黄 俊憲[1]，三軒 豪仁[1]，細川 雄亮[1]，宮城 泰雄[2]，石井 庸介[2]（1.日本医科大学心臓血管集中治療科，2.日本医科大学心臓血管外科）

CP38-6 心不全を繰り返すと機能は徐々に低下する
石原 嗣郎[1]，高木 宏治[1]，曽根 教子[1]，徳山 榮男[1]，菊池 有史[1]，石川 昌弘[1]，佐藤 直樹[1]，清水 渉[2]（1.日本医科大学武蔵小杉病院，2.日本医科大学付属病院循環器内科）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 39 心肺蘇生・蘇生後ICU管理①

座長：櫻田 春水（財団法人東京都保健医療公社大久保病院循環器内科）

CP39-1 胸部大動脈ステントグラフト内挿術中のアナフィラキシーによる心停止に対しPCPSが有用であった一例
渡部 亮，吉田 知由，伊藤 伸大，山根 真央（KKR札幌医療センター麻酔集中治療科）

CP39-2 ドクターヘリが要請されたCPA症例の検討
奈良 理，森 幸野，大城 あき子，葛西 陽子（手稲渓仁会病院救命救急センター）

CP39-3 E-CPRにおける乳酸クリアランスの予後指標としての研究
中道 嘉，折田 智彦，佐藤 智洋，吉田 浩輔，明石 卓，倉田 早織，山崎 元靖，北野 光秀（済生会横浜市東部病院救命救急センター）

CP39-4 脳低温療法施行症例における心肺停止後症候群脳モニタリング値の検討
松本 学[1]，岩瀬 史明[1]，井上 潤一[1]，小林 辰輔[1]，宮崎 善史[1]，河野 洋介[1]，加藤 頼子[1]，池田 督司[1]，木下 大輔[1]，横田 裕行[2]（1.山梨県立中央病院救命救急センター，2.日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

CP39-5 院外心停止蘇生後の冠動脈病変とTroponin Iの関係性の検討
嶽間澤 昌泰[1,2]，藤田 尚[1]，佐々木 勝教[1,2]，岩元 祐太[1]，加納 誠也[1]，金子 一郎[1]，安心院 康彦[1]，森村 尚登[1,2]，坂本 哲也[1]（1.帝京大学医学部附属病院救命救急センター，2.横浜市立大学医学部救急医学教室）

CP39-6 院外心肺停止例における冠動脈疾患と生存退院の関連性
樅山 幸彦[1]，福田 正[1]，三浦 光太郎[1]，山田 亘[1]，布施 淳[1]，菊野 隆明[2]（1.国立病院機構東京医療センター循環器内科，2.国立病院機構東京医療センター救急科）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 40 早期離床・リハビリテーション②

座長：本多 満（東邦大学医療センター大森病院救命救急センター）

CP40-1 地域中核病院おけるICUリハビリテーションチームの取り組み ～早期リハビリテーション介入を目指して～
松井 文昭[1]，平田 伸介[1]，西本 直紀[1]，澤田 真男[1]，坂本 将悟[1]，原田 美穂[1]，東 裕之[2]，前田 裕和[2]，宮腰 由美子[3]，秋山 由佳[3]（1.杉田玄白記念公立小浜病院リハビリテーション科，2.杉田玄白記念公立小浜病院救命救急センター，3.杉田玄白記念公立小浜病院看護部）

CP40-2 救命救急センターで実践する早期離床マネジメントの現状
守屋 正道（日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科）

CP40-3 当院におけるV-V ECMO症例の理学療法実施状況
平澤 純[1]，横山 俊樹[2]，小川 智也[1]，長江 優介[1]，小山 昌利[3]，川瀬 正樹[4]，長谷川 隆一[5]（1.公立陶生病院中央リハビリテーション部，2.公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科，3.公立陶生病院臨床工学部，4.公立陶生病院集中治療部，5.筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター総合病院水戸協同病院）

CP40-4 当院小児集中治療におけるリハビリテーションの現状 ～一年間の実態調査より～
宮川 研[1]，岡田 広[2]，三好 義隆[2]（1.松戸市立病院リハビリテーション科，2.松戸市立病院小児集中治療科）

CP40-5 当院ICUにおけるせん妄合併患者の現状について ―ICU入室患者に対する今後の作業療法介入を見据えて―
淺井 康紀[1]，坂本 裕規[1]，岩田 健太郎[1]，高場 章宏[2]，朱 祐珍[2]，瀬尾 龍太郎[2]（1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部，2.神戸市立医療センター中央市民病院救急部）

CP40-6 中頭病院の集中治療領域における作業療法士の現状と課題
喜納 俊介[1]，宮平 宗勝[2]，芹田 晃道[3]，井村 久美子[3]（1.中頭病院リハビリテーション部作業療法部門，2.まつだクリニック，3.中頭病院看護部）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 41 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床③

座長：天谷 文昌（京都府立医科大学附属病院麻酔科学教室）

CP41-1 ICUにおける鎮静鎮痛薬の使用状況について
田根 なつ紀[1]，今中 秀光[1]，三村 誠二[2]（1.徳島大学病院ER・災害医療診療部，2.徳島県立中央病院救急科）

CP41-2 小児心臓血管外科術後における手術リスクと鎮静レベル及び鎮静鎮痛薬投与量の関係
小山 英彦，橘 一也，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

CP41-3 当院のICUでスボレキサントを使用された17例の検討
吉廣 尚大[1]，櫻谷 正明[2]，平田 旭[2]，河村 夏生[2]，筒井 徹[2]，吉田 研一[2]，橋本 佳浩[1]（1. JA広島総合病院薬剤部，2. JA広島総合病院救急・集中治療科）

CP41-4 緊急心臓血管外科手術後におけるデクスメデトミジンとプロポフォール併用鎮静の有用性
谷口 巧[1]，佐藤 康次[2]，越田 嘉尚[2]，野田 透[2]，岡島 正樹[2]（1.金沢大学周術期管理学，2.金沢大学附属病院集中治療部）

CP41-5 デクスメデトミジンで浅い鎮静管理を行っている患者に追加で用いる鎮静薬はせん妄のリスクになるか？
櫻谷 正明，平田 旭，河村 夏生，筒井 徹，吉田 研一（JA広島総合病院救急・集中治療科）

CP41-6 食道癌手術後の手術室抜管症例におけるDexmedetomidineによる夜間の不穏予防効果の検討
山田 直人，中野 雄介，星 有己枝，熊谷 基，鈴木 健二（岩手医科大学医学部麻酔科）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 42 鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床④

座長：星 邦彦（東北大学病院集中治療部）

CP42-1 ICUにおける人工呼吸器装着患者の鎮痛・鎮静管理 ―看護師，医師，患者の視点より―
高橋 悠[1]，上松 右二[2]，辻本 登志英[1]（1.日本赤十字社和歌山医療センター本館7A院内ICU，2.和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科）

CP42-2 人工呼吸器管理中の鎮痛・鎮静に対する看護師の意識調査 ―CPOT導入前後を比較して―
前野 加代子，吉田 真紀子（石川県立中央病院看護部）

CP42-3 外科術後におけるNRS評価の統一によって得られた疼痛緩和への効果
大谷 裕美，片岡 優子，宮本 望，鳥越 綾美，松村 由美（医療法人光晴会病院）

CP42-4 ICUにおける人工呼吸器装着患者の隠れた疼痛を探せ！
油田 まどか，日諸 美帆，江尾 正道，竹田 朱花，井上 潤，樫山 節子（南和歌山医療センター救命救急センター）

CP42-5 鎮痛鎮静プロトコル改良のためのプロトコル脱落例の検討
笹井 香織[1]，岡田 和之[1]，平 幸輝[2]，茂呂 悦子[1]，布宮 伸[2]（1.自治医科大学附属病院集中治療部，2.自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

CP42-6 RASSを使用した患者の体験についてのインタビュー調査
天野 王日奈，遠藤 南子，木島 一美，佐藤 慎也，鈴木 美由紀，小林 玲子，渥美 生弘（聖隷浜松病院救命救急センターICU）

2月13日（土） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 43 看護技術・ケアの工夫

座長：山口 典子（長崎大学病院）

CP43-1 ICU入室前訪問による予期的指導の効果
石田 美穂，倉 愛香，土山 あすか，岸田 敬子（洛和会ヘルスケアシステム洛和会音羽病院）

CP43-2 ICU看護師の術前訪室が家族に与える影響 ―小児心臓手術後での家族の面会に焦点を当てて―
水野 皓介[1]，柘植 梨帆[1]，林 逸江[1]，西川 正美[1]，永田 真理[1]，寺澤 篤[2]（1.名古屋第二赤十字病院院内ICU，2.名古屋第二赤十字病院麻酔科）

CP43-3 救命救命センターにおける退室前訪室による情報共有取り組み
大窪 敬久，長澤 佐地子，寺田 直子（株式会社日立製作所日立総合病院）

CP43-4 気管内チューブのカフ圧の継続モニタリング
山内 ゆり[1]，田中 誠子[1]，牧野 高明[1]，高橋 幸子[2]（1.名古屋掖済会病院救命救急室，2.名古屋掖済会病院臨床工学部）

CP43-5 人工呼吸器装着中患者の発声に対する取り組み
飯塚 瑞恵，池田 理沙（地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院）

CP43-6 術後HCUに入室する患者の対応困難な場面での看護師の援助
森元 彩華，石黒 洋子（秋田赤十字病院）

2月13日（土） 15：00～16：00 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 44 栄養管理②

座長：星 拓男（茨城県立中央病院集中治療部）

CP44-1 重症心不全患者に対する早期経口摂取開始への意識向上に向けた取り組み
藤澤 真季[1]，前田 依久恵[1]，谷本 周三[2]，篠原 文[1]，渡邉 英美[1]，多形 沙枝[1]，野津 佳代子[3]，田中 良子[4]，南雲 貴美子[3]，高橋 亜由美[1]（1.社会福祉法人三井記念病院CCU，2.社会福祉法人三井記念病院循環器内科，3.社会福祉法人三井記念病院栄養部，4.社会福祉法人三井記念病院薬剤部）

CP44-2 集中治療部における経腸栄養プロトコールの有用性に関する検討
太田 浩世，長石 恭子，濱口 真実子（金沢大学附属病院集中治療部）

CP44-3 当施設ICUでの経管栄養プロトコルの有用性の検討 ～経管栄養速度調整ツールの導入～
大坪 慶子[1]，石川 江里[1]，工藤 雄洋[2]，大村 和也[3]，高橋 宏行[3]（1.済生会横浜市東部病院看護部，2.済生会横浜市東部病院栄養部，3.済生会横浜市東部病院集中治療科）

CP44-4 成人心臓大血管術後症例を主とする術後ICUにおける栄養療法の経年的な変化
前山 佳子[1]，東別府 直紀[2]，下薗 崇宏[2]，永井 佳生理[1]，重村 奈央[1]，金多 由季子[1]，尾川 祥子[1]，柴田 愛歩[1]，中野 真結[1]，森 絵里子[1]（1.神戸市立医療センター中央市民病院集中治療室，2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科）

CP44-5 経腸栄養中の下痢に対するケアアルゴリズムの有効性
南條 裕子[1]，下園 佳代美[2]，仲上 豪二朗[3]，真田 弘美[3]，矢作 直樹[4]（1.東京大学医学部附属病院看護部，2.東京大学医学部附属病院ICU，3.東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学，4.東京大学医学部附属病院救急部集中治療部）

CP44-6 下痢を呈する経腸栄養施行患者における，YHフローレ投与の検討
菅原 久純[1]，高橋 和香[2]，大島 拓[2]，佐藤 由美[3]，沼田 ありさ[1]，苅込 隆弘[1]，依田 智未[1]，東田 かずえ[1]，竹内 純子[1]，織田 成人[2]（1.千葉大学医学部附属病院看護部ICU/CCU，2.千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学，3.千葉大学医学部付属病院臨床栄養部）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 45　感染・感染対策④

座長：森本 直樹（津山中央病院救命救急センター）

CP45-1　関節リウマチ治療中の緑膿菌感染・敗血症性ショックにニューモシスチス肺炎を合併した一例
祐森 章幸[1,2]，古谷 良輔[1,2]，宮崎 弘志[1]，岩下 眞之[1,2]，望月 聡之[1]，大塚 剛[1,2]，余湖 直紀[1,2]，佐治 龍[1,2]（1.国立病院機構横浜医療センター救命救急センター，2.横浜市立大学医学部救急学教室）

CP45-2　ステロイド内服中に発症したノカルジアによる左大腿内転筋群内膿瘍の一例
草本 朱里，須崎 萌，野中 勇士，中嶋 浩二，金井 尚之（東京警察病院）

CP45-3　重症呼吸不全に対するV-V ECMO管理後に重症サイトメガロウイルス腸炎を発症した一症例
堀口 真仁[1]，小倉 崇以[1]，鈴木 裕之[1]，増田 智之[2]，井出 宗則[3]，林 俊誠[4]，井貝 仁[5]，宮崎 大[1]，中村 光伸[1]（1.前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科，2.前橋赤十字病院消化器内科，3.前橋赤十字病院病理診断科，4.前橋赤十字病院感染症内科，5.前橋赤十字病院呼吸器外科）

CP45-4　心臓大血管手術におけるプロカルシトニン測定の意義
浅井 彰士，市原 利彦，川瀬 正樹，中島 義仁（公立陶生病院救急救命センター）

CP45-5　閉鎖式システムによる末梢静脈カテーテルの細菌汚染・合併症軽減効果の検討
大藤 純，綱野 祐美子，中瀧 恵実子，安田 裕一郎，井澤 眞代，田根 なつ紀，小野寺 睦雄，今中 秀光，西村 匡司（徳島大学病院救急集中治療部）

CP45-6　医療デバイス関連感染症における敗血症の有無と転帰に関する検討
板倉 隆太[1]，渡邉 伊知郎[1]，居石 崇志[1]，本村 誠[1]，中山 祐子[1]，新津 健裕[1]，齊藤 修[1]，清水 直樹[1]，堀越 裕歩[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部集中治療科，2.東京都立小児総合医療センター感染症科）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 46　看護管理・その他

座長：茂呂 悦子（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院看護部）

CP46-1　当院におけるPNSの取り組み
深山 美紀，今川 真理子，藤川 優紀，浦里 恵司（姫路赤十字病院集中治療部）

CP46-2　全員参加のPNS ～導入と継続の工夫～
中村 ゆかり，小関 恵子，菅原 彩子，高 なぎさ，神田 結季，吉田 美帆，松本 千香江，福田 幸人（社会福祉法人三井記念病院）

CP46-3　外科系集中治療病棟開設における看護師のストレス現状調査
大石 展子，藤田 尚子，竹本 由紀，木村 美沙，吉川 朱実，郷田 佐代子，林 ゆかり（久留米大学病院SICU）

CP46-4　ICUへ配置転換した看護師の職場適応につなげる支援の在り方
平田 実菜，寺井 彩，浦上 恵里，井波 雅子（富山県厚生連高岡病院）

CP46-5　当院のHCU立ち上げでの反省と今後の課題
近藤 和治（医療法人社団如水会今村病院看護部HCU）

CP46-6　ICU管理に係る診療看護師の学び
黒澤 昌洋[1]，森 一直[1]，藤原 祥裕[2]，小松 徹[3]（1.愛知医科大学病院看護部，2.愛知医科大学麻酔科学講座，3.愛知医科大学大学院看護学研究科クリティカルケア看護学）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 47　気道・呼吸・呼吸管理⑦

座長：澤野 宏隆（社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）

CP47-1　マイコプラズマ肺炎による重症呼吸障害急性期にECMO導入が奏功した1例
奥山 英策[1]，廣重 滋夫[1]，添田 徹[1]，渡邊 圭祐[1]，菊田 浩一[1]，宮崎 貴士[1]，矢埜 正実[1]，中村 夏樹[1]，岩田 浩一[2]（1.国家公務員共済組合連合会新別府病院救命救急センター，2.国家公務員共済組合連合会新別府病院臨床工学室）

CP47-2　PCPで発症したAIDS患者にECMOを導入して救命した一例
長谷川 将嗣[1]，昆 祐理[1]，近藤 英史[1]，大川 浩文[2]，今 明秀[1]（1.八戸市立市民病院救命救急センター，2.八戸市立市民病院麻酔科）

CP47-3　麻酔導入後の血小板輸血が原因で発症したTRALIに対するECMOによる救命例
竹下 裕二，今泉 均，関根 秀介，鈴木 直樹，羅 秀玉，石田 裕介，板橋 俊雄，福井 秀公，田上 正，内野 博之（東京医科大学麻酔科学分野集中治療部）

CP47-4　肺炎を契機に発症した急性心不全にVV-ECMO導入した1症例
藤崎 宣友，岡本 彩那，西村 健，白井 邦博，中尾 博之，小谷 穣治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

CP47-5　片肺患者の胃癌術後重症呼吸不全に対してVV-ECMOを施行し，独歩退院となった一例
前田 明倫，飯高 さゆり，小丸 陽平，浅田 敏文，上田 吉宏，土井 研人，石井 健，橘田 要一，中島 勧，矢作 直樹（東京大学医学部付属病院救急部集中治療部）

CP47-6　respiratory ECMO救命例における長期健康関連QOLの検討
神山 治郎，徳江 彩，松岡 宏晃，坂上 浩一，柳澤 晃広，金本 匡史，戸部 賢，日野原 宏，国元 文生，齋藤 繁（群馬大学医学部附属病院集中治療部）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 48　気道・呼吸・呼吸管理⑧

座長：鈴川 正之（学校法人自治医科大学自治医科大学附属病院）

CP48-1　Intrapulmonary Percussive Ventilator（IPV）時の使用回路の違いによる影響
加藤 隆史，白前 達大，暮石 陽介，西川 祐策，行光 昌宏，岩田 英城（三重大学医学部臨床工学部）

CP48-2　ハイエンド人工呼吸器における肺内パーカッションベンチレーターの併用
上岡 将之，中原 毅，井能 秀雄，小橋 和彦（茨城県JA厚生連土浦協同病院臨床工学部）

CP48-3　ドレーゲル社製人工呼吸器呼気弁 リユース・ディスポーザブルの比較・検討
水上 一也[1]，北 博志[1]，藤田 耕平[1]，三住 拓誉[2]（1.神戸大学医学部附属病院臨床工学部門，2.神戸大学医学部附属病院集中治療部）

CP48-4　外部ガス併用療法における実験的検討
小笠原 徳有（福岡市立こども病院臨床工学部）

CP48-5　臨床工学技士による院内気管吸引実施状況の調査
池田 潤平[1]，奥田 晃久[1]，井上 愛[1]，安藤 理香[1]，岩谷 理恵子[1]，平塚 明倫[1]，瀧浪 將典[2]（1.東京慈恵会医科大学付属病院臨床工学部，2.東京慈恵会医科大学付属病院麻酔科集中治療部）

CP48-6　SBT（Spontaneous Breathing Trial）プロトコル作成の試み
丸岡 正則[1]，原 賢史[1]，谷田部 哲夫[1]，長谷川 隆一[2]（1.茨城県厚生連総合病院水戸協同病院臨床工学部，2.茨城県厚生連総合病院水戸協同病院救急・集中治療科）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 49　高齢者

座長：古谷 良輔（独立行政法人国立病院機構横浜医療センター救急科）

CP49-1　97歳女性 ―下部消化管穿孔・敗血症ショックの1救命例―
古賀 美佳[1]，牟田 隆則[2]，中村 覚粛[2]，吉富 有哉[2]，佐藤 友子[2]，三溝 慎次[1]（1.佐賀県医療センター好生館集中治療部，2.佐賀県医療センター好生館救急部）

CP49-2　高齢者に発症した破傷風の3例
五十野 博基[1,3]，宮上 泰樹[5]，片山 皓太[1]，五十野 桃子[1]，長谷川 隆一[2]，矢野 晴美[4]，小林 裕幸[1]（1.水戸協同病院総合診療科，2.水戸協同病院救急・集中治療科，3.筑波大学大学院人間総合科学研究科，4.水戸協同病院グローバルヘルスセンター感染症科，5.順天堂大学付属順天堂医院総合診療科）

CP49-3　当院の高齢者MRSA肺炎における，バンコマイシンとリネゾリドの比較
高田 浩明[1]，一二三 亨[2]，金子 真由子[1]，金村 剛宗[1]，吉岡 早戸[1]，加藤 宏[1]，小井土 雄一[1]（1.国立病院機構災害医療センター，2.香川大学医学部付属病院救命救急センター）

CP49-4　当院における高齢者の敗血症性ショック集中治療の現況 ―PMX-DHP施行症例の年代別比較―
久場 良也，釜野 武志，嘉手苅 由梨（社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院麻酔科）

CP49-5　重症熱中症で救急搬送されたゴミ屋敷住人の4症例
岡田 保誠，稲川 博司，小島 直樹，山口 和将，佐々木 庸郎，渡辺 隆明（公立昭和病院救命救急センター）

CP49-6　熱中症を契機に診断された結晶誘発性関節炎の1例
城戸 拓海[1]，切田 学[2]（1.加古川西市民病院臨床研修医，2.加古川西市民病院救急科）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 50　小児・新生児②

座長：植田 育也（埼玉県立小児医療センター集中治療室）

CP50-1　急性心筋梗塞を発症しECMO下で血栓溶解療法を行った川崎病乳児例
長井 勇樹，中山 祐子，居石 崇志，渡邉 伊知郎，本村 誠，新津 健裕，齊藤 修，清水 直樹（東京都立小児総合医療センター救急・集中治療部）

CP50-2　“Awake VV ECMO”の一小児例
荻原 重俊[1]，齊藤 修[1]，居石 崇志[1]，渡邉 伊知郎[1]，本村 誠[1]，中山 祐子[1]，新津 健裕[1]，清水 直樹[1]，吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部，2.東京都立小児総合医療センター臨床工学部）

CP50-3　小児におけるECMO施行中の腹臥位療法の検討
京極 都，橘 一也，清水 義之，籏智 武志，小山 英彦，文 一恵，井坂 華奈子，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

CP50-4　小児ECMO施行下における栄養管理
井坂 華奈子，清水 義之，橘 一也，籏智 武志，文 一恵，京極 都，小山 英彦，松永 英幸，赤松 貴彬，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター集中治療科）

CP50-5　小児の人工心肺使用開心術後におけるプロカルシトニンの有用性
中村 文人[1]，前川 慶之[2]，大塚 洋司[1]，永野 達也[1]，岩井 英隆[1]，多賀 直行[1]，竹内 護[3]（1.自治医科大学小児手術・集中治療部，2.自治医科大学小児・先天性心臓血管外科，3.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学）

CP50-6　小児心臓血管外科手術後の感染症の頻度，予後に関する後方視的研究
平野 藍子，籏智 武志，京極 都，井坂 華奈子，文 一恵，清水 義之，橘 一也，竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 51　心臓・循環・体液管理⑤

座長：新沼 廣幸（財団法人聖路加国際病院循環器内科）

CP51-1　一般集中治療室における新規発症心房細動の頻度と予後：前向き観察研究
栗山 明[1]，中西 美鈴[2]，貝原 敏江[2]，福岡 敏雄[1]（1.倉敷中央病院総合診療科，2.倉敷中央病院救急科）

CP51-2　重症心室頻拍，電解質異常，ARDSにて集中治療を要し，褐色細胞腫を合併した神経線維腫症と診断できた一例
窪田 雅之，大道寺 洋顕，高谷 信宏，大島 和馬，徳永 蔵人，中村 謙介（日立総合病院救急集中治療科）

CP51-3　経皮的心肺補助とランジオロールを用いた難治性心室性不整脈に対する治療戦略
河野 了，秋山 大樹，渡部 浩明，下條 信威，小山 泰明，榎本 有希，萩谷 圭一，山崎 裕一朗，宮 顕，水谷 太郎（筑波大学医学医療系救急・集中治療部）

CP51-4　無脈性心室頻拍にて β ブロッカーが有効であった一例
多羅尾 健太郎，清水 太郎（循環器病センター）

CP51-5　Torsa de pointesを起こし緊急処置を必要とした高齢者QT延長症候群の3症例
村上 翼，泉 江利子，本多 康人，藤本 枝里，安岡 やよい，廣田 誠二，原 真也，島津 友一，山崎 浩史，西山 謹吾（高知赤十字病院救命救急センター）

CP51-6　TdPを発症した先天性QT延長症候群の臨床像，12誘導心電図の特徴についての検討
寒川 睦子[1]，森田 宏[2]，中村 一文[2]，伊藤 浩[2]，塚原 紘平[1]，山内 英雄[1,3]，寺戸 通久[1]，佐藤 圭路[1]，鵜川 豊世武[1]，氏家 良人[3]（1.岡山大学病院高度救命救急センター，2.岡山大学循環器内科，3.川崎医科大学救急医学総合診療医学）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 52　心肺蘇生・蘇生後ICU管理②

座長：貞広 智仁（学校法人東京女子医科大学東京女子医科大学附属八千代医療センター救急科・集中治療部）

CP52-1　小脳出血により心肺停止となった妊婦の1例
明星 康裕，太田 圭亮，南 啓介（石川県立中央病院救急科）

CP52-2　偶発性低体温に対し，PCPS導入にて救命し得た一例
齋藤 倫子，齊藤 眞樹子，角田 美保子，鈴木 秀章，秋月 登，並木 みずほ，武田 宗和，矢口 有乃（東京女子医科大学救急医学）

CP52-3　過量服薬からCPAとなったがCPC1まで回復し得た一例
山下 幾太郎，江良 正，狩野 亘平，山田 周，櫻井 聖大，北田 真己，原田 正公，橋本 聡，木村 文彦，高橋 毅（国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部）

CP52-4　電撃症から心肺停止に至ったが，適切な救命の連鎖により良好な経過をたどった1例
安藤 諭，森田 恭成，近藤 貴士郎，村田 哲哉，鈴木 秀一（名古屋医療センター）

CP52-5　低体温療法および早期PCIが奏功した重症3枝病変を伴うCPA症例
南 丈也，富士榮 博昭，金森 徹三，小山田 尚史，浜中 一郎，上田 欽造（洛和会丸太町病院）

CP52-6　冠攣縮を原因とする院外心停止をきたした3症例についての検討
秋山 大樹，河野 了，小山 泰明，榎本 有希，萩谷 圭一，下條 信威，山崎 裕一郎，水谷 太郎（筑波大学医学医療系救急・集中治療部）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 53　神経②

座長：森本 裕二（北海道大学病院麻酔科）

CP53-1　HIV感染症による無菌性髄膜炎に非痙攣性てんかん重積発作を合併し意識障害を呈した一症例
勝見 紀文，斉藤 智誉，本間 慶憲，長間 将樹，櫻井 圭祐，高氏 修平，遠藤 晃生，提嶋 久子，鹿野 恒，牧瀬 博（市立札幌病院救急科）

CP53-2　膠原病に伴う脳症の二例
秋本 貴子[1]，宮本 翔平[2]，本田 奈々瀬[4]，上村 亮介[1]，滝沢 英毅[3]，芹澤 良幹[2]，勝俣 一晃[4]，横山 健[1]，片山 勝之[1]（1.手稲渓仁会病院麻酔科集中治療部，2.手稲渓仁会病院総合内科，3.手稲渓仁会病院腎臓内科，4.手稲渓仁会病院リウマチ科）

CP53-3　てんかん重積状態を呈した非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例
田中 洋輔[1]，須永 茂樹[2]，上田 優樹[3]，弦切 純也[1]，新井 隆男[1]（1.東京医科大学八王子医療センター救命救急センター，2.東京医科大学八王子医療センター脳神経外科，3.東京医科大学八王子医療センター神経内科）

CP53-4　若年女性にみられた非腫瘍随伴性抗NMDA受容体抗体脳炎の1症例
下山 雄一郎，梅垣 修，大地 史広，服部 一生，三原 良介，今川 憲太郎，門野 紀子，日外 知行（大阪医科大学附属病院集中治療部）

CP53-5　縦隔奇形腫を合併した抗NMDA受容体脳炎の1例
毛利 英之[1]，中山 泉[1]，小山 淳[2]，村上 隆啓[3]（1.沖縄県立中部病院集中治療部，2.沖縄徳洲会中部徳洲会病院内科，3.沖縄県立中部病院外科）

CP53-6　集中治療室で経験する代謝性脳症における不随意運動の検討
都築 誠一郎，植西 憲達，多和田 哲郎，日比野 将也，神宮司 成弘，田口 瑞希，近藤 司（藤田保健衛生大学病院救急総合内科）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 54　早期離床・リハビリテーション③

座長：森山 潔（杏林大学医学部付属病院麻酔科）

CP54-1　びまん性肺胞出血により人工呼吸器管理となった症例を経験して
仲本 昂平[1]，野中 沙恵[1]，高崎 裕介[1]，佐藤 英博[2]，平湯 恒久[2]，白土 奈央[3]（1.社会医療法人共愛会戸畑共立病院リハビリテーション科，2.社会医療法人共愛会戸畑共立病院外科，3.社会医療法人共愛会戸畑共立病院集中治療室看護部）

CP54-2　多臓器障害を合併した急性呼吸不全患者に対し，理学療法的介入をおこなった1症例
和田 政範[1]，山戸 隆二[1]，久保 智美[2]，中村 利秋[3]（1.長崎労災病院中央リハビリテーション部，2.長崎労災病院集中治療室，3.長崎労災病院救急集中治療科）

CP54-3　器械的排痰補助を用いて無気肺が改善した外傷性血気胸患者の一例
堅田 紘頌[1]，横山 仁志[1]，森澤 健一郎[2]，柳井 真知[2]，高松 由佳[2]，津久田 純平[2]，平 泰彦[2]（1.聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部，2.聖マリアンナ医科大学救急医学）

CP54-4　頚髄損傷後に機械的排痰補助装置を使用した3症例
長江 優介[1]，横山 俊樹[2]，平澤 純[1]，小山 昌利[3]，川瀬 正樹[4]（1.公立陶生病院中央リハビリテーション部，2.公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科，3.公立陶生病院臨床工学部，4.公立陶生病院集中治療部）

CP54-5　精神機能に着目した作業療法の急性大動脈解離術後ARDS患者への効果
左嵜 壮一郎[1]，松本 武志[2]，渡部 修[3]（1.佐久総合病院佐久医療センター作業療法科，2.佐久総合病院佐久医療センター理学療法科，3.佐久総合病院佐久医療センター救命救急センター）

CP54-6　ARDS患者の退院時ADLについての報告　第4報　体重減少と早期離床との関連について
工藤 弦[1]，堀部 達也[1]，増山 素道[1]，後藤 圭介[1]，菊地 剛[1]，齋藤 岳志[1]，筧 慎吾[1]，内田 政行[1]，小谷 透[2]，猪飼 哲夫[3]（1.東京女子医科大学リハビリテーション部，2.東京女子医科大学麻酔科学教室集中治療部，3.東京女子医科大学リハビリテーション科）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 55　中毒・体温異常・悪性症候群②

座長：増野 智彦（日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

CP55-1　バルプロ酸Naおよびオランザピン大量服薬による薬物中毒に対し血漿交換を施行した1例
金澤 将史，竹本 正明，宮崎 真奈美，中野 貴明，稲村 宏紀，浅賀 知也（国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院救急科）

CP55-2　急性カフェイン中毒に透析療法が著効した一例
寶住 肇[1]，富田 静香[1]，鍛 良之[1]，正和 泰斗[2]，越路 暢生[2]，魚住 翠子[1]，神津 成紀[1]，和氣 晃司[1]，松島 久雄[1]，小野 一之[1]（1.獨協医科大学救命救急センター，2.獨協医科大学心臓・血管内科）

CP55-3　血漿交換を行い回復し得た危険ドラッグ使用後の心停止の一例
江良 正，山下 幾太郎，狩野 亘平，山田 周，櫻井 聖大，北田 真己，橋本 聡，原田 正公，瀧 賢一郎，高橋 毅（国立病院機構熊本医療センター救命・集中治療科）

CP55-4　危険ドラッグ摂取により多臓器不全に至った一例
白澤 彩[1,2]，山縣 英尋[1]，鈴木 誠也[1]，川村 祐介[1]，藤井 裕人[1]，古見 健一[1]，内山 宗人[1]（1.横須賀共済病院，2.横浜市立大学医学部救急医学教室）

CP55-5　持続的血液濾過透析が奏功した炭酸リチウム中毒の1例 ―Li血中濃度が不明な状況でいかに対処するべきか―
柚木 良介，柳瀬 豪，前谷 和秀，中村 周道，金城 昌志，牧園 剛大，則尾 弘文（済生会福岡総合病院救命救急センター）

CP55-6　徐脈，低血圧を認めた炭酸リチウム中毒の1例
藤野 光洋，小田 裕太，狩野 謙一，浜崎 幹久，岡田 信長，大木 伸吾，田中 博之，竹下 淳，別府 賢，志馬 伸朗（国立病院機構京都医療センター）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 56　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床⑤

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部附属病院麻酔科）

CP56-1　HRVをもちいた，ICUベッドのポジションが自律神経活性に与える効果の解析
間藤 卓[1]，中田 一之[1]，山口 充[1]，大井 秀則[1]，大瀧 聡[1]，奈倉 武朗[1]，杉浦 潤[1]，有馬 史一[1]，土屋 守克[2]，杉山 聡[1]（1.埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター，2.日本医療科学大学保健医療学部看護学科）

CP56-2　重症慢性閉塞性肺疾患の患者に対するラメルテオンの使用経験と自律神経活動への影響
藤原 祥裕[1]，藤田 義人[2]，小松 徹[1]，安藤 一雄[1]，吉野 博子[1]，安田 吉孝[1]，中村 絵美[1]，住江 百合[1]，木下 浩之[1]，畠山 登[2]（1.愛知医科大学医学部麻酔科学講座，2.愛知医科大学病院周術期集中治療部）

CP56-3　術後患者に対する薬液投与用ルーメン付き尿道カテーテルの使用経験
首藤 聡子，飛田 文，原田 佳実，矢野 雅起，藤谷 太郎（愛媛県立中央病院麻酔科）

CP56-4　集中治療室におけるフットポンプのせん妄リスクの検討
岡本 賢太郎[1]，川口 剛史[1,2]，片岡 惇[1]，内藤 貴基[1]，藤谷 茂樹[1,2]，則末 泰博[1]（1.東京ベイ浦安市川医療センター集中治療科，2.聖マリアンナ医科大学救急医学）

CP56-5　集中治療室内での睡眠自己評価と一般病棟転棟後のせん妄発生についての関連 ―術後患者での検討―
石井 賢造[1]，小野 和身[1]，日高 秀邦[1]，小山 祐介[1]，田口 真也[1]，岡崎 信樹[1]，山下 千明[1]，白河 千加子[1]，木村 由佳[2]，柿原 由佳[2]（1.福山市民病院麻酔科・がんペインクリニック，2.福山市民病院中央手術部集中治療室）

CP56-6　小児ICU専従理学療法士配置によるリハビリ実施率の向上
壷井 伯彦[1]，林 健一郎[1]，並木 亮[2]，稲元 未来[3]，金子 節志[3]，江藤 瑞貴[3]，福原 由香[3]，上久保 毅[2]，橋本 圭司[2]，中川 聡[1]（1.国立成育医療研究センター集中治療科，2.国立成育医療研究センターリハビリテーション科，3.国立成育医療研究センター看護部）

2月13日（土）　15：00～16：00　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 57　保守管理・医療安全①

座長：齋藤 憲輝（鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部）

CP57-1　当院PICUにおける品質評価指標としての事故抜管の検討
森本 健司，本村 誠，居石 崇志，渡邉 伊知郎，中山 祐子，新津 健裕，齊藤 修，清水 直樹（東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部）

CP57-2　予期せぬ院内死亡症例を抽出するためのアドレナリン使用例の検討
服部 潤[1]，小池 朋孝[2]，森安 恵実[2]，黒岩 政之[3]，新井 正康[4]，浅利 靖[1]（1.北里大学医学部救命救急医学，2.北里大学病院RST/RRT室，3.北里大学医学部麻酔科学，4.北里大学医学部付属新世紀医療開発センター）

CP57-3　病院全館停電時の対応
後藤 安宣[1]，呉原 弘吉[2]，沖田 寿一[2]，椿 康輔[2]，西和田 史子[2]，立野 里織[1]，川口 竜助[1]，安宅 一晃[3]（1.市立奈良病院集中治療部，2.市立奈良病院麻酔科，3.奈良県立医科大学医療安全推進室）

CP57-4　ベッドサイドにおけるPICC挿入でのカテーテルの迷入について
岡澤 佑樹，是永 章，川上 大裕，植田 浩司，下薗 崇宏，美馬 裕之，山崎 和夫（神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科）

CP57-5　集中治療領域における末梢静脈挿入型中心静脈カテーテルの位置づけ
松島 暁[1]，小林 孝臣[1]，大林 正和[1]，淺田 馨[1]，松井 智文[1]，松田 直之[2]（1.掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター，2.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

CP57-6　集中治療室において苦慮するベットコントロールへの新たなる試み
奥 和典[1]，高野 洋[2]，樋口 慧[1]，篠田 威人[1]，桑迫 勇登[1]（1.昭和大学藤が丘病院麻酔科，2.昭和大学藤が丘病院集中治療室）

2月14日（日）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 58　チーム医療②

座長：加藤 啓一（日本赤十字社医療センター麻酔科）

CP58-1　集中治療室における薬剤師による注射薬のルート管理について
岩内 大佑[1]，岸田 敬子[2]，大野 博司[3]（1.医療法人社団洛和会洛和会音羽病院薬剤部，2.医療法人社団洛和会洛和会音羽病院看護部，3.医療法人社団洛和会洛和会音羽病院ICU/CCU）

CP58-2　ICUへの薬剤師常駐の取り組みと効果
小茂池 潤太，都 弓恵，稲岡 梨乃，小松 義輝，山端 大樹，金城 和美，武士 昌裕（北播磨総合医療センター）

CP58-3　ICU・CCUにおける薬剤師業務が薬物治療の安全性へ与える影響に関する検討
一杉 俊輔[1]，四方 公亮[1]，加藤 潤一郎[1]，長谷川 英雄[1]，崎本 聖美[2]，岩井 健一[3]（1.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター薬剤部，2.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター看護部，3.東京慈恵会医科大学葛飾医療センター麻酔部）

CP58-4　薬剤熱及び薬剤性肝障害に対する当院での取り組み
片岡 優[1]，三木 豊和[2,3]，山本 幸治[3]，長田 俊彦[3]，的井 愛紗[3]，原 悠也[3]，藤本 善大[3]，則本 和伸[3]（1.淀川キリスト教病院薬剤部，2.淀川キリスト教病院集中治療科，3.淀川キリスト教病院救急科）

CP58-5　集中治療における薬剤師の処方介入データ解析
柴田 啓智，中村 通孝，永野 雅英，高志 賢太郎，坂本 美賀子，具嶋 泰弘，前原 潤一，上杉 英之，西上 和宏，中尾 浩一（済生会熊本病院集中治療室）

CP58-6　当院ICU常駐薬剤師による治療計画への関わり
河村 隆登[1]，伊藤 雄紀[1]，和田 絵里香[1]，山田 哲也[1]，濱本 実也[2]，川瀬 正樹[3]，鷹見 繁宏[1]（1.公立陶生病院医療技術局薬剤部，2.公立陶生病院看護局，3.公立陶生病院医局救急部）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 59 外傷・熱傷

座長：大槻 穣治（東京慈恵会医科大学附属第三病院救急部）

CP59-1 集中治療室の年間外傷患者数の増加は低い外傷死リスクと関連する
白石 淳，大友 康裕（東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

CP59-2 不安定型骨盤骨折に対してTAEと内固定を併せることで良好な転帰をとった1症例
菅原 一樹，一林 亮，豊田 幸樹年，小泉 雅之，佐藤 大輔，横室 浩樹，吉原 克則，本多 満（東邦大学医療センター大森病院救命救急センター）

CP59-3 大量輸血を必要とした外傷症例における輸血量の検討
猪熊 孝実，井山 慶大，上木 智博，山野 修平，田島 吾郎，平尾 朋仁，野崎 義宏，山下 和範，田崎 修（長崎大学病院救命救急センター）

CP59-4 熱傷において手術介入が遅れることの影響
朱 祐珍，瀬尾 龍太郎，有吉 孝一（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

CP59-5 重症熱傷後の白血球減少と凝固異常
大須賀 章倫（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院救急科）

CP59-6 灯油による化学熱傷の1例
宗宮 伸弥，小田 裕太，藤野 光洋，狩野 謙一，浜崎 幹久，岡田 信長，大木 伸吾，藤井 雅士，竹下 淳，志馬 伸朗（独立行政法人国立病院機構京都医療センター）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 60 気道・呼吸・呼吸管理⑨

座長：柴田 純平（藤田保健衛生大学麻酔・侵襲制御医学講座）

CP60-1 外傷性気管後面血腫による気管圧排のため気管挿管後にも気道狭窄を来した1例
千田 康之[1]，佐々木 徹[1]，大野 雄康[2]，伊藤 文人[1]，石田 時也[1]（1.太田西ノ内病院救命救急センター，2.福島県立医科大学救命救急センター）

CP60-2 体外式膜型人工肺ECMO補助下にDumon Y stentを留置し得た気管分岐部狭窄の1例
鈴木 香菜[1]，金内 直樹[1]，渡辺 光[1]，高森 聡[1]，西田 晶子[2]（1.日本海総合病院呼吸器外科，2.日本海総合病院病理診断科）

CP60-3 喉頭腫瘍による上気道狭窄のため再挿管した急性硬膜下血腫の1例
泉 江利子，廣田 誠二，本多 康人，安岡 やよい，藤本 枝里，村上 翼，原 真也，島津 友一，山崎 浩史，西山 謹吾（高知赤十字病院救急部）

CP60-4 Plastic bronchitisの関与が疑われる気道閉塞が生じ換気困難となったFontan循環症例
中森 裕毅，金丸 栄樹，吉河 惇，森島 久仁子，前田 琢磨，亀井 政孝，吉谷 健司，大西 佳彦（国立循環器病研究センター麻酔科）

CP60-5 気管挿管と抜管に難渋したMorquio症候群の1例
加藤 貴大，原木 俊明，讃岐 美智義，濱田 宏，河本 昌志（広島大学病院麻酔科）

CP60-6 舌根部嚢胞の乳児2症例の周術期管理
武智 健一，小西 周，西原 佑，菊池 幸太郎，藤井 園子，萬家 俊博（愛媛大学医学部麻酔・周術期学）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 61 教育・専門医・医療経済

座長：中野 実（日本赤十字前橋赤十字病院高度救命救急センター）

CP61-1 武蔵野赤十字病院救命救急センターにおける初期研修医教育の実態と研修について
安達 朋宏，岸原 悠貴，本澤 大志，平山 優，東 秀律，安田 英人，三浪 陽介，原田 尚重，勝見 敦，須崎 紳一郎（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

CP61-2 当館における研修医勉強会の現状と問題点 ～集中治療に興味を持たせるためのシミュレーション教育～
藤田 尚宏[1]，平原 健司[2]，古賀 美佳[3]，三溝 慎次[3]（1.佐賀県医療センター好生館総合教育研修センター，2.佐賀県医療センター好生館救命救急センター，3.佐賀県医療センター好生館ICU）

CP61-3 救急・集中治療医学に対する名古屋大学医学部付属病院研修医の解析
日下 琢雅，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

CP61-4 救急集中治療科開設による当院ICUへの影響
中村 利秋（長崎労災病院救急集中治療科）

CP61-5 ICUの増床は可能か？ ―診療報酬面からの検討―
熊谷 謙，三宅 望，窪田 健児，佐藤 由紀，池上 かおり，井ノ上 幸典，広瀬 保夫（新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター）

CP61-6 Open-ICUにおける『多職種チームICU』のすゝめ
江田 陽一（福岡徳洲会病院救急・集中治療センター）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 62 産婦人科

座長：赤松 繁（JA岐阜厚生連中濃厚生病院麻酔科・集中治療部）

CP62-1 子宮型羊水塞栓により心停止をきたし，産褥早期に低Na血症にて発症したSheehan症候群の1例
岡田 麻美，田中 和東，鹿野 理恵子，由井 淳子，松木 厚，三田 育子，梶谷 耕二，中村 博昭，中本 收（大阪市立総合医療センター総合周産期母子医療センター産科）

CP62-2 妊娠中に特発性肺動脈性肺高血圧症が顕在化し救命できなかった1例
松木 悠佳[1]，佐上 佑介[2]，小畑 友里江[2]，斉藤 律子[2]，藤林 哲男[2]，重見 研司[1]（1.福井大学医学部器官制御医学講座麻酔・蘇生学領域，2.福井大学医学部附属病院集中治療部）

CP62-3 発症時期の異なる周産期心筋症の2例
安本 高規（小牧市民病院）

CP62-4 危機的弛緩出血の一時的な止血にバソプレシン持続静注が奏効した一例
佐藤 慧，松林 麻里，入江 駿，山崎 治幸，尾崎 由佳（独立行政法人国立病院機構東京医療センター麻酔科）

CP62-5 出血量2000ml以上の帝王切開術症例の麻酔管理についての後方視的検討
尾崎 由佳，小林 佳郎（独立行政法人国立病院機構東京医療センター麻酔科）

CP62-6 周産期心筋症管理にみる，ICU常駐医の存在がもたらす変化
土手 尚，植田 秀樹，峯田 健司，渥美 生弘，田中 茂（聖隷浜松病院救急科）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 63 小児・新生児③

座長：竹内 宗之（大阪府立母子保健総合医療センター）

CP63-1 挿管患者の鎮静コントロールについて当院の現状 ～第一報～
森 智史，石井 直樹（埼玉県立小児医療センター）

CP63-2 小児専門病院ICU病棟における鎮静深度スケールの開発
村上 菜穂子，岡本 充好，赤峰 薫，行貝 有希子，永渕 弘之（神奈川県立こども医療センターICU病棟）

CP63-3 小児術後急性期における疼痛に関する意識調査
小針 里江子，塙 恵子（茨城県立こども病院）

CP63-4 小児専門病院における先天性心疾患術後の離床ケア 第一報 ～離床の現状～
杵塚 美知（地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院）

CP63-5 小児専門病院における先天性心疾患術後の離床ケア 第二報 ～早期離床プロトコールの導入～
杵塚 美知（地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 64 心臓・循環・体液管理⑥

座長：坪井 英之（大垣市民病院循環器内科）

CP64-1 PCPS，IABPを実施し救命した術中呼吸循環不全を呈した感染性心内膜炎
伊敷 聖子[1]，安元 浩[2]，天願 俊穂[2]，仲嶺 洋介[1]，中山 泉[3]，毛利 英之[3]，村上 隆啓[4]，依光 たみ枝[5]（1.沖縄県立中部病院麻酔科，2.沖縄県立中部病院心臓血管外科，3.沖縄県立中部病院集中治療科，4.沖縄県立中部病院外科，5.沖縄県立八重山病院麻酔科）

CP64-2 VV-ECMO離脱より抜管を先行した劇症型A群β溶連菌感染症の一例
大山 慶介，澤野 宏隆，尾北 賢治，大場 次郎，林 靖之，甲斐 達朗（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）

CP64-3 ECMO脱血不良時の右房内構造物の存在とエコー評価の有用性
藤塚 健次[1]，中村 光伸[1]，林 弘樹[2]，宮崎 大[1]，高橋 栄治[1]，鈴木 裕之[1]，小倉 崇以[1]，原澤 朋史[1]（1.前橋赤十字病院集中治療科救急科，2.前橋赤十字病院心臓血管外科）

CP64-4 VA-ECMOの際に逆行性下肢灌流法は下肢虚血を改善するか
星野 耕大，水沼 真理子，川野 恭雅，金山 博成，鈴木 祥子，西田 武司，石倉 宏恭（福岡大学病院救命救急センター）

CP64-5 当院でのPCPS導入基準設定後の実態
磯川 修太郎，田中 裕之，三谷 英範，鈴木 皓佳，遠矢 希，望月 俊明，太谷 典生，石松 伸一（聖路加国際病院）

CP64-6 ECMO（Extracorporeal Membranous Oxygenation）カニュレーションのチーム・トレーニング
池山 貴也[1]，今井 一徳[1]，東 見穂[2]，丹羽 雄大[1]，亀井 祐介[3]，早川 政史[3]，伊藤 友弥[4]，村山 弘臣[5]（1.あいち小児保健医療総合センター集中治療科，2.あいち小児保健医療総合センター看護部，3.あいち小児保健医療総合センター臨床工学部，4.あいち小児保健医療総合センター救急科，5.あいち小児保健医療総合センター循環器部）

2月14日（日） 9：30～10：30 CPポスター会場 神戸国際展示場
ポスターCP 65 心臓・循環・体液管理⑦

座長：藤田 智（旭川医科大学病院救命救急センター）

CP65-1 ボリュームビューシステムの術中適応 ―腎移植術における有用性―
里見 志帆[1]，曽我 朋宏[2]，川人 伸次[2]，箕田 直治[1]，片山 俊子[1]，若松 成知[1]，久米 克佳[1]，堤 保夫[1]，田中 克哉[1]，北畑 洋[3]（1.徳島大学麻酔疼痛治療医学分野，2.徳島大学地域医療人材育成分野，3.徳島大学歯科麻酔科学分野）

CP65-2　高度肺動脈狭窄を合併したアラジール症候群患児に対する生体肝移植術の麻酔経験
木村 良平，田中 具治，瀬川 一，福田 和彦（京都大学医学部附属病院麻酔科）

CP65-3　Ross手術後のSystolic Anterior Motion発生時のVector Flow MappingとEnergyloss評価
秋山 浩一[1]，木下 真央[1]，清水 優[1]，濱岡 早枝子[1]，加藤 秀哉[1]，内藤 慶文[1]，板谷 慶一[2]，佐和 貞治[1]（1.京都府立医科大学麻酔科学教室，2.京都府立医科大学心臓血管外科）

CP65-4　多発嚢胞腎に合併した急性大動脈解離の2症例
松尾 耕一[1]，原口 剛[1]，望月 大輔[2]，藤崎 浩行[3]，三高 千惠子[4]（1.新東京病院集中治療部，2.公立学校共済組合関東中央病院外科，3.水戸ブレインハートセンター心臓血管外科，4.順天堂大学医学部麻酔ペインクリニック科）

CP65-5　解離性大動脈瘤A型急性期における降圧療法の成績
坪田 誠，池田 知歌子（石川県立中央病院心臓血管外科）

CP65-6　膝窩動脈瘤に合併した急性下肢動脈閉塞症に対し血管内治療で救肢し二期的に外科的根治術を施行した一例
細川 哲，本江 純子，大西 克実，椎貝 勝，武藤 光範（菊名記念病院循環器内科）

2月14日（日）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 66　腎臓・腎機能・血液浄化②

座長：槇田 徹次（佐世保市立総合病院救急集中治療科）

CP66-1　けいれん重積発作後に急性尿酸性腎症を来した一例
中山 泉[1]，毛利 英之[1]，西岡 典宏[2]，耒田 善彦[2]（1.沖縄県立中部病院集中治療部，2.沖縄県立中部病院腎臓内科）

CP66-2　MgO（マグミット錠）内服が原因と思われる高Mg血症により意識障害に至った2症例
町田 紀昭，伊波 寛，宮田 裕史，富山 洋（那覇市立病院麻酔科）

CP66-3　Tolvaptanにより限外濾過を回避した末期腎不全による急性肺水腫の1例
竹内 庸浩，高田 昌紀（川崎病院循環器内科）

CP66-4　妊娠後期に高トリグリセリド血症を伴う重症急性膵炎を発症した1例
榎本 純也，小張 祐介，大邊 寛幸，遠山 昌平，小林 正和，小林 道生，石橋 悟（石巻赤十字病院）

CP66-5　寒冷凝集素症に対し遠心分離を用いて血漿交換を施行した1例
齋藤 大輝[1]，加藤 真優[1]，森田 泰正[1]，栢森 健介[2]，三科 達三[2]，鐘野 勝洋[2]，小野田 昌弘[2]，横田 朗[2]，矢萩 直樹[3]，高村 真吾[4]（1.千葉市立青葉病院救急集中治療科，2.千葉市立青葉病院血液内科，3.千葉市立青葉病院臨床検査科（輸血部門），4.千葉市立青葉病院臨床工学科）

CP66-6　中毒性表皮壊死症（TEN）に対して，血液浄化療法をはじめとする集中治療を行った2症例
勝田 賢，中村 智之，山添 泰佳，磯部 恵里，川治 崇泰，前田 隆求，早川 聖子，河田 耕太郎，原 嘉孝，西田 修（藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座）

2月14日（日）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 67　多臓器不全・敗血症③

座長：武山 直志（愛知医科大学救命救急科）

CP67-1　重症敗血症・敗血症性ショック患者のICU入室時における心拍数と転帰
畠山 淳司，武居 哲洋，永田 功，藤澤 美智子，山田 広之，藤 雅文，鈴木 健人，伊藤 敏孝（横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター）

CP67-2　敗血症性ショック認識初期10例の容量負荷 ～経肺熱希釈法による循環管理
鍜冶 有登，山田 元大，白坂 渉，鈴木 慧太郎，薬師寺 泰匡，篠崎 正博（岸和田徳洲会病院救命救急センター）

CP67-3　腹腔内感染症手術後の新規発症AF（心房細動）に対する治療戦略
浅井 英樹，多田 祐介，高野 啓介，川井 廉之，植山 徹，瓜園 泰之，福島 英賢，中村 達也，奥地 一夫（奈良県立医科大学高度救命センター）

CP67-4　Intra-Aortic Balloon Pumping（IABP）により救命し得たSeptic cardiomyopathyの2例
廣見 太郎[1,3]，問田 千晶[1,3]，加藤 真[1]，江口 英人[1]，小林 大悟[1]，土岐 圭伊子[1]，川島 千佳[1]，羽柴 克孝[1]，六車 崇[1,3]，森村 尚登[1,2,3]（1.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター，2.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学，3.横浜市立大学医学部救急医学教室）

CP67-5　敗血症性ショックに伴う心機能低下症例にIABPによる循環補助を行いショック離脱に成功した1例
蒲池 正顕，小尾口 邦彦，福井 道彦，加藤 之紀，和田 亨，渡邉 宏樹，宮崎 勇輔，横峯 辰生（大津市民病院救急診療科集中治療部）

CP67-6　敗血症性ショックに心筋梗塞を合併したものの集学的治療により救命した一例
牟田 宏樹，三戸 正人（社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院救急総合診療部）

2月14日（日）　9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 68　中毒・体温異常・悪性症候群③

座長：宮崎 大（前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科）

CP68-1　熱中症に対して血管内冷却カテーテルを用いて深部冷却を行った2例の検討
湯川 友貴[1]，金村 剛宗[1]，金子 真由子[1]，井上 和茂[1]，佐藤 昌太[1]，吉岡 早戸[1]，岡田 一郎[1]，霧生 信明[1]，加藤 宏[1]，小井土 雄一[2]（1.独立行政法人国立病院機構災害医療センター救急救命科，2.国立病院機構災害医療センター臨床研究部）

CP68-2　MRI拡散強調像で小脳に異常高信号域を認めた重症熱中症の一例
小澤 昌子[1], 矢野 徹宏[1], 佐藤 ルブナ[1], 反町 光太朗[2], 鈴木 剛[2], 根本 千秋[2], 塚田 泰彦[2], 伊関 憲[1], 田勢 長一郎[1,2]
(1.福島県立医科大学地域救急医療支援講座, 2.福島県立医科大学医学部救急医療学講座)

CP68-3　集中治療室において緊張性混迷および悪性症候群に対して電気けいれん療法を施行した一例
上田 朝美, 鈴木 武志, 奥田 淳, 鈴木 悠太, 森崎 浩(慶応義塾大学医学部麻酔学教室)

CP68-4　悪性症候群を合併した抗NMDA受容体抗体陽性脳炎の一例
黒田 浩光[1], 小渡 貴司[2], 堀内 一宏[2], 山本 修司[1], 赤塚 正幸[1], 望月 宏樹[1], 佐藤 順一[1](1.帯広厚生病院麻酔科, 2.帯広厚生病院神経内科)

CP68-5　ネオスチグミン臭化物長期内服によるコリン作動性クリーゼの1例
大邉 寛幸, 小張 祐介, 遠山 昌平, 小林 正和, 小林 道生, 石橋 悟(石巻赤十字病院救命救急センター)

CP68-6　ジスチグミン5mg内服開始後5ヶ月でコリン作動性クリーゼを来した1例
恒光 健史, 鈴木 崇生, 松本 優, 野田 健仁, 生田 武蔵, 堀田 幸造, 四宮 真利子, 橋本 由貴, 吉永 孝之, 佐藤 愼一(兵庫県立尼崎総合医療センター救急集中治療科)

2月14日（日） 9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 69　鎮静・鎮痛・せん妄・早期離床⑥

座長：西 憲一郎(関西医科大学附属枚方病院総合集中治療部)

CP69-1　開腹下腹部大動脈瘤手術に神経ブロックと持続創部浸潤麻酔の併用で術後鎮痛を行った5症例
藤井 靖子, 中川 裕一, 藤井 文, 原 祐子(伊勢赤十字病院麻酔科)

CP69-2　腹部大動脈瘤術後疼痛対策としての腹横筋膜面ブロック応用　第3報 ～液性剥離面の時間的変化に関して
松下 幹晴[1], 長野 ゆり[1], 白石 建輔[2], 小松 達彦[1](1.三豊総合病院麻酔科, 2.舞鶴共済病院麻酔科)

CP69-3　当救命センターにおける急性期リハビリテーションへの取り組み
笠原 道[1], 清水 敬樹[1], 鈴木 茂利雄[1], 荒川 裕貴[1], 濱口 純[1], 萩原 祥弘[1], 光銭 大裕[1], 金子 仁[1], 三宅 康史[2], 小野 将平[1](1.東京都立多摩総合医療センター, 2.昭和大学救急医学講座)

CP69-4　人工呼吸管理患者における鎮静プロトコル導入の効果
原 悠也[1], 矢田 憲孝[2], 長田 俊彦[1], 的井 愛紗[1], 武東 義成[1], 石田 丈貴[1], 堀 雅俊[1], 藤本 善大[1], 三木 豊和[1], 則本 和伸[1](1.淀川キリスト教病院救急・集中治療科, 2.奈良医科大学付属病院総合診療科)

CP69-5　中央手術部集中治療室開設後の術後早期離床状況の推移と入院期間との関連
石井 賢造[1], 小野 和身[1], 日高 秀邦[1], 小山 祐介[1], 小坂 真子[1], 谷本 和香奈[1], 片山 明[1], 木村 由佳[2], 池口 修平[2], 大元 未知子[2](1.福山市民病院麻酔科・がんペインクリニック, 2.福山市民病院中央手術部集中治療室)

2月14日（日） 9：30～10：30　CPポスター会場　神戸国際展示場
ポスターCP 70　保守管理・医療安全②

座長：柳田 国夫(東京医科大学茨城医療センター集中治療部)

CP70-1　超低出生体重児において人工呼吸器が換気停止を起こした一例を経験して ―当院の人工呼吸器管理と課題―
鈴木 雄也[1], 塚本 学[1], 吉田 忍[2], 立川 弘孝[3](1.近江八幡市立総合医療センター医療技術部臨床工学技士科, 2.近江八幡市立総合医療センター小児科, 3.近江八幡市立総合医療センター循環器内科)

CP70-2　ICUにおける機器ラウンドシステムの導入と今後の課題
西原 英輝[1], 小森 恵子[1], 浦野 哲哉[2](1.東海大学医学部付属病院臨床工学技術科, 2.東海大学医学部付属病院呼吸器内科)

CP70-3　当センターにおける人工呼吸器に関するインシデント分析と今後の対策について
上野山 充[1], 橘 健太郎[1], 伊藤 優実[1], 森本 良平[1], 佐藤 伸宏[1], 菊池 佳峰[1], 木田 博太[1], 中村 年宏[1], 下田 俊文[1], 落合 直子[2](1.大阪府立急性期・総合医療センター臨床工学室, 2.大阪府立急性期・総合医療センター医療安全室)

CP70-4　医療機器の安全管理における臨床工学技士(CE)の役割
井上 義博[1], 泉田 拓也[2], 久保田 好光[2](1.岩手医科大学医学部救急医学, 2.岩手医科大学附属病院臨床工学部)

CP70-5　人工呼吸器の定期メンテナンスの課題と検討
新井 篤史[1], 中田 早人[1], 長谷川 竜馬[1], 崎山 貴也[1], 藤本 欣史[2], 三原 亨[3], 串崎 浩行[3], 二階 哲朗[3](1.島根大学医学部附属病院MEセンター, 2.島根大学医学部附属病院心臓血管外科, 3.島根大学医学部附属病院集中治療室)

CP70-6　当院ICUにおけるDVT予防装置の使用状況の実態と今後の課題
原田 潤平[1], 西原 英輝[1], 小森 恵子[1], 浦野 哲哉[2](1.東海大学医学部付属病院診療技術部臨床工学技術科, 2.東海大学医学部付属病院呼吸器内科)

【一般演題（ポスター FP）】

2月12日（金）　奇数演題　コアタイム（講演時間）　15：00～16：00
2月13日（土）　偶数演題　コアタイム（講演時間）　15：00～16：00

FP ポスター会場　神戸国際展示場

FP-001　Rapid Response System導入の試み
戸部 賢，岸田 浩一，日尾 早香，楢原 創，徳江 彩，松岡 宏晃，坂上 浩一，日野原 宏，国元 文生，齋藤 繁（群馬大学医学部附属病院集中治療部）

FP-002　Rapid Response System導入が緊急コールの状況に与えた影響の検討
野村 智久，関井 肇，杉田 学，高見 浩樹，小松 孝行，水野 慶子，三島 健太郎，井上 照大，近藤 彰彦，浅子 英（順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科）

FP-003　当院Open ICUにおける一般病棟からの緊急入室患者の検討
國原 宏文[1]，小松 良平[1]，安田 考志[2]，趙 崇至[3]（1.パナソニック健康保険組合松下記念病院，2.松下記念病院腎不全科，3.松下記念病院麻酔科）

FP-004　当院における一般病棟からG-ICUへ予定外入室した患者の症例分析
奥田 有紀[1]，瀬尾 龍太郎[2]，亀井 博紀[3]，永田 一真[4]，稲岡 佳子[5]，山口 優[1]，高尾 佳美[1]，梅田 みゆき[1]，利川 亜弥[1]（1.神戸市立医療センター中央市民病院救急病棟・救急外来，2.神戸市立医療センター中央市民病院救急科，3.神戸市立医療センター中央市民病院総合診療科，4.神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器内科，5.神戸市立医療センター中央市民病院看護部医療安全管理室）

FP-005　Apache II ScoreおよびModified Early Warning System（MEWS）を用いたICU入室患者の予後予測の検討
高橋 瑞枝，大野 美幸，川野 マキ（潤和会記念病院看護部）

FP-006　看護師が捉える急変予測のサイン
二山 未央[1]，吉田 真寿美[1]，甘谷 顕一朗[1]，黒部 美香[1]，浅野 きみ[2]，紺家 千津子[2]（1.金沢医科大学病院，2.金沢医科大学）

FP-007　当院における院内急変の現状と今後の課題
平敷 好史[1]，新屋 真弓[1]，里井 陽介[1]，諸見里 勝[1]，普天間 誠[1]，清水 孝宏[1]，伊波 寛[2]，宮田 裕史[2]（1.那覇市立病院集中治療室，2.那覇市立病院集中治療室麻酔科）

FP-008　院内急変の現状と急変現場における救急看護師の役割
木村 千穂，堀江 沙矢香，大池 杏実，有元 秀樹，樋口 尚子，川口 なぎさ（大阪市立総合医療センター救命救急センター）

FP-009　当院におけるRapid Response System導入前勉強会の効果に関する検討
中村 紀子[1]，馬場 多恵[1]，椹木 愛美[1]，泉野 宏貴[2]，鈴木 佳奈[2]，林 薫[3]，平田 渉[4]，中野 顯[1,5]（1.彦根市立病院ICU/CCU病棟，2.彦根市立病院看護部，3.彦根市立病院救急センター，4.彦根市立病院外科，5.彦根市立病院循環器科）

FP-010　Rapid response system教育が呼吸数測定頻度に与える影響
森安 恵実[1]，大谷 尚也[1]，小池 朋孝[1]，荒井 康夫[2]，黒岩 政之[3]，新井 正康[4]（1.北里大学病院集中治療センターRST・RRT室，2.北里大学病院診療情報管理室，3.北里大学医学部麻酔科学，4.北里大学医学部附属新世紀医療開発センター）

FP-011　Rapid Response Systemの起動を阻害する因子の検討
寺沢 幸洋[1]，兼松 友香理[1]，丸谷 幸子[1]，伊藤 加代子[1]，仙頭 佳起[2]，平手 博之[2]，祖父江 和哉[2]（1.名古屋市立大学病院看護部ICU・PICU・CCU，2.名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野）

FP-012　神経性食思不振症の治療経過にてRefeeding症候群による高度肝障害をきたした一例
田中 俊生，神田 潤，中村 俊介，三宅 康史，有賀 徹（昭和大学病院医学部救急医学講座）

FP-013　亜鉛過剰投与に伴う銅欠乏性貧血が疑われた重症熱傷の1例
織田 美紀，山口 順子，平林 茉莉奈，澤田 奈実，小松 智英，桑名 司，小豆畑 丈夫，木下 浩作（日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野）

FP-014　敗血症症例に対するペプタメンAFを用いた経腸栄養の有用性
安田 立[1]，白井 邦博[2]，山路 文範[1]，田中 卓[1]，鈴木 浩大[1]，池庄司 遥[1]，中野 通代[1]，吉田 省造[1]，豊田 泉[1]，小倉 真治[1]（1.岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター，2.兵庫医科大学救急災害医学）

FP-015　片側性反回神経麻痺を伴う，血清アルブミン1.0g/dLのるいそう患者の治療経験
籏本 恵介（札幌東徳洲会病院救急総合診療部）

FP-016　当院HCUにおける入院時嚥下評価の現状
濱崎 真帆，川名 政実，神戸 智子，柏崎 アン，松本 千香江，福田 幸人（三井記念病院HCU）

FP-017　言語聴覚士の早期介入によりICU抜管患者の経口摂取にもたらす効果
鹿島 秀明，久野 美咲（医誠会医誠会病院）

FP-018　国際栄養調査，最下位からの脱却：その取り組みと改善点
鈴木 知絵[1]，小沼 華子[1]，金澤 悦子[1]，星 拓男[2]（1.茨城県立中央病院，2.筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センター）

FP-019　ECMO患者における栄養の必要性

都志 明日美[1], 坂口 太一[2], 林田 晃寛[3], 永野 範子[1], 平岡 有努[2], 中島 康佑[4], 鈴木 康太[2], 寺坂 美津子[1], 宗次 美登理[1]（1.社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院看護部, 2.社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院心臓血管外科, 3.社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院循環器内科, 4.社会医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院臨床工学科）

FP-020　多職種共同型経腸栄養持続投与プロトコール導入の効果

藤本 晃治, 高橋 健二, 伊藤 誠（山口県立総合医療センター）

FP-021　経腸栄養プロトコール導入の試み

大城 和也[1], 臼井 雄一[1], 神田 奈麿[1], 堀木 香里奈[1], 兼久 絵里[1], 仲間 敏春[1], 山内 芳乃[1], 宮城 典子[2], 安里 美樹[2], 玉城 正弘[3]（1.社会医療法人友愛会豊見城中央病院看護局, 2.社会医療法人友愛会豊見城中央病院栄養科, 3.社会医療法人友愛会豊見城中央病院集中治療室専従医）

FP-022　熱傷患者重症度と栄養開始時間に関する検討

入江 絢香（社会医療法人製鉄記念八幡病院看護部）

FP-023　鈍的胸部外傷により腹腔内遊離ガスを認めた一例

内田 宗一郎, 片山 延哉, 塚田 恵, 新川 一樹, 一本木 邦治, 望月 勝徳, 高山 浩史, 小林 尊志, 三山 浩, 今村 浩（信州大学医学部附属病院高度救急救命センター）

FP-024　腹部刺創症例に対し, MDCT及び審査腹腔鏡が有用であった一例

高村 卓志[1], 安富 淳[2], 草塩 公彦[2], 松本 正成[2], 鈴木 大[2], 飯田 文子[2], 今村 南海子[2], 岡田 奈美[2], 森脇 龍太郎[1], 宇田川 郁夫[2]（1.千葉労災病院救急・集中治療部, 2.千葉労災病院外科）

FP-025　急激な呼吸・循環不全により経皮的心肺補助装置装着を要するも救命できなかった頚髄損傷の1例

遠藤 英樹, 庄古 知久, 漆畑 直, 千田 篤（松戸市立病院救命救急センター）

FP-026　外傷性膵損傷と腕神経叢引き抜き損傷を合併した交通外傷の1例

増田 太郎, 日宇 宏之, 増田 幸子, 山田 成美, 中道 親昭, 高山 隼人（国立病院機構長崎医療センター）

FP-027　20mの高さからコンクリートに転落して受傷した多発外傷患者の1救命例

角谷 隆史, 溝渕 有助, 石川 友規, 進 吉彰, 三枝 秀幸, 小林 浩之, 奥 格, 實金 健, 福島 臣啓, 時岡 宏明（岡山赤十字病院麻酔科）

FP-028　当院救命救急センターに搬送された墜落外傷症例の検討

守屋 まり子, 上野 恵子, 弦切 純也, 新井 隆男（東京医科大学八王子医療センター救命救急センター）

FP-029　外傷性気胸により気管支の圧排を認めた一例

本澤 大志, 安達 朋宏, 平山 優, 東 秀律, 安田 英人, 三浪 陽介, 原 俊輔, 原田 尚重, 勝見 敦, 須崎 紳一郎（武蔵野赤十字病院救命救急センター）

FP-030　広範囲熱傷受傷2日目に生じたToxic Shock Syndrome

米田 和弘, 大須賀 章倫（JCHO中京病院）

FP-031　土砂災害において受傷した開放骨折から早期の緑膿菌敗血症ショックをきたした1例

佐伯 辰彦[1], 板井 純治[2], 多田 昌弘[2], 竹崎 亨[2], 楠 真二[2], 山野上 敬夫[2], 永松 将吾[3]（1.獨協医科大学越谷病院救急医療科, 2.県立広島病院救急科, 3.県立広島病院形成外科）

FP-032　敗血症に伴うsymmetrical peripheral gangreneの2例

重光 修[1], 和田 伸介[1], 竹中 隆一[1], 石田 健朗[1], 吉田 光郎[1], 黒澤 慶子[1], 上原 幸[2], 石井 一誠[3]（1.大分大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2.大分大学医学部附属病院形成外科, 3.竹田医師会病院整形外科）

FP-033　MSSA（Methicillin-Susceptible Staphylococcus Aureus）が起炎菌と考えられる劇症肺炎の一例

日根野谷 一[1], 吉田 悠紀子[1], 福田 直樹[1], 那須 敬[1], 片山 大輔[2], 落合 陽子[1], 花崎 元彦[1], 片山 浩[1]（1.川崎医科大学麻酔集中治療医学3, 2.鳥取市立病院麻酔科）

FP-034　縦隔リンパ節炎穿破から波及した化膿性心外膜炎の1例

渡辺 光, 高森 聡, 金子 昌行, 鈴木 香菜, 金内 直樹（日本海総合病院呼吸器外科）

FP-035　当院における心臓外科手術104症例の術後感染の現状

江藤 孝史[1], 田中 暢[1], 鈴木 久人[1], 森口 哲也[2]（1.医療法人医誠会医誠会病院麻酔科, 2.医療法人医誠会医誠会病院集中治療科）

FP-036　当院において治療を行った破傷風患者8名の検討

藤本 智子, 加藤 道久, 福田 靖（徳島赤十字病院麻酔科）

FP-037　当院で経験した破傷風症例の検討

山谷 立大, 服部 潤, 神應 知道, 竹内 一郎, 片岡 祐一, 浅利 靖（北里大学医学部救命救急医学）

FP-038　特発性腸腰筋血腫を併発した破傷風の一例

林 栄里, 高橋 功, 糟谷 美有紀, 伊藤 史生, 大菅 健嗣, 伊坂 晃, 増渕 高照（総合病院国保旭中央病院救急救命科）

FP-039　出産後にリステリア髄膜炎をきたしたが母児ともに救命しえた抗リン脂質抗体症候群合併SLEの一例

峯岸 慎太郎[1,2], 杉山 裕美子[3], 土田 奈緒美[3], 神山 玲光[3], 峯岸 薫[3], 浜 真麻[3], 吉見 竜介[3], 桐野 洋平[3], 上田 敦久[3], 森村 尚登[1,4]（1.横浜市立大学附属病院救急部, 2.横浜市立大学大学院医学研究科病態制御内科学, 3.横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学, 4.横浜市立大学大学院医学研究科救急医学）

FP-040　高血糖高浸透圧症候群, 両下肢壊疽, 敗血症性ショックを主病態として入院した蝿蛆症の一例

森田 恭成[1], 近藤 貴士郎[1], 安藤 諭[2], 村田 哲哉[3], 鈴木 秀一[1]（1.国立病院機構名古屋医療センター集中治療科, 2.国立病院機構名古屋医療センター総合内科, 3.豊橋ハートセンター麻酔科）

FP-041　消化器外科手術後に Aeromonas hydrophilia 感染症を発症し急激な経過をたどった2症例
尾関 奏子[1], 貝沼 関志[1], 高橋 英夫[2], 鈴木 章悟[1], 市川 崇[1], 青山 正[1], 石田 祐基[1], 平井 昂宏[1], 林 智子[1], 西脇 公俊[1]
(1.名古屋大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生医学講座, 2.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学)

FP-042　トラクター外傷の経過中に敗血症性ショックに至った一例
安部 香緒里[1], 北村 伸哉[1], 加古 訓之[1], 大谷 俊介[1], 大村 拓[1], 岡 義人[1], 五十嵐 一憲[2](1.君津中央病院救急・集中治療科, 2.諏訪中央病院内科総合診療部)

FP-043　急性腎盂腎炎を契機に, 殿筋の化膿性筋炎及び横紋筋融解症をきたしたと考えられる1例
成田 知大, 春田 浩一, 三宅 章公(静岡県立総合病院高度救命救急センター)

FP-044　急性呼吸促迫症候群を呈した粟粒結核に両側気胸を発症した1例
梨木 洋, 宮手 美治(岩手県立中央病院ICU科)

FP-045　健常高齢者に生じた多発外傷後のサイトメガロウイルス(CMV)腸炎の一例
山本 浩大郎[1], 村西 謙太郎[1], 野島 剛[1], 盛實 篤史[2], 田村 竜[1], 大西 広一[1], 大森 貴夫[1], 石原 潤子[1], 喜多村 泰輔[1]
(1.高知医療センター, 2.樹原病院)

FP-046　非典型的な一過性の心筋収縮障害を呈した敗血症性ショックの一例
門倉 彩奈, 柳 秀高, 佐野 正弥, 桑野 公輔, 真鍋 早季, 石原 徹, 小松 昌道, 小澤 秀樹(東海大学医学部内科学系総合内科)

FP-047　リネゾリドによる乳酸アシドーシスにより急速に死の転帰を辿った1例
上村 吉生, 荒川 立郎, 石澤 嶺, 木村 隆治, 太田 慧, 妹尾 聡美, 鈴木 亮, 尾本 健一郎, 菊野 隆明(独立行政法人国立病院機構東京医療センター救急科)

FP-048　緑膿菌のカルバペネム感受性率低下に対する当院感染制御チーム(ICT)による取り組み
大槻 郁人(小樽市立病院麻酔科)

FP-049　集中治療室における開心術患者の嚥下機能評価フローチャートの作成と妥当性の検証
高志武 千賀子[1], 松川 綾乃[1], 屋良 愛子[1], 上原 佳代[1], 糸嶺 京子[1], 古謝 安子[3], 神里 興太[2], 照屋 孝二[2], 渕上 竜也[2], 垣花 学[2](1.琉球大学医学部附属病院集中治療室, 2.琉球大学医学部麻酔科学講座, 3.琉球大学医学部保健学科)

FP-050　鎮静管理における患者の健康意識とは ～見た目の変容に対しての家族の反応と看護師が行った維持的介入～
小山 千桜里, 中村 香代, 八ッ繁 寛(独立行政法人国立病院機構災害医療センター9階ICU)

FP-051　体外式膜型人工肺(ECMO)を導入した患者への看護実践：現状と今後の課題
亀ヶ谷 泰匡, 富岡 靖友, 末松 宏美, 中村 幸子, 細萱 順一, 背戸 陽子(日本医科大学付属病院外科系集中治療室)

FP-052　カテコラミンシリンジ交換による循環動態の変動を最小限にするための取り組み
竹内 美穂[1], 杉澤 栄[2], 仁平 かおり[1], 寺田 えり子[3], 小林 可奈子[4], 高橋 伸二[4](1.筑波大学附属病院看護部小児ICU, 2.筑波大学附属病院看護部, 3.筑波大学附属病院看護部手術室, 4.筑波大学附属病院麻酔科)

FP-053　体外式膜型人工肺(ECMO)装着患児の腹臥位看護
牧野 沙織, 甲斐 夏江, 木村 雅代, 宗岡 貴一, 賀来 典之(九州大学病院小児救命救急センター)

FP-054　肺移植のbridgeとしてECMO管理を行った患者における看護実践の経験
中山 誠一, 大野 綾子, 足立 圭, 亀ヶ谷 泰匡, 細萱 順一, 背戸 陽子, 鈴木 健一, 杉田 慎二, 市場 晋吾, 竹田 晋浩(日本医科大学付属病院)

FP-055　身体抑制を減少させた看護師の意識と行動の分析
佐々木 謙一, 松村 千秋(岩手県立中央病院ICU)

FP-056　ICU看護師のポジショニングに対するアセスメントに関する調査
芝田 紀子, 坂井 慶子, 清田 希世, 深津 百合, 都築 典子, 大西 和彦, 中山 和子(JCHO星ヶ丘医療センター)

FP-057　自己抜去のリスクに関するHCU看護師の捉え方
諏訪 早苗, 中村 真央, 玉木 綾乃, 福田 幸人, 松本 千香江(社会福祉法人三井記念病院HCU)

FP-058　心拍動下冠動脈バイパス術後の術場抜管について
大城 和也[1], 永登 諒[1], 仲間 敏春[1], 亀谷 善太[1], 山内 芳乃[1], 仲間 康敏[2], 田淵 正樹[3], 寺田 真也[3], 山内 昭彦[3], 玉城 正弘[4](1.社会医療法人友愛会豊見城中央病院, 2.社会医療法人友愛会豊見城中央病院呼吸療法室, 3.社会医療法人友愛会豊見城中央病院心臓血管外科, 4.社会医療法人友愛会豊見城中央病院集中治療室)

FP-059　NPPV体験型シミュレーション教育 ～優しい呼吸を目指して～
宮崎 勇輔, 小尾口 邦彦, 福井 道彦, 蒲池 正顕, 加藤 之紀, 和田 亨, 渡邉 宏樹, 横峯 辰生(大津市民病院救急診療科・集中治療部)

FP-060　新人看護師の育成におけるARCS動機づけモデルの有用性 ～新人看護師に心肺蘇生実践を支援した事例～
天野 裕香, 山田 竜太, 東 啓子, 野手 英明, 川出 健嗣, 坪内 宏樹(一宮西病院集中治療部)

FP-061　経皮的気管切開術チェックリストの有用性の検証(第2報)
内山 哲平, 大城 国男, 八木橋 智子, 讃井 將満(自治医科大学附属さいたま医療センター)

FP-062　VAPバンドル導入に向けての意識調査と今後の課題 ～アクションリサーチ法を用いて～
玉城 愛子[1], 嘉手苅 美和子[1], 石川 由香[1], 當山 護剛[2](1.沖縄県立北部病院, 2.沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

FP-063　愛知県集中ケア認定看護師会の活動報告 第6報
河合 佑亮[1], 枡田 ゆかり[2], 西嵜 政仁[3], 池松 裕子[4](1.藤田保健衛生大学病院看護部ICU, 2.国立病院機構名古屋医療センター, 3.藤田保健衛生大学病院看護部総合救命救急センターNCU・CCU, 4.名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻基礎・臨床看護学講座)

FP-064　クリティカルケアにおける中堅・リーダー看護師に対する指導力向上への取り組み
山根 堂代(公立豊岡病院但馬救命救急センターICU)

FP-065　粟粒結核によるARDSに対しPMX-DHPが有効であった一例
鈴木 祥子, 金山 博成, 森本 紳一, 大蔵 裕子, 長島 亮太郎, 西田 武司, 石倉 宏恭(福岡大学病院救命救急センター)

FP-066　人工股関節置換術後に発症した呼吸困難に, TACO, 脂肪塞栓, Sepsisの鑑別を要したCOPD患者の一症例
藤田 治人[1], 秋山 容平[1], 冨田 真晴[1], 秋山 苑生[1], 星野 哲也[2], 金尾 邦夫[2], 大村 和也[2], 木村 慎一[2], 高橋 宏行[2], 佐藤 智行[1](1.済生会横浜市東部病院麻酔科, 2.済生会横浜市東部病院集中治療科)

FP-067　悪性リンパ腫治療中に腫瘍崩壊症候群からARDSを来した一例
小山 友菜[1], 戸井田 朋恵[2], 安藤 幸吉[1], 楠本 耕平[3], 眞田 千穂[1], 筆田 廣登[1], 山内 正憲[4](1.仙台市立病院麻酔科, 2.石巻赤十字病院麻酔科, 3.宮城こども病院小児科, 4.東北大学大学院医学系研究科麻酔科学・周術期医学分野)

FP-068　ARDSをコントロールできなかった生体肝移植術後の1例
鷺島 克之, 蒲原 英伸, 早田 学, 山下 淳二, 徳永 健太郎, 木下 順弘(熊本大学医学部集中治療部)

FP-069　間質性肺炎の急性増悪に対する治療戦略
今泉 均[1], 関根 秀介[1], 竹下 裕二[1], 長尾 明紘[1], 崔 英姫[1], 内野 博之[1], 升田 好樹[2], 巽 博臣[2], 吉田 真一郎[2](1.東京医科大学麻酔科学分野・集中治療部, 2.札幌医科大学集中治療医学)

FP-070　名古屋大学病院救急・内科系集中治療室における3年間のsevere ARDSの解析
東 倫子, 日下 琢雅, 海野 仁, 眞喜志 剛, 山本 尚範, 江嶋 正志, 田村 有人, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

FP-071　斜角筋ブロックによる横隔神経麻痺とデスフルランを用いた全身麻酔で術後に再膨張性肺水腫をきたした一例
篠田 威人[1], 小幡 輝之[1], 樋口 慧[1], 奥 和典[1], 桑迫 勇登[1], 高安 弘美[2], 釋尾 知春[3], 小坂 誠[3](1.昭和大学藤が丘病院麻酔科, 2.昭和大学藤が丘病院呼吸器内科, 3.昭和大学横浜市北部病院麻酔科)

FP-072　人工呼吸管理後に新規のテロメラーゼ遺伝子多型を同定できた家族性肺繊維症の妊婦の1症例
杉野 繁一, 金谷 明浩, 山内 正憲(東北大学大学院医学系研究科麻酔科学周術期医学分野)

FP-073　喉頭異物摘出後の肺水腫の検討
曽我部 拓, 高端 恭輔, 佐尾山 裕生, 石田 健一郎, 島原 由美子, 家城 洋平, 定光 大海(国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)

FP-074　再膨張性肺水腫による低酸素血症に対し一酸化窒素吸入が有効だった左室補助装置装着患者の1症例
湊 弘之[1], 森山 直樹[1], 南 ゆかり[2], 仲宗根 正人[1], 北川 良憲[1], 持田 晋輔[1], 稲垣 喜三[1](1.鳥取大学医学部医学科麻酔科, 2.鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部)

FP-075　てんかん発作後に肺水腫をきたした一例
岩瀬 信哉, 出口 善純, 幸部 吉郎(久喜総合病院救急科)

FP-076　食物による窒息を契機として発症した陰圧性肺水腫・肺胞出血の2症例
高崎 智美[1], 稲垣 伸洋[1], 徳田 隼人[1], 中島 竜太[1], 安部 雄治[2], 高倉 健[2](1.大分市医師会立アルメイダ病院救急集中治療科, 2.大分市医師会立アルメイダ病院総合内科)

FP-077　ASVが有効であった超高齢者の気管気管支狭窄症の1例
明星 康裕, 太田 圭亮, 南 啓介(石川県立中央病院救急科)

FP-078　気道狭窄を呈した経口気管チューブ, 気管切開チューブに起因した声門直下炎症性腫瘍の1例
切田 学(加古川西市民病院救急科)

FP-079　甲状腺穿刺吸引細胞診後に気道狭窄を生じ気管挿管下に保存的治療で軽快した症例
橋本 篤, 木下 浩之, 赤堀 貴彦, 安藤 一雄, 藤田 義人, 畠山 登, 藤原 祥裕(愛知医科大学医学部麻酔科学講座)

FP-080　気管切開を施行し周術期管理を行った舌癌罹患患児の一例
山長 修, 黒田 光朗, 山崎 倫子, 木山 亮介, 前川 俊, 若松 拓彦, 山中 秀則, 進藤 一男(兵庫県立尼崎総合医療センター)

FP-081　大動脈弁輪拡張症術後に術後縦隔血腫のため重篤な気道狭窄をきたした1例
大槻 郁人, 高桑 一登(小樽市立病院麻酔科)

FP-082　気管切開術後に両側緊張性気胸となり換気困難を来した2症例
若田 竜一, 宮崎 嘉也, 足立 健彦(田附興風会医学研究所北野病院麻酔科集中治療部)

FP-083　抜管後の喉頭浮腫に対するアドレナリン・リンデロン希釈液投与の試み
吉田 浩輔, 倉田 沙織, 中道 嘉, 小林 陽介, 明石 拓, 佐藤 智洋, 折田 智彦, 山崎 元靖, 北野 光秀(恩賜財団済生会横浜市東部病院救急科)

FP-084　気道熱傷治療中に気管チューブ閉塞を来し輪状甲状靭帯切開を行った一例
爲廣 一仁, 財津 昭憲, 島 弘志, 瀧 健治(聖マリア病院救命救急センター集中治療科)

FP-085　急性呼吸不全患者においてHigh-flow nasal cannulaが有用であった2症例
喜多 理香[1], 宮武 秀光[1], 藤井 恵美[1], 今宿 康彦[2], 山根 哲信[1], 辻田 靖之[1], 田畑 貴久[3], 高橋 完[1], 萬代 良一[1], 江口 豊[3](1.滋賀医科大学附属病院救急集中治療部, 2.同麻酔科, 3.同救急集中治療学講座)

FP-086　急性心筋梗塞に伴う虚血性心不全に対してネーザルハーフローで治療した1例
清水 毅洋, 二瓶 俊一, 清水 智子, 金澤 綾子, 荒井 秀明, 長田 圭司, 原山 信也, 相原 啓二, 蒲地 正幸(産業医科大学病院集中治療部)

FP-087　抜管後にミニトラックとハイフローセラピーを用いて管理した患者の検討
薬師寺 泰匡，白坂 渉，山田 元大，鈴木 慧太郎，鍜冶 有登，篠崎 正博（岸和田徳洲会病院救命救急センター）

FP-088　当院 ICU における高流量経鼻酸素療法（NHF）の使用状況について
岡本 竜哉，植村 樹，米廣 由紀，仁平 知保，小川 竜徳，深谷 隆史，松田 航，佐々木 亮，野中 千春，木村 昭夫（国立国際医療研究センター救命救急センター集中治療科）

FP-089　抜管後呼吸不全の予防においてHFNCはNPPVに取って代わるか？
菊池 忠[1]，中山 雄二朗[1]，高木 誠[1]，川野 雄一朗[1]，福永 崇[1]，尾崎 徹[1]，白井 純宏[1]，具嶋 泰弘[1]，前原 潤一[1]，垣花 泰之[2]（1.済生会熊本病院救急総合診療センター，2.鹿児島大学病院救急・集中治療部）

FP-090　悪性腫瘍末期患者における高CO2血症に対するHFNC酸素療法の使用経験
松永 裕樹，尾辻 瑞人，中村 景子，小林 亜紀，伊藤 淳，三島 秀樹，片山 康，石川 進，大島 哲（都立墨東病院胸部血管心臓外科）

FP-091　Harlequin syndrome に対してHybrid ECMOを導入した一例
萩原 祥弘[1]，清水 敬樹[1]，小野 将平[1]，鈴木 茂利雄[1]，濱口 純[1]，荒川 裕貴[1]，金子 仁[1]，光銭 大裕[1]，森川 健太郎[1]，三宅 康史[2]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター，2.昭和大学医学部救急医学講座）

FP-092　急性呼吸不全におけるNPPVとHigh Flow Therapyの比較 ～短期効果についての検討
横山 俊樹，谷口 博之，近藤 康博，木村 智樹，片岡 健介，松田 俊明，寺町 涼（公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科）

FP-093　PAV＋が呼吸器離脱時のウィーニングに有用であった肺気腫の1症例
大地 史広，梅垣 修，日外 知行，下山 雄一郎，門野 紀子，出口 志保（大阪医科大学附属病院集中治療部）

FP-094　食物による窒息後に生じた陰圧性肺出血に対し，ECMOを使用し救命した高齢者の一例
石田 健一郎，岩佐 信孝，曽我部 拓，高端 恭輔，佐尾山 裕生，家城 洋平，島原 由美子，定光 大海（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター救命救急センター）

FP-095　フレイルチェストと皮下気腫を合併した胸部外傷の呼吸管理にAPRVが有効であった一例
日高 康太郎，長濱 真澄，越田 智弘，與那覇 哲，矢野 武志，松岡 博史，谷口 正彦，恒吉 勇男（宮崎大学医学部附属病院麻酔科）

FP-096　NAVAモードによる人工呼吸中の横隔膜運動監視の2症例
福田 幸寛，眞喜志 剛，海野 仁，日下 琢雅，東 倫子，田村 有人，江嶋 正志，沼口 敦，角 三和子，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

FP-097　慢性呼吸不全患者の上腹部術後にNIV-NAVAにて人工呼吸管理を行った1例
手賀 丈太[1]，平本 有美[1]，和田 麻美[2]，青野 宏美[2]，吉野 淳[1]，財津 昭憲[3]，藤村 直幸[1]（1.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院麻酔科，2.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院臨床工学部，3.社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院集中治療部）

FP-098　flail chestに対しIRVでの呼吸管理が有用であった1例
山崎 舞子，佐々木 勝教，藤田 尚，安心院 康彦，池田 弘人，坂本 哲也（帝京大学医学部救急医学講座）

FP-099　深鎮静患者における補助換気中の一回換気量に関連する因子の後方視的検討
古出 萌[1]，山下 智範[1]，小山 有紀子[1]，吉田 健史[2]，内山 昭則[1]，藤野 裕士[1]（1.大阪大学医学部附属病院集中治療部，2.トロント小児病院）

FP-100　High CPAP/APRVモード管理中の経肺圧：High PEEP管理中に食道内圧測定は必要か？
熊澤 淳史[1]，村上 紗羅[1]，小畠 久和[1]，青柳 健一[2]，小原 章敏[1]（1.堺市立総合医療センター集中治療科，2.堺市立総合医療センター総合内科）

FP-101　診断に苦慮した腎細胞癌に伴う肺塞栓症の一例
島 望，木田 真紀，米満 尚史，宮本 恭兵，柴田 尚明，田中 真生，島 幸宏，岩崎 安博，加藤 正哉（和歌山県立医科大学救急・集中治療医学講座）

FP-102　破傷風の一症例
關野 長昭[1]，高橋 耕平[2]，森 浩介[2]（1.横浜南共済病院ICU室救急科，2.横浜南共済病院救急科）

FP-103　鼻出血が原因の出血性ショックに対して動脈塞栓術と人工呼吸器管理を施行した鼻腔内悪性リンパ腫の一例
田崎 哲（宮崎県立宮崎病院集中治療部）

FP-104　多科連携によって胸腔ドレーン迷入による肺動脈損傷に対しコイル塞栓術にて良好に治療しえた一例
高良 祐葵[1]，山下 淳[1]，大滝 裕香[1]，守矢 知永[2]，勇内山 大介[2]，佐口 徹[2]，前田 純一[3]，山科 章[1]（1.東京医科大学病院循環器内科，2.東京医科大学病院放射線科，3.東京医科大学病院呼吸器外科・甲状腺外科）

FP-105　上下顎骨切り術後に人工呼吸器関連肺炎をきたした1例
内山 史子，伊藤 誠，砂川 将直，福本 剛之，角 千恵子，中村 久美子，田村 尚（山口県立総合医療センター麻酔科）

FP-106　肺切除術後の気道出血に対し筋弛緩薬を用いた分離肺換気による管理が必要であった症例
清水 智明，北 貴志，林 峰子（大阪警察病院麻酔科）

FP-107　洞不全症候群を合併した長期フォロー中の先天性中枢性低換気症候群の一例
利根澤 慧[1]，星野 健司[2]，鍵本 聖一[1]（1.埼玉県立小児医療センター総合診療科，2.埼玉県立小児医療センター循環器科）

FP-108　腹壁欠損を有する児の呼吸管理における腹帯の有用性
水口 壮一[1,2], 松岡 若利[1,2], 一宮 優子[1,2], 平田 悠一郎[1,2], 賀来 典之[1,2], 牧 盾[3], 徳田 賢太郎[3], 安田 光宏[1], 高田 英俊[2], 前原 喜彦[1]（1.九州大学病院救命救急センター, 2.九州大学大学院成長発達医学分野, 3.九州大学病院集中治療部）

FP-109　病的肥満患者の呼吸管理
宮庄 浩司, 柏谷 信博, 米花 伸彦, 大熊 隆明, 石橋 直樹, 山下 貴宏（福山市民病院救命救急センター）

FP-110　慢性呼吸不全患者におけるICU－AWの検討
立川 弘孝[1], 青山 武司[2]（1.近江八幡市立総合医療センター救命救急センター, 2.近江八幡市立総合医療センター麻酔科）

FP-111　術後の肺水腫の評価に肺エコーが有用であった1症例
十時 崇彰, 矢鳴 智明, 岩下 耕平, 重松 研二, 山浦 健（福岡大学医学部麻酔科学）

FP-112　当院救命救急センターにおける河川での溺水患者の検討
山路 文範, 吉田 省造, 鈴木 浩大, 池庄司 遥, 中島 靖浩, 中野 志保, 橋本 孝治, 加藤 久晶, 豊田 泉, 小倉 真治（岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター）

FP-113　ICUでアセタゾラミドは代謝性アルカローシスを改善させ, 人工呼吸器管理を減らすことができるか
真鍋 早季, 柳 秀高, 桑野 公輔, 石原 徹, 小松 昌道, 小澤 秀樹（東海大学医学部内科学系総合内科）

FP-114　パルスオキシメーターを利用した呼吸数測定器Nellcor PM1000Nの使用経験
宮内 雅人, 吉野 雄大, 岩井 健司, 松居 亮平, 山名 英俊, 石井 浩統, 横堀 将司, 増野 智彦, 横田 裕行（日本医科大学高度救命救急センター）

FP-115　当院救命センターICUにおける人工呼吸期間の検討
高野 啓佑, 多田 佑一, 淺井 英樹, 川井 廉之, 福島 英賢, 奥地 一夫（奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センター）

FP-116　ICUで行った気管切開の長期的な気管カニューレ抜去率の検討
野村 智子, 田村 暢一朗（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院）

FP-117　病棟看護師がRST（Respiratory Support Team）に期待する活動内容の考察
行元 悦子, 松村 京子, 宮原 聡子, 岩本 好加, 島垣 まどか, 金 正和, 前川 文絵, 亀井 靖子, 井畑 勝也, 福井 威夫（大阪市立総合医療センターRST（呼吸サポートチーム））

FP-118　循環器疾患患者における鎮静覚醒トライアル・自発呼吸トライアルの効果
岡本 直也, 七戸 保奈美, 片岡 ともみ, 天石 好美（医療法人邦友会小田原循環器病院）

FP-119　抜管後の呼吸管理に難渋したYグラフト置換術後患者の一例
森 一直[1], 黒澤 昌洋[1], 畠山 登[2], 藤原 祥裕[2]（1.愛知医科大学病院看護部, 2.愛知医科大学麻酔科学講座）

FP-120　誤嚥性肺炎予防の頭部挙上に対する実態調査 ―効果的な頭部挙上を実践につなげるための関わり―
向井 和樹, 植田 美幸（松戸市立病院）

FP-121　気管挿管患者に対する安全な固定方法マニュアル作成への取り組み
岩崎 まみ, 浅田 英美, 松本 あゆみ, 渡邊 和美（黒部市民病院集中治療棟）

FP-122　HCU看護師の呼吸療法に関する意識の向上と統一したケアの提供を目指した取り組み
吉野 由夏, 後藤 清華, 奥村 美樹, 中川 有記, 佐藤 和美, 三上 淳子（旭川赤十字病院看護部HCU・救急外来科）

FP-123　NPPVマスク汚染の現状　ATP測定器を用いて
岸川 源直[1], 小田原 真佐代[1], 高橋 一臣[1], 土谷 真基[1], 福井 啓介[1], 江田 陽一[2]（1.福岡徳洲会病院臨床工学科, 2.福岡徳洲会病院救急・集中治療センター）

FP-124　NPPV施行中のNasal CannulaによるEtCO2のモニタリングの検討
道越 淳一[1,2], 宮脇 宏[3], 丹生 治司[1], 瀬尾 勝弘[3], 松本 重清[4], 北野 敬明[4]（1.小倉記念病院検査技師部工学課, 2.大分大学大学院医学系研究科, 3.小倉記念病院麻酔科・集中治療部, 4.大分大学麻酔科学講座）

FP-125　V-V ECMO管理中に後腹膜血腫を認め, 抗凝固療法を中止して管理した一例
小山 昌利[1], 横山 俊樹[2], 川瀬 正樹[3], 春田 良雄[1]（1.公立陶生病院臨床工学部, 2.公立陶生病院呼吸器アレルギー疾患内科, 3.公立陶生病院集中治療科）

FP-126　PSVからPAVへ変更することで炭酸ガスが拡散した1症例
勝木 亮介（神戸赤十字病院医療技術部）

FP-127　当院におけるネブライザ付き酸素吸入装置のトラブル事例
有信 一慶, 元石 徹也, 檀上 弘樹, 西海 創, 川村 華奈子, 島谷 洋志, 西江 和夫（川崎医科大学附属川崎病院MEセンター）

FP-128　人工呼吸器離脱困難症例への臨床工学技士の関わり
高橋 幸子[1], 花隈 淳[1], 中井 浩司[1], 平手 裕市[2]（1.名古屋掖済会病院臨床工学部, 2.中部大学生命健康科学部臨床工学科）

FP-129　人工呼吸器ワークショップの診療および教育への効果
長谷川 景子[1], 山田 紀昭[3], 鵜澤 吉宏[1], 田中 竜馬[2], 金子 教宏[1]（1.亀田総合病院, 2. Pulmonary and Critical Care Medicne, LDS Hospital, 3.済生会横浜市東部病院）

FP-130　当院の過去5年間のICU在室日数の推移
原茂 明弘, 塩田 修玄, 大森 敬文, 増田 孝広, 丸山 史, 若林 健二, 足立 裕史, 中沢 弘一, 槇田 浩史（東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部）

FP-131　一地方基幹病院における集中治療専門医資格の取得ペース
辻本 雄太, 中塚 峻, 山田 尚弘, 三田 法子, 佐藤 精司, 武田 健一郎, 瀬尾 伸夫, 森野 一真（山形県立救命救急センター）

FP-132　集中治療医に必要なメディカルリソースマネジメントMRMスキルの開発
山下 智幸, 有賀 徹（昭和大学医学部救急医学講座）

FP-133　上腕動脈からの出血によるコンパートメント症候群を契機に診断された後天性血友病の一例
鈴木 茂利雄[1], 清水 敬樹[1], 萩原 祥弘[1], 濱口 純[1], 小野 将平[1], 荒川 裕貴[1], 光銭 大裕[1], 金子 仁[1], 森川 健太郎[1], 三宅 康史[2]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 2.昭和大学医学部救急医学講座）

FP-134　食道癌を基礎疾患にもつ, 後天性血友病Aを発症した1例
石川 愛[1], 柳澤 晃広[2], 日尾 早香[1], 松岡 宏晃[2], 坂上 浩一[2], 金本 匡史[2], 戸部 賢[2], 高澤 知規[1], 国元 文生[2], 齋藤 繁[2]（1.群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科, 2.群馬大学医学部附属病院集中治療部）

FP-135　下肢動脈閉塞に伴う消耗性血小板減少の経過中にヘパリン起因性血小板減少症を来した一例
渡邉 慎[1], 小尾口 邦彦[2], 横峯 辰生[2], 宮崎 勇輔[2], 渡邉 宏樹[2], 加藤 之紀[2], 蒲池 正顕[2], 福井 道彦[2]（1.京都府立医科大学付属病院救急医療科, 2.大津市民病院救急診療科）

FP-136　好酸球増多症に心室内血栓を合併した一症例
神山 彩, 金本 匡史, 神山 治郎, 松岡 宏晃, 坂上 浩一, 柳澤 晃広, 戸部 賢, 日野原 宏, 国元 文生, 齋藤 繁（群馬大学医学部附属病院集中治療部）

FP-137　DICをきたした大動脈瘤に遺伝子組み換えトロンボモジュリンが奏功した1例
三砂 雅裕, 竹内 庸浩, 高田 昌紀（川崎病院救急科）

FP-138　ECMO管理中に筋肉内出血を認めた一例
白戸 康介, 小倉 崇以, 中村 光伸, 宮崎 大, 高橋 栄治, 町田 浩志, 鈴木 裕之, 菊谷 祥博, 藤塚 健次, 田中 由基子（前橋赤十字病院集中治療科・救急科）

FP-139　慢性解離性大動脈瘤の術後トラネキサム酸投与の有用性
日尾野 誠, 碓氷 章彦, 伊藤 英樹, 寺澤 幸枝, 藤本 和郎, 六鹿 雅登, 成田 祐司, 阿部 知伸, 大島 英揮（名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科学）

FP-140　リコンビナントトロンボモジュリンを使用したDIC症例における予後予測因子の検討
渡邉 翠, 豊島 歩美, 狩野 峻子, 小野寺 悠, 秋元 亮, 小林 忠宏, 鈴木 博人, 岩渕 雅洋, 中根 正樹, 川前 金幸（山形大学医学部附属病院麻酔科）

FP-141　Septic shockを契機に発見された急性骨髄性白血病の一例
藤田 亮[1], 阪本 雄一郎[2], 後藤 明子[2], 今長谷 尚史[2], 八幡 真由子[2], 小網 博之[2], 三池 徹[2], 永嶋 太[2], 岩村 高志[2], 井上 聡[2]（1.唐津赤十字病院救急科, 2.佐賀大学医学部附属病院救急科）

FP-142　骨髄穿刺では診断がつかず, 骨髄生検で診断がついた骨髄貧食症候群を伴う, 致死的悪性リンパ腫の一例
柳 秀高, 小松 昌道, 真鍋 早季, 桑野 公輔, 小澤 秀樹（東海大学総合内科）

FP-143　ICUに入室した血液疾患の重症化症例の検討
巽 博臣[1], 升田 好樹[1], 吉田 真一郎[1], 片山 洋一[1], 数馬 聡[1], 高橋 科那子[1], 後藤 京子[1], 千原 伸也[2], 小川 輝之[2], 島田 朋和[2]（1.札幌医科大学医学部集中治療医学, 2.札幌医科大学附属病院臨床工学部）

FP-144　当センターICUにおける血液疾患患者の治療成績の検討
竹田 みちる, 大橋 祥文, 日生下 由紀, 園田 俊二, 鳥井 直子, 菅島 裕美, 藤田 泰宣, 大川 恵, 飯田 裕司, 谷上 博信（大阪府立成人病センター麻酔科）

FP-145　Surgical Apgar Score（SAS）を用いた婦人科手術の術後予測
出口 志保[1], 梅垣 修[2], 大地 史広[2], 下山 雄一郎[2], 日下 裕介[1], 門野 紀子[2]（1.大阪医科大学麻酔科学教室, 2.大阪医科大学附属病院集中治療部）

FP-146　心肺停止蘇生後患者に対するAPACHE Ⅱによる評価
三谷 英範, 石松 伸一, 大谷 典生, 望月 俊明, 三上 哲, 田中 裕之, 磯川 修太郎, 鈴木 皓佳（聖路加国際病院救命救急センター）

FP-147　救急病棟入院後, 24時間以内にICU入室に至った症例
水 大介, 瀬尾 龍太郎, 朱 祐珍, 有吉 孝一（神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター）

FP-148　Augmented Renal Clearance発症に関する前向き観察研究（第一報）
森本 紳一, 川野 恭雅, 金山 博成, 星野 耕大, 市来 玲子, 仲村 佳彦, 石倉 宏恭（福岡大学病院救命救急センター）

FP-149　集中治療医の関与した小児緊急interventional radiology症例の解析
長谷川 達也, 徐 民恵, 浅井 明倫, 藤掛 数馬, 加藤 利奈, 伊藤 秀和, 宮津 光範, 平手 博之, 杉浦 健之, 祖父江 和哉（名古屋市立大学麻酔科・集中治療部）

FP-150　オープンICUにおける集中治療科のベッド管理　長期入床者に対する検討
秋本 剛秀, 森本 恵理子, 横山 順一郎（静岡県立総合病院集中治療科）

FP-151　小児の重症頭部外傷患者において外科的介入を要した症例の検討
近藤 淳[1], 山本 和宏[1], 大西 聡[1,2], 起塚 庸[1,2], 土居 ゆみ[2,3]（1.愛仁会高槻病院小児科, 2.愛仁会高槻病院小児集中治療科, 3.愛仁会高槻病院麻酔科）

FP-152　取下げ

FP-153　小児急性脳症（けいれん重積型）に対するICU治療とレドックス制御
畑山 一貴[1], 野坂 宜之[1], 塚原 紘平[2], クナウプ 絵美里[2], 氏家 良人[2], 森島 恒雄[3]（1.岡山大学病院小児科, 2.岡山大学病院高度救命救急センター, 3.岡山ろうさい病院）

FP-154　急性リンパ性白血病の中枢性再発における小児の1症例
青山 康, 海野 仁, 東 倫子, 眞喜志 剛, 山本 尚範, 田村 有人, 江嶋 正志, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之（名古屋大学医学部附属病院）

FP-155　小児けいれん重積の予後予測因子の検討
澤田 奈実, 伊原 慎吾, 桑名 司, 山口 順子, 小豆畑 丈夫, 木下 浩作（日本大学医学部附属板橋病院救急医学系救急集中治療医学分野）

FP-156　当院における小児急性脳症の治療の変遷と予後に関する比較検討
三浦 義文, 平井 克樹, 小原 隆史, 市坂 有基, 大平 智子, 武藤 雄一郎（熊本赤十字病院小児科）

FP-157　長野県立こども病院における気管切開症例78例の検討
壹岐 陽一, 阿部 世紀, 松岡 由子, 庄司 康寛（長野県立こども病院麻酔科）

FP-158　完全社会復帰した小児溺水の一例
三澤 友誉, 小澤 昌子, 矢野 徹宏, 佐藤 ルブナ, 反町 光太朗, 鈴木 剛, 根本 千秋, 塚田 泰彦, 伊関 憲, 田勢 長一郎（福島県立医科大学附属病院高度救命救急センター）

FP-159　当院PICUにおけるARDS腹臥位管理の現状
伊東 幸恵, 佐藤 光則, 小林 匡, 伊藤 雄介, 菊地 斉, 金沢 貴保, 川崎 達也（静岡県立こども病院小児集中治療科）

FP-160　当科における非侵襲的換気療法の施行経験
山本 和宏[1], 起塚 庸[1,2], 近藤 淳[1], 大西 聡[1,2], 土居 ゆみ[2,3]（1.高槻病院小児科, 2.高槻病院小児集中治療科, 3.高槻病院麻酔科）

FP-161　当施設における13トリソミー, 18トリソミー合併患者の心臓手術の周術期管理
岩井 英隆[1], 大塚 洋司[1], 中村 文人[1], 永野 達也[1], 多賀 直行[1], 竹内 護[2]（1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座）

FP-162　芳香族アミノ酸脱炭酸酵素（AADC）欠損症に対する遺伝子治療の術後管理2症例の経験
多賀 直行[1], 中村 文人[1], 岩井 英隆[1], 永野 達也[1], 大塚 洋司[1], 竹内 護[2], 宮内 彰彦[3], 小島 華林[3], 山形 崇倫[3]（1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座, 3.自治医科大学小児科学講座）

FP-163　アデノウイルス腸炎による高度脱水から重篤な循環呼吸不全となったが集学的治療により救命し得た乳児の一例
倉敷 達之[1], 舩木 一美[2], 南 ゆかり[3], 藤井 勇雄[1], 北川 良憲[2], 遠藤 涼[4], 稲垣 喜三[4]（1.鳥取大学医学部附属病院手術部, 2.鳥取大学医学部附属病院麻酔科, 3.鳥取大学医学部附属病院高次集中治療部, 4.鳥取大学医学部器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野）

FP-164　Candida albicans感染に起因するシャント閉塞を来した三尖弁閉鎖症の1乳児例
粒良 昌弘, 三浦 慎也, 中野 諭, 濱本 奈央, 大崎 真樹（静岡県立こども病院循環器集中治療科）

FP-165　生後10日で新生児乳児消化管アレルギーにより循環血液量減少性ショックおよび急性腎障害を来した1症例
中村 文人[1], 大塚 洋司[1], 岩井 英隆[1], 永野 達也[1], 多賀 直行[1], 竹内 護[2]（1.自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部, 2.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学）

FP-166　メトロニダゾールが奏効した, 治療に難渋した急性虫垂炎に伴う汎発性腹膜炎の一例
山田 香里[1], 林 拓也[1], 永渕 弘之[2]（1.神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター救急診療科, 2.神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター集中治療科）

FP-167　当院ICUにおける重症急性膵炎の病態と治療効果に関する後ろ向き検討
矢野 武志, 日高 康太郎, 長濱 真澄, 越田 智広, 與那覇 哲, 松岡 博史, 谷口 正彦, 新福 玄二, 白阪 哲朗, 恒吉 勇男（宮崎大学医学部附属病院集中治療部）

FP-168　現在の小児SIRS基準の問題点と今後に向けた改善点
峰尾 恵梨, 安藤 寿, 江波戸 孝輔, 緒方 昌平, 石井 正浩（北里大学医学部小児科）

FP-169　下部消化管穿孔でヘリ搬送後, abdominal compartment syndromeを来した1例
荒川 裕貴[1], 清水 敬樹[1], 鈴木 茂利雄[1], 濱口 純[1], 萩原 祥弘[1], 森川 健太郎[1], 落合 健太郎[2], 今村 和広[2], 三宅 康史[3]（1.東京都立多摩総合医療センター救命救急センター, 2.東京都立多摩総合医療センター外科, 3.昭和大学医学部救急医学講座）

FP-170　大量腹水を認めたアルコール性肝硬変の一例
播摩 裕[1], 秦 浩一郎[2], 佐藤 格夫[1], 大鶴 繁[1], 下戸 学[1], 趙 晃済[1], 岡島 英明[2], 上本 伸二[2], 小池 薫[1]（1.京都大学医学部附属病院初期診療・救急科, 2.京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科）

FP-171　診断に難渋した結核性腹膜炎の症例
趙 晃済[1], 南 丈也[2], 大鶴 繁[1], 西山 慶[1], 佐藤 格夫[1], 森 智治[1], 齋藤 龍史[1], 小池 薫[1]（1.京都大学医学部附属病院, 2.丸太町病院）

FP-172　広範囲腸管壊死を呈した重症偽膜性腸炎の一例
竹中 隆一, 内田 そのえ, 吉田 光朗, 黒澤 慶子, 石田 健朗, 塩月 一平, 石井 一誠, 下村 剛, 和田 伸介, 重光 修（大分大学医学部附属病院高度救命救急センター）

FP-173　上行置換術後14日目に再解離から大動脈基部破裂をきたした一救命例
野手 英明, 鳥居 隼, 長谷川 祥子, 仲野 実輝, 川出 健嗣, 高橋 伸二, 坪内 宏樹, 塚原 郁夫（一宮西病院麻酔科）

FP-174　膵頭十二指腸切除後遅発性に起こった膵空腸吻合部の動脈出血に対して経皮的動脈塞栓術を施行し救命した1例
広瀬 由和，小川 理（新潟県立中央病院救命救急センター）

FP-175　高マグネシウム血症が原因と思われる心静止
田中 亜季，小島 明子，佐藤 玲子，南 悦子（松波総合病院麻酔科集中治療部）

FP-176　複数の薬物でQT延長症候群が誘発されTorsades de pointes（TdP）となった1例
児玉 英一（潤和会記念病院薬剤管理室）

FP-177　敗血症性ショックに合併した頻脈性心房細動に対してミルリノンとランジオロールの併用が有効であった一例
辻田 靖之[1]，宮武 秀光[1]，山根 哲信[1]，藤井 恵美[1]，清水 淳次[1]，園田 寛道[2]，萬代 良一[1]，高橋 完[1]，谷 眞至[2]，江口 豊[3]
（1.滋賀医科大学救急・集中治療部，2.滋賀医科大学外科学講座，3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座）

FP-178　デクスメデトミジンが有効であった心室性不整脈の一症例
服部 一生[1]，日下 裕介[2]，出口 志保[2]，三原 良介[1]，大地 史広[1]，今川 憲太郎[1]，下山 雄一郎[1]，門野 紀子[1]，日外 知行[1]，梅垣 修[1]（1.大阪医科大学附属病院集中治療部，2.大阪医科大学麻酔科学教室）

FP-179　自殺目的のキョウチクトウ服用によるジギタリス様作用に対して救命できなかった一例
豊島 千絵[1,2]，鈴木 聡史[2]，清水 導臣[2]，増茂 功次[2]，日下 博文[1]（1.関西医科大学附属枚方病院神経内科，2.大阪府済生会野江病院救急集中治療科）

FP-180　心室頻拍・心室細動のトリガーとなる心室性期外収縮に対しランジオロールが有効であった2症例
大西 将史，齋藤 友紀雄，石井 絢子，小林 紘生，大滝 裕香，矢崎 義直，山下 淳，里見 和浩，五関 善成，山科 章（東京医科大学病院循環器内科）

FP-181　急性冠症候群へのPCI中に生じる超急性ステント血栓症の臨床的危険因子の検討
西畑 庸介，浅野 拓，川松 直人，小松 一貴，中岡 幹彦，水野 篤，三橋 弘嗣，丹羽 公一郎（聖路加国際病院循環器内科）

FP-182　J波を有し，低体温療法にてVF stormに陥った急性心筋梗塞の一例
小林 紘生，齋藤 友紀雄，矢崎 義直，五関 善成，山科 章（東京医科大学病院）

FP-183　水溶性または脂溶性スタチンが急性心筋梗塞患者のPCSK9値に与える長期影響の差異について
嘉嶋 勇一郎[1]，今村 浩[1]，伊澤 淳[2]，新田 憲市[1]，池田 宇一[2]（1.信州大学医学部救急集中治療医学講座，2.信州大学医学部循環器内科）

FP-184　Bare metal stent留置患者が手術直後に超遅発性ステント血栓症を発症した1例
糸洲 佑介，丸山 崇，雨森 英彦（砂川市立病院）

FP-185　急性下壁心筋梗塞に心室中隔穿孔を合併した1例
清水 智子，入福浜 由奈，原山 信也，金澤 綾子，尾辻 健，荒井 秀明，長田 圭司，二瓶 俊一，相原 啓二，蒲地 正幸（産業医科大学病院集中治療部）

FP-186　冠動脈解離の発症に冠攣縮が関与した急性心筋梗塞の1例
高木 宏治[1]，曽根 教子[1]，徳山 榮男[1]，菊池 有史[1]，石原 嗣郎[1]，石川 昌弘[1]，佐藤 直樹[1]，清水 渉[2]（1.日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科，2.日本医科大学附属病院循環器内科）

FP-187　大動脈弁置換術中に左冠動脈主幹部の冠動脈解離を発症した一例
中尾 謙太，浜川 綾子，石井 久成（天理よろづ相談所病院麻酔科）

FP-188　救急外来または救急搬送された心筋梗塞患者の検討
三木 靖雄[1]，寺島 嗣明[1]，渡部 篤史[1]，波柴 尉充[1]，富野 敦稔[1]，青木 瑠里[2]，梶田 裕加[1]，津田 雅庸[1]，井上 保介[2]（1.愛知医科大学病院高度救命救急センター救命救急科，2.愛知医科大学地域救急医療学寄付講座）

FP-189　術後ICUで心筋梗塞を発症した2症例
櫻谷 初奈，佐藤 大三，三高 千惠子，安藤 望，稲田 英一（順天堂大学医学部順天堂医院）

FP-190　左主幹動脈閉塞による広範急性心筋梗塞にバチルス感染症のコントロールに難渋し救命し得なかった一例
山本 勇輝，嘉嶋 勇一郎，清水 邦彦，三山 浩，新田 憲市，今村 浩（信州大学医学部附属病院高度救急救命センター）

FP-191　急性心不全の管理に苦慮した慢性関節リウマチ患者の1例
宮本 将，後藤 隆司，武藤 渚，青山 文，亀山 実希，鷹取 誠（広島市立広島市民病院麻酔科集中治療部）

FP-192　感染性心内膜炎による僧房弁閉鎖不全症，心不全により6週間の人工呼吸器管理を継続したが，救命に至った1例
森岡 佑太[1]，春木 伸太郎[1]，吉田 彩乃[1]，猪谷 亮介[1]，富岡 秀行[2]，嵐 弘之[1]，南 雄一郎[1]，山口 淳一[1]，志賀 剛[1]，萩原 誠久[1]（1.東京女子医科大学病院循環器内科，2.東京女子医科大学病院心臓血管外科）

FP-193　心腔内血栓の治療方針に難渋した心臓サルコイドーシス症の一例
岩崎 陽一[1,2]，渡邉 雅貴[1,2]，小林 正武[1,2]，山下 淳[1]，山科 章[1,2]（1.東京医科大学循環器内科学分野，2.東京医科大学先進的心不全治療医学講座）

FP-194　心不全の臨床経過とBNP値の解離が認められた急性心筋炎の一例
北野 鉄平，岡島 正樹，野田 透，越田 嘉尚，佐藤 康次，関 晃裕，相良 明宏，余川 順一郎，蜂谷 聡明，谷口 巧（金沢大学附属病院集中治療部）

FP-195　広範囲熱傷に対する3回目の術後にたこつぼ心筋症と診断された一例
安藤 晃[1]，杉山 由紀[1]，清水 彩里[1]，一本木 邦治[2]，今村 浩[2]，川真田 樹人[1]（1.信州大学医学部麻酔蘇生学教室，2.信州大学医学部救急集中治療医学教室）

FP-196　外科的緊急気道確保を契機にたこつぼ型心筋症をきたした1例
萬木 真理子，高須 修，下河邊 久陽，金苗 幹典，鍋田 雅和，森田 敏夫，中村 篤雄，宇津 秀晃，山下 典雄，坂本 照夫（久留米大学病院高度救命救急センター）

FP-197　当院で過去1年間にICU入室した急性大動脈解離患者の管理と転帰
伊藤 淳[1], 大西 龍貴[2], 松永 裕樹[1], 三島 秀樹[1], 田邉 孝大[3], 黒木 識敬[3], 弓場 隆生[3], 鈴木 健雄[2], 岩間 徹[3], 石川 進[1]（1.都立墨東病院胸部心臓血管外科, 2.都立墨東病院麻酔科, 3.都立墨東病院循環器科）

FP-198　ショックを呈した消化管穿孔・敗血症を伴う慢性血栓塞栓性肺高血圧症急性増悪を集学的治療で治療し得た一例
嘉澤 脩一郎[1], 山下 淳[1], 冨士田 康宏[1], 荒井 悌子[1], 山科 章[1], 屋良 美紀[2], 勝又 健次[3], 粕谷 和彦[3], 沼尾 嘉美[4], 松原 広己[5]（1.東京医科大学病院循環器内科, 2.東京医科大学病院麻酔科, 3.東京医科大学病院消化器外科, 4.関東中央病院循環器内科, 5.岡山医療センター循環器内科）

FP-199　外科的治療にて救命しえた急性広範囲型肺塞栓症患者の治療経験
石川 紗希[1], 中村 教人[2], 山本 裕子[1], 植松 明美[2], 佐久間 貴裕[2], 忍田 純哉[1]（1.さいたま市立病院麻酔科, 2.さいたま市立病院集中治療科）

FP-200　急性大動脈解離に伴う全身的炎症反応と肺障害に対するシベレスタットナトリウム早期投与の効果
三島 秀樹, 松永 裕樹, 片山 康, 石川 進, 大島 哲（東京都立墨東病院胸部心臓血管外科）

FP-201　術後患者へのトルバプタン投与による高ナトリウム血症に関する検討
石田 祐基[1], 貝沼 関志[2], 長谷川 和子[1], 平井 昴宏[1], 水野 祥子[1], 青山 正[1], 市川 崇[1], 鈴木 章悟[3], 高橋 英夫[4], 西脇 公俊[3]（1.名古屋大学医学部附属病院麻酔科, 2.名古屋大学医学部附属病院外科系集中治療部, 3.名古屋大学大学院医学系研究科麻酔・蘇生医学講座, 4.名古屋大学大学院医学系研究科救急集中治療医学講座）

FP-202　機能的片肺状態の患者に対する僧房弁置換術の経験
杉浦 順子, 二川 晃一, 岡本 慎司, 奥田 隆彦（近畿大学医学部奈良病院麻酔科）

FP-203　集中治療患者における五苓散の体液管理に対する効果
赤羽 理也[1], 吉田 和寛[2], 橋本 賢吾[3], 山根 哲信[3], 辻田 靖之[3], 高橋 完[3], 江口 豊[3]（1.滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部, 2.滋賀医科大学医学部附属病院看護部, 3.滋賀医科大学救急集中治療医学講座）

FP-204　コロイド製剤の使用に関する研究と専門診療科との関係
足立 裕史, 塩田 修玄, 原茂 明弘, 大森 敬文, 増田 孝広, 丸山 史, 若林 健二, 中沢 弘一, 槇田 浩史（東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部）

FP-205　小児における血管内治療周術期輸液管理の盲点　術野で大量輸液されていた一例
橋本 学[1], 岡部 宏文[1], 藤田 信子[1], 青木 和裕[1], 長坂 安子[2], 片山 正夫[1], 岡田 修[1]（1.学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院麻酔科, 2.マサチューセッツ総合病院）

FP-206　右心不全に対する中心静脈圧を指標とした輸液管理について
小原 章敏[1], 村上 紗羅[1], 熊澤 淳史[1], 小畠 久和[1], 西村 匡司[2]（1.堺市立総合医療センター集中治療科, 2.徳島大学病院救急集中治療部）

FP-207　当院における成人ECMO症例の検討
三井 誠司[1], 井上 美帆[1], 田畑 雄一[1], 加藤 祐子[1], 石井 祥代[1], 黄瀬 ひろみ[1], 成宮 博理[1], 木村 彰夫[1], 佐和 貞治[2]（1.京都府立医科大学附属病院集中治療部, 2.京都府立医科大学附属麻酔科学教室）

FP-208　腹臥位手術開始後に気づいたアナフィラキシーショックの一例
増田 直樹[1], 平湯 恒久[2]（1.戸畑共立病院麻酔科, 2.戸畑共立病院外科）

FP-209　当院ECMO患者の短期転帰についての検討
本村 誠[1], 新津 健裕[1], 居石 崇志[1], 渡邉 伊知郎[1], 中山 祐子[1], 齊藤 修[1], 清水 直樹[1], 吉田 拓司[2]（1.東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部, 2.東京都立小児総合医療センター臨床工学技士室）

FP-210　敗血症性ショックに対するVA-ECMOの使用経験
番匠谷 友紀, 小林 誠人, 蕪木 友則, 門馬 秀介, 岡 和幸, 松井 大作, 吉岡 崇, 前山 博輝, 杉野 貴彦, 藤崎 修（公立豊岡病院但馬救命救急センター）

FP-211　心臓手術後のECMO管理における病院間連携についての検討
大森 知恵, 杉田 慎二, 竹田 晋浩, 坂本 篤裕（日本医科大学付属病院麻酔科・ペインクリニック）

FP-212　肺結核による敗血症性ショックに対してECMO管理が必要となった1症例
豊田 幸樹年, 一林 亮, 小泉 雅之, 佐藤 大輔, 横室 浩樹, 吉原 克則, 本多 満（東邦大学医療センター大森病院救命救急センター）

FP-213　大動脈内バルーンパンピング症例における直線加圧方式非観血的血圧測定の検討
藤峯 拓哉[1], 齋藤 浩二[2], 亀山 良亘[2], 吾妻 俊弘[3], 江島 豊[3], 星 邦彦[2], 山内 正憲[3]（1.東北大学病院麻酔科, 2.東北大学病院集中治療部, 3.東北大学医学部医学研究科麻酔科学・周術期医学分野）

FP-214　衝心脚気に経肺熱希釈法による連続モニタリングを行った1例
中島 竜太, 稲垣 伸洋, 徳田 隼人（大分市医師会立アルメイダ病院救命救急センター）

FP-215　非手術的治療を受けた急性大動脈解離患者の人工呼吸器装着頻度とその関連因子
江花 英朗, 箱崎 貴大, 大石 理江子, 中野 裕子, 五十洲 剛, 黒澤 伸, 村川 雅洋（福島県立医科大学医学部麻酔科学講座）

FP-216　周産期心不全により陽圧呼吸を要した2例
三木 豊和, 山本 幸司, 的井 愛紗, 長田 俊彦, 堀 雅俊, 原 悠也, 藤本 善大, 則本 和伸（淀川キリスト教病院救急・集中治療科）

FP-217　当院における循環動態モニターのこれまでの推移と現状
小倉 健[1], 長見 英治[1], 山内 雅人[2], 高村 卓志[3], 伊良部 真一郎[3], 森脇 龍太郎[3]（1.独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院臨床工学部, 2.同循環器内科, 3.同救急・集中治療部）

FP-218　胸部大動脈ステントグラフト内挿術後に合併した敗血症性ショックの1例
山中 光昭, 三木 隆弘, 二藤部 英治, 古川 エミ, 関根 玲子, 江口 友英, 辻 一宗, 岡本 一彦(日本大学病院臨床工学室)

FP-219　PCPSを用いて救命できた1症例の経験
仲地 勝弘, 宮城 翔太, 古謝 竜太, 森山 めぐみ, 上 恵理子, 渡慶次 賀博, 永井 優子, 翁長 朝浩, 西島 功, 伊波 潔(医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部)

FP-220　心筋保護液ミオテクター[R]の有用性(院内調剤St.Thomas第2液との比較検討)
吉沢 崇[1], 竹内 均[1], 小林 涼[1], 高橋 美帆[1], 山口 智也[1], 芳賀 拓[1], 飯塚 宏[1], 水口 紀隆[1], 大竹 一信[2], 榎本 栄[3](1.岡村記念病院ME科, 2.岡村記念病院麻酔科, 3.岡村記念病院心臓血管外科)

FP-221　IVR-CT導入によるE-CPR施行への影響
砂原 翔吾[1], 森本 良平[1], 佐藤 伸宏[1], 菊池 佳峰[1], 上野山 充[1], 木田 博太[1], 木口 雄之[2], 藤見 聡[2](1.大阪府立急性期・総合医療センター臨床工学室, 2.大阪府立急性期・総合医療センター高度救命救急センター)

FP-222　動画を含めたECMO回路交換マニュアルの作成と交換実施後の改訂
坂口 祥章, 今泉 力也, 石井 真佐隆, 松本 健一, 鮫島 麻子, 岡本 遼, 小林 利道, 芝田 正道, 川名 由浩(東京女子医科大学東医療センター臨床工学部)

FP-223　当院における重症心不全チームの立ち上げについて
中島 康佑[1], 林田 晃寛[2], 平岡 有努[3], 門田 啓[4], 奥村 佳史[6], 斎藤 和也[5], 田村 幸二[4], 浮森 佐知子[4], 三宅 孝子[4], 坂口 太一[3](1.心臓病センター榊原病院臨床工学科, 2.心臓病センター榊原病院循環器内科, 3.心臓病センター榊原病院心臓血管外科, 4.心臓病センター榊原病院看護師, 5.心臓病センター榊原病院理学療法士, 6.心臓病センター榊原病院薬剤師)

FP-224　千葉労災病院におけるECMO小経験報告
長見 英治[1], 久我 洋志[1], 小倉 健[1], 堀川 俊之介[1], 岡崎 徹[1], 山口 友生[1], 高村 卓志[2], 伊良部 真一郎[2], 森脇 龍太郎[2](1.独立行政法人労働者健康福祉機構千葉労災病院臨床工学部, 2.同救急・集中治療部)

FP-225　当院における心肺停止蘇生後患者の予後と来院早期採血データとの関連
宮武 秀光[1], 水野 隆芳[2], 北村 直美[1], 山根 哲信[1], 藤野 和典[3], 辻田 靖之[1], 田畑 貴久[2], 高橋 完[1], 松村 一弘[4], 江口 豊[2](1.滋賀医科大学医学部集中治療部, 2.滋賀医科大学医学部麻酔学講座, 3.滋賀医科大学医学部救急集中治療医学講座, 4.滋賀医科大学医学部家庭医療講座)

FP-226　数学的呼吸モデルにおける酸素運搬量クリティカル曲線
野瀬 浩文[1], 北村 俊治[1], 奥田 純[1], 山口 展弘[1], 前島 英恵[2], 谷口 英喜[3](1.横須賀市立市民病院麻酔科, 2.済生会横浜市南部病院麻酔科, 3.神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科)

FP-227　血栓溶解療法後の胸骨圧迫で腹腔内出血を起こした肺血栓塞栓症
高見 浩樹, 浅子 英, 井上 照大, 近藤 彰彦, 三島 健太郎, 水野 慶子, 小松 孝行, 関井 肇, 野村 智久, 杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

FP-228　Torsade de Pointesによる反復するVFに対して硫酸マグネシウムとtPMで治療した食道癌術後敗血症の1症例
佐藤 聡子, 今泉 均, 関根 秀介, 小山 杏奈, 崔 英姫, 荻原 幸彦, 金子 恒樹, 斎木 巌, 内野 博之(東京医科大学麻酔科学分野)

FP-229　肺塞栓症による心肺停止において, 血栓溶解療法を導入し, 後遺症なく救命できた1症例
小寺 厚志(長崎みなとメディカルセンター市民病院集中治療科)

FP-230　急性腎不全を伴う蘇生後脳症に対しCHDFを施行しながら軽度低体温療法を施行した一症例
加藤 弘美[1], 川島 信吾[1], 御室 総一郎[2], 小幡 由佳子[1], 土井 松幸[1], 中島 芳樹[2](1.浜松医科大学医学部附属病院集中治療部, 2.浜松医科大学麻酔・蘇生学講座)

FP-231　頸椎症手術直後に発症した椎骨脳底動脈の梗塞の一例
玉井 謙次[1], 阿野 正樹[2], 鯉沼 俊貴[1], 小山 寛介[1], 和田 政彦[1], 島 惇[1], 室野井 智博[3], 竹内 護[1], 布宮 伸[1](1.自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座, 2.済生会宇都宮病院集中治療科, 3.上都賀総合病院)

FP-232　術後一過性脳梗塞症状を呈した, 冠動脈大動脈バイパス手術の考察
平松 拓也, 市原 利彦, 川瀬 正樹, 中島 義仁(公立陶生病院救急救命センター)

FP-233　めまいを主訴とし初回MRI拡散強調画像での早期診断が困難であった脳幹梗塞の一例
松田 知之[1], 山根 毅郎[2], 森下 洋子[2](1.第二岡本総合病院救急集中治療部, 2.第二岡本総合病院麻酔科)

FP-234　右内頚動脈-後交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血day3に小脳脳幹梗塞を呈した1例
吉川 陽文, 岡島 正樹, 谷口 巧(金沢大学病院集中治療部)

FP-235　甲状腺クリーゼによる心停止後に遅発性意識障害を起こした1例
山下 貴弘, 宮庄 浩司, 柏谷 信博, 米花 伸彦, 大熊 隆明, 石橋 直樹(福山市民病院救命救急センター)

FP-236　当院ICU入院となった若年者脳出血患者の対応を考える
佐久田 豊, 山内 昌喜, 伊良波 禎, 城間 政尚, 沖山 光則, 佐久川 慶(沖縄協同病院集中治療室)

FP-237　発作性交感神経機能亢進 (PSH; paroxysmal sympathetic hyperactivity)：その臨床像と管理
永井 友梨, 土手 尚, 植田 秀樹, 峯田 健司, 諏訪 大八郎, 渥美 生弘, 田中 茂(総合病院聖隷浜松病院救急科)

FP-238　*Salmonella* enteritidisによる体位変換時に生じる意識障害の一例
日下 琢雅[1,2], 千田 譲[2], 徳山 秀樹[2], 松田 直之[1](1.名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野, 2.小牧市民病院)

FP-239　カルバマゼピンによる低Na血症が原因と考えられた下肢脱力発作の一症例
成尾 浩明[1], 立山 真吾[2], 中村 禎志[2], 濱川 俊朗[1](1.潤和会記念病院集中治療部, 2.潤和会記念病院麻酔科)

FP-240　可逆性後頭葉白質脳症（PRES），腎不全を合併した高血圧緊急症の一例
重城 未央子，柏浦 正広，田邉 孝大，杉山 和宏，明石 暁子，濱邊 祐一（東京都立墨東病院救命救急センター）

FP-241　複数診療科が関与する脊椎外傷治療の連携
岩瀬 正顕[1]，中森 靖[2]，齋藤 福樹[2]，早川 航一[2]，和田 大樹[2]，岩村 拡[2]，北元 健[1]，鍬方 安行[2]，淺井 昭雄[3]（1.関西医科大学附属滝井病院救命救急センター，2.関西医科大学救急医学講座，3.関西医科大学脳神経外科学講座）

FP-242　偏食に伴う栄養障害に起因したと思われた橋中心髄鞘崩壊症（Central Potine Myelinolysis : CPM）の一例
宮副 祥一，松平 宗典，槇田 徹次（佐世保市立総合病院救急集中治療科）

FP-243　中枢神経疾患の治療中にCritical Illness Polyneuropathy/Myopathyを発症した2症例
武信 洋平[1]，石井 暁[1,2]，堀川 恭平[3,4]，荻野 英治[3]，西村 真樹[3]，滝 和郎[3]，宮本 享[1]（1.京都大学大学院医学研究科脳神経外科学，2.小倉記念病院脳神経外科，3.康生会武田病院脳神経外科，4.天理よろづ病院脳神経外科）

FP-244　脳機能モニタ（NicoletOne™）を用いて癌性髄膜炎による痙攣重積発作の痙攣コントロールを行った1例
落合 香苗，世良 俊樹，森下 幸治，大友 康裕（東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター）

FP-245　「診断がついている」患者が抱えるリスク…入院時検査で偶然発見された致死的疾患の合併症例
近藤 司，田口 瑞希，都築 誠一郎，多和田 哲郎，日比野 将也，神宮司 成広，植西 憲達（藤田保健衛生大学医学部救急総合内科）

FP-246　Regional Saturation of Oxygen（rSO2）が下降性縦隔炎を併発した頚部膿瘍の循環の評価の一助となった症例
玉井 謙次，島 惇，竹内 護（自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座）

FP-247　髄液検査では診断し得なかった，くも膜下膿瘍を伴う侵襲性肺炎球菌感染症の1例
菅原 久徳，松田 兼一，森口 武史，針井 則一，後藤 順子，柳沢 政彦，原田 大希，高三野 淳一，吉野 匠，河野 洋介（山梨大学医学部救急集中治療医学講座）

FP-248　星状神経節ブロックを用いた老人性認知症治療の途中経過
岡部 廣直[1]，中嶋 保則[1]，兒玉 謙次[2]（1.医療法人社団廣徳会岡部病院，2.佐賀県医療センター好生館）

FP-249　100kmウォークを契機に発症した横紋筋融解症で急性腎機能障害を生じた1例
三浦 正善[1]，三野 大地[1]，前田 穣[1]，吉村 真一郎[2]，竹内 広幸[2]，下里 アキヒカリ[2]，西中 徳治[1]（1.健和会大手町病院救急科，2.健和会大手町病院麻酔科）

FP-250　バスキュラーアクセスカテーテルを左下大静脈へ挿入した一例
青山 文，上野原 淳，田窪 一誠，松本 森作，寺田 統子，宮本 将，上原 健司，鷹取 誠（広島市立広島市民病院）

FP-251　意識障害の改善にHigh Performance HDFが有効であった劇症肝炎の1例
藤本 枝里[1]，安岡 やよい[1]，村上 翼[1]，廣田 誠二[1]，原 真也[1]，島津 友一[1]，山崎 浩史[1]，西山 謹吾[1]，佐々木 紫織[2]，岩村 伸一[2]（1.高知赤十字病院救命救急センター，2.高知赤十字病院消化器内科）

FP-252　低腎機能を合併する冠動脈バイパス手術におけるクロール値の影響
岡田 修，片山 正夫，宮坂 勝之，青木 和裕，橋本 学，藤田 信子，篠浦 央，岡部 宏文，篠田 麻衣子，秋山 類（聖路加国際病院麻酔科集中治療室）

FP-253　敗血症性ショックに対するPMX-DHPの開始時期の検討
田中 智基[1]，宮武 秀光[1]，水野 隆芳[2]，今宿 康彦[2]，山根 哲信[1]，藤野 和典[3]，辻田 靖之[1]，田畑 貴久[3]，高橋 完[1]，江口 豊[3]（1.滋賀医科大学救急・集中治療部，2.滋賀医科大学麻酔科，3.滋賀医科大学救急・集中治療学講座）

FP-254　敗血症性急性腎障害患者における持続的血液濾過透析の血液浄化量と予後の検討
眞弓 健吾[1]，土井 研人[2]，山下 徹志[1]，野入 英世[3]，南学 正臣[1]，矢作 直樹[2]（1.東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科，2.東京大学医学部附属病院集中治療部，3.東京大学医学部附属病院血液浄化療法部）

FP-255　敗血症ショックに対してPMX-HPに直列回路で繋いだCRRT膜の検討（～AN69ST膜とPMMA膜～）
安達 普至，鶴 昌太，生塩 典敬，太田黒 崇伸，竪 良太，臼元 典子，鮎川 勝彦（飯塚病院集中治療部）

FP-256　ICUにおける敗血症患者への血液浄化療法について
越田 嘉尚，岡島 正樹，野田 透，佐藤 康次，関 晃裕，相良 明宏，北野 鉄平，余川 順一郎，中村 美穂，谷口 巧（金沢大学病院集中治療部）

FP-257　AN69ST膜を用いたCHDFにより救命しえた劇症型肺炎球菌感染症の一例
中川 惟，奥山 学，五十嵐 季子，中永 士師明（秋田大学医学部附属病院）

FP-258　冠動脈バイパス術後3日目に発症した緑膿菌敗血症・ARDSに対してAN69ST膜による血液浄化療法が奏功した一例
西島 功，宮城 翔太，古謝 竜太，渡慶次 賀博，永井 優子，翁長 朝浩，仲地 勝弘，森山 めぐみ，上 恵美子，伊波 潔（医療法人沖縄徳洲会中部徳洲会病院集中治療部）

FP-259　重症敗血症患者におけるSepXiris（AN69ST）とヘモフィールCH1.8W（PMMA）の臨床使用経験とライフタイムの比較
原 嘉孝[1]，早川 聖子[1]，新美 太祐[2]，若子 尚子[1]，竹田 彩香[1]，川治 崇泰[1]，高木 沙央里[1]，柳 明男[1]，山下 千鶴[1]，西田 修[1]（1.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座，2.公立西知多総合病院集中治療部・麻酔科）

FP-260　AN69ST膜使用により敗血症性ショックからの早期離脱に成功した症例
宮崎 恵美子，七松 恭子，山本 豊，横田 美幸（がん研有明病院）

FP-261　非カフ型バスキュラーアクセスカテーテルにおける脱血不良に関する検討
椋本 匡俊，根岸 美和，橘 慎也，濱津 宏太，濱田 直弥，加藤 大三，大畑 雄咲，高橋 俊樹（大阪警察病院医療技術部臨床工学科）

FP-262　メシル酸ナファモスタットを使用した持続的腎代替療法における回路内活性化凝固時間と透析膜寿命との関連
巻野 将平[1], 北 博志[2], 宮武 祐士[3], 久保田 健太[1], 江木 盛時[1], 溝渕 知司[4](1.神戸大学医学部附属病院麻酔科, 2.神戸大学医学部附属病院臨床工学部門, 3.神戸大学大学院医学研究科麻酔科学分野, 4.神戸大学大学院医学研究科外科系講座麻酔科学分野)

FP-263　上部消化管穿孔性腹膜炎手術後のエンドトキシン吸着療法で呼吸停止を来たしたCKD患者の1症例
灰原 博子[1], 中田 充生[1], 中山 和也[1], 桐田 泰江[2], 青木 彰[3], 速水 弘[2](1.一般財団法人甲南会六甲アイランド甲南病院臨床工学室, 2.一般財団法人甲南会六甲アイランド甲南病院麻酔科, 3.名取病院)

FP-264　ACH-Σの改良版Σソフトによる洗浄方式の検討
清水 弘太[1], 石川 隆志[1], 西田 修[2](1.藤田保健衛生大学病院ME管理室, 2.藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御麻酔医学講座)

FP-265　CRRTにおける抗凝固剤と治療時間の後方視的検討
小橋 秀一, 畑林 絵梨香(八戸市立市民病院臨床工学科)

FP-266　無抗凝固による腎代替療法の施行状況：単施設後方視記述的観察研究
関根 広介[1], 山本 良平[2], 野木 一孝[2], 南 三郎[2], 佐藤 明[2], 軽米 寿之[2], 笹野 幹雄[2], 林 淑朗[2](1.亀田総合病院医療技術部ME室, 2.亀田総合病院集中治療科)

FP-267　AN69ST膜によるCHDFが有用であったと考えられるtoxic shock syndromeの一例
橋本 圭司[1], 庄田 恵子[2], 坂平 英樹[3], 吉田 剛[4], 渡海 裕文[5](1.兵庫県立淡路医療センターMEセンター, 2.兵庫県立淡路医療センター看護部ICU, 3.兵庫県立淡路医療センター外科, 4.兵庫県立淡路医療センター救命救急センター, 5.兵庫県立淡路医療センター麻酔科)

FP-268　当院におけるCBP血液回路内凝固の検討
佐藤 由利, 星野 春奈, 野田 明里, 倉島 直樹(東京医科歯科大学医学部附属病院MEセンター)

FP-269　開胸術後に縦隔洞炎を発症した1症例へのリハビリテーションの有効性
久保 貴嗣[1], 野中 利道[2](1.独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院リハビリセンター, 2.独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院心臓血管外科)

FP-270　東海CHDF技術検討会が行っているアンケート調査から見えてくる各施設のCBP施行条件や管理の方法
開 正宏[1], 中前 健二[2], 岩田 英城[3], 高岡 伸次[4], 加藤 博久[5], 足立 光生[6], 西分 和也[7], 神戸 幸司[8](1.名古屋第一赤十字病院医療技術部臨床工学技術課, 2.豊田厚生病院臨床工学技術科, 3.三重大学医学部附属病院臨床工学部, 4.聖隷浜松病院臨床工学室, 5.公立陶生病院血液浄化療法部, 6.松波総合病院臨床工学科, 7.岡崎市民病院臨床工学室, 8.小牧市民病院臨床工学科)

FP-271　救急ICUに入院した高齢患者の年代別リハビリテーションの進行状況
沖 圭祐[1], 川田 稔[1], 下雅意 崇亨[1], 福岡 敏雄[2](1.倉敷中央病院リハビリテーション部, 2.倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター)

FP-272　重症破傷風に対して急性期理学療法を実施した1症例
遠山 真吾[1], 武田 陽平[1], 戸梶 慎也[1], 山崎 優[1], 松村 雅史[1], 辻 和也[2], 西山 謹吾[3](1.高知赤十字病院リハビリテーション科, 2.高知赤十字病院糖尿病腎臓内科, 3.高知赤十字病院救命救急センター・救急部)

FP-273　気管内挿管中に端坐位練習が可能であった5例からみた当院における早期リハビリテーション取組みへの課題
大西 伸悟[1], 切田 学[2], 木下 直彦[3](1.加古川東市民病院リハビリテーション室, 2.加古川西市民病院救急科, 3.加古川東市民病院看護部)

FP-274　早期離床における慣例の影響 ～理学療法士の早期離床について～
岡本 健佑, 西村 真人, 根来 政徳(大阪労災病院中央リハビリテーション部)

FP-275　補助人工心臓装着術後に重度の骨格筋萎縮を呈して理学療法に難渋した劇症型心筋炎の1例
森本 陽介[1], 小柳 亮[2], 関野 元裕[3], 神津 玲[4](1.長崎大学病院リハビリテーション部, 2.長崎大学病院ME機器センター, 3.長崎大学病院集中治療部, 4.長崎大学大学院内部障害リハビリテーション学分野)

FP-276　フォンタン型手術後患者におけるICU-AWの発症状況とその特徴について
熊丸 めぐみ[1], 下山 伸哉[2], 宮本 隆司[3], 小林 富男[2](1.群馬県立小児医療センターリハビリテーション課, 2.群馬県立小児医療センター循環器科, 3.群馬県立小児医療センター心臓血管外科)

FP-277　ICUにおける人工呼吸器患者に対し, 離床段階に応じて病前の日課を取り入れた作業療法
河手 武[1], 益満 美寿[2], 児島 範明[3], 柴田 宗征[4], 新井 祐介[5](1.新小文字病院リハビリテーション科, 2.熊本保健科学大学リハビリテーション学科, 3.関西電力病院リハビリテーション科, 4.新小文字病院外科, 5.新小文字病院看護部)

FP-278　筋弛緩剤を使用し人工呼吸管理を行った術後敗血症性ショック・腹部コンパートメント症候群の一例
高崎 裕介[1], 野中 沙恵[1], 仲本 昂平[1], 佐藤 英博[2], 平湯 恒久[2], 白土 奈央[3], 増田 直樹[4](1.社会医療法人共愛会戸畑共立病院リハビリテーション科, 2.社会医療法人共愛会戸畑共立病院外科, 3.社会医療法人共愛会戸畑共立病院集中治療室看護部, 4.社会医療法人共愛会戸畑共立病院麻酔科)

FP-279　Total Lift Bedの安全性と効率化に関する4症例の使用経験
喜納 俊介[1], 宮平 宗勝[2], 井村 久美子[3], 芹田 晃道[3](1.中頭病院リハビリテーション部作業療法部門, 2.まつだクリニック, 3.中頭病院看護部)

FP-280　持続血液透析濾過法(CHDF)管理中の早期離床が可能であった症例を経験して
野中 沙恵[1], 佐藤 英博[2], 平湯 恒久[2], 仲本 昂平[1], 高崎 裕介[1], 白土 奈央[3](1.社会医療法人共愛会戸畑共立病院リハビリテーション科, 2.社会医療法人共愛会戸畑共立病院外科, 3.社会医療法人共愛会戸畑共立病院集中治療室看護部)

FP-281　集中治療を要した消化管穿孔症例の検討 ―上部と下部で違いはあるのか―
是永 章[1], 辻本 登志英[2], 小谷 祐樹[2], 亀井 純[2], 山田 裕樹[2], 千代 孝夫[2](1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2.日本赤十字社和歌山医療センター集中治療部)

FP-282　食道穿孔を含む消化管穿孔を短期間に2度発症したが, 集学的治療が奏功した1例
小松崎 崇[1], 冨田 真晴[1], 秋山 容平[1], 秋山 苑生[1], 明石 卓[2], 清水 正幸[2], 小林 陽介[2], 山崎 元靖[2], 高橋 宏行[3], 佐藤 智行[1](1.済生会横浜市東部病院麻酔科, 2.済生会横浜市東部病院救急科, 3.済生会横浜市東部病院集中治療科)

FP-283　劇症肝炎が疑われた重症肺炎球菌性肺炎の1例
市川 通太郎, 武井 隼人, 神頭 定彦(飯田市立病院救急科)

FP-284　施設間連携により救命した胃穿孔から敗血症性ショックに至った小児の一例
余湖 直紀[1,3], 古谷 良輔[1,3], 六車 崇[2,3], 問田 千晶[2,3], 篠原 真史[2,3], 宮崎 弘志[1], 岩下 眞之[1,3], 望月 聡之[1], 大塚 剛[1,3], 森村 尚登[1,3](1.国立病院機構横浜医療センター救急科, 2.横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター, 3.横浜市立大学医学部救急医学教室)

FP-285　大量喀血により急速な経過で死に至った, 市中発症劇症型Bacillus cereus肺炎の一症例
上田 和典[1], 石田 亮介[1], 北野 忠志[2], 佐藤 弘樹[1], 石飛 奈津子[1], 川上 潮[1], 森 浩一[1], 新納 教男[1], 山森 祐治[1], 松原 康博[1](1.島根県立中央病院救命救急科, 2.島根県立中央病院集中治療科)

FP-286　脾臓低形成に発症した劇症型肺炎球菌感染症によるWaterhouse-Friderichsen症候群の1例
江森 一雅, 竹内 庸浩, 曽根田 純一(神戸徳州会病院心臓血管外科)

FP-287　中毒性表皮壊死症の一例
田中 義人, 鶴見 由季, 稲坂 優, 伊藤 有美, 小寺 雅也(中京病院皮膚科)

FP-288　敗血症性ショックを伴った水疱性類天疱瘡の3例
村田 健介, 井上 貴昭, 大野 孝則, 末吉 孝一郎, 角 由佳, 松田 繁, 岡本 健, 田中 裕(順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科)

FP-289　Viridans Streptococcusによる電撃性紫斑病の1例
中川 弘大, 桑原 正篤, 小林 敦子(宝塚市立病院)

FP-290　Toxic shock syndromeを合併した重症A群溶連菌肺炎に対し集学的治療を行い救命し得た一例
下稲葉 みどり, 中村 造(東京医科大学病院感染症科感染制御部)

FP-291　降下性壊死性縦隔炎により敗血症性ショックをきたした一例
小野 富士恵, 柏 健一郎, 木村 康宏, 七尾 大観, 赤川 玄樹, 藤本 潤一, 西澤 英雄(横浜労災病院集中治療部)

FP-292　肺炎桿菌による急性感染性電撃性紫斑病の一例
賀川 哲夫, 伊原 慎吾, 堀 智志, 桑名 司, 小豆畑 丈夫, 木下 浩作(日本大学救急医学系救急集中治療医学分野)

FP-293　敗血症管理の教訓：難治性神経疾患の感染症管理の一症例
福田 幸寛, 眞喜志 剛, 海野 仁, 日下 琢雅, 東 倫子, 田村 有人, 江嶋 正志, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

FP-294　パーキンソン病を基盤とした敗血症性ショックの1症例
中原 光三郎, 塩屋 悠人, 錦見 満暁, 東 倫子, 山本 尚範, 田村 有人, 江嶋 正志, 沼口 敦, 角 三和子, 松田 直之(名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野)

FP-295　激烈な播種性病変を来たしたMSSA菌血症の一例
竪 良太, 鶴 昌太, 安達 普至, 臼元 典子, 鮎川 勝彦(麻生飯塚病院集中治療部)

FP-296　広範囲熱傷に創感染を合併し敗血症性ショックとなった一例
竹田 雅彦[1], 中西 加寿也[1], 奥 怜子[1], 栗田 健郎[1], 山地 芳弘[1], 上野 昌輝[1], 安達 直樹[2], 加地 竜士[2](1.成田赤十字病院救急・集中治療科, 2.成田赤十字病院形成外科)

FP-297　開心術後のStenotrophomonas maltophiliaによる敗血症
甲斐沼 篤[1], 植田 浩司[1], 小泉 滋樹[2], 是永 章[1], 川上 大裕[1], 瀬尾 龍太郎[3], 美馬 裕之[1], 山崎 和夫[1](1.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科, 2.神戸市立医療センター中央市民病院心臓血管外科, 3.神戸市立医療センター中央市民病院救急救命センター・救急部)

FP-298　無症候性に進行する臓器不全, 短腸症候群に合併した真菌感染症によるcryptic shockの一例
中村 通孝, 西上 和宏, 柴田 啓智, 永野 雅英, 高志 賢太郎, 上杉 英之, 中尾 浩一(済生会熊本病院集中治療室)

FP-299　重症敗血症患者へのプレセプシン継時的モニターは予後予測に有用である ～プロカルシトニン, CRPとの比較～
佐藤 康次, 中村 美穂, 余川 順一郎, 相良 明宏, 関 晃裕, 北野 鉄平, 越田 嘉尚, 野田 透, 岡島 正樹, 谷口 巧(金沢大学附属病院集中治療部)

FP-300　細菌感染にも関わらずプレセプシンが高値を示さなかった敗血症性ショックの1例
早坂 達哉[1], 渡邉 具史[3], 宇賀神 のりえ[3], 大滝 恵[3], 飯澤 和恵[3], 小野寺 悠[2], 鈴木 博人[2], 中根 正樹[2], 川前 金幸[3](1.山形大学医学部附属病院卒後臨床研修センター, 2.山形大学医学部附属病院高度集中治療センター, 3.山形大学医学部附属病院麻酔科)

FP-301　プロポリスが誘因と考えられたアナフィラキシーショックから劇症肝炎を併発し，不幸な転帰をたどった1例
関戸 祐子，尾崎 徹，川野 雄一朗，高木 誠，中山 雄二朗，福永 崇，菊池 忠，白井 純宏，具嶋 泰弘，前原 潤一（済生会熊本病院救急総合診療センター）

FP-302　著明な低血糖を来した重症敗血症の一例
宇井 あかね[1]，齋藤 浩二[1]，亀山 良亘[1]，吾妻 俊弘[3]，江島 豊[2]，星 邦彦[1]（1.東北大学病院集中治療部，2.東北大学病院手術部，3.東北大学医学部麻酔科学教室）

FP-303　腫瘍崩壊症候群により多臓器不全を来たしたが集学的治療により救命できた1例
加藤 崇央，青柳 瑠美子，久保田 麻由，保科 真由，黒川 右基，肥塚 幸太郎，小山 薫（埼玉医科大学総合医療センター麻酔科）

FP-304　敗血症性ショック，DICに対してリコンビナントトロンボモジュリン（rTM）とPMX-DHPを併用した4症例
大橋 直紹，竹田 健太，井手 岳，堀 直人，小濱 華子，西 信一（兵庫医科大学集中治療医学科）

FP-305　自殺企図にて超速効型および持効溶解型インスリンアナログを大量皮下注射した2型糖尿病の一例
坂本 里沙，岡部 大輔，林 久美子，住吉 公洋，友塚 直人，鈴木 勉，戸田 成志，小野 潤二，北浦 道夫（香川労災病院麻酔科）

FP-306　多発性の虚血性病変を合併したアルコール性ケトアシドーシスの1例
中村 周道，前谷 和秀，金城 昌志，牧園 剛大，柚木 良介，柳瀬 豪，則尾 弘文（福岡県済生会福岡総合病院救命救急センター救急科）

FP-307　意識障害で来院し，致死的心室性不整脈と痙攣を呈した三環系抗うつ薬過量服薬の一例
岡田 信長，小田 裕太，藤野 光洋，狩野 謙一，大木 伸吾，藤井 雅士，田中 博之，竹下 淳，別府 賢，志馬 伸朗（独立行政法人国立病院機構京都医療センター）

FP-308　気胸術後にハロペリドールによると思われる悪性症候群を発症した1例
丸井 輝美，上嶋 浩順，中川 元文，真一 弘士，大嶽 浩司（昭和大学医学部麻酔科学講座）

FP-309　違法薬物吸入による心停止が疑われた1例
赤坂 威史[1]，城 嘉孝[2]（1.熊本市立熊本市民病院救急診療部，2.熊本市立熊本市民病院集中治療部）

FP-310　遅発性の意識消失を来したアモキサピン中毒の1例
野田 健仁，恒光 健史，橋本 由貴，堀田 幸造，生田 武蔵，豊田 将平，四宮 真利子，松本 優，鈴木 崇生，佐藤 愼一（兵庫県立尼崎総合医療センター救急集中治療科）

FP-311　除草剤服用による致死的高カリウム血症を救命できた一症例
三田 建一郎[1]，岡田 亮太[2]，瀧波 慶和[1]（1.公立丹南病院麻酔科，2.公立丹南病院救急総合診療科）

FP-312　2014年名古屋大学医学部附属病院救急・内科系集中治療室へ入室した急性薬物中毒症例に関する考察
吉田 拓也，塩屋 悠斗，海野 仁，山本 尚範，東 倫子，田村 有人，江嶋 正志，沼口 敦，角 三和子，松田 直之（名古屋大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学分野）

FP-313　血液透析（HD）がペントバルビタール中毒に奏功した1例
中屋 雄一郎[1]，古賀 聡人[2]，菊田 正太[2]，井上 明彦[2]，三木 竜介[2]，石原 諭[2]，勝木 亮介[2]，松本 直人[3]（1.兵庫県立尼崎総合医療センター，2.兵庫県災害医療センター，3.防衛医科大学校病院）

FP-314　緊急血液浄化療法が奏功した，不凍液誤飲患者の一例
富田 明子，塩谷 信喜，硲 光司，七戸 康夫（国立病院機構北海道医療センター救急救命センター）

FP-315　レミフェンタニルを長期使用した重症熱傷患者のオピオイド退薬症状緩和にトラマドールが有効であった一症例
植田 広[1]，小林 賢輔[1]，加藤 弘美[1]，川島 信吾[1]，大杉 浩一[1]，八木原 正浩[1]，御室 総一郎[2]，小幡 由佳子[1]，土井 松幸[1]，中島 芳樹[2]（1.浜松医科大学附属病院集中治療部，2.浜松医科大学麻酔・蘇生学講座）

FP-316　ABCDEFsバンドルのFの評価方法 ―食援助や口腔ケアによるケアリング効果の文献的考察―
有嶋 拓郎[1]，佐藤 理恵[2]（1.富山大学大学院医学薬学研究部地域医療支援学講座，2.荒木脳神経外科病院）

FP-317　当院における早期リハビリテーションへの取り組み
森下 淳，山木 良一，熊野 穂高，小松 久男（東大阪市立総合病院麻酔科）

FP-318　不活発型せん妄が原因で人工呼吸離脱に苦慮した1症例
赤堀 貴彦，藤田 義人，木下 浩之，佐藤 祐子，下村 毅，橋本 篤，畠山 登，安田 吉孝，吉野 博子，藤原 祥裕（愛知医科大学医学部麻酔科学講座）

FP-319　術後譫妄が弓部大動脈術後予後に与える影響
中井 真尚（静岡市立静岡病院心臓血管外科）

FP-320　チームで挑む術後肺炎撲滅キャンペーン
大村 和也[1]，星野 哲也[1]，金尾 邦生[1]，木村 慎一[1]，大坪 慶子[2]，石川 江里[2]，下村 悠佳[3]，今浦 将治[3]，工藤 雄洋[4]，高橋 宏行[1]（1.済生会横浜市東部病院集中治療科，2.済生会横浜市東部病院ICU，3.済生会横浜市東部病院薬剤部，4.済生会横浜市東部病院栄養部）

FP-321　当院での心大血管手術後，ICUでの早期歩行に関する取組み
伊達 数馬[1]，稲垣 京司[2]，菊池 聡[2]，梅木 昭秀[1]，山本 哲史[1]（1.総合病院国保旭中央病院心臓外科，2.総合病院国保旭中央病院リハビリテーション科）

FP-322　ICUにおける早期離床の障害
杉浦 剛志，志水 清和，谷口 俊雄（一宮市立市民病院）

FP-323　緩和ケアチームの介入が必要とされた臓器移植後の2症例
穂積 淳，金井 良晃，稲田 修士，海津 未希子，三浦 恵美子，城山 亮輔，坂田 尚子，住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部）

FP-324　当院ICUにおける早期リハビリテーションの実施状況と効果
熊岡 琴音，岩田 麻衣子，丸谷 幸子，石井 房世，伊藤 加代子（名古屋市立大学病院看護部ICUPICUCCU）

FP-325　A病院ICUにおける離床の影響因子
森山 祐輔，千田 頼成，伊波 久美子（砂川市立病院看護部ICU）

FP-326　離床フローチャート導入前後における看護師の離床に対する意識変化
小暮 圭佑，鈴木 智恵，宮原 悦子，倉田 麻美，松井 実咲，佐藤 綾子（群馬大学医学部附属病院集中治療部）

FP-327　集中治療室における離床マニュアルの作成 ―離床の安全性と効果からの検討―
池口 修平[1]，大元 未知子[1]，木村 由佳[1]，石井 賢造[2]，日高 秀邦[2]，小野 和身[2]，三島 明[3]，内田 綾[3]（1.福山市民病院集中治療室，2.福山市民病院麻酔科・がんペインクリニック，3.福山市民病院リハビリテーション科）

FP-328　慢性呼吸不全憎悪と肺高血圧症を合併した患者への人工呼吸器離脱に向けた早期リハビリテーションと看護介入
上山 千昭，行元 悦子，橋爪 裕子，重光 胤明，林下 浩士，川口 なぎさ（大阪市立総合医療センター救命救急センター）

FP-329　ICUにおけるリハビリテーション拡充への取り組みと，ADL拡大状況の変化
山口 紗和（佐賀大学医学部附属病院）

FP-330　SBS（State Behavioral Scale）の信頼性の検討
田崎 信，田村 美幸（北海道立子ども総合医療療育センター看護部PICU）

FP-331　A病院集中治療室の痛み・不穏・せん妄管理の現状
松田 勇輔，今中 良太（杏林大学医学部付属病院集中治療室）

FP-332　食道癌術後患者への鎮痛プロトコルの導入
齋藤 美希[1]，早坂 佳晃[1]，鈴木 昭子[1]，末永 慶子[1]，小林 孝史[2]（1.大崎市民病院救急病棟，2.大崎市民病院麻酔科）

FP-333　消化器外科術後患者におけるAcute Pain Service導入の実態
加川 景子[1]，鈴木 雅司[1]，長屋 慶[2]（1.東北薬科大学病院集中治療室，2.東北薬科大学病院麻酔科）

FP-334　外科術後患者の睡眠管理におけるデクスメデトミジン（DEX）の有用性の検討
池田 めぐみ，川野 マキ（潤和会記念病院看護部）

FP-335　せん妄対応アルゴリズム作成・導入によるICUでのせん妄予防，早期発見，早期対応の標準化に向けた取り組み
高橋 知彦，田山 聡子，岡本 陽子（慶應義塾大学病院）

FP-336　A病院特定集中治療室看護師に対するPADガイドラインにおけるリフレクション
沖野 優子[1]，高橋 麗子[2]，太田 淳子[1]（1.石川県立中央病院看護部特定集中治療室，2.石川県立中央病院麻酔科）

FP-337　取下げ

FP-338　多面的アプローチにより過活動型せん妄が改善した重症心不全患者の1例 ～患者の気掛かりに着目した介入～
狩野 純子，金井 尚之，中岡 香織（自警会東京警察病院）

FP-339　ICUでのせん妄の実態 ～CAM－ICUを用いて～
山崎 さゆり，清水 祐（公益財団法人長野市保健医療公社長野市民病院ICU）

FP-340　A病院救命救急センターにおけるせん妄評価不能要因の検討
上條 裕子，佐藤 亜紀，高橋 聡子，柳 努（杏林大学医学部付属病院高度救命救急センター）

FP-341　集中治療室における入室前訪問を導入してのせん妄予防の評価
砂川 卓真（沖縄赤十字病院ICU）

FP-342　せん妄発症要因の検討
宗像 誠，鈴木 美香，越道 香織，秦 由美子（広島市立病院機構広島市立安佐市民病院）

FP-343　ICDSCを使用したことによるスタッフの意識変化について
岡村 慎太郎[1]，桂 麻理子[1]，白土 奈央[1]，増田 直樹[2]（1.社会医療法人共愛会戸畑共立病院看護部，2.社会医療法人共愛会戸畑共立病院麻酔科）

FP-344　糖尿病の酸素化への影響 ―分離肺換気における検討
山中 秀則，山長 修，木山 亮介，前川 俊，進藤 一男（兵庫県立尼崎総合医療センター）

FP-345　失神で来院し診察中に心室細動となった甲状腺クリーゼの一例
鈴木 皓佳，磯川 修太郎，遠矢 希，田中 裕之，三谷 英範，三上 哲，望月 俊明，大谷 典生，石松 伸一（聖路加国際病院救急部）

FP-346　胸腺腫摘出術後に重症筋無力症クリーゼを発症した症例
橋本 正博，成松 紀子（熊本労災病院麻酔科）

FP-347　粘液水腫性昏睡における副腎皮質ステロイド投与の効果
松尾 瑞恵[1]，海塚 安郎[2]（1.岡山大学病院高度救命救急センター，2.製鉄記念八幡病院救急・集中治療部）

FP-348　レボチロキシン坐剤が有効であった，粘液水腫性昏睡の一例
大方 直樹，高桑 良平，田中 進一郎，五十嵐 謙人（北海道勤医協中央病院麻酔科）

FP-349　呼吸筋麻痺を呈し，挿管管理を要した重度低カリウム血症の1例
小野寺 良太，横山 俊樹，早川 浩史，稲葉 慎一郎，倉田 圭，中島 義仁，市原 利彦，川瀬 正樹（公立陶生病院）

FP-350　鑑別に苦慮した鉱質コルチコイド反応性低ナトリウム血症の1症例
金村 剛宗，加藤 宏，小原 佐依子，湯川 友貴，金子 真由子，井上 和茂，岡田 一郎，霧生 信明，長谷川 栄寿，小井土 雄一（国立病院機構災害医療センター救命救急センター）

FP-351　開心術後終末期医療に苦慮した一例
有永 康一[1]，高木 数実[2]，新山 修平[1]，佐藤 晃[1]，坂本 照夫[1]，田中 啓之[2]（1.久留米大学病院集中治療部，2.久留米大学病院外科）

FP-352　ICU看護師のリフレクションによる倫理的感受性の変化とその過程
井内 真奈美，蕨野 有希，萬徳 香織，平岡 智美，藤田 昌子（徳島赤十字病院）

FP-353　A病院ICU・CCUにおける家族参加型看護計画導入後の評価
高橋 真理，宮島 須美江，岡 みゆれ，大川 つづみ，陶山 恵，鈴木 智子（旭川赤十字病院）

FP-354　ICUの面会時間における統一した家族対応への取り組み
猪又 里奈，寺田 直子，村田 瞳（株式会社日立製作所日立総合病院）

FP-355　面会制限廃止への挑戦 ―新たなシステム導入への抵抗を原動力に変えて―
平井 美香（社会医療法人同仁会耳原総合病院ICU HCU）

FP-356　ICUにおける患者家族のニーズに合った面会体制を目指して
三上 洋史，藤澤 憂子（王子総合病院）

FP-357　ICUの終末期ケアにおける看護師の関わり ～DNARの意思表示のある患者・家族のケアを経験して～
鈴木 真里[1]，長津 貴子[1]，長谷川 隆一[2]（1.水戸協同病院集中治療室，2.筑波大学水戸地域医療教育センター水戸共同病院救急集中治療科）

FP-358　脳死状態から臓器移植に至った患者の家族看護の1事例
佐野 美智子，阿保 勝枝，水谷 卓史，柳瀬 圭司（愛知医科大学病院EICU）

FP-359　HCUにおける家族の代理意志決定プロセスの一例
高坂 拓也，糸永 亜紀，中澤 陽子，小口 奈穂子，根本 享子，廣田 綾子，卯野木 健（筑波大学附属病院HCU）

FP-360　ドクターカーにて早期介入し独歩自宅退院したVFの1例
山名 英俊，吉野 雄大，萩原 純，石井 浩統，恩田 秀賢，横堀 將司，増野 智彦，宮内 雅人，布施 明，横田 裕行（日本医科大学付属病院高度救命救急センター）

FP-361　搬送途上のECMO導入に備えるため，航空機動衛生隊に搬送を依頼した重症呼吸不全患児の搬送経験
片山 洋一[1]，巽 博臣[1]，堀 司[2]，菅原 康介[3]，島田 朋和[3]，数馬 聡[1]，吉田 真一郎[1]，升田 好樹[1]，山蔭 道明[4]，山口 大介[5]（1.札幌医科大学医学部集中治療医学，2.札幌医科大学医学部小児科学講座，3.札幌医科大学附属病院臨床工学部，4.札幌医科大学医学部麻酔科学講座，5.防衛省航空自衛隊航空医学実験隊）

FP-362　帝王切開術後に肺動脈塞栓症により心肺停止となるも救命しえた症例
加藤 規子[1]，横山 達郎[1]，伊東 遼平[1]，菅原 昭憲[2]，高須 昭彦[1]（1.大垣市民病院麻酔科，2.名古屋大学医学部附属病院麻酔科）

FP-363　双胎妊娠に対する帝王切開術後大量出血，あるいは羊水塞栓によるDICが疑われた1例
池川 貴子[1]，中川 哲也[2]，清水 淳次[3]，今宿 康彦[4]，山根 哲信[3]，辻田 靖之[3]，高橋 完[3]，喜多 伸幸[2]，村上 節[2]，江口 豊[5]（1.滋賀医科大学医師臨床教育センター，2.滋賀医科大学産科学婦人科学講座，3.滋賀医科大学附属病院救急・集中治療部，4.滋賀医科大学麻酔科学講座，5.滋賀医科大学救急・集中治療医学講座）

FP-364　内視鏡下腰椎前方椎体間固定術後に，下行結腸穿孔，後腹膜膿瘍をきたした一例
松原 全宏，前田 明倫，園生 智弘，山本 幸，上田 吉宏，石井 健，中島 勧，矢作 直樹（東京大学医学部附属病院救命救急センター）

FP-365　末梢挿入型中心静脈カテーテルが自己抜去された際に切断され，体内に迷入した1症例
前川 俊，木山 亮介，黒田 光朗，山長 修，山中 秀則，若松 拓彦，進藤 一男（兵庫県立尼崎総合医療センター麻酔科）

FP-366　患者と意志疎通ができず，「内縁の夫」と「実の息子」の対立により，家族対応に非常に苦慮した事例
木村 廷和[1]，藤本 正司[1]，穴吹 大介[1]，音成 芳正[2]，乙宗 佳奈子[2]，関 啓輔[2]（1.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院麻酔科，2.社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院救急センター）

FP-367　集中治療室運用に関する一考察　特定集中治療室管理料1算定前後の検討から
熊田 恵介[1]，吉田 省造[2]，中野 通代[2]，鈴木 浩大[2]，名知 祥[2]，中野 恭子[2]，村上 啓雄[2]，豊田 泉[3]，小倉 真治[3]，福田 充宏[4]（1.岐阜大学附属病院医療安全管理室，2.岐阜大学附属病院集中治療部門，3.岐阜大学附属病院高度救命救急センター，4.湘南鎌倉総合病院）

日本集中治療医学会雑誌
Vol. 23 Supplement

2016 年 1 月 15 日 発行

一部金 3,240 円 送料 510 円

編集人　第 43 回日本集中治療医学会学術集会会長 西村 匡司

日本集中治療医学会
機関誌編集・用語委員会委員長 小竹 良文

発行者　一般社団法人 日本集中治療医学会
〔〒 113-0033〕東京都文京区本郷 3-32-7 東京ビル 8 階
TEL. 03-3815-0589 FAX. 03-3815-0585
E-mail：jimu@jsicm.org
Web site：http://www.jsicm.org/

製 作　株式会社学研メディカル秀潤社
〔〒 141-8414〕東京都品川区西五反田 2-11-8
TEL. 03-6431-1200（代表）
FAX. 03-6431-1214
E-mail：jjsicm@shujunsha.co.jp

本書の著作権は一切学会が所有しています．したがって，当学会の許諾を得ないで本書を転載刊行することを禁じます．

落丁，乱丁などがありましたらいつでもお取り替えいたします．